

あま市  
男女共同参画に関する市民意識調査  
— 報告書 —

令和8年2月

あ ま 市



# 目次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果.....	2
(1)	男女の人権尊重について.....	4
(2)	家庭生活について.....	32
(3)	地域活動について.....	60
(4)	女性活躍推進について.....	99
(5)	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について.....	115
(6)	子育て・こどもの教育について.....	126
(7)	パートナー等からの暴力について.....	136
(8)	ハラスメントについて.....	160
(9)	男女共同参画について.....	191



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本市では、「第2次あま市男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画社会の実現やDV（ドメスティックバイオレンス）の防止、女性の活躍推進に向けて様々な施策に取り組んでいます。このたび、本計画が中間年を迎えるにあたり、これまでの施策の効果の検証を行うとともに、今後の取り組みをより一層充実させるための参考とすることを目的として、本調査を実施しました。

## 2 調査対象

あま市在住の18歳以上の3,000人を無作為抽出

## 3 調査期間

令和7年11月4日（火）から令和7年11月25日（火）

## 4 調査方法

郵送配布、郵送・WEB併用回収

## 5 回収状況

配布数	回収数	回収率
3,000件	1,116件	37.2%

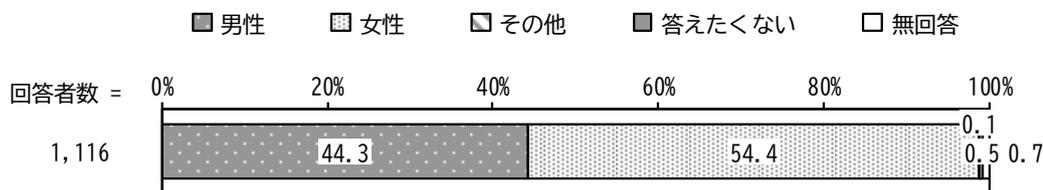
## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

## II 調査結果

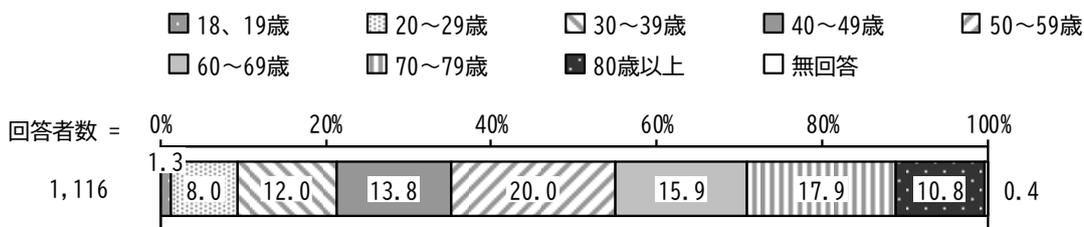
### A あなたの性別をお答えください。(〇印1つ)

「男性」の割合が44.3%、「女性」の割合が54.4%、「答えたくない」の割合が0.5%となっています。



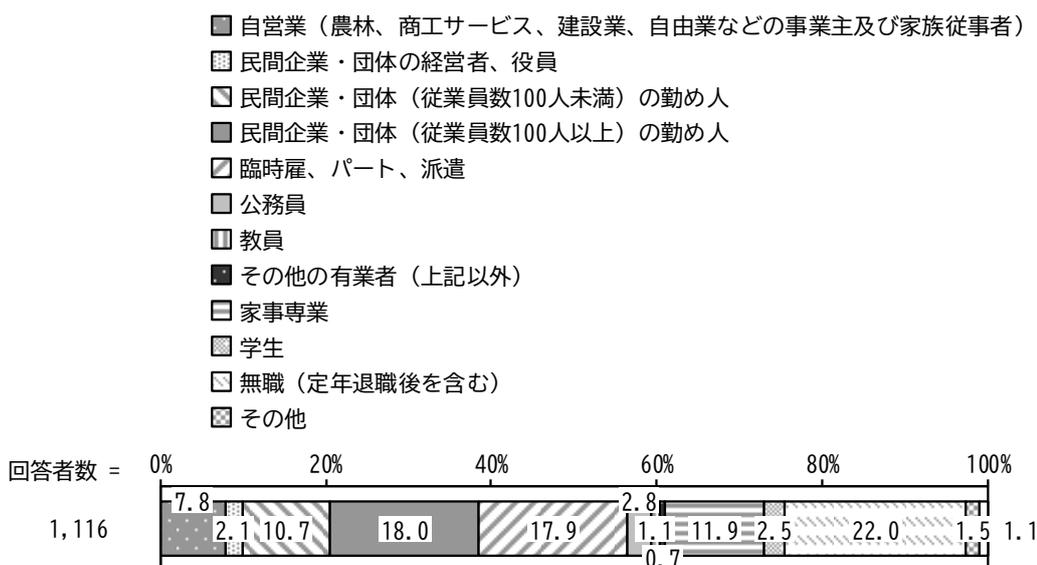
### B あなたの年齢をお答えください。(令和7年11月1日現在)(〇印1つ)

「50～59歳」の割合が20.0%と最も高く、次いで「70～79歳」の割合が17.9%、「60～69歳」の割合が15.9%となっています。



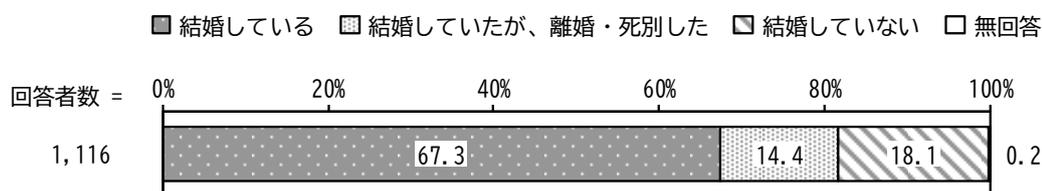
### C あなたのご職業をお答えください。(〇印1つ)

「無職(定年退職後を含む)」の割合が22.0%と最も高く、次いで「民間企業・団体(従業員数100人以上)の勤め人」の割合が18.0%、「臨時雇、パート、派遣」の割合が17.9%となっています。



**D あなたは結婚（事実婚を含む）していますか。（○印1つ）**

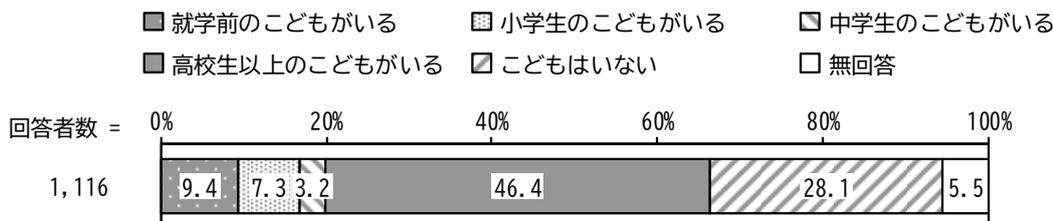
「結婚している」の割合が67.3%、「結婚していたが、離婚・死別した」の割合が14.4%、「結婚していない」の割合が18.1%となっています。



**E あなたにはお子さん（同居していないお子さんを含む）がいますか。**

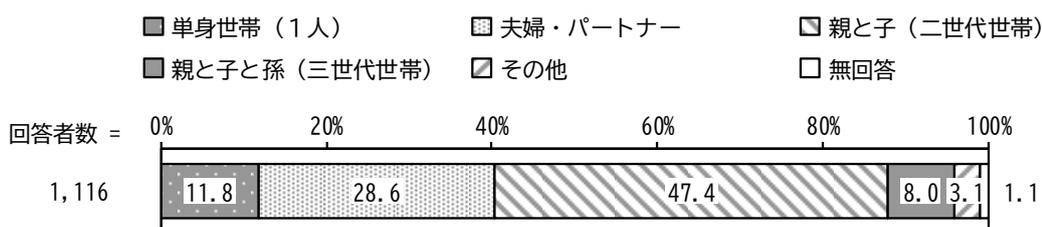
一番下（末子）のお子さんの学齢時でお答えください。（○印1つ）

「高校生以上の子どもがいる」の割合が46.4%と最も高く、次いで「子どもはいない」の割合が28.1%となっています。



**F あなたの家族構成についてお答えください。（○印1つ）**

「親子（二世帯世帯）」の割合が47.4%と最も高く、次いで「夫婦・パートナー」の割合が28.6%、「単身世帯（1人）」の割合が11.8%となっています。

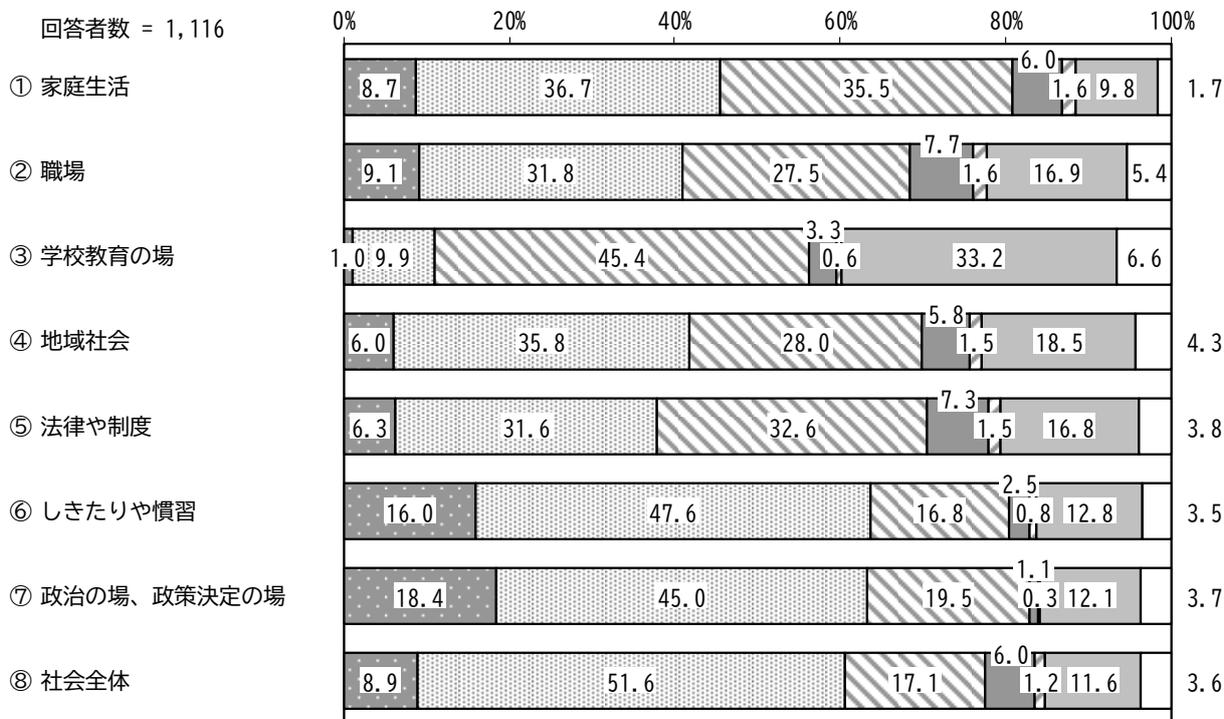


# (1) 男女の人権尊重について

問1 あなたは、次の①～⑧の項目について、男女の地位は平等になっていると思いますか。  
(○印①～⑧の項目ごとに1つずつ)

「男性の方が非常に優遇されている」で『⑦ 政治の場、政策決定の場』が、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」で『⑧ 社会全体』が、「平等である」で『③ 学校教育の場』が、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」で『② 職場』が、「女性の方が非常に優遇されている」で『① 家庭生活』『② 職場』が高くなっています。

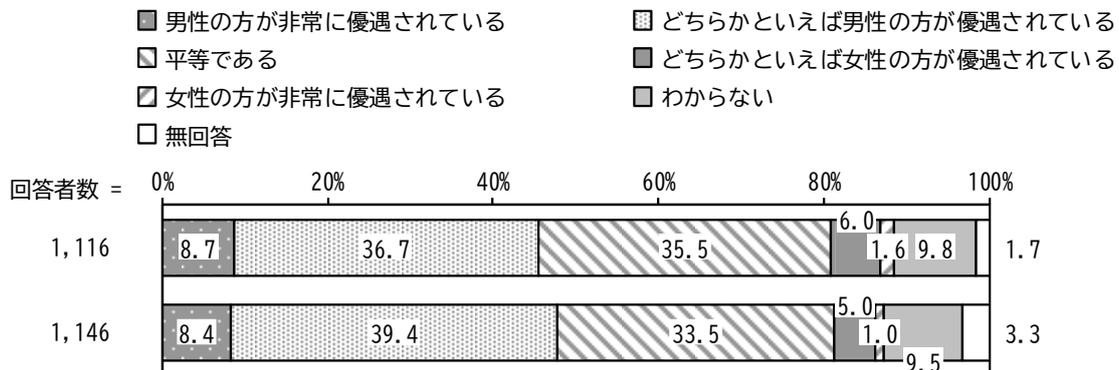
- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 無回答



## ① 家庭生活

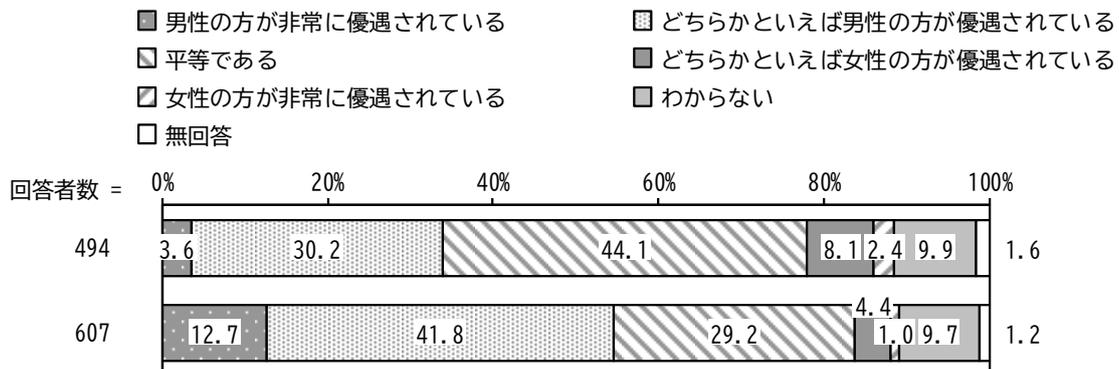
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



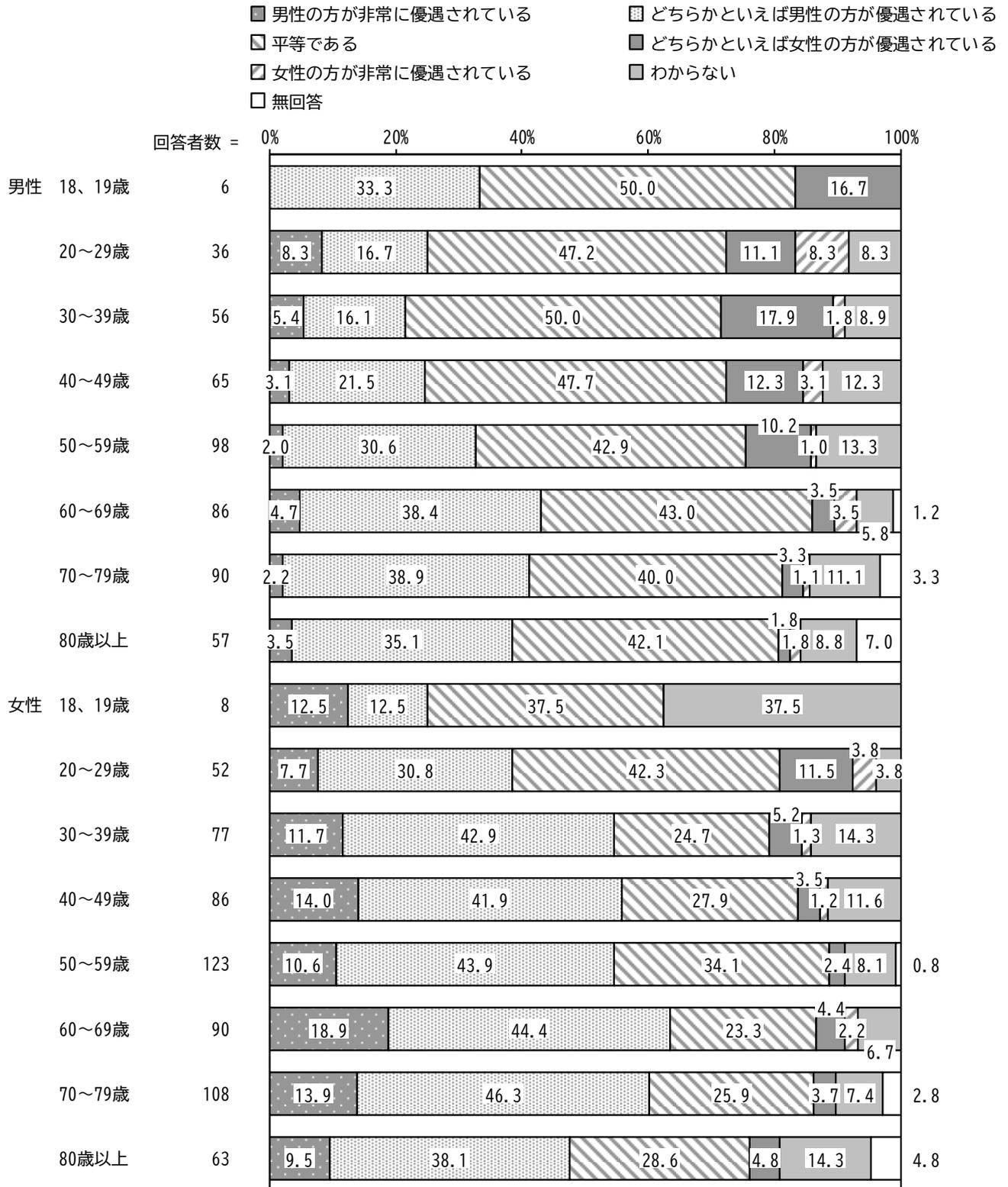
### 【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で“男性優遇”の割合が高くなっています。



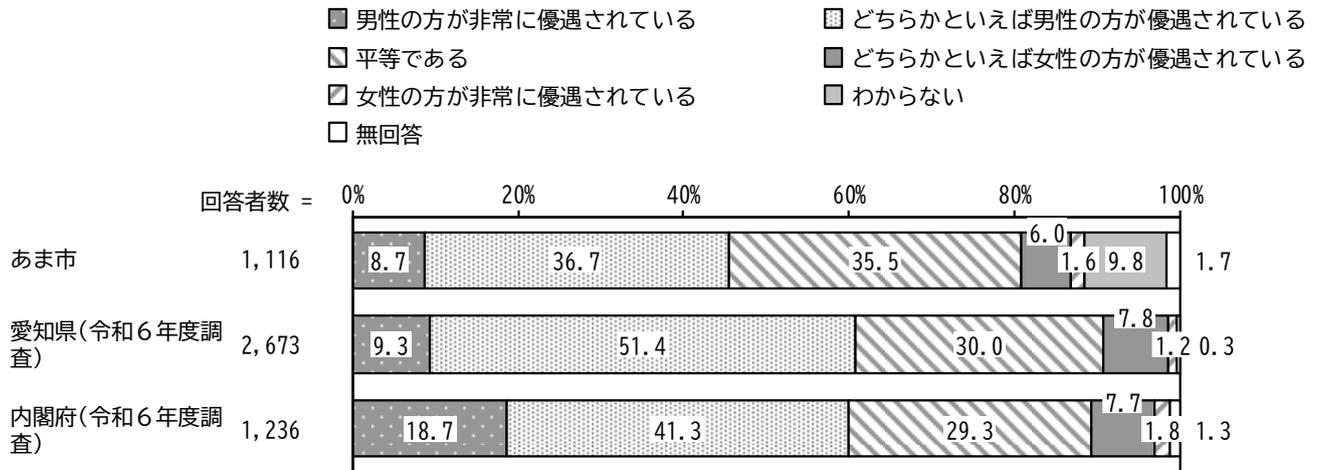
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 60～69 歳で“男性優遇”、男性 20～29 歳、男性 30～39 歳で“女性優遇”の割合が高くなっています。



【国・県との比較】

内閣府(令和6年度調査)と比較すると、「平等である」の割合が高くなっています。一方、「男性の方が非常に優遇されている」の割合が低くなっています。

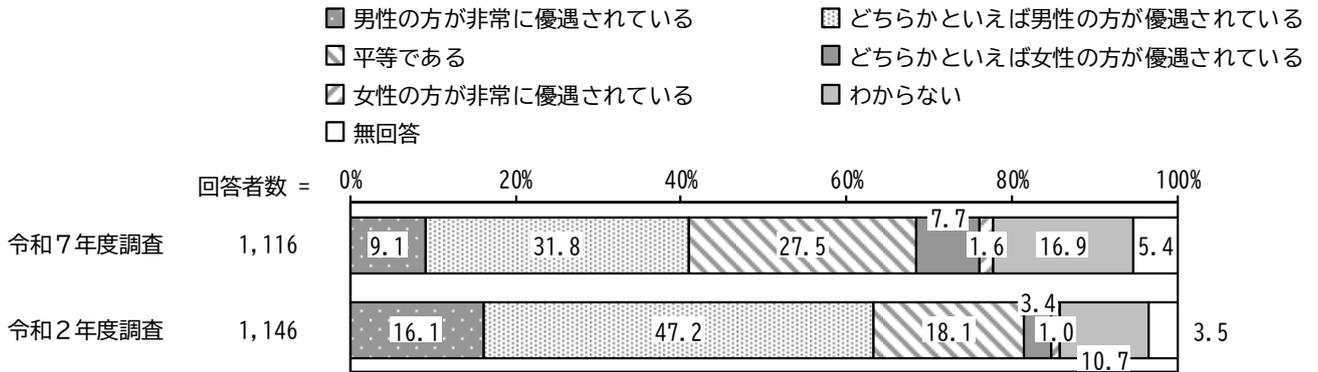


※愛知県(令和6年度調査)、内閣府(令和6年度調査)では、「わからない」がありませんでした。

## ② 職場

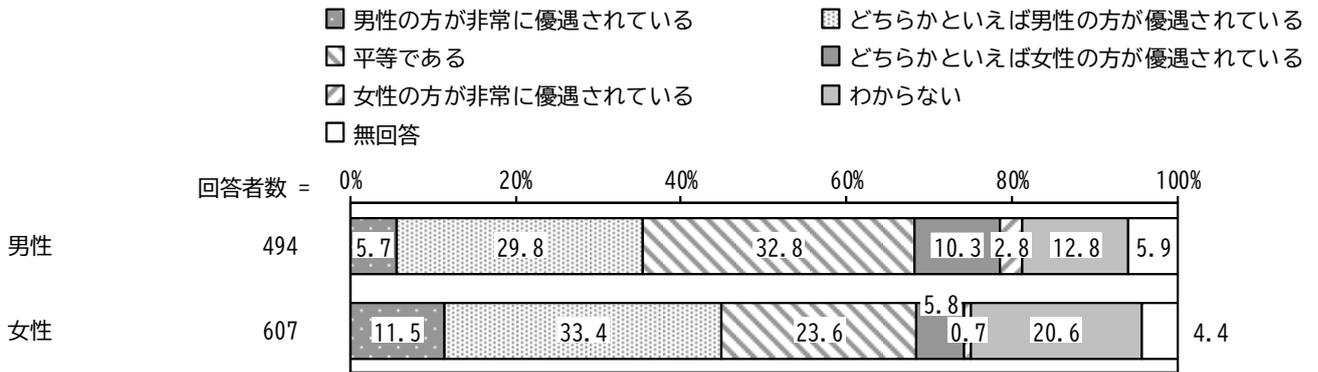
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、“男性優遇”の割合が減少しています。



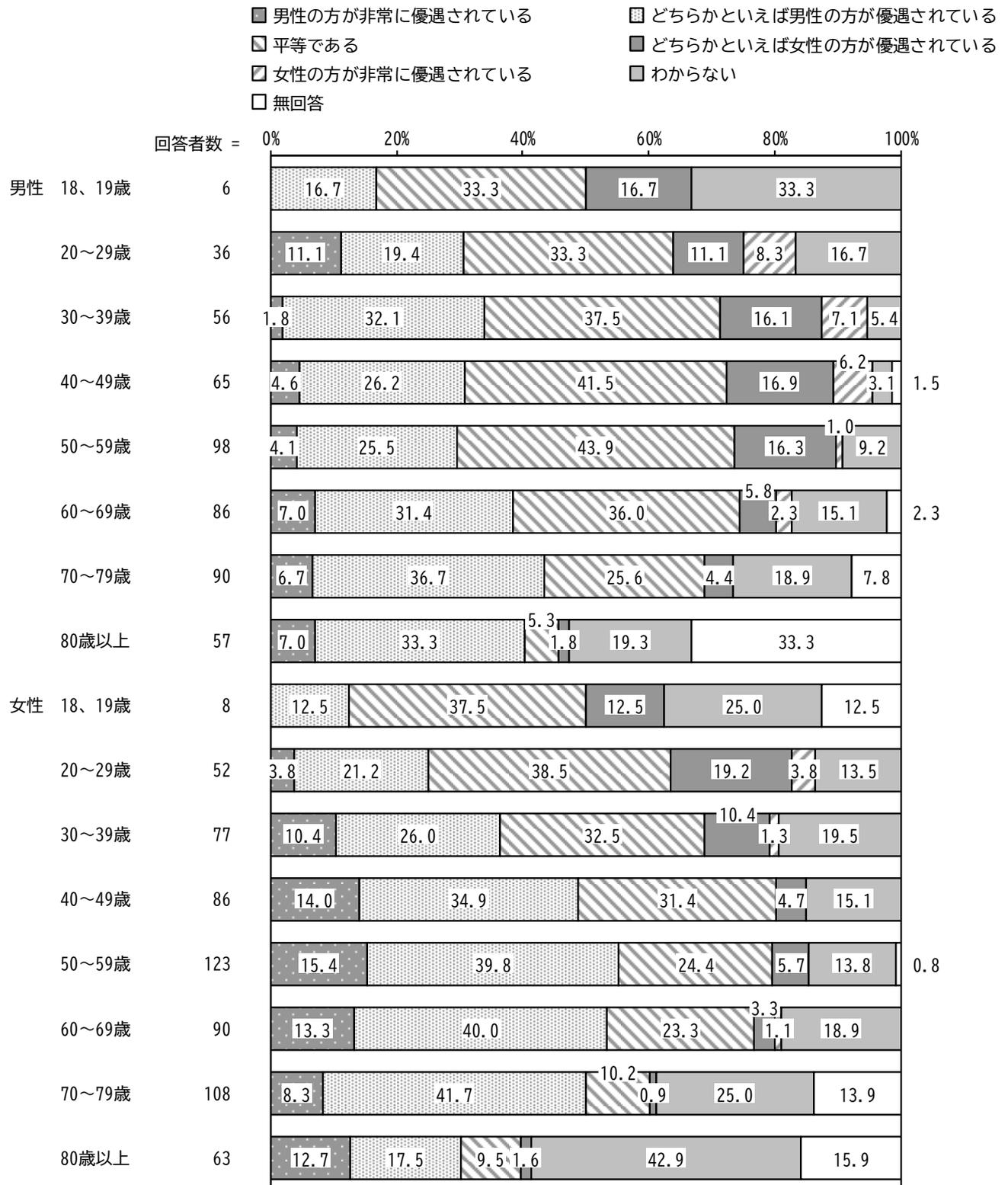
### 【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で“男性優遇”の割合が高くなっています。



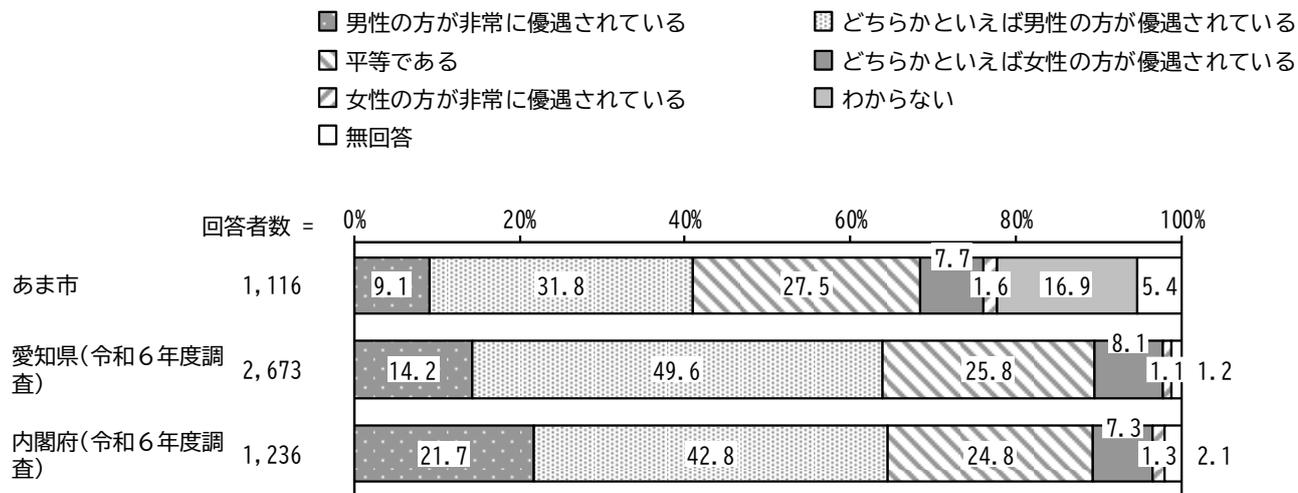
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 50～59 歳、女性 60～69 歳で“男性優遇”、男性 30～39 歳、男性 40～49 歳、女性 20～29 歳で“女性優遇”の割合が高くなっています。



【国・県との比較】

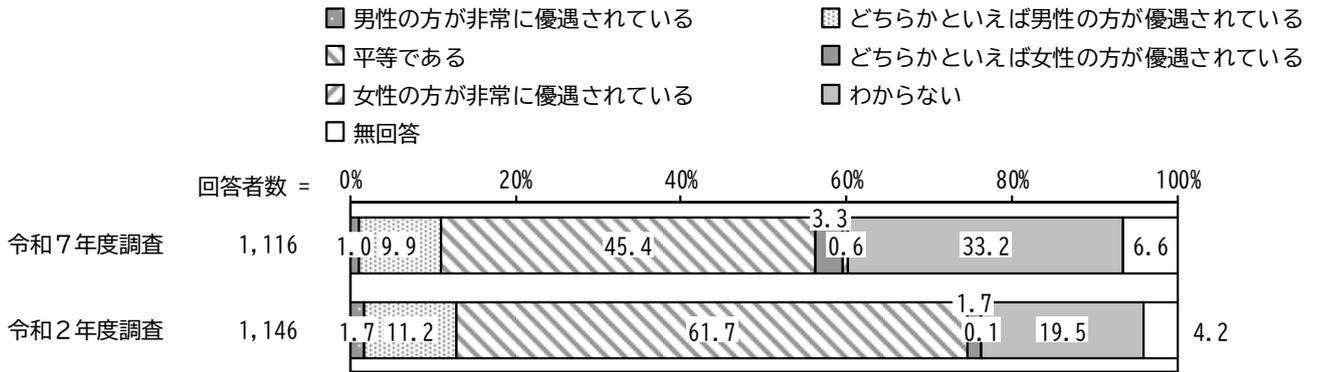
愛知県(令和6年度調査)、内閣府(令和6年度調査)と比較すると、「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が低くなっています。



### ③ 学校教育の場

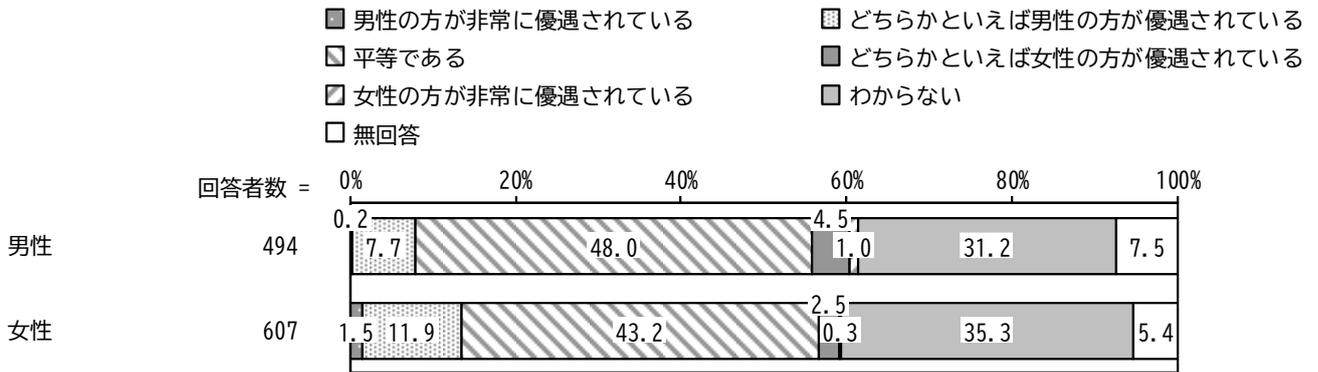
#### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「平等である」の割合が減少しています。



#### 【性別】

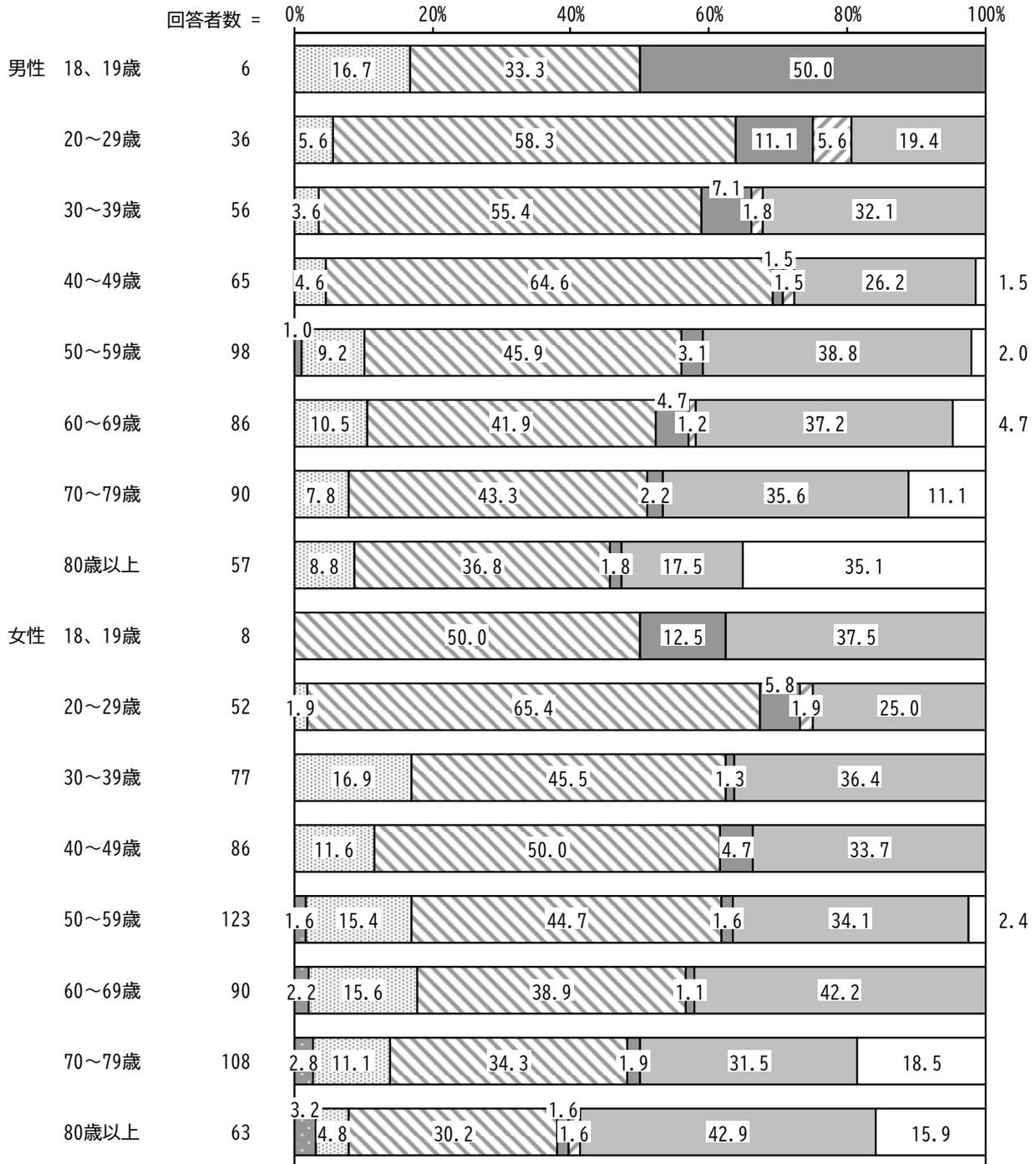
性別にみると、男性と比較して女性で“男性優遇”の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

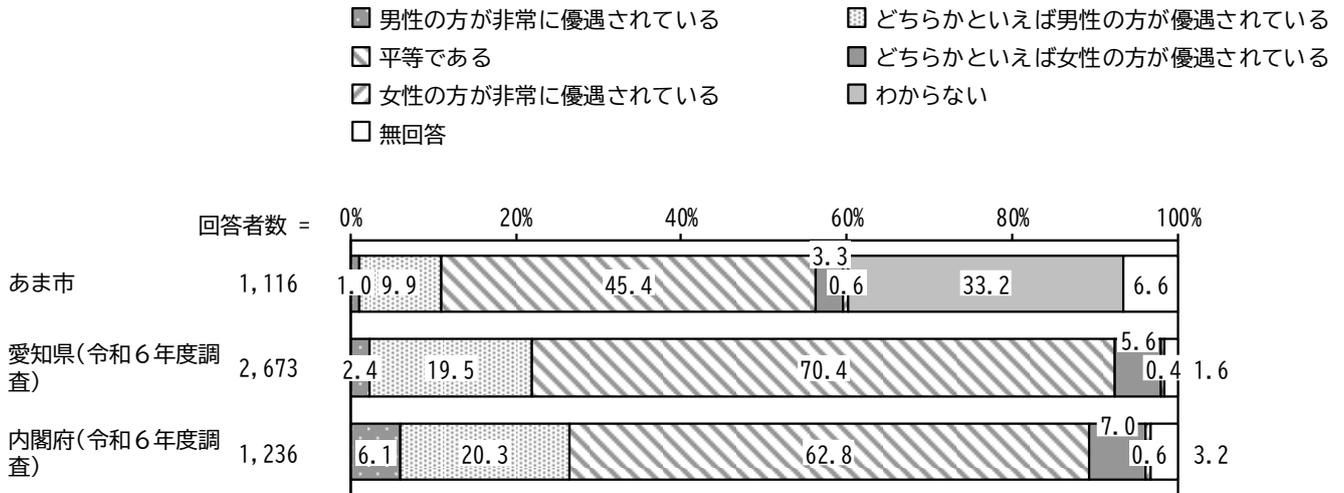
性・年齢別にみると、男性 20～29 歳で“女性優遇”の割合が高くなっています。

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- ▩ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▤ 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 無回答



【国・県との比較】

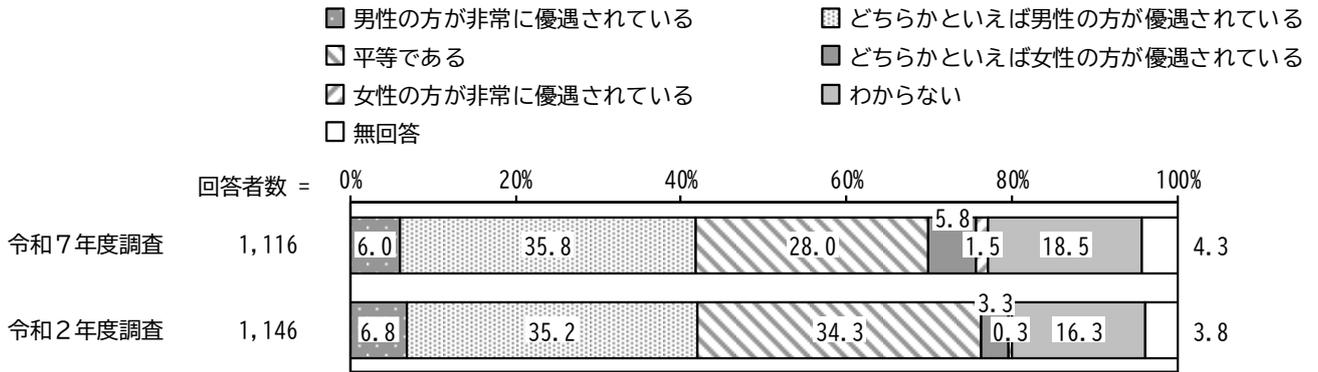
内閣府(令和6年度調査)と比較すると、「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の方が優遇されている」「平等である」の割合が低くなっています。



#### ④ 地域社会

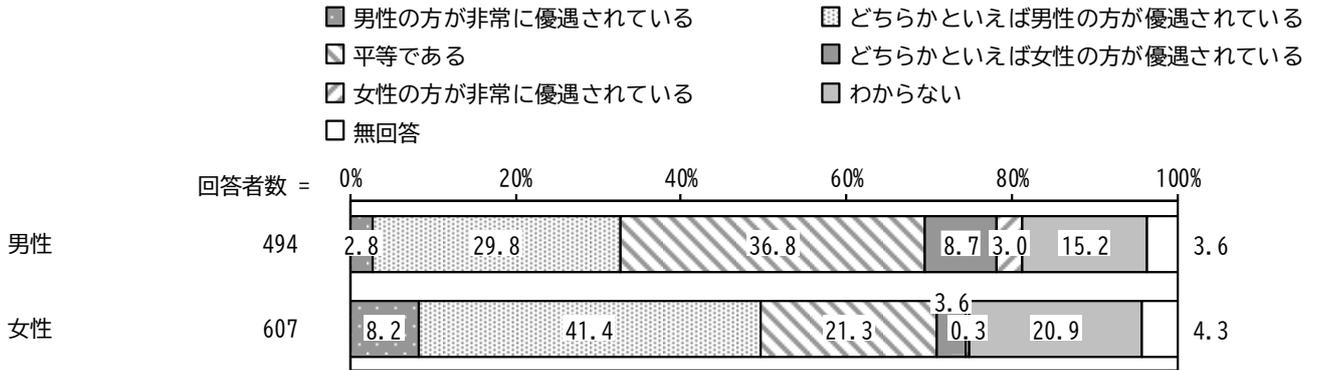
##### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「平等である」の割合が減少しています。



##### 【性別】

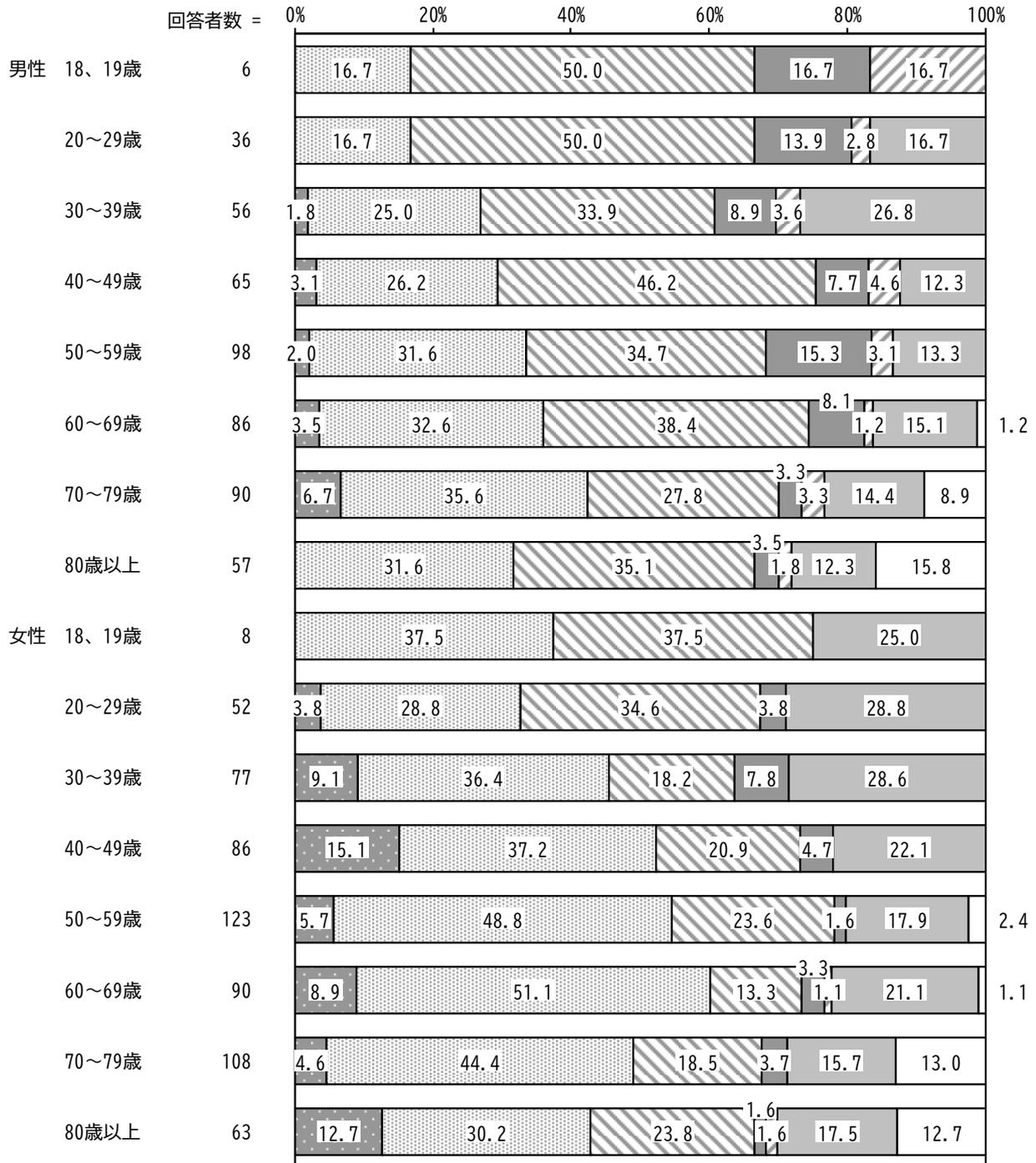
性別にみると、男性と比較して女性で“男性優遇”の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

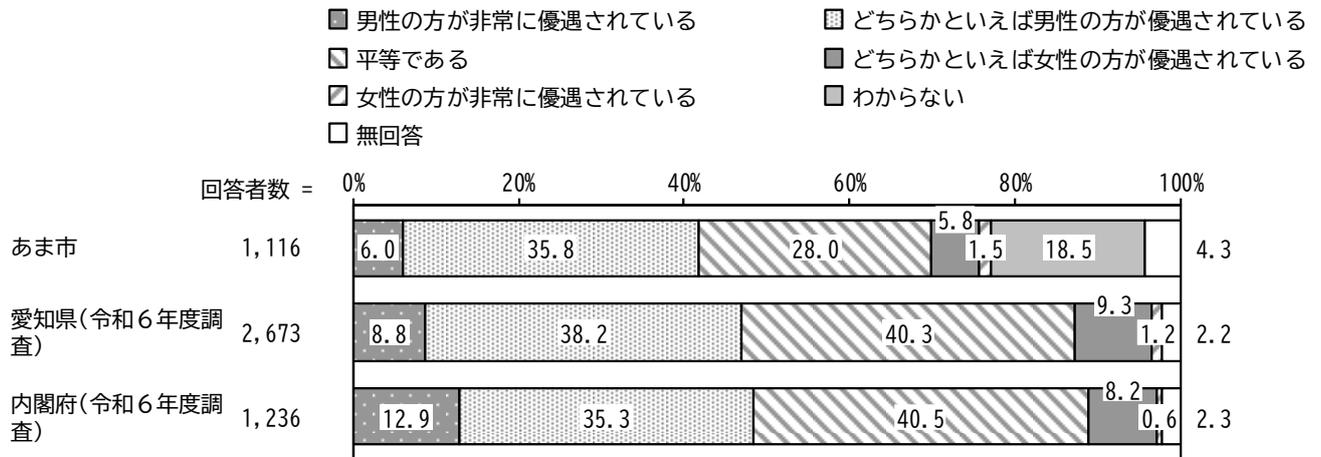
性・年齢別にみると、女性 60～69 歳で“男性優遇”、男性 50～59 歳で“女性優遇”の割合が高くなっています。

- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 無回答



【国・県との比較】

内閣府(令和6年度調査)と比較すると、「男性の方が非常に優遇されている」「平等である」の割合が低くなっています。

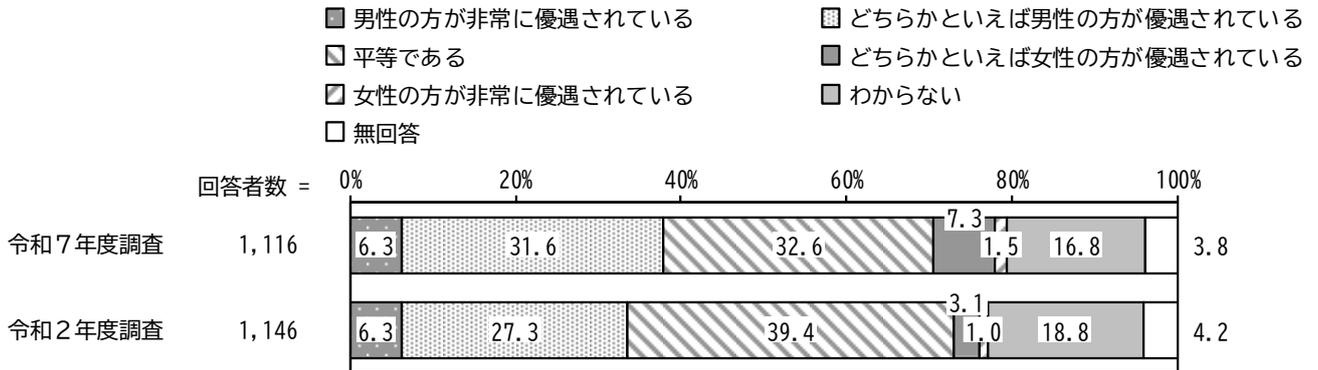


※愛知県(令和6年度調査)、内閣府(令和6年度調査)では、「わからない」がありませんでした。

## ⑤ 法律や制度

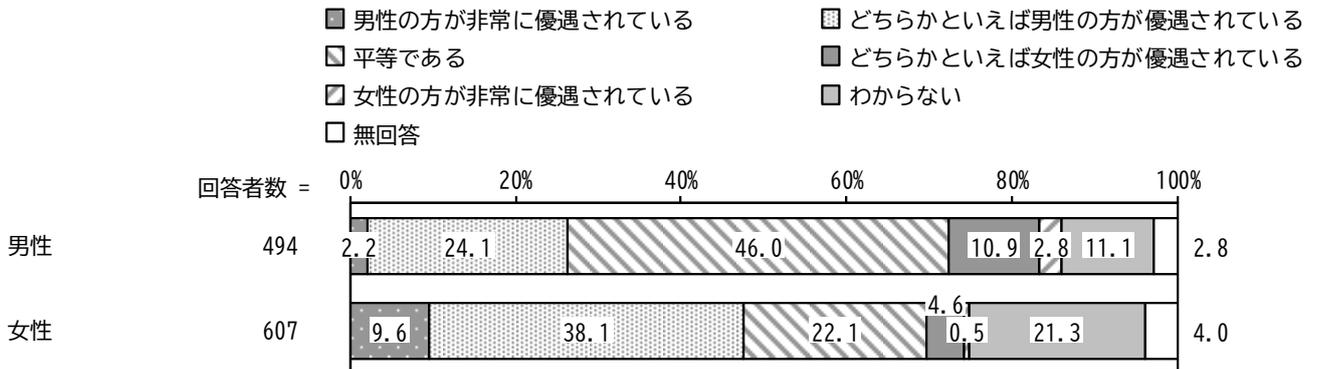
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「平等である」の割合が減少しています。



### 【性別】

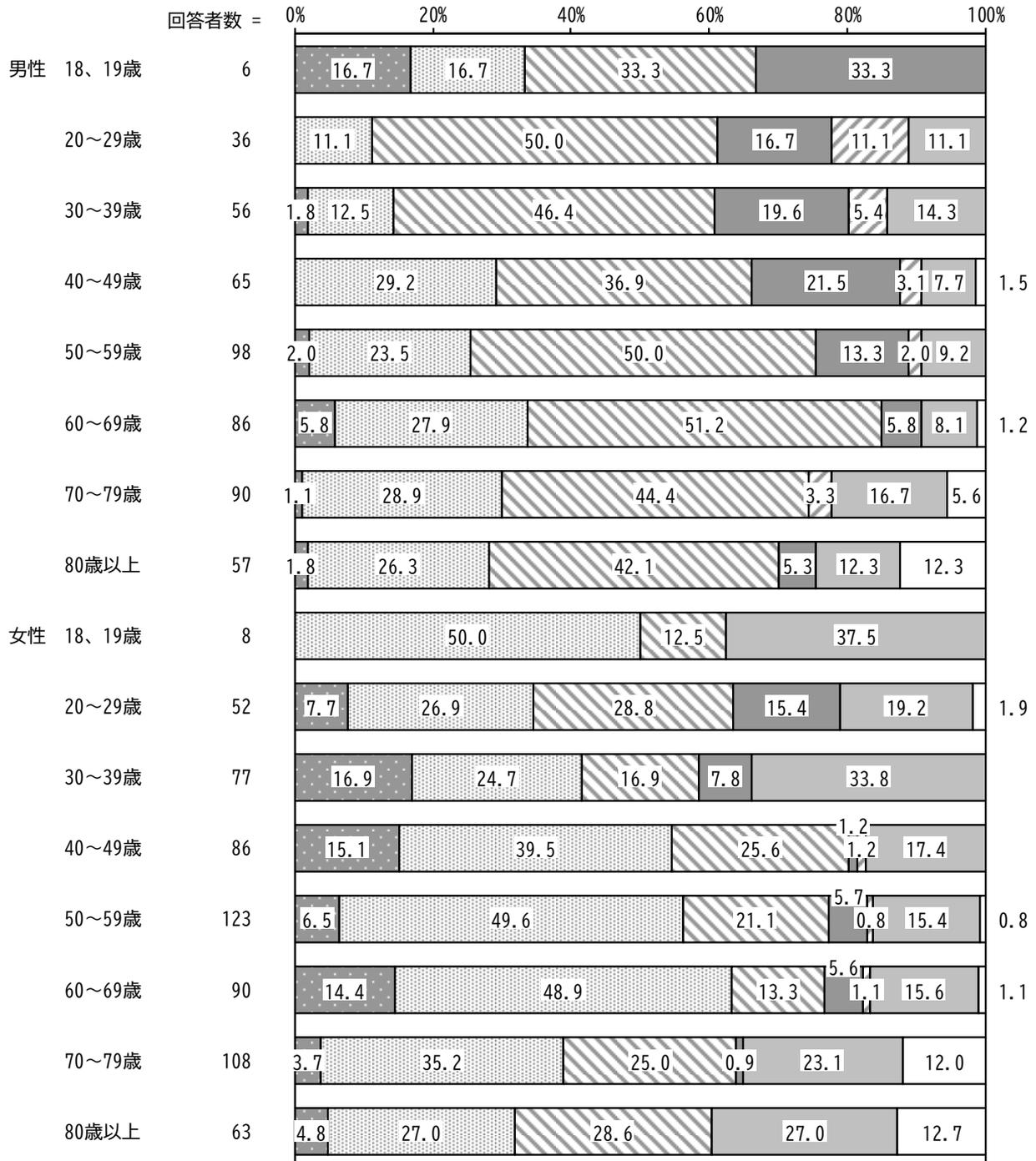
性別にみると、男性と比較して女性で“男性優遇”の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

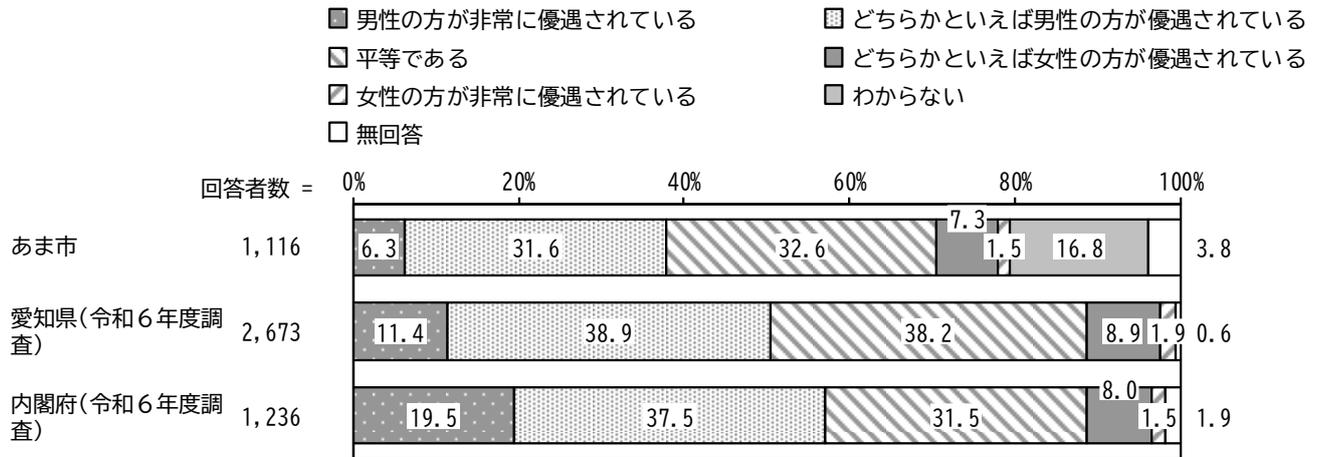
性・年齢別にみると、女性 60～69 歳で“男性優遇”、男性 20～29 歳、男性 30～39 歳で“女性優遇”の割合が高くなっています。

- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 無回答



【国・県との比較】

内閣府(令和6年度調査)と比較すると、「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が低くなっています。



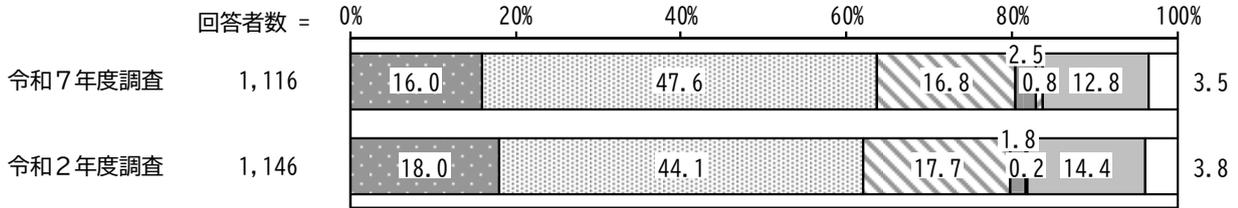
※愛知県(令和6年度調査)、内閣府(令和6年度調査)では、「わからない」がありませんでした。

## ⑥ しきたりや慣習

### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

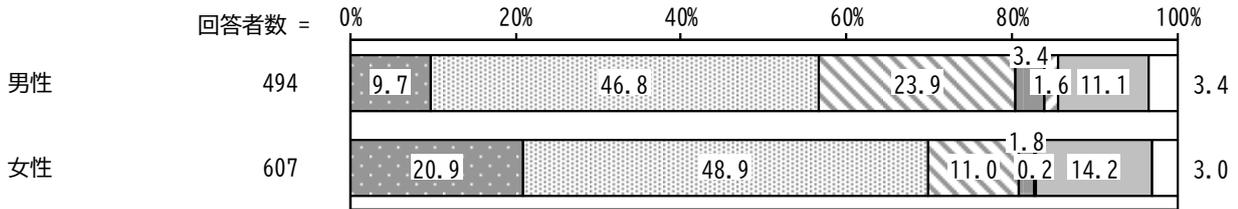
- 男性の方が非常に優遇されている
- 平等である
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない



### 【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で“男性優遇”の割合が高くなっています。

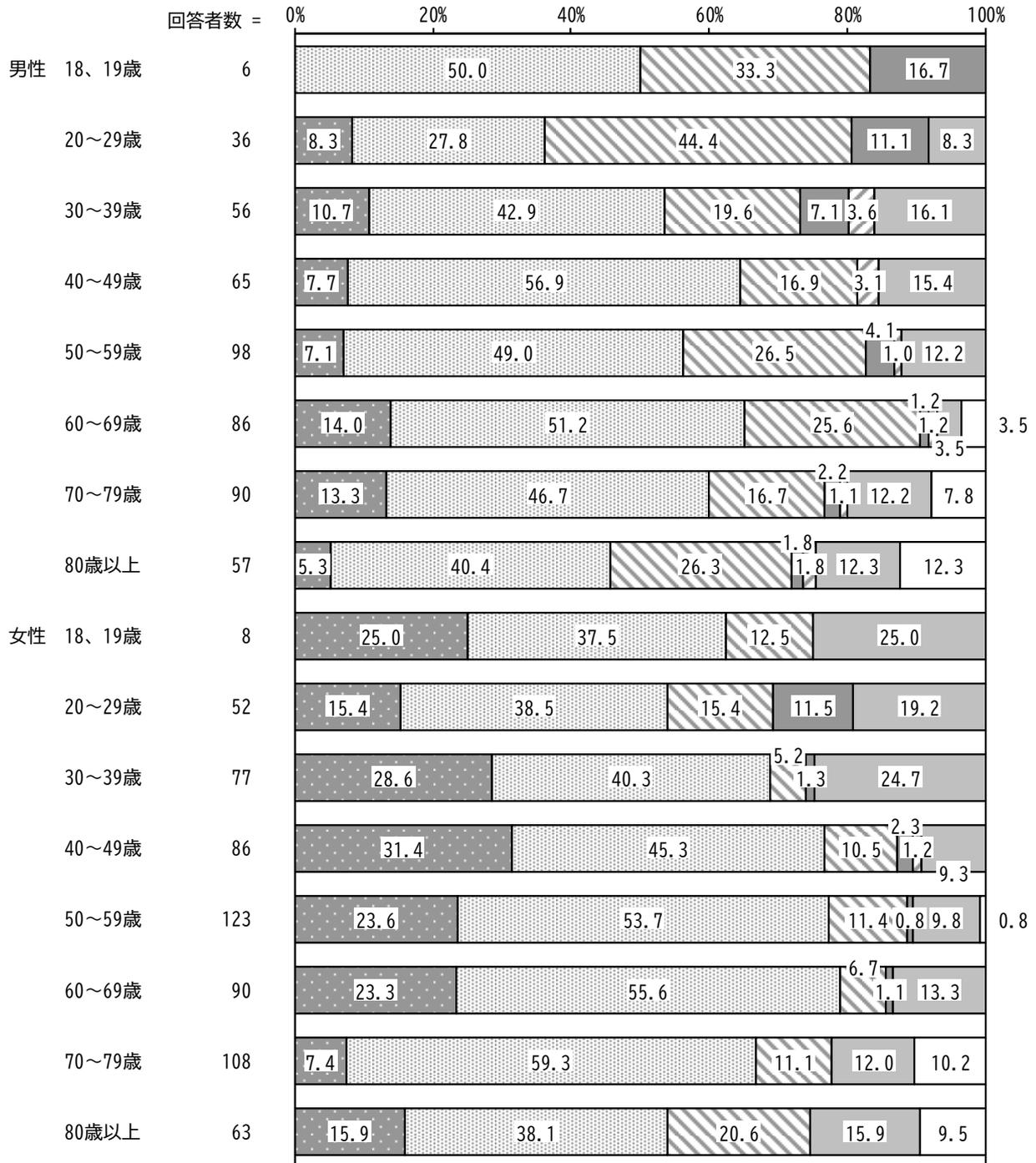
- 男性の方が非常に優遇されている
- 平等である
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない



【性・年齢別】

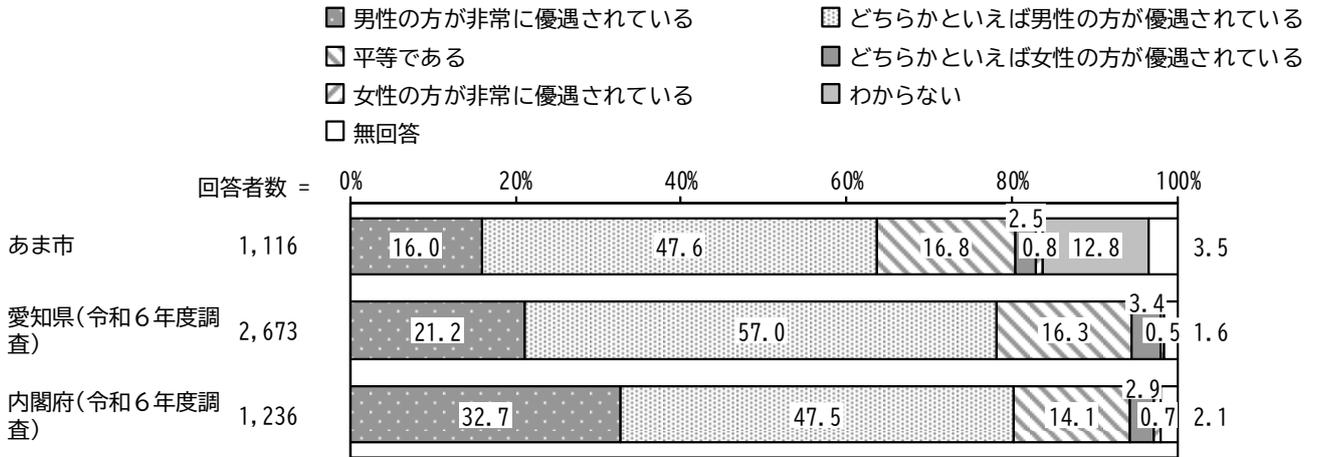
性・年齢別にみると、女性 40～49 歳、女性 50～59 歳、女性 60～69 歳で“男性優遇”の割合が高くなっています。

- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 無回答



【国・県との比較】

内閣府(令和6年度調査)と比較すると、「男性の方が非常に優遇されている」の割合が低くなっています。



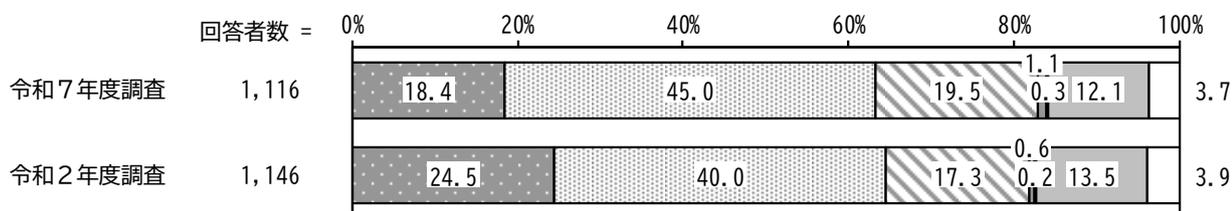
※愛知県(令和6年度調査)、内閣府(令和6年度調査)では、「わからない」がありませんでした。

## ⑦ 政治の場、政策決定の場

### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「男性の方が非常に優遇されている」の割合が減少しています。

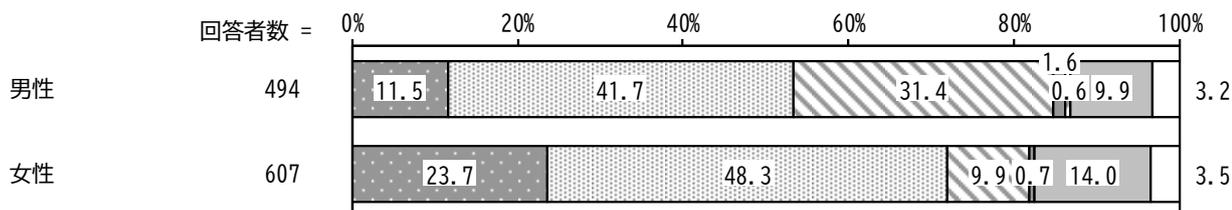
- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 無回答



### 【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で“男性優遇”の割合が高くなっています。

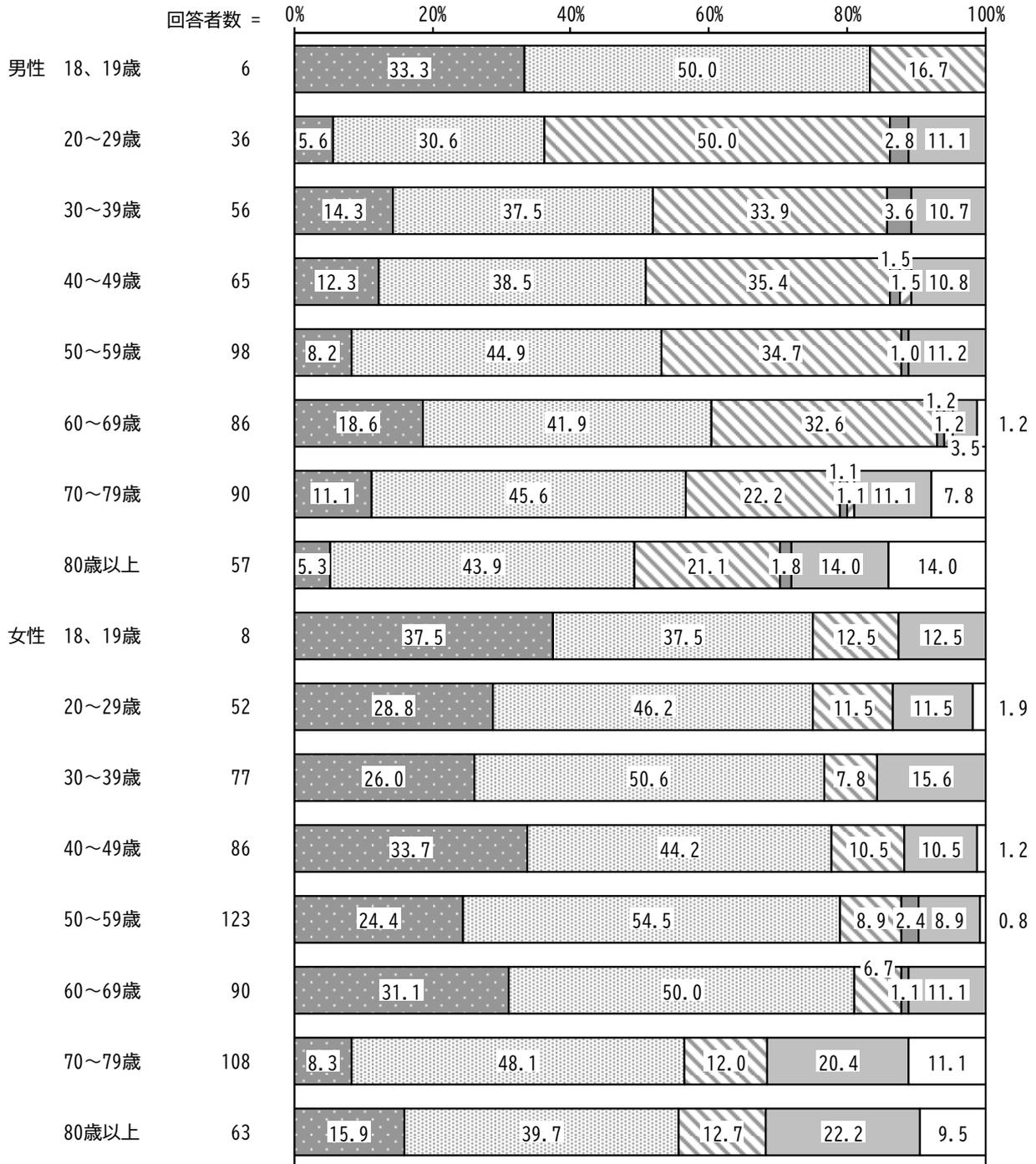
- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 無回答



【性・年齢別】

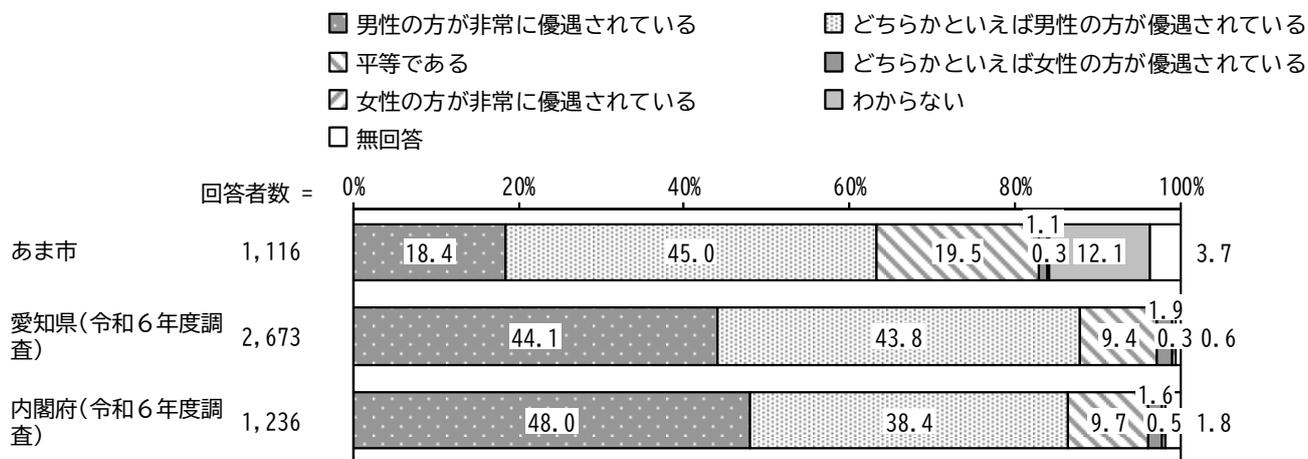
性・年齢別にみると、女性 50～59 歳、女性 60～69 歳で“男性優遇”の割合が高くなっています。

- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 無回答



【国・県との比較】

内閣府(令和6年度調査)と比較すると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」「平等である」の割合が高くなっています。一方、「男性の方が非常に優遇されている」の割合が低くなっています。



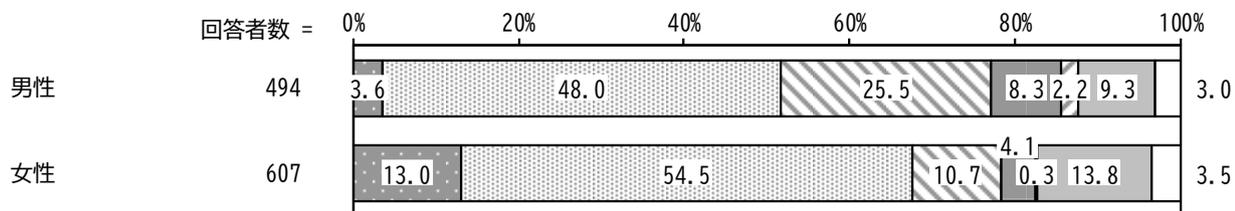
※愛知県(令和6年度調査)、内閣府(令和6年度調査)では、「わからない」がありませんでした。

⑧ 社会全体

【性別】

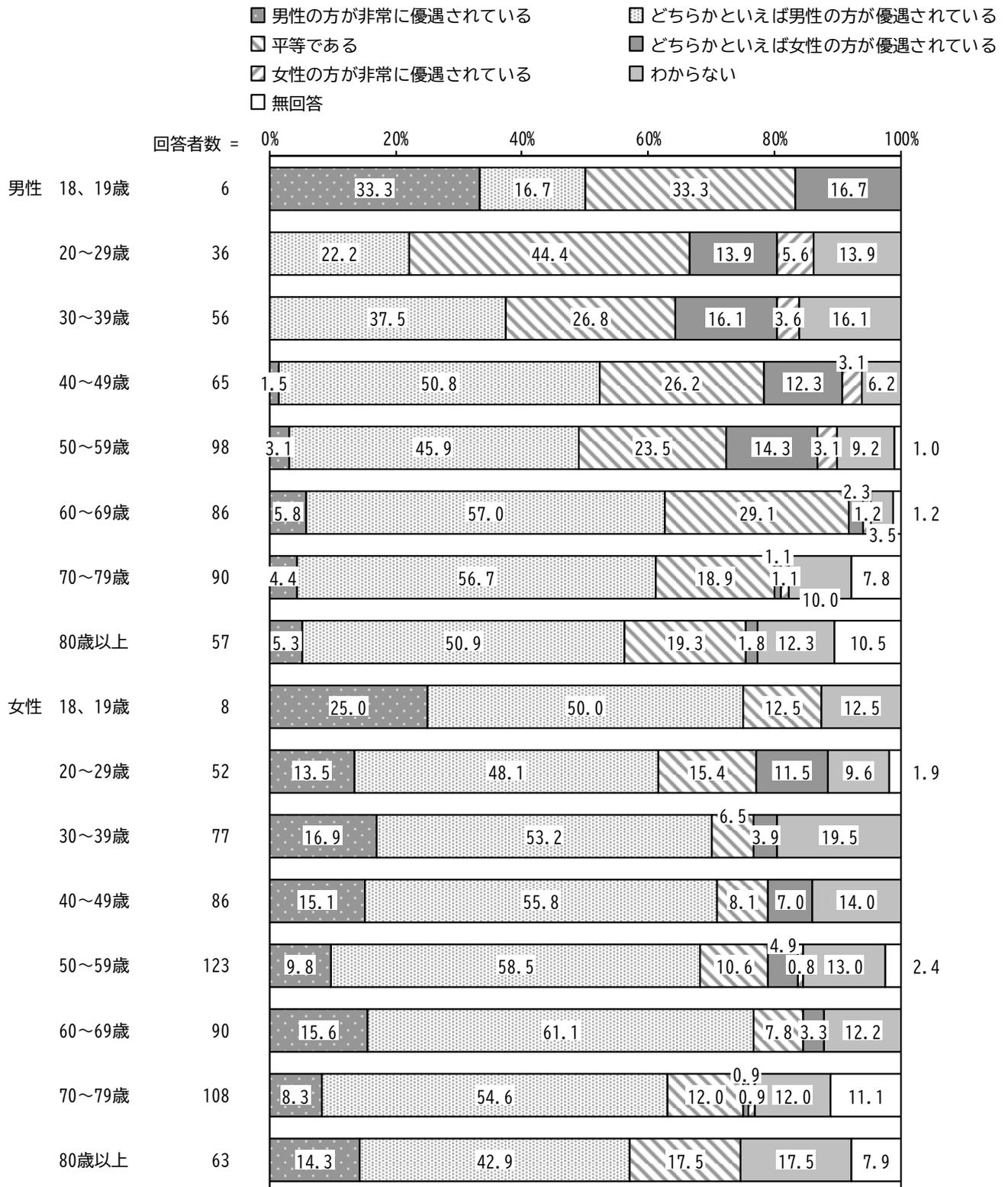
性別にみると、男性と比較して女性で“男性優遇”の割合が高くなっています。

- 男性の方が非常に優遇されている
- 平等である
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない



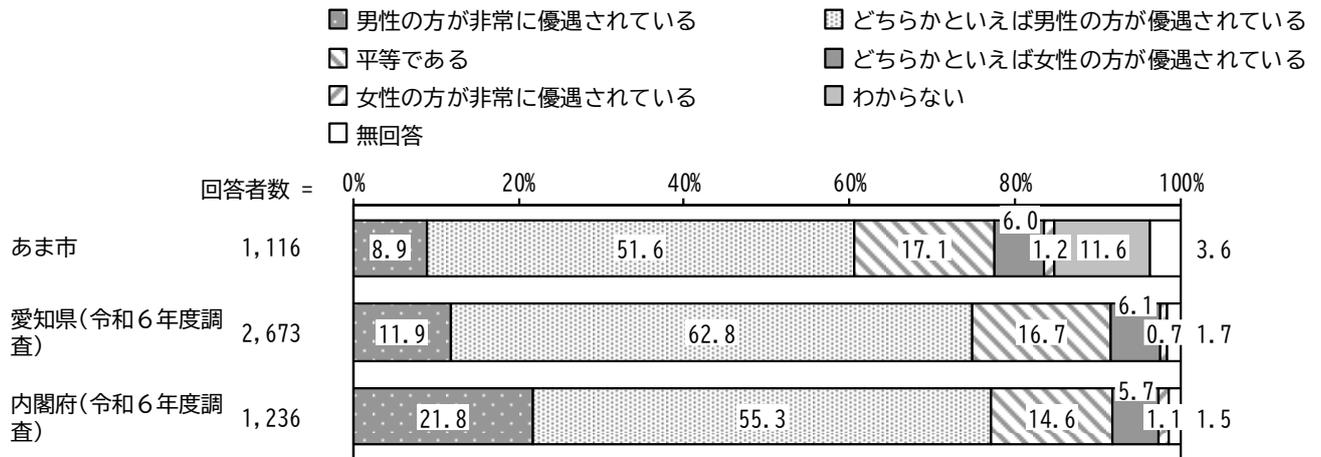
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 60～69 歳で“男性優遇”、男性 20～29 歳、男性 30～39 歳、男性 50～59 歳で“女性優遇”の割合が高くなっています。



【国・県との比較】

内閣府(令和6年度調査)と比較すると、「男性の方が非常に優遇されている」の割合が低くなっています。

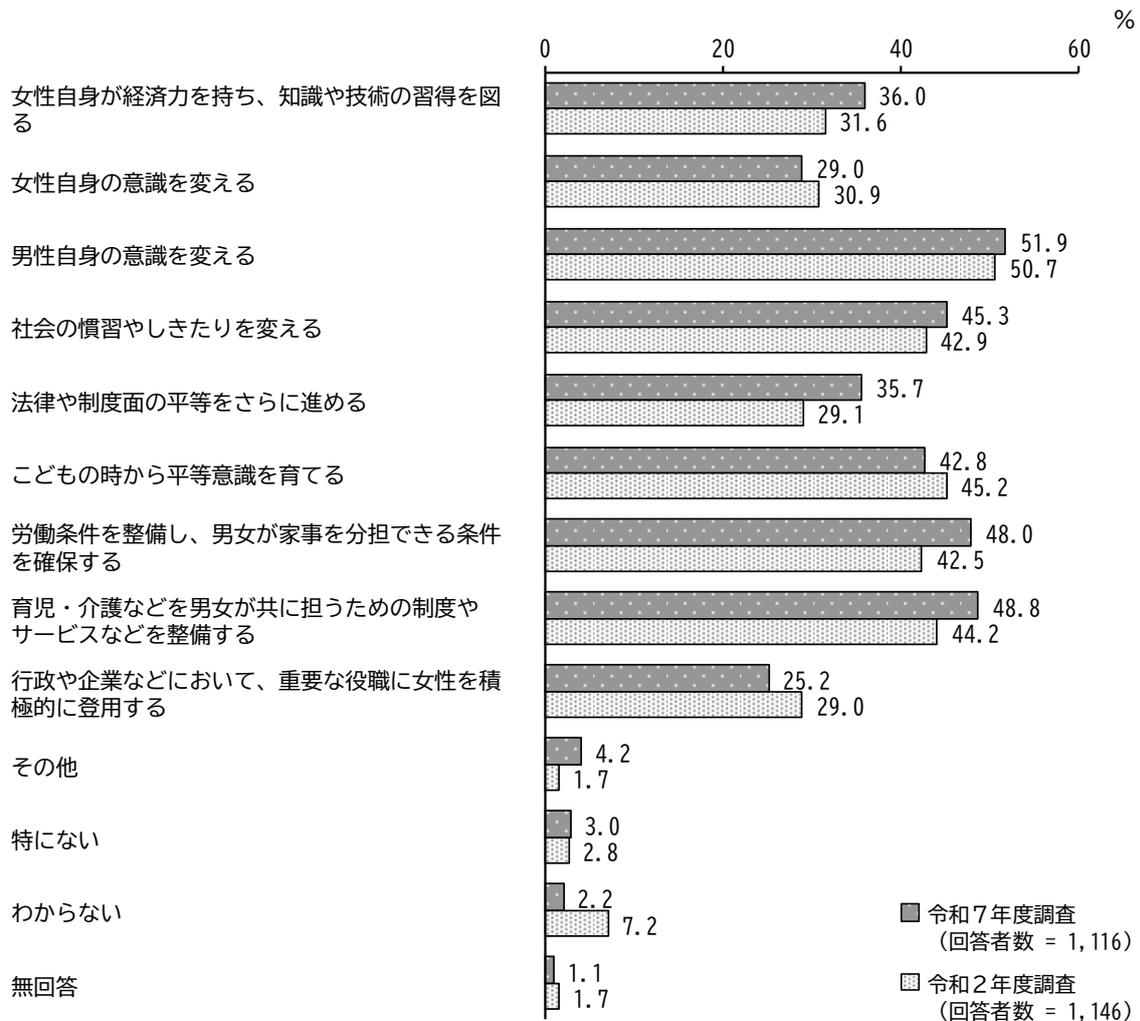


※愛知県(令和6年度調査)、内閣府(令和6年度調査)では、「わからない」がありませんでした。

問2 あなたは、男女が平等な立場で協力し合っていくためには、どんなことが大切だと思いますか。(〇印いくつでも)

「男性自身の意識を変える」の割合が51.9%と最も高く、次いで「育児・介護などを男女が共に担うための制度やサービスなどを整備する」の割合が48.8%、「労働条件を整備し、男女が家事を分担できる条件を確保する」の割合が48.0%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「法律や制度面の平等をさらに進める」「労働条件を整備し、男女が家事を分担できる条件を確保する」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で「女性自身が経済力を持ち、知識や技術の習得を図る」「男性自身の意識を変える」「法律や制度面の平等をさらに進める」「こどもの時から平等意識を育てる」「労働条件を整備し、男女が家事を分担できる条件を確保する」「育児・介護などを男女が共に担うための制度やサービスなどを整備する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	女性自身が経済力を持ち、知識や技術の習得を図る	女性自身の意識を変える	男性自身の意識を変える	社会の慣習やしきたりを変える	法律や制度面の平等をさらに進める	こどもの時から平等意識を育てる	労働条件を整備し、男女が家事を分担できる条件を確保する	育児・介護などを男女が共に担うための制度やサービスなどを整備する	職に女性を積極的に登用する	行政や企業などにおいて、重要な役割に女性を積極的に登用する	その他	特になし	わからない	無回答
全体	1,116	36.0	29.0	51.9	45.3	35.7	42.8	48.0	48.8	25.2	4.2	3.0	2.2	1.1	
男性	494	28.9	26.7	46.2	43.9	33.2	36.8	40.7	40.5	23.9	4.7	3.2	3.2	0.8	
女性	607	42.2	31.3	57.0	46.8	38.2	48.1	54.5	56.3	26.4	3.6	2.8	1.5	0.7	

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 80 歳以上で「女性自身が経済力を持ち、知識や技術の習得を図る」、女性 50～59 歳で「男性自身の意識を変える」「社会の慣習やしきたりを変える」「法律や制度面の平等をさらに進める」「こどもの時から平等意識を育てる」、女性 30～39 歳、女性 40～49 歳で「労働条件を整備し、男女が家事を分担できる条件を確保する」、女性 30～39 歳で「育児・介護などを男女が共に担うための制度やサービスなどを整備する」、男性 80 歳以上で「行政や企業などにおいて、重要な役職に女性を積極的に登用する」の割合が高くなっています。

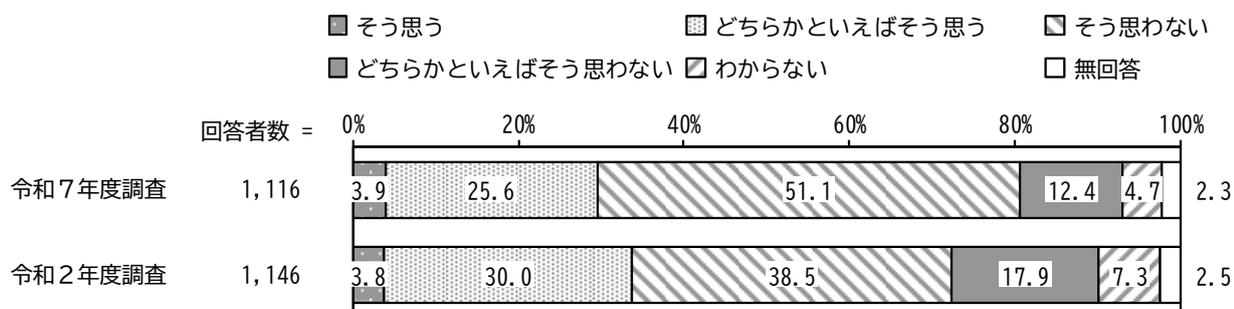
単位：％

区分	回答者数(件)	女性自身が経済力を持ち、知識や技術の習得を図る	女性自身の意識を変える	男性自身の意識を変える	社会の慣習やしきたりを変える	法律や制度面の平等をさらに進める	こどもの時から平等意識を育てる	労働条件を整備し、男女が家事を分担できる条件を確保する	育児・介護などを男女が共に担うための制度やサービスなどを整備する	行政や企業などにおいて、重要な役職に女性を積極的に登用する	その他	特にない	わからない	無回答
全体	1,116	36.0	29.0	51.9	45.3	35.7	42.8	48.0	48.8	25.2	4.2	3.0	2.2	1.1
男性 18、19歳	6	16.7	0.0	16.7	50.0	16.7	16.7	33.3	33.3	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0
20～29歳	36	11.1	22.2	41.7	41.7	44.4	36.1	25.0	30.6	19.4	2.8	0.0	5.6	0.0
30～39歳	56	12.5	21.4	35.7	48.2	39.3	37.5	41.1	42.9	12.5	5.4	1.8	3.6	0.0
40～49歳	65	32.3	33.8	55.4	44.6	40.0	49.2	46.2	40.0	20.0	12.3	4.6	3.1	1.5
50～59歳	98	32.7	24.5	49.0	46.9	27.6	42.9	40.8	38.8	21.4	4.1	2.0	3.1	0.0
60～69歳	86	29.1	31.4	47.7	46.5	33.7	30.2	36.0	38.4	23.3	3.5	2.3	2.3	0.0
70～79歳	90	31.1	22.2	50.0	42.2	26.7	32.2	41.1	48.9	25.6	0.0	4.4	3.3	2.2
80歳以上	57	43.9	33.3	38.6	33.3	33.3	31.6	50.9	38.6	45.6	3.5	7.0	1.8	1.8
女性 18、19歳	8	12.5	25.0	62.5	50.0	62.5	50.0	50.0	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	52	32.7	28.8	46.2	34.6	38.5	48.1	44.2	51.9	28.8	1.9	0.0	3.8	0.0
30～39歳	77	36.4	24.7	57.1	48.1	41.6	50.6	66.2	70.1	23.4	6.5	1.3	0.0	0.0
40～49歳	86	47.7	36.0	65.1	47.7	38.4	51.2	64.0	50.0	31.4	7.0	4.7	2.3	0.0
50～59歳	123	37.4	35.8	69.1	62.6	46.3	52.8	60.2	57.7	25.2	4.9	0.8	0.0	0.0
60～69歳	90	47.8	38.9	65.6	47.8	45.6	43.3	57.8	58.9	28.9	2.2	0.0	0.0	0.0
70～79歳	108	43.5	25.0	48.1	41.7	28.7	46.3	44.4	50.0	24.1	0.9	7.4	3.7	1.9
80歳以上	63	52.4	27.0	33.3	30.2	20.6	41.3	38.1	55.6	22.2	1.6	4.8	1.6	3.2

## (2) 家庭生活について

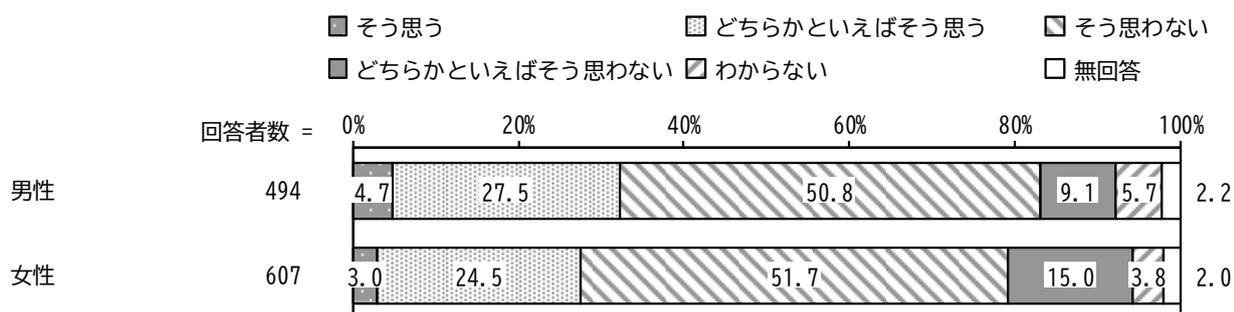
問3 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどのように思いますか。(○印1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が29.5%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が63.5%となっています。令和2年度調査と比較すると、“そう思わない”の割合が増加しています。



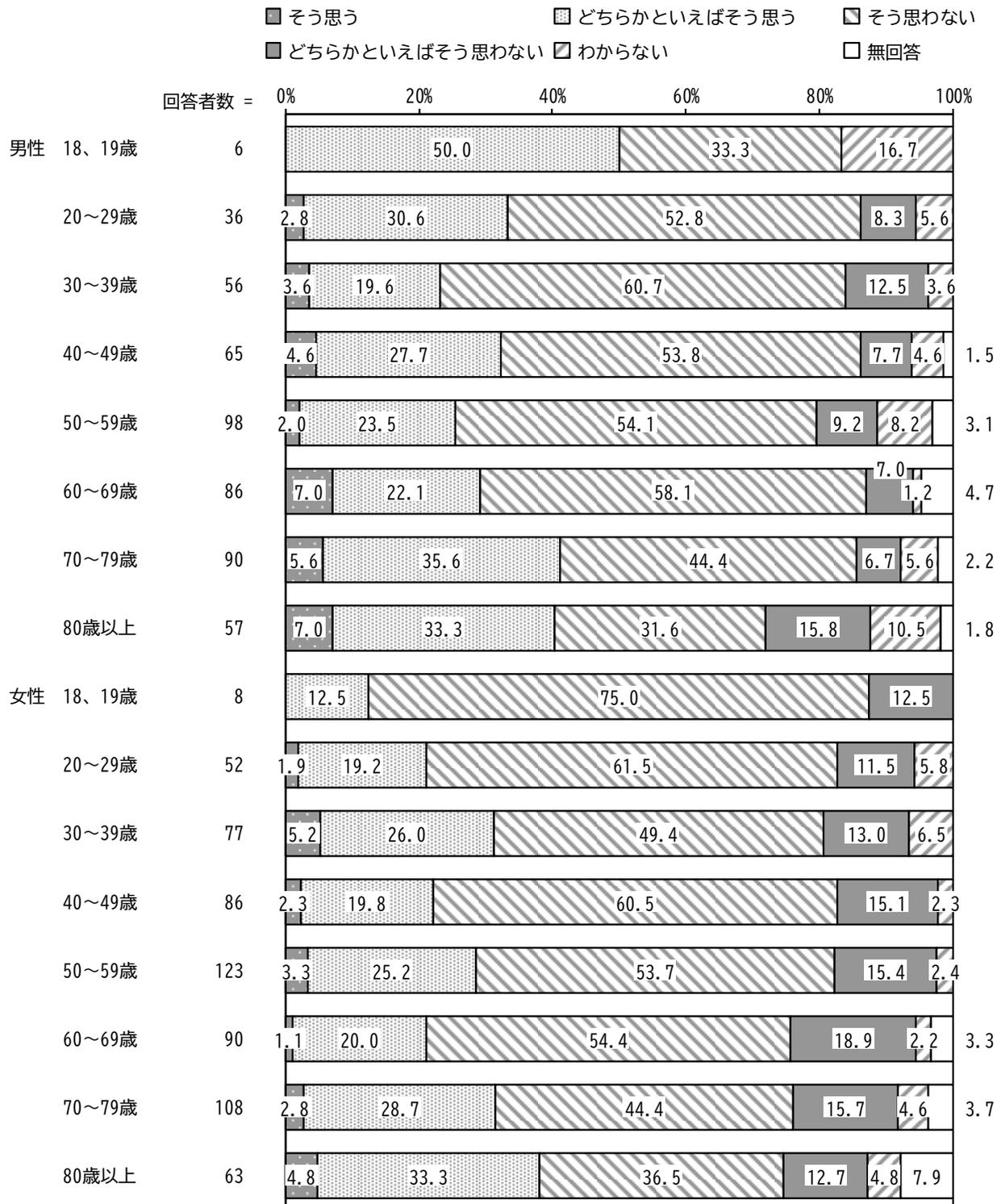
### 【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 70～79 歳、男性 80 歳以上で“そう思う”、女性 40～49 歳で“そう思わない”の割合が高くなっています。



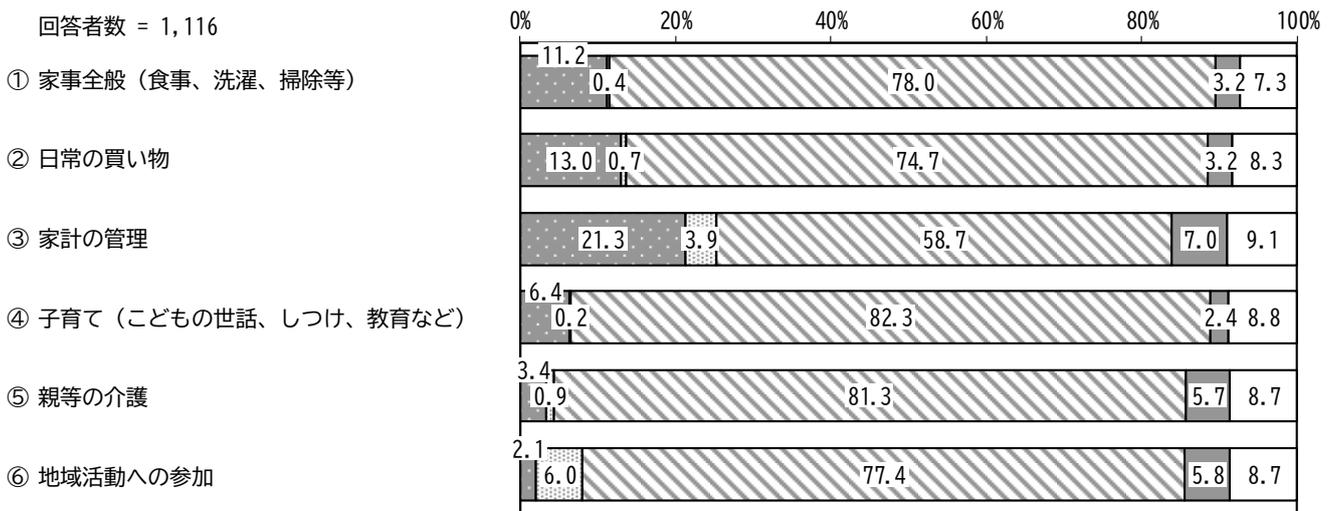
## 問4 家庭における男女の役割分担についてどう思いますか。

(1) 全ての方にお伺いします。①～⑥に示す場面で、男女のどちらが役割を担う方がよいと思いますか。(○印①～⑥の項目ごとに1つずつ)

「主に女性が行うのがよい」で『③ 家計の管理』が、「主に男性が行うのがよい」で『⑥ 地域活動への参加』が、「共同して行うのがよい」で『④ 子育て(こどもの世話、しつけ、教育など)』が高くなっています。

■ 主に女性が行うのがよい    ■ 主に男性が行うのがよい    ■ 共同して行うのがよい  
■ その他    □ 無回答

回答者数 = 1,116

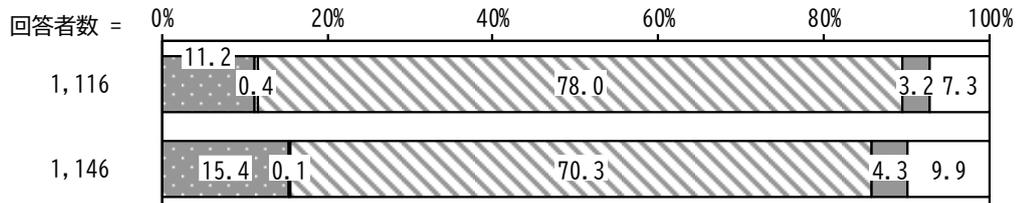


### ① 家事全般(食事、洗濯、掃除等)

#### 【経年比較】

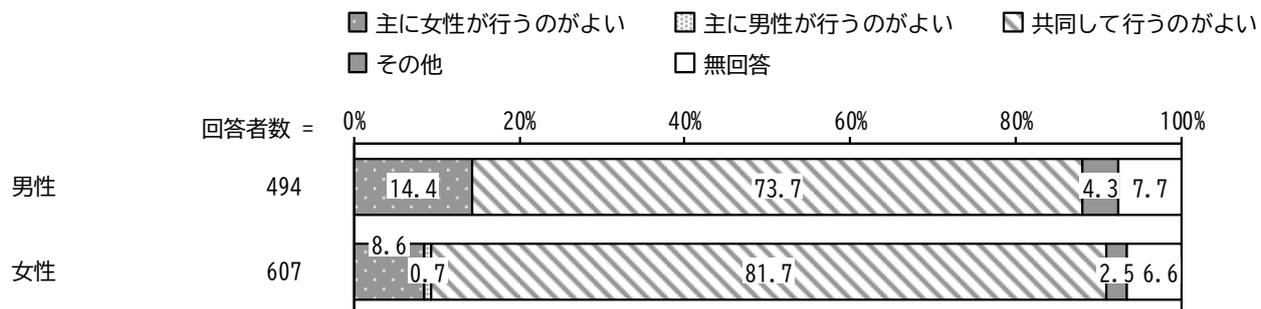
令和2年度調査と比較すると、「共同して行うのがよい」の割合が増加しています。

■ 主に女性が行うのがよい    ■ 主に男性が行うのがよい    ■ 共同して行うのがよい  
■ その他    □ 無回答



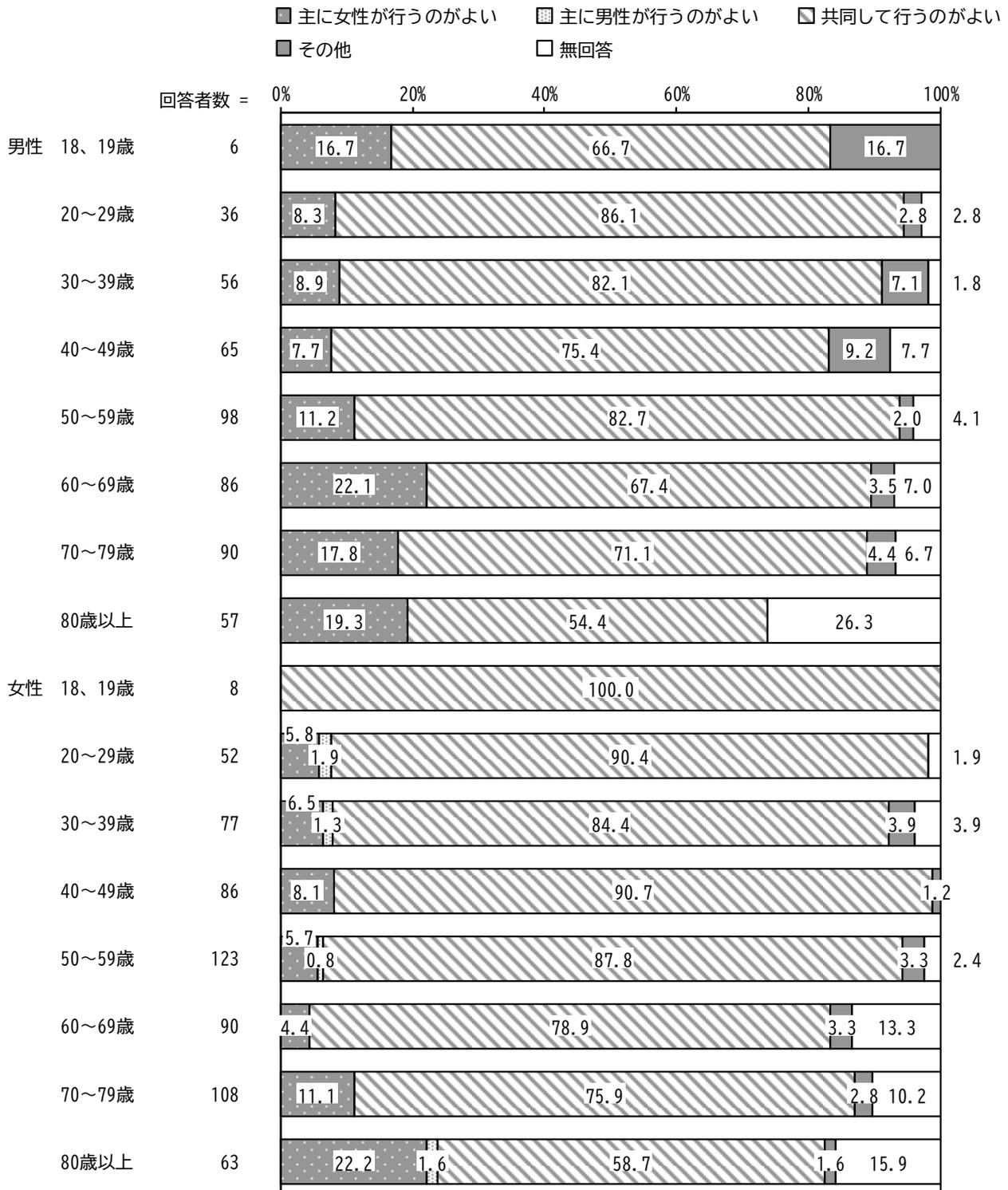
【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「主に女性が行うのがよい」の割合が高く、男性と比較して女性で「共同して行うのがよい」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

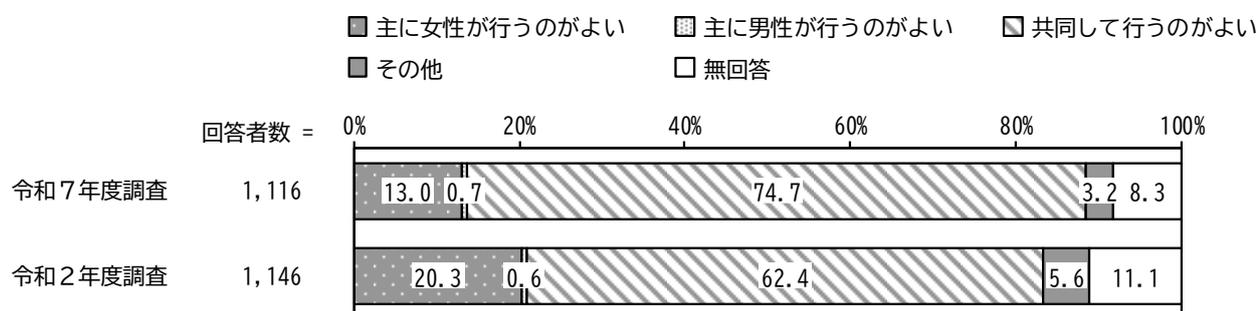
性・年齢別にみると、男性 60～69 歳、女性 80 歳以上で「主に女性が行うのがよい」、女性 20～29 歳、女性 40～49 歳で「共同して行うのがよい」の割合が高くなっています。



## ② 日常の買い物

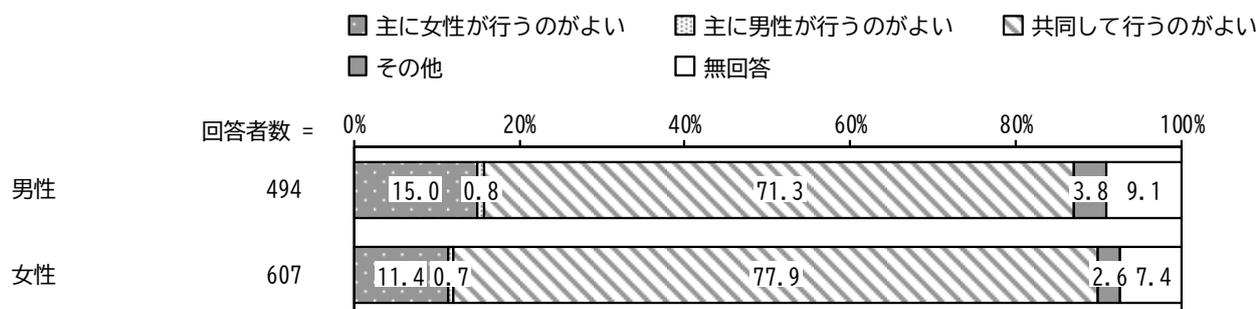
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「共同して行うのがよい」の割合が増加しています。一方、「主に女性が行うのがよい」の割合が減少しています。



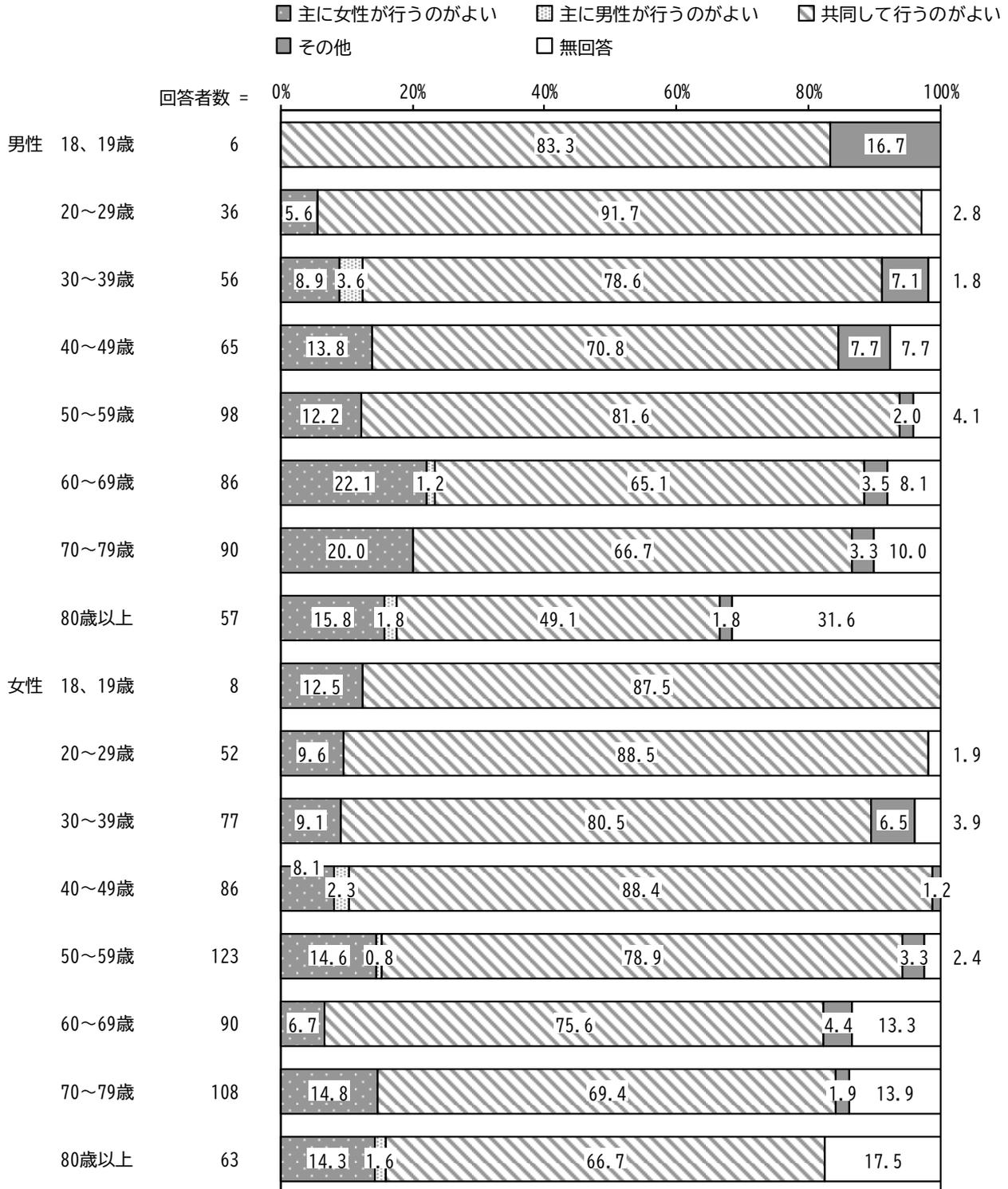
### 【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で「共同して行うのがよい」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

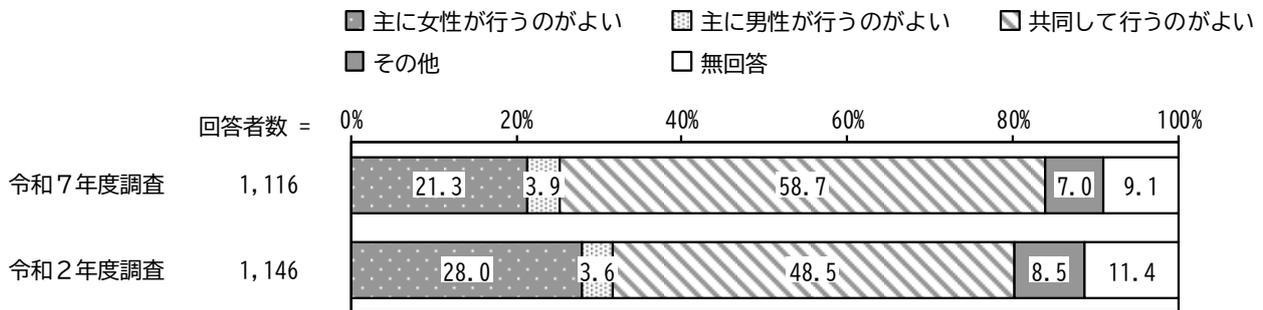
性・年齢別にみると、男性 60～69 歳、男性 70～79 歳で「主に女性が行うのがよい」、男性 20～29 歳で「共同して行うのがよい」の割合が高くなっています。



### ③ 家計の管理

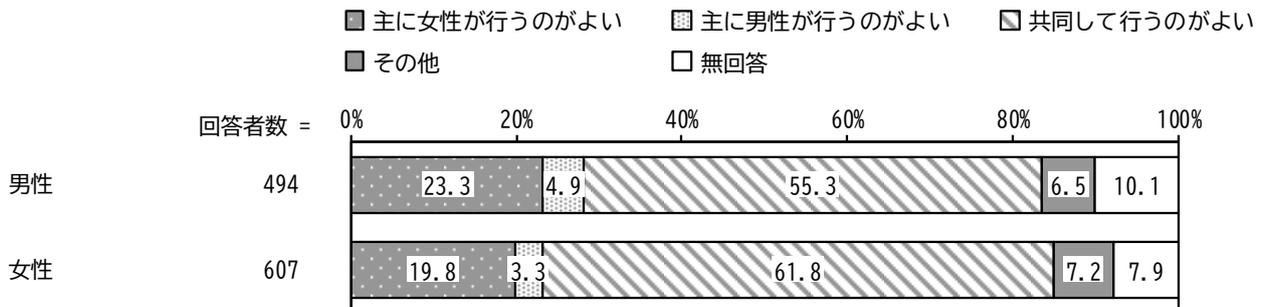
#### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「共同して行うのがよい」の割合が増加しています。一方、「主に女性が行うのがよい」の割合が減少しています。



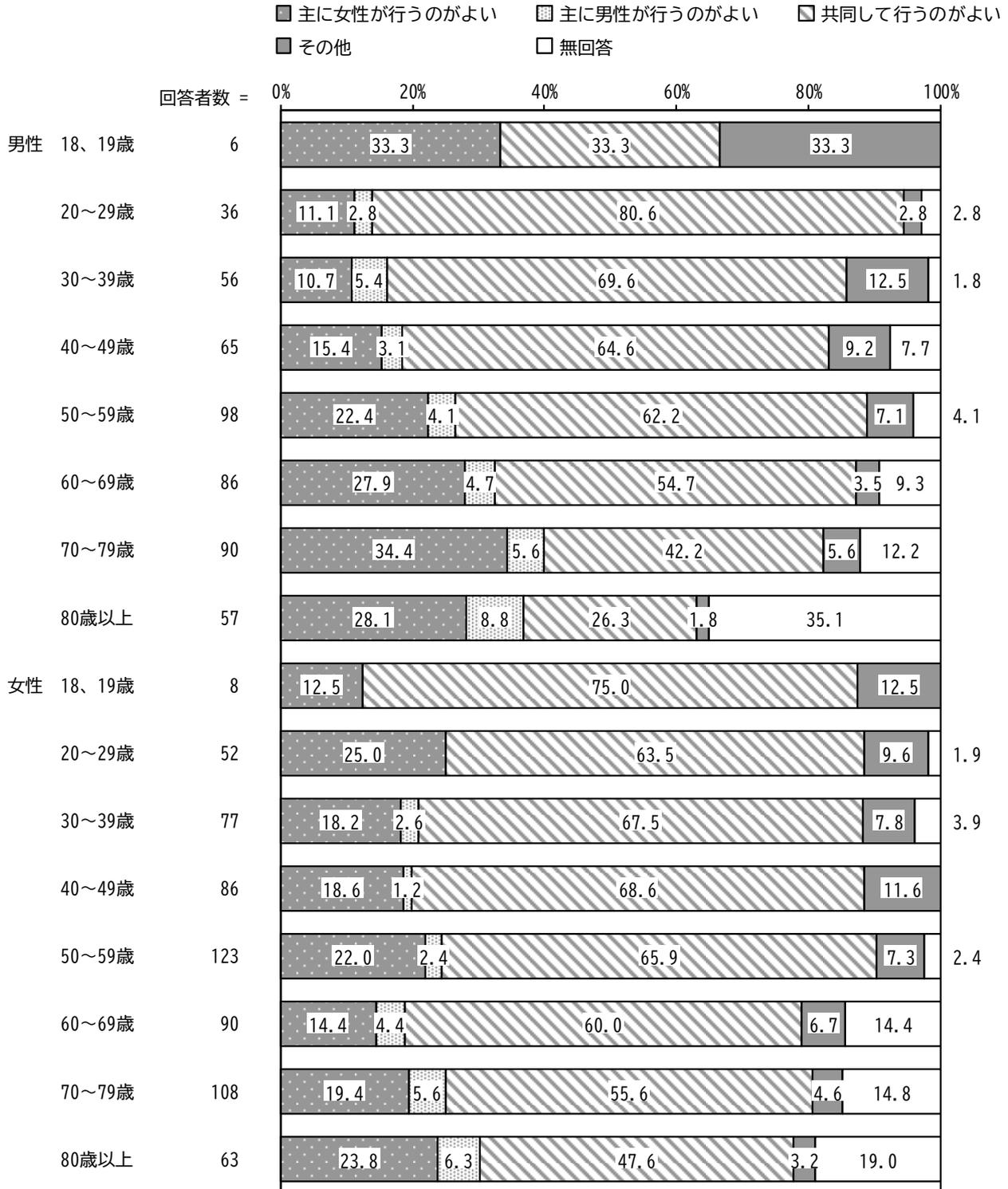
#### 【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で「共同して行うのがよい」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

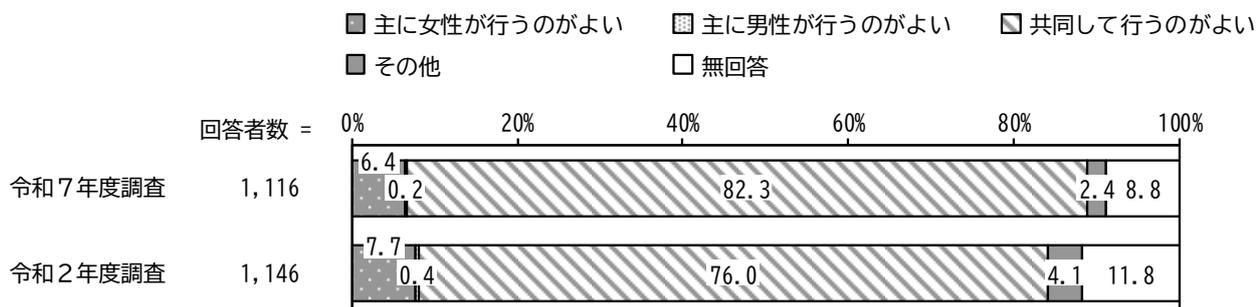
性・年齢別にみると、男性 70～79 歳で「主に女性が行うのがよい」、男性 20～29 歳で「共同して行うのがよい」の割合が高くなっています。



#### ④ 子育て（こどもの世話、しつけ、教育など）

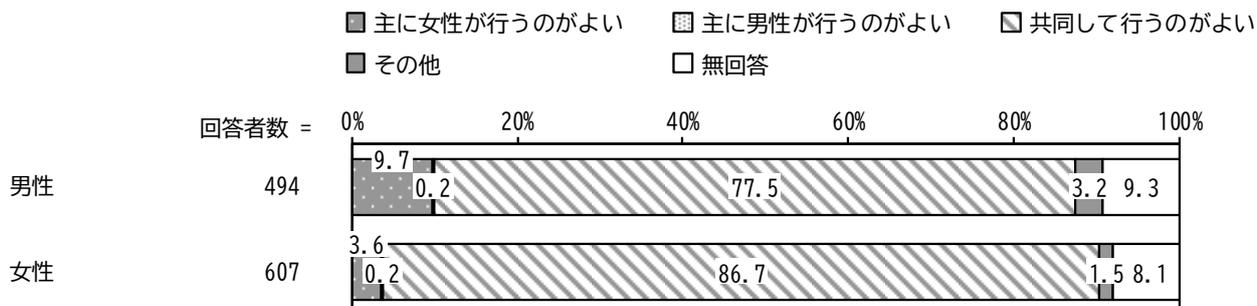
##### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「共同して行うのがよい」の割合が増加しています。



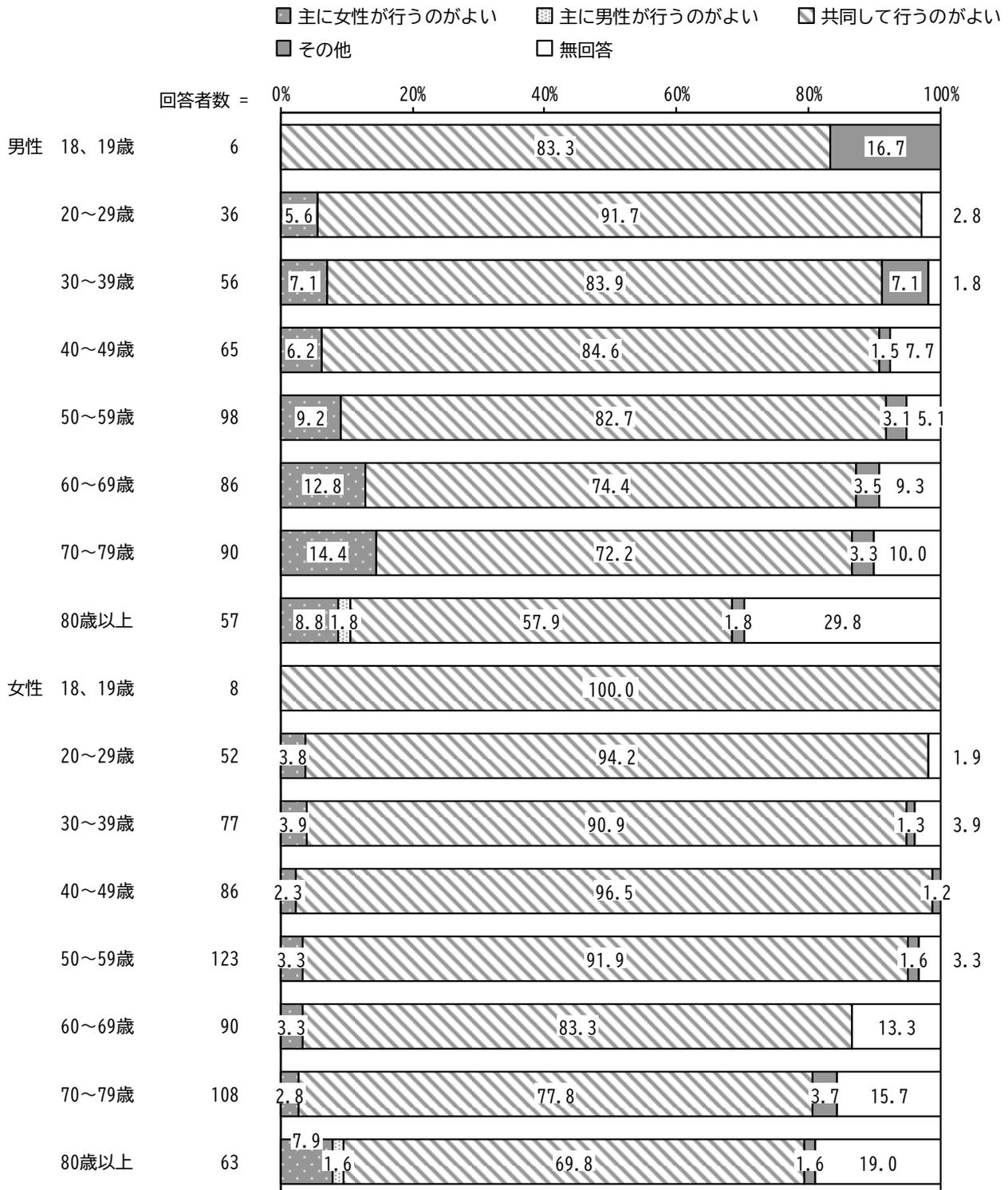
##### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「主に女性が行うのがよい」の割合が高く、男性と比較して女性で「共同して行うのがよい」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

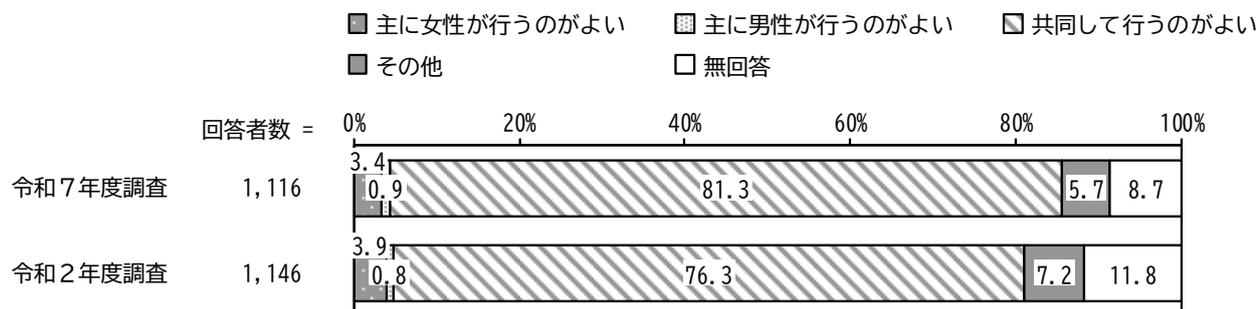
性・年齢別にみると、男性 60～69 歳、男性 70～79 歳で「主に女性が行うのがよい」、女性 20～29 歳、女性 40～49 歳で「共同して行うのがよい」の割合が高くなっています。



## ⑤ 親等の介護

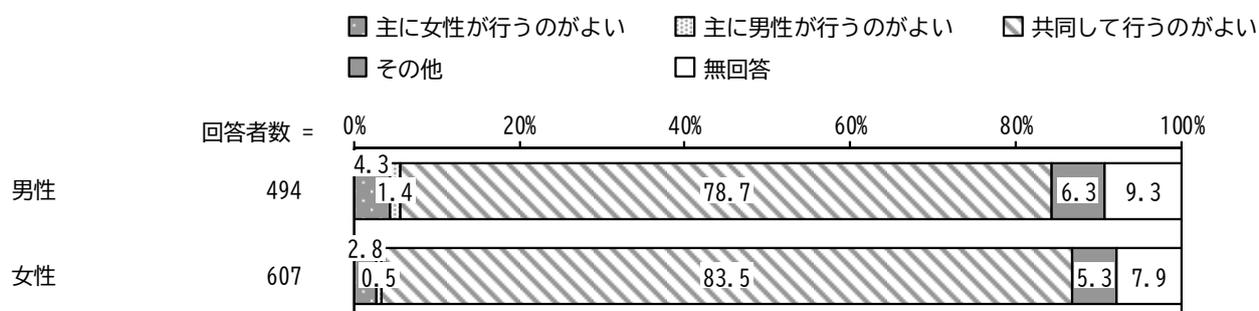
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



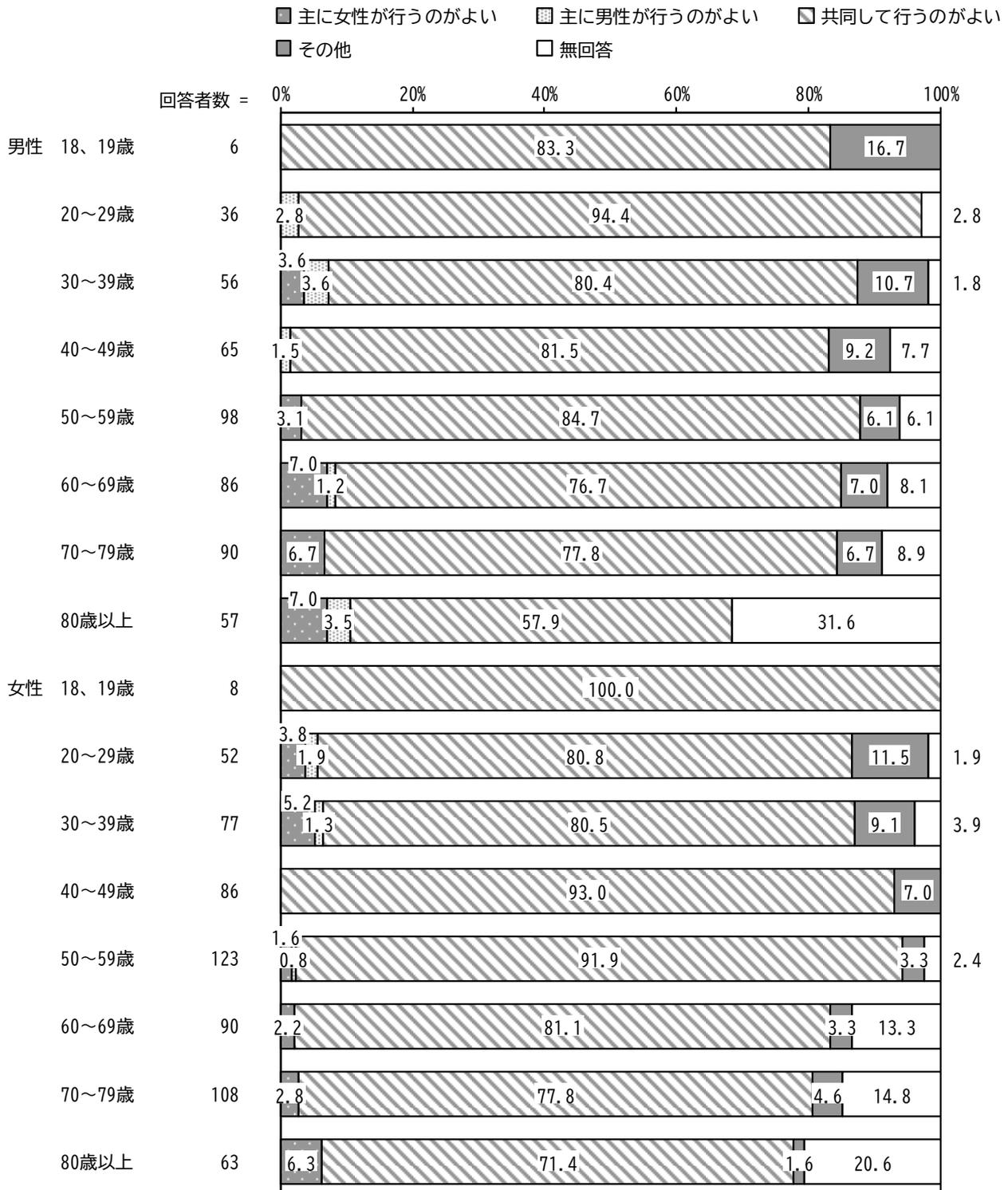
### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

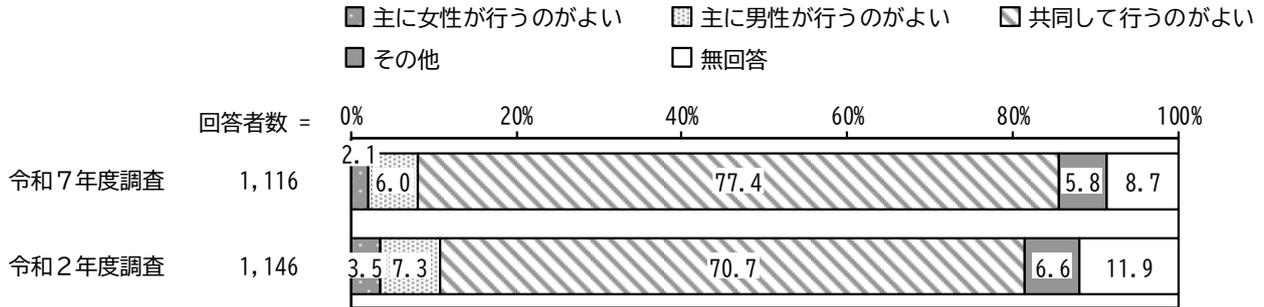
性・年齢別にみると、男性 20～29 歳、女性 40～49 歳、女性 50～59 歳で「共同して行うのがよい」の割合が高くなっています。



## ⑥ 地域活動への参加

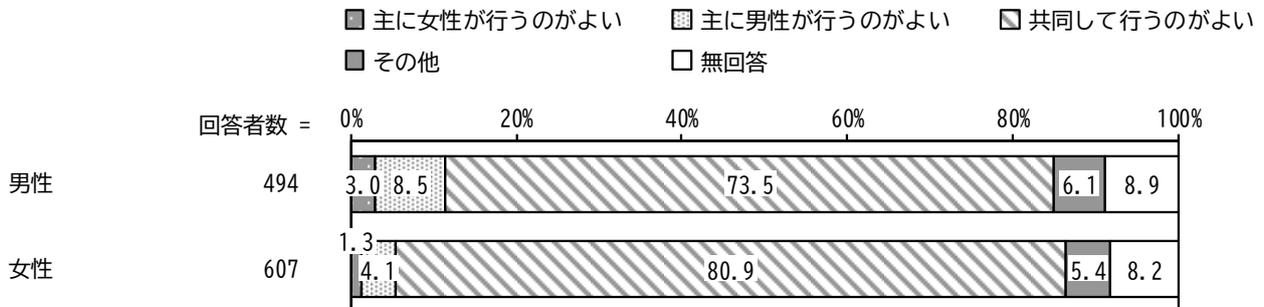
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「共同して行うのがよい」の割合が増加しています。



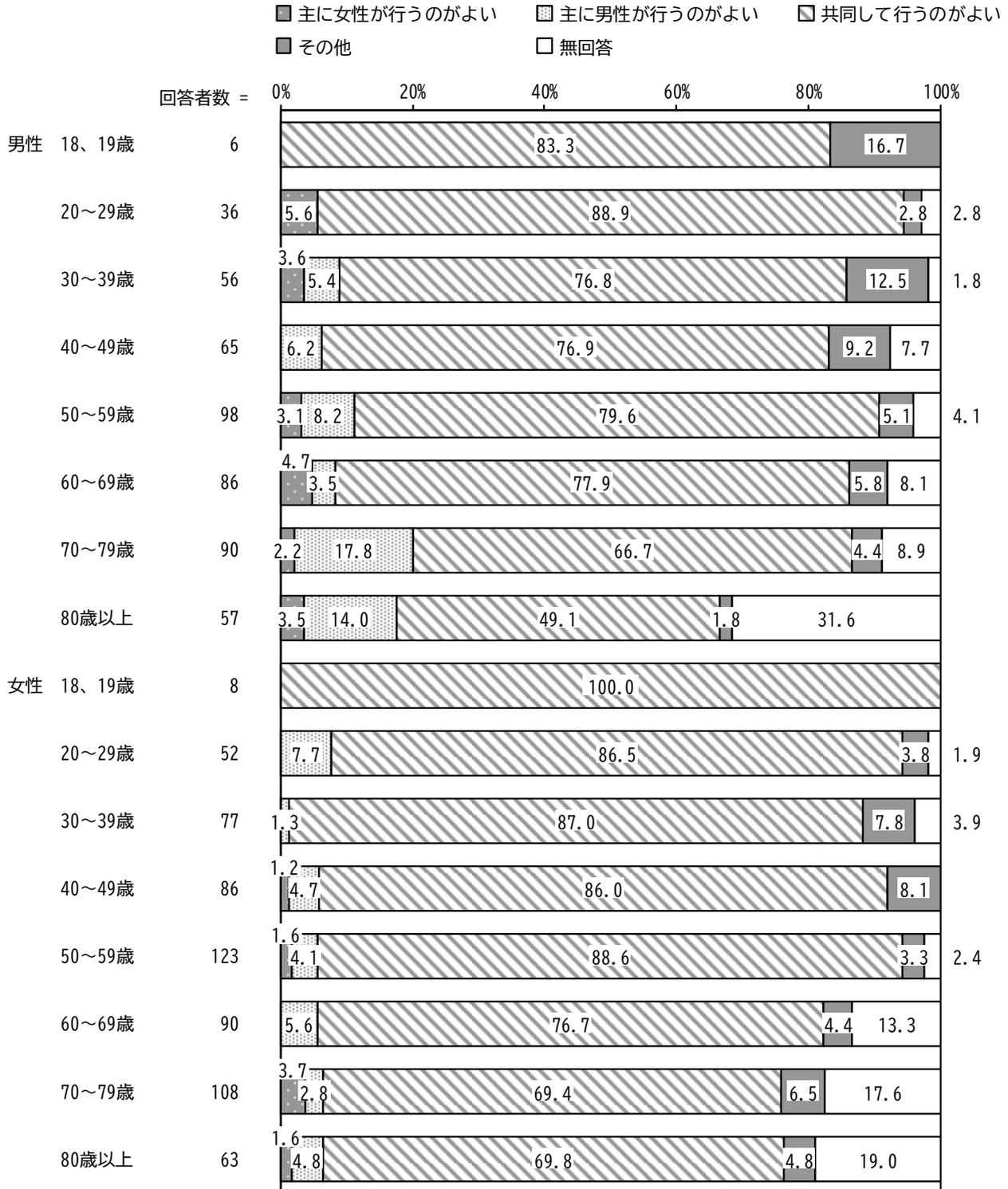
### 【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で「共同して行うのがよい」の割合が高くなっています。



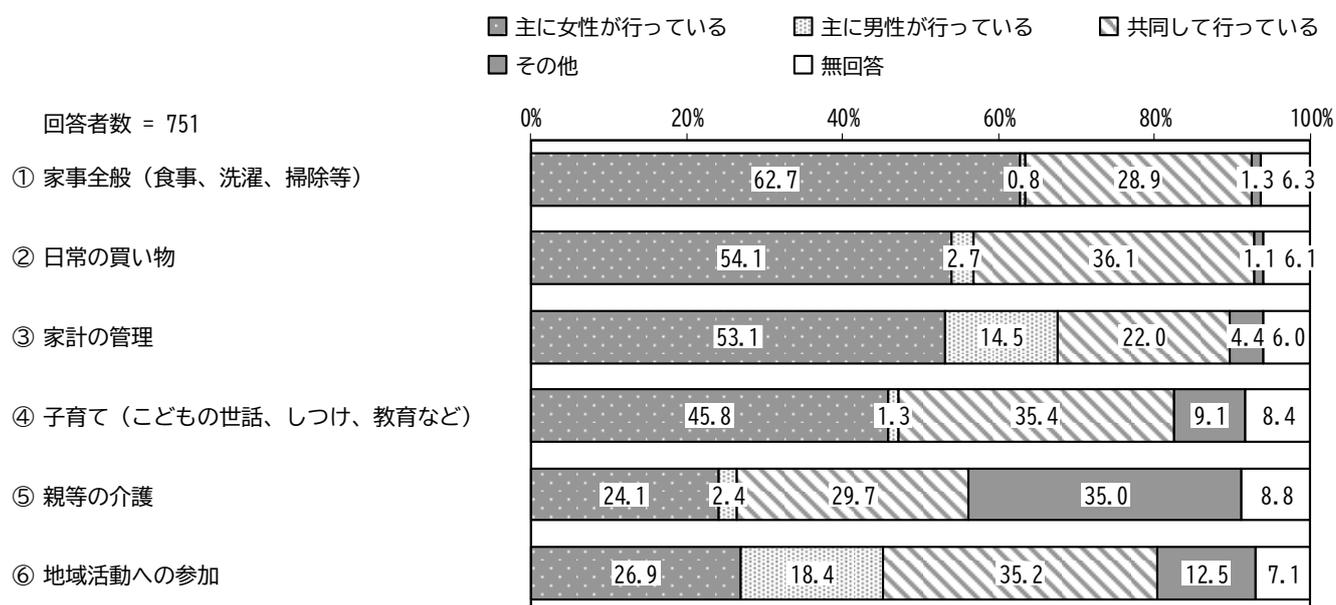
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 70～79 歳で「主に男性が行うのがよい」、男性 20～29 歳、女性 50～59 歳で「共同して行うのがよい」の割合が高くなっています。



(2) 結婚している方（事実婚を含む）にお伺いします。あなたの家庭では、①～⑥に示す各場面で、実際に夫婦のどちらが役割を担っていますか。（○印①～⑥の項目ごとに1つずつ）

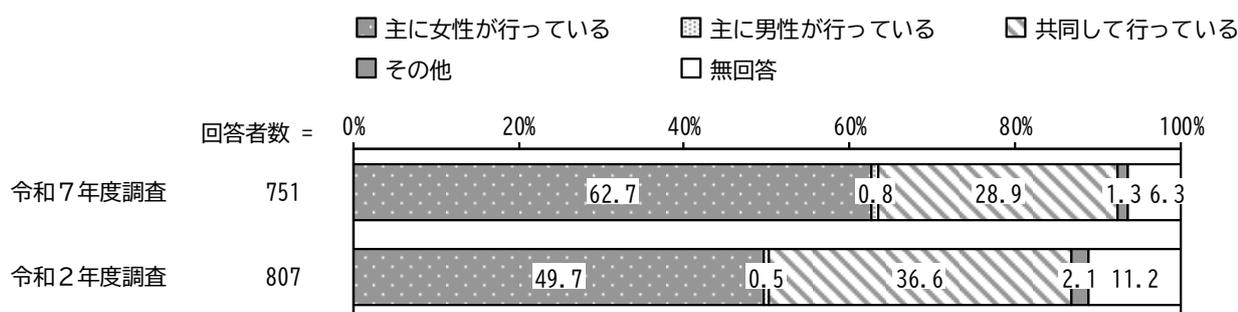
「主に女性が行っている」で『① 家事全般（食事、洗濯、掃除等）』が、「主に男性が行っている」で『⑥ 地域活動への参加』が、「共同して行っている」で『② 日常の買い物』が高くなっています。



### ① 家事全般（食事、洗濯、掃除等）

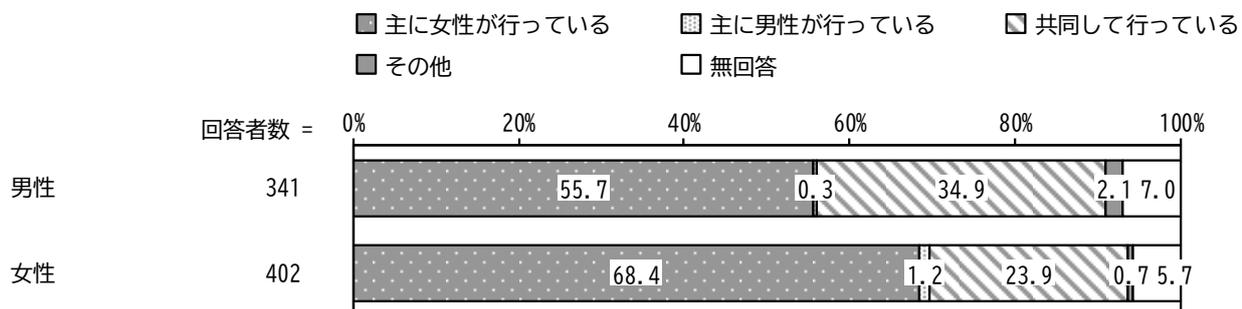
#### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「主に女性が行っている」の割合が増加しています。一方、「共同して行っている」の割合が減少しています。



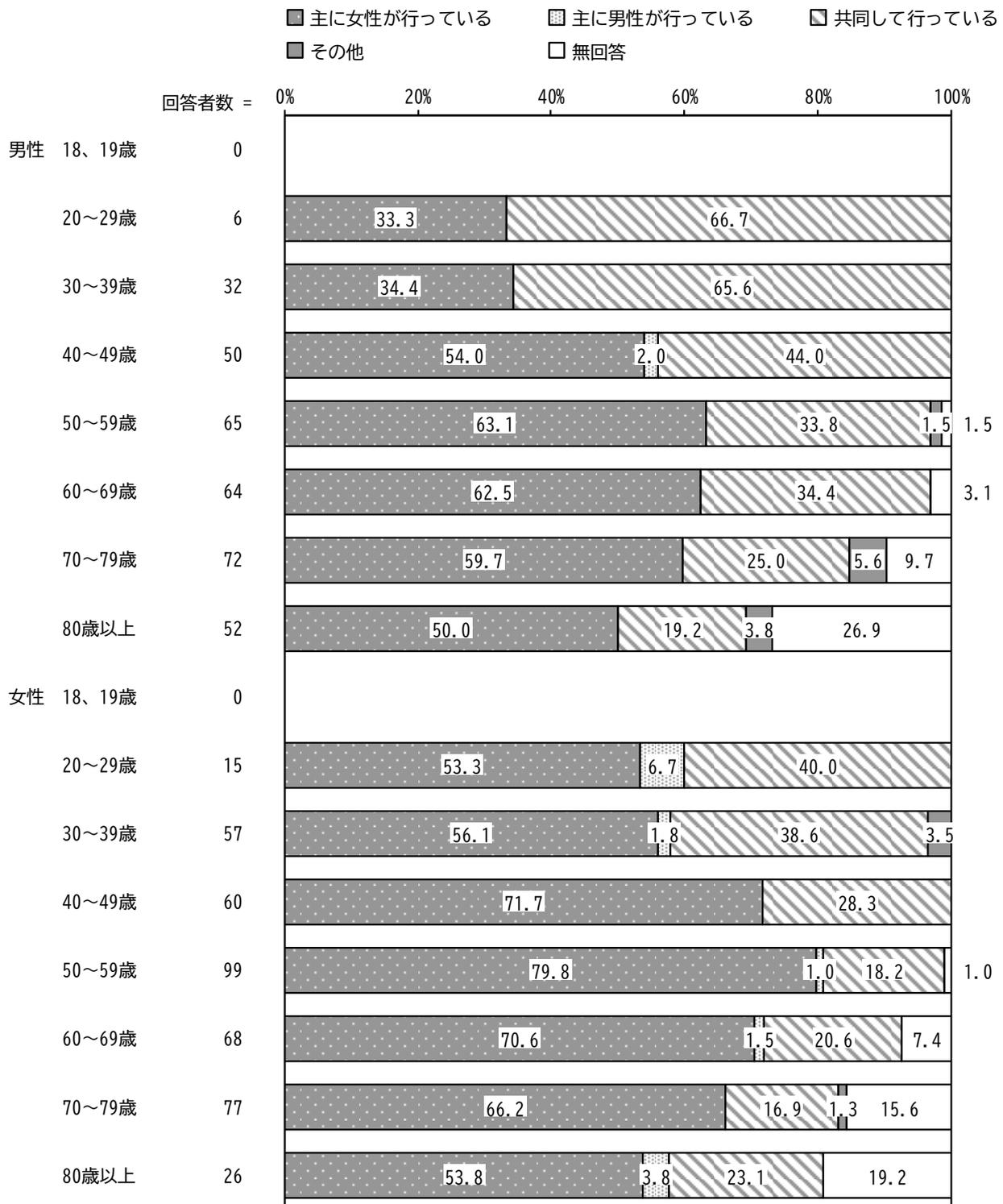
【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「共同して行っている」の割合が高く、男性と比較して女性で「主に女性が行っている」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

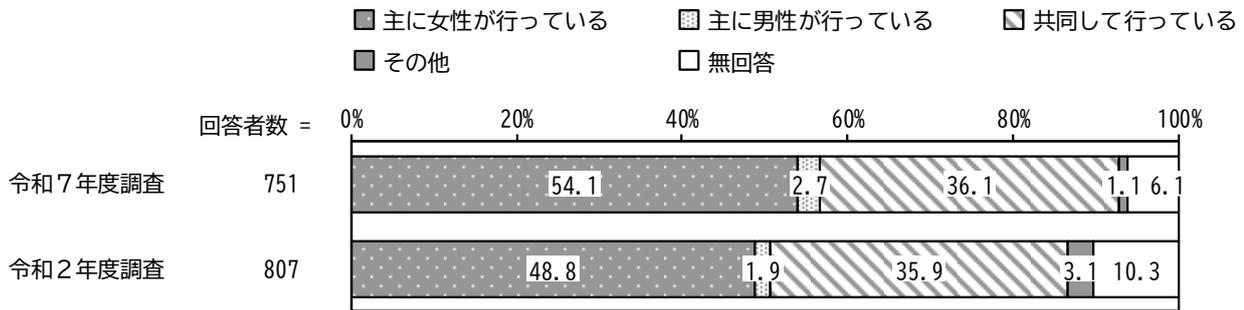
性・年齢別にみると、女性 50～59 歳で「主に女性が行っている」、男性 30～39 歳で「共同して行っている」の割合が高くなっています。



## ② 日常の買い物

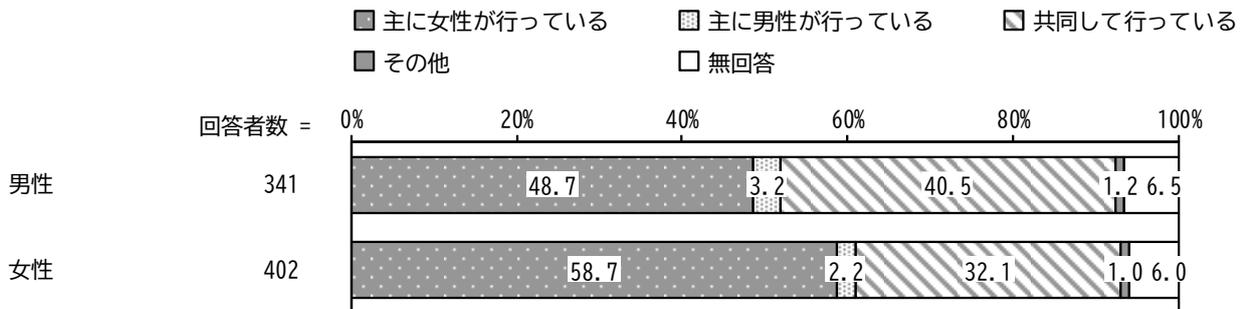
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「主に女性が行っている」の割合が増加しています。



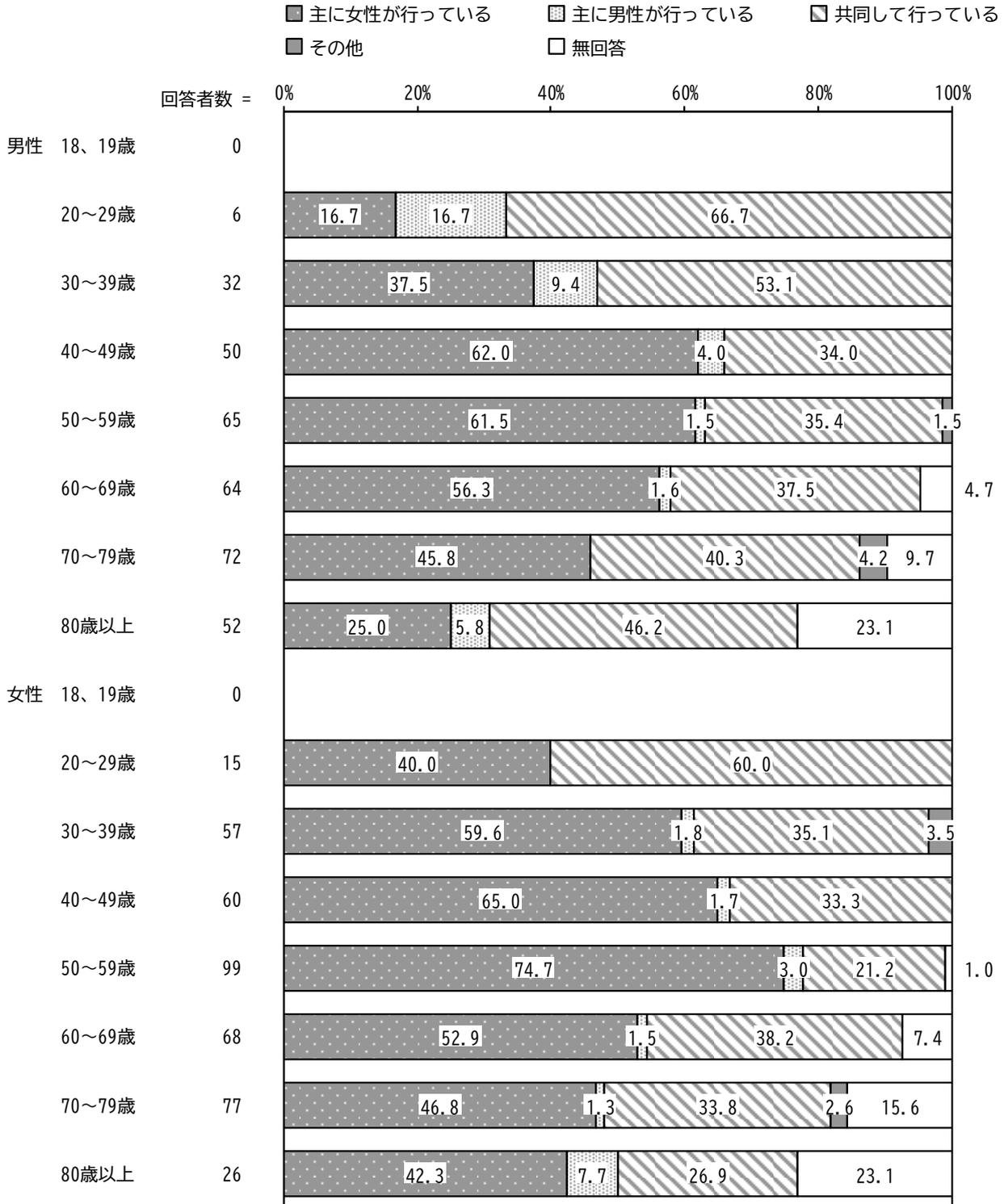
### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「共同して行っている」の割合が高く、男性と比較して女性で「主に女性が行っている」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

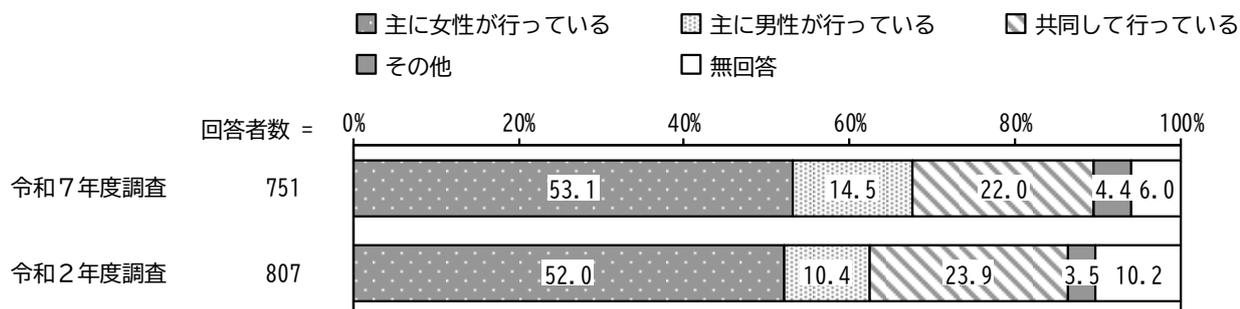
性・年齢別にみると、女性 50～59 歳で「主に女性が行っている」、女性 20～29 歳で「共同して行っている」の割合が高くなっています。



### ③ 家計の管理

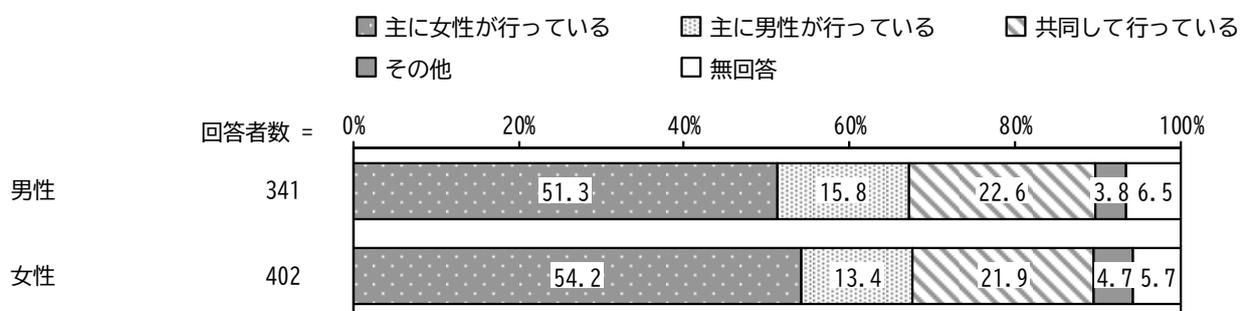
#### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



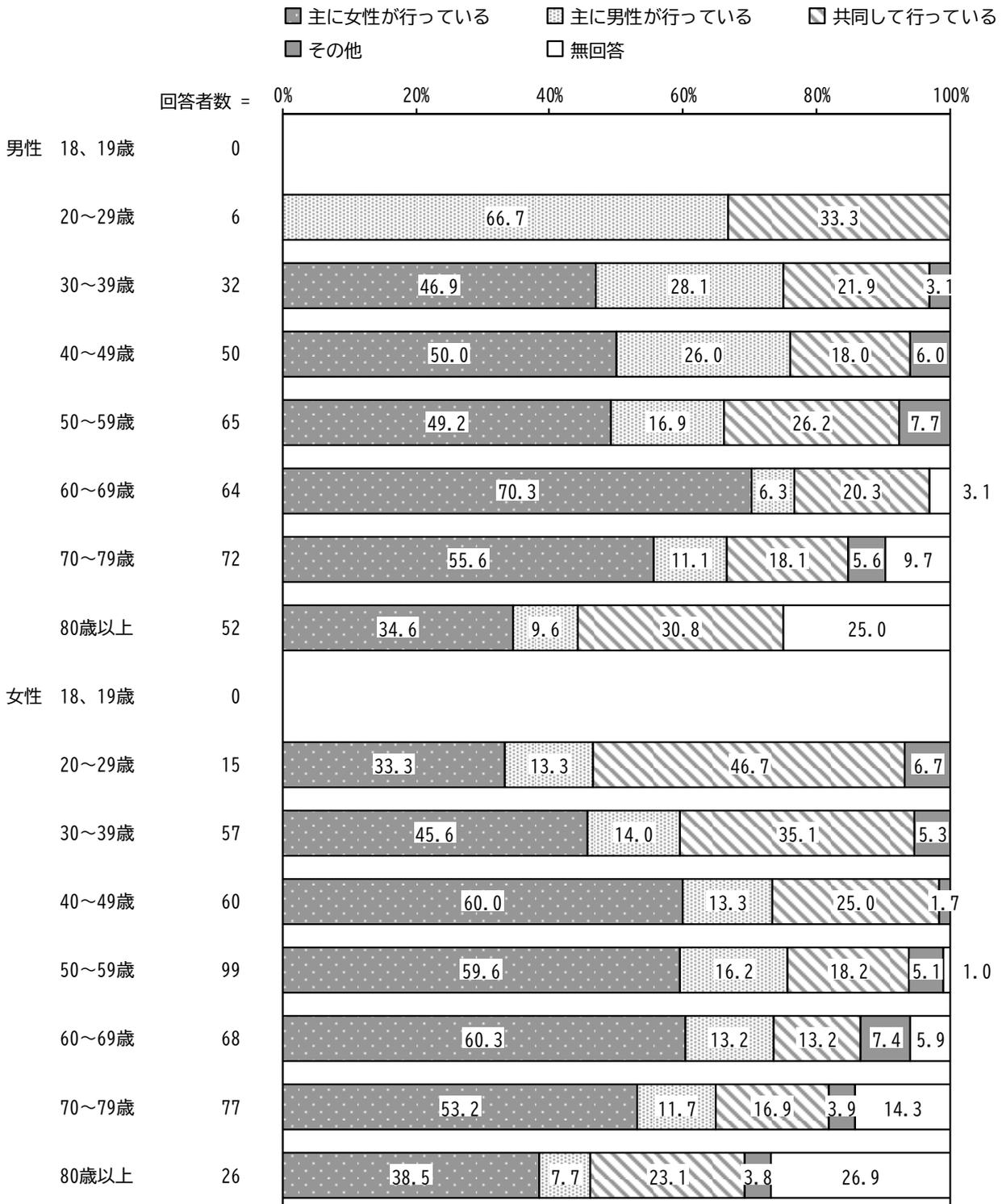
#### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

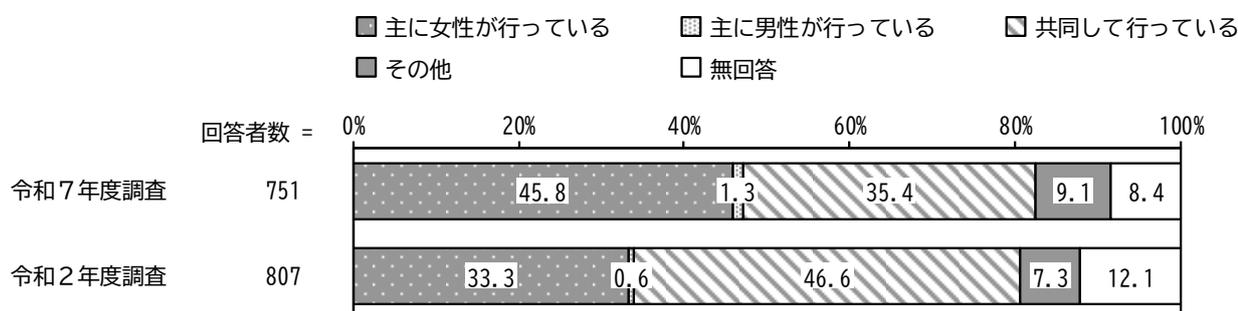
性・年齢別にみると、男性 60～69 歳で「主に女性が行っている」、男性 30～39 歳、男性 40～49 歳で「主に男性が行っている」、女性 20～29 歳で「共同して行っている」の割合が高くなっています。



#### ④ 子育て（こどもの世話、しつけ、教育など）

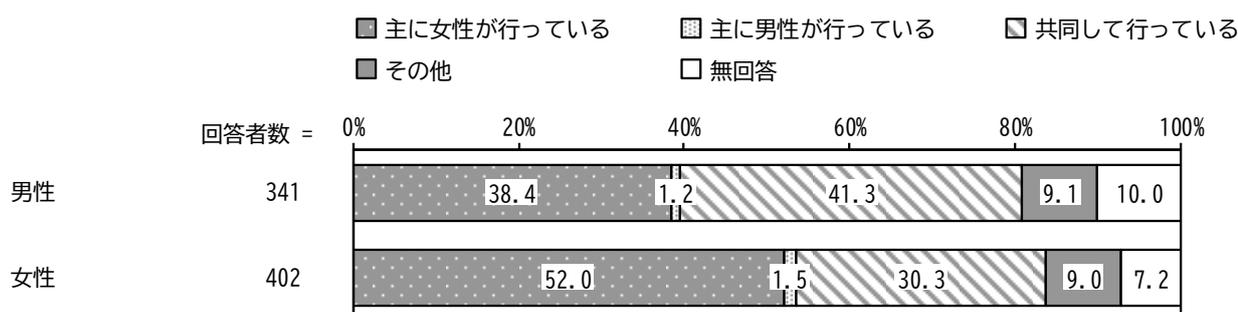
##### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「主に女性が行っている」の割合が増加しています。一方、「共同して行っている」の割合が減少しています。



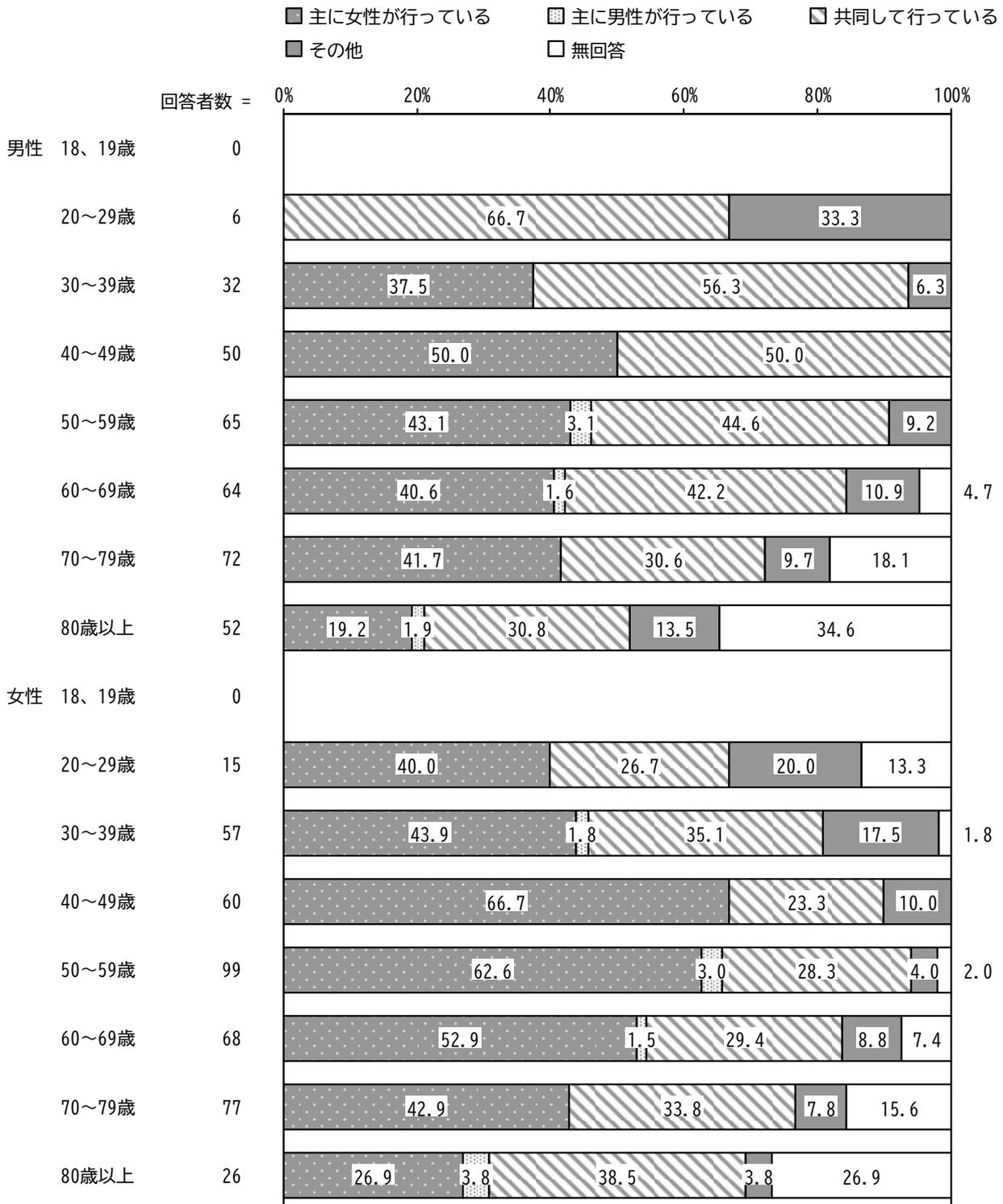
##### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「共同して行っている」の割合が高く、男性と比較して女性で「主に女性が行っている」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

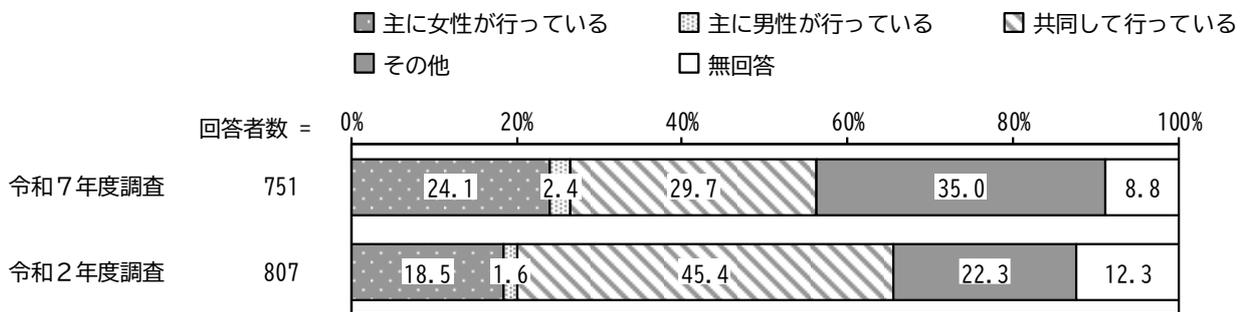
性・年齢別にみると、女性 40～49 歳で「主に女性が行っている」、男性 30～39 歳で「共同して行っている」の割合が高くなっています。



## ⑤ 親等の介護

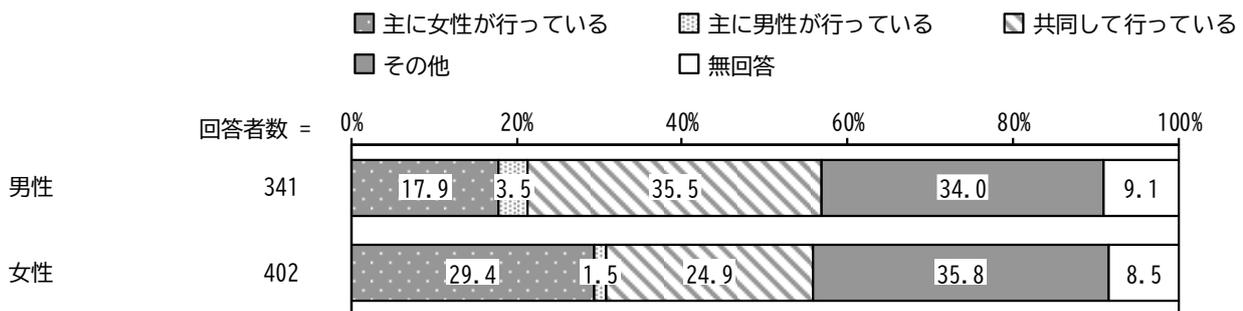
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「主に女性が行っている」の割合が増加しています。一方、「共同して行っている」の割合が減少しています。



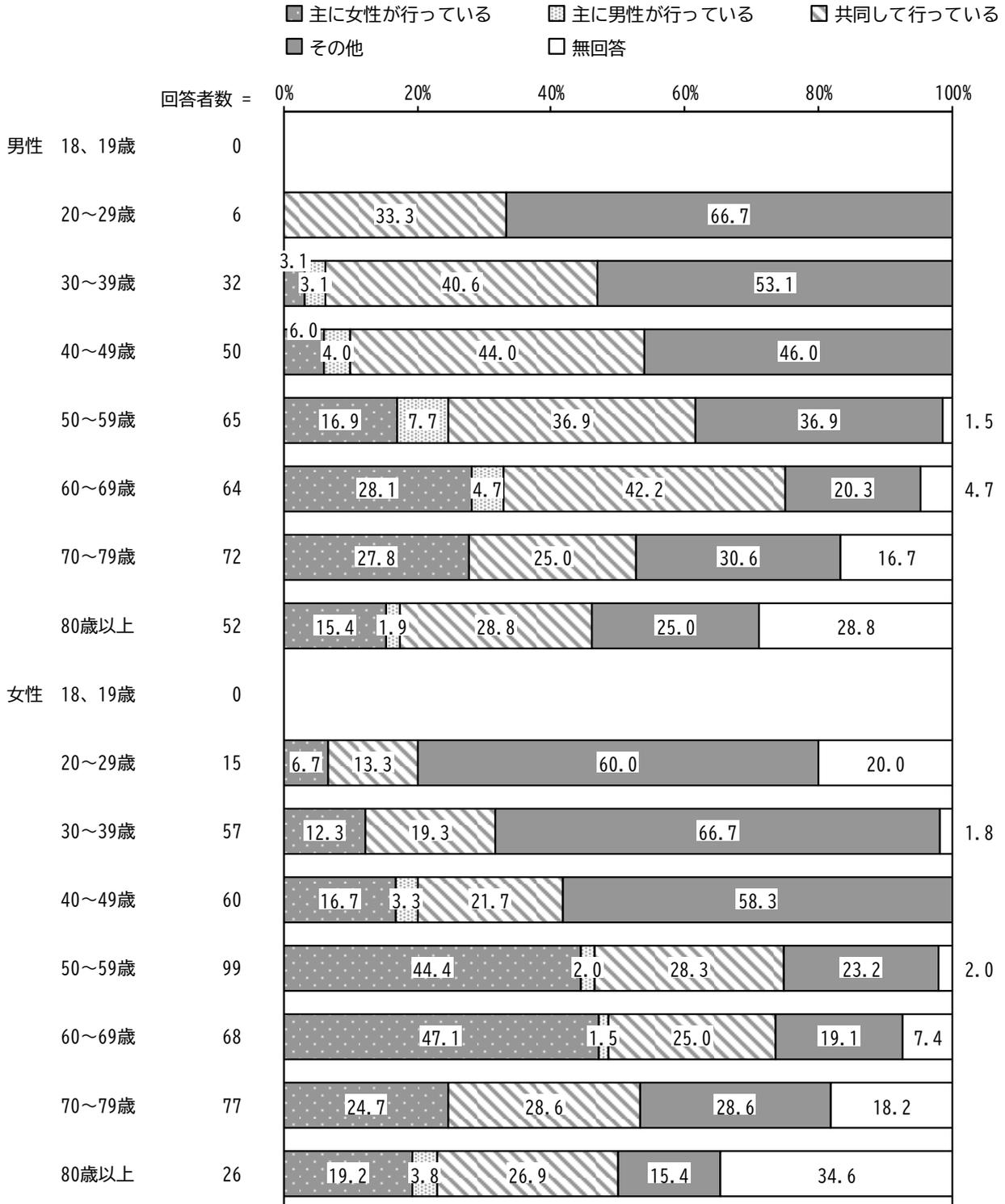
### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「共同して行っている」の割合が高く、男性と比較して女性で「主に女性が行っている」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

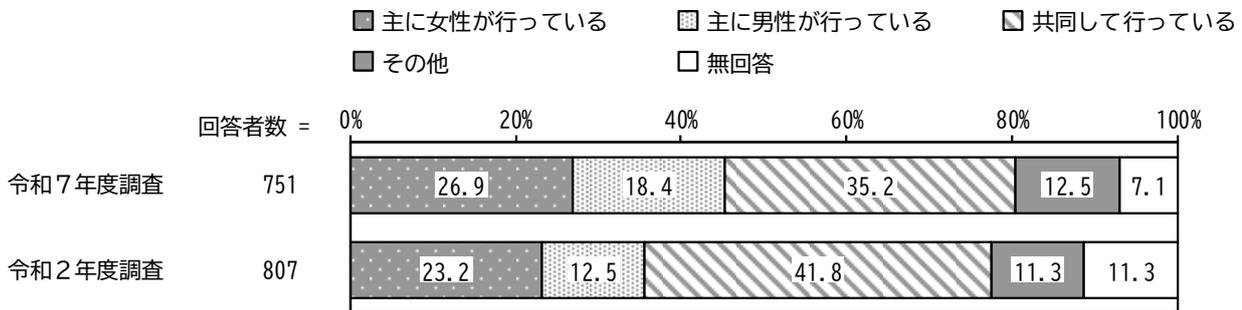
性・年齢別にみると、女性 50～59 歳、女性 60～69 歳で「主に女性が行っている」、男性 40～49 歳、男性 60～69 歳で「共同して行っている」の割合が高くなっています。



## ⑥ 地域活動への参加

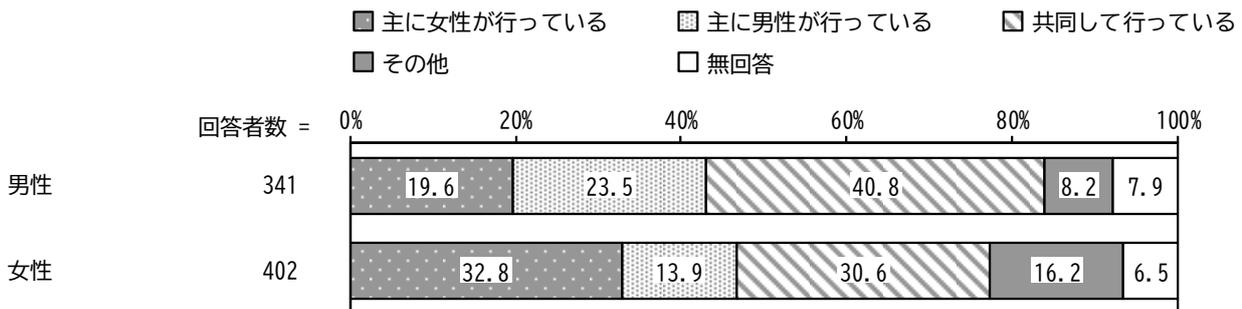
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「主に男性が行っている」の割合が増加しています。一方、「共同して行っている」の割合が減少しています。



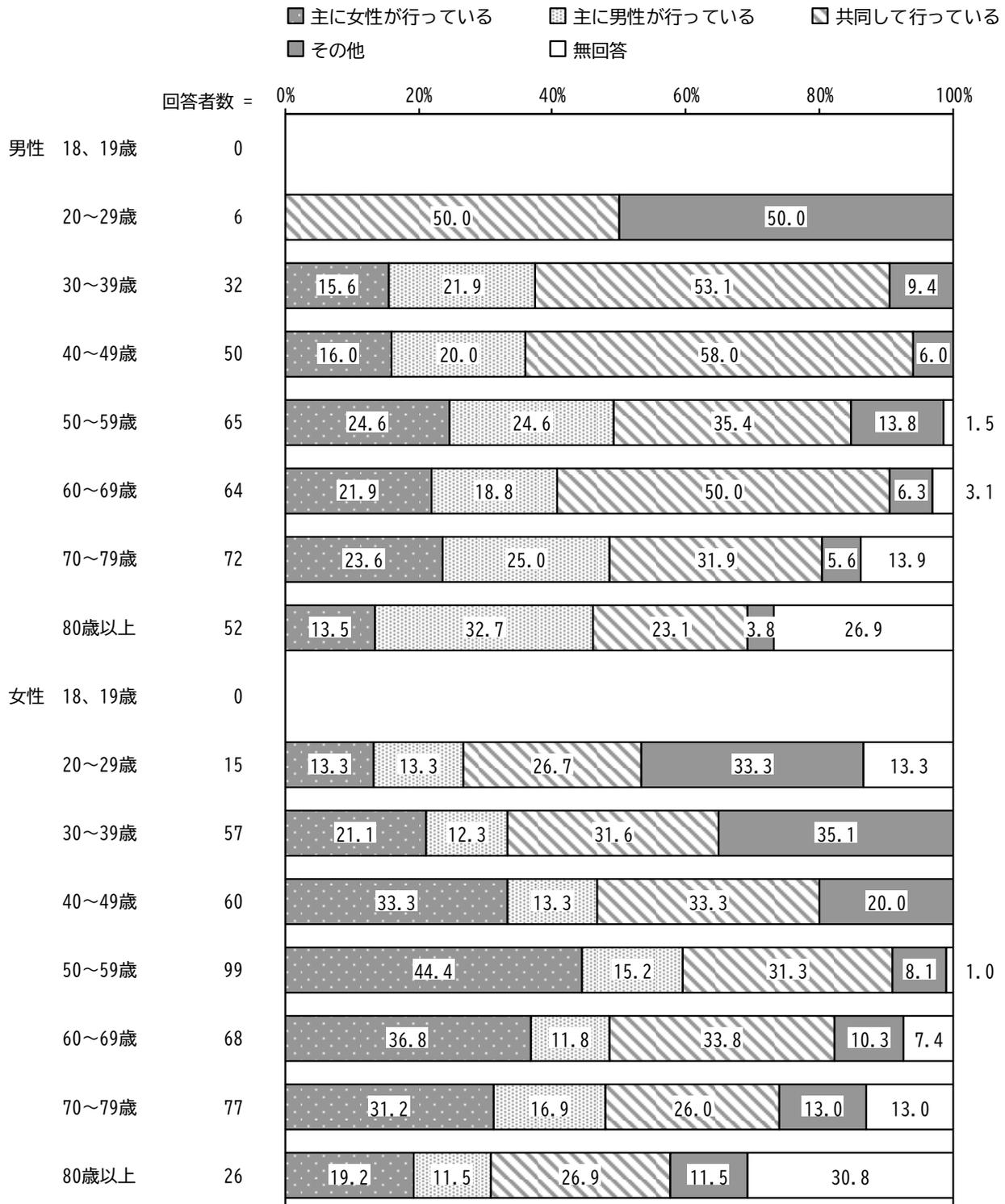
### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「主に男性が行っている」「共同して行っている」の割合が高く、男性と比較して女性で「主に女性が行っている」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 50～59 歳で「主に女性が行っている」、男性 80 歳以上で「主に男性が行っている」、男性 40～49 歳で「共同して行っている」の割合が高くなっています。

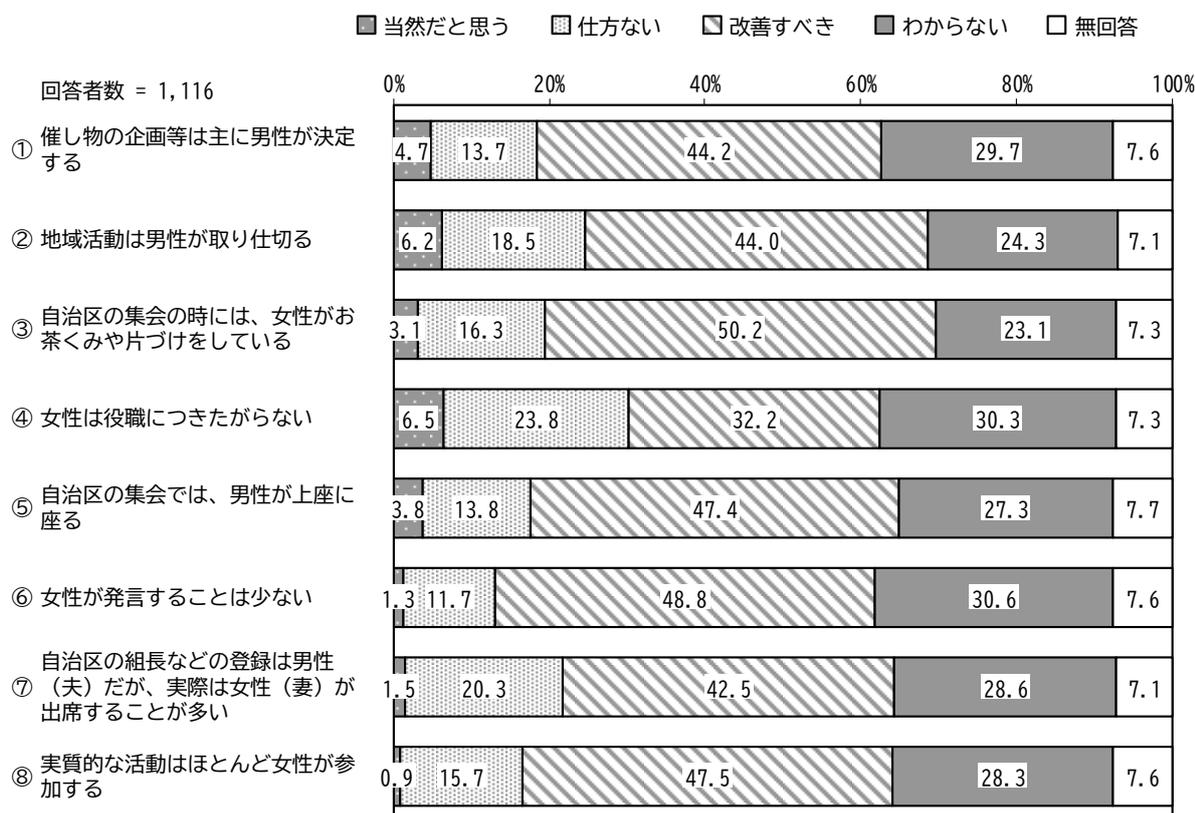


### (3) 地域活動について

問5 あなたが参加している地域活動における男女の役割分担についてどう感じていますか。  
(○印①～⑧の項目ごとに1つずつ)

#### (1) 意識

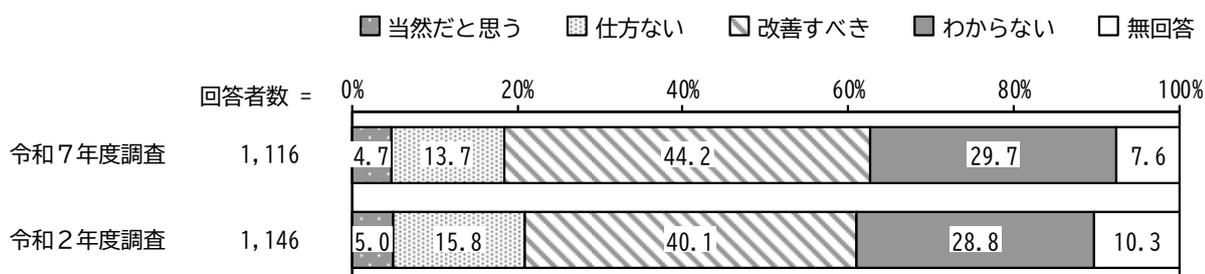
「当然だと思う」「仕方ない」で『④ 女性は役職につきたがらない』が、「改善すべき」で『③ 自治会の集会の時には、女性がお茶くみや片づけをしている』が高くなっています。



#### ① 催し物の企画等は主に男性が決定する

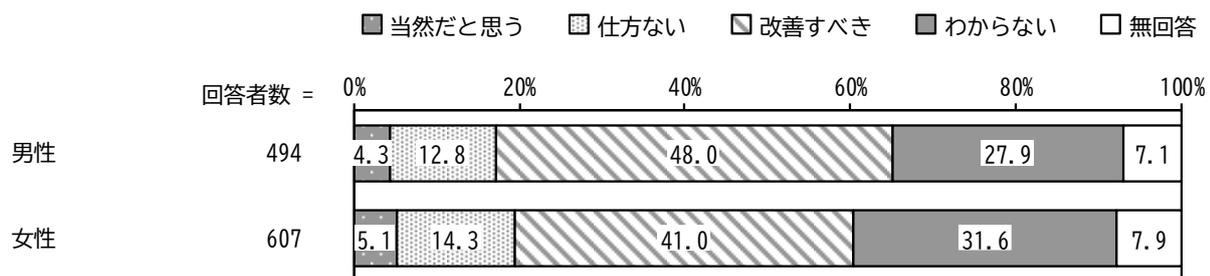
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



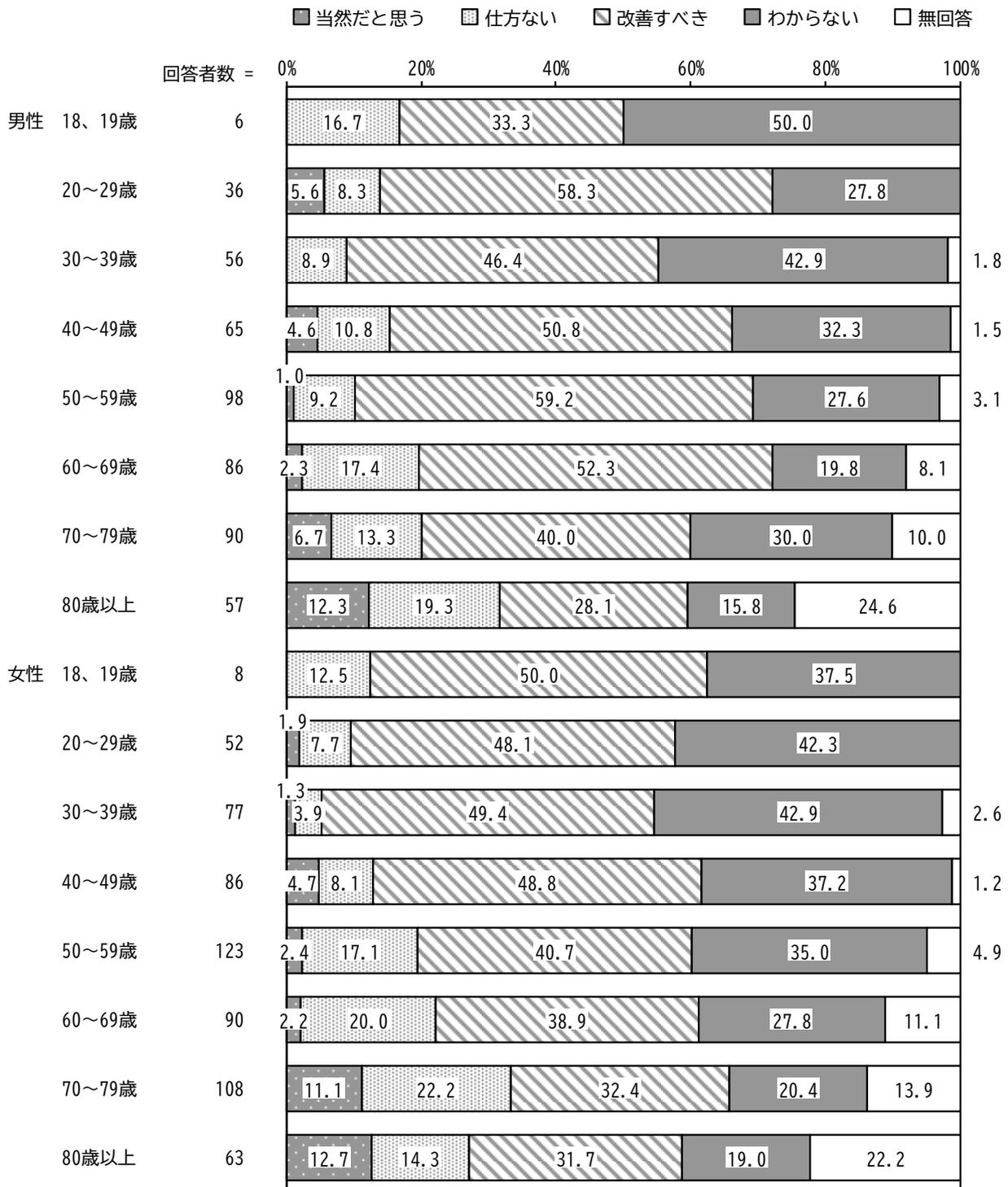
## 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「改善すべき」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

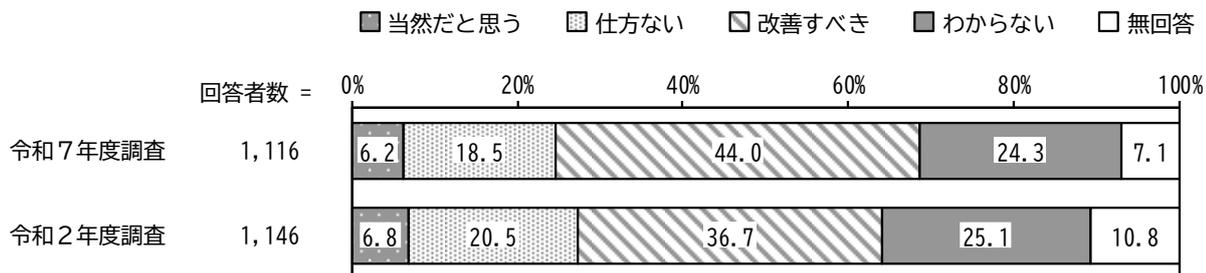
性・年齢別にみると、男性 80 歳以上、女性 70～79 歳、女性 80 歳以上で「当然だと思う」、男性 80 歳以上、女性 60～69 歳、女性 70～79 歳で「仕方ない」、男性 20～29 歳、男性 50～59 歳で「改善すべき」の割合が高くなっています。



## ② 地域活動は男性が取り仕切る

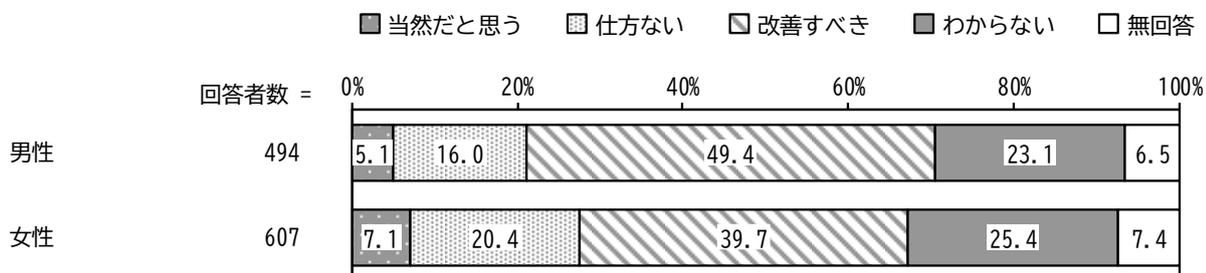
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「改善すべき」の割合が増加しています。



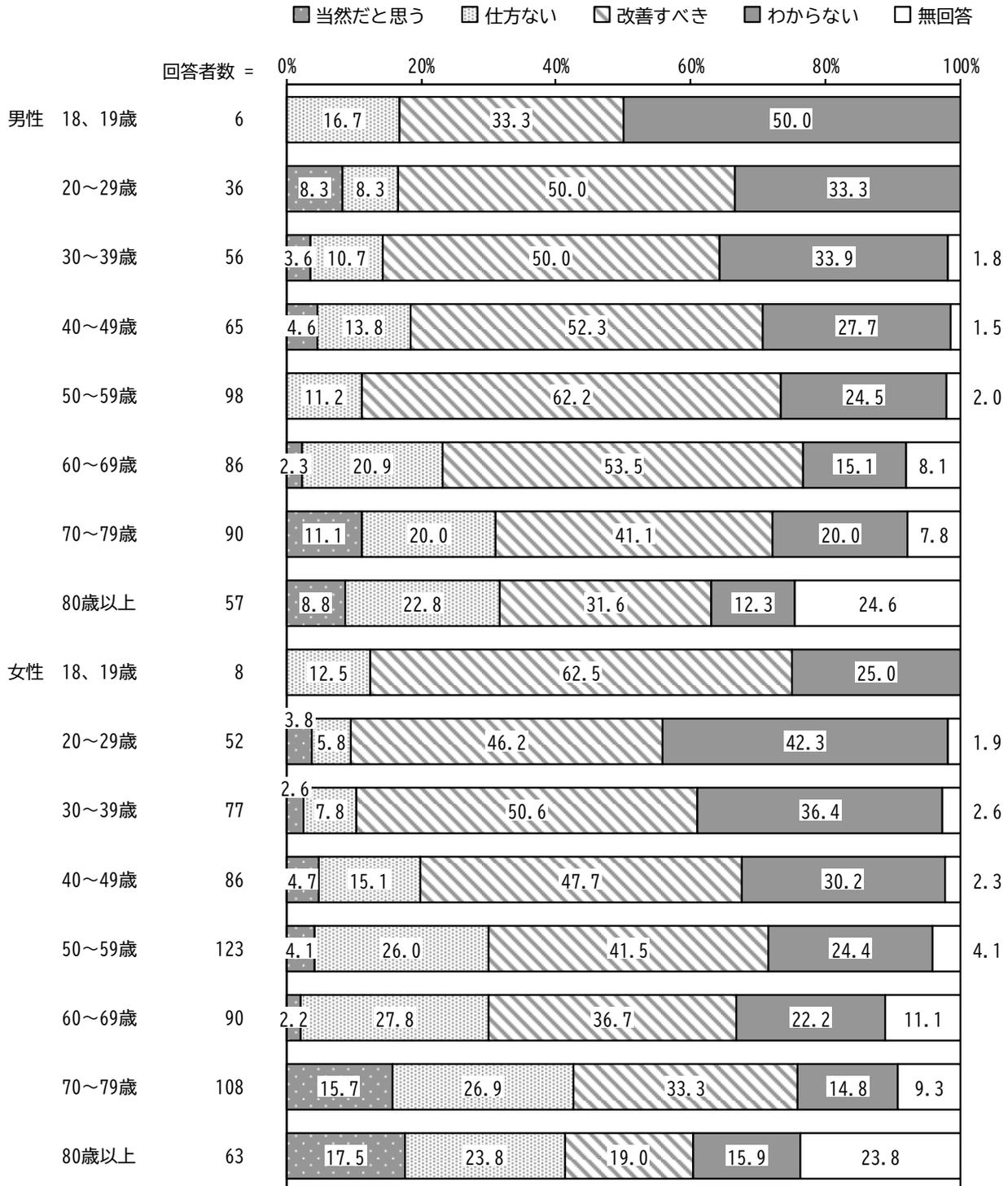
### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「改善すべき」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

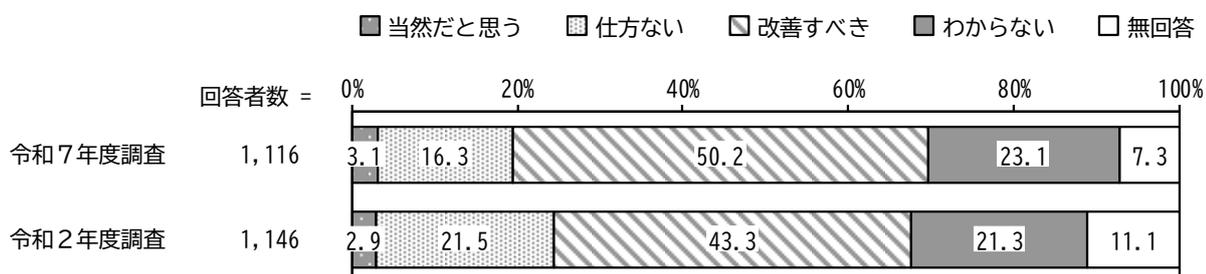
性・年齢別にみると、女性 80 歳以上で「当然だと思う」、男性 50～59 歳で「改善すべき」の割合が高くなっています。



### ③ 自治区の集会の時には、女性がお茶くみや片づけをしている

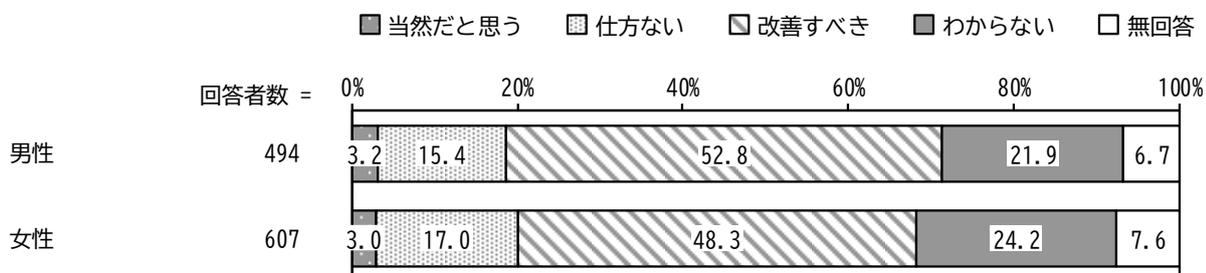
#### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「改善すべき」の割合が増加しています。一方、「仕方ない」の割合が減少しています。



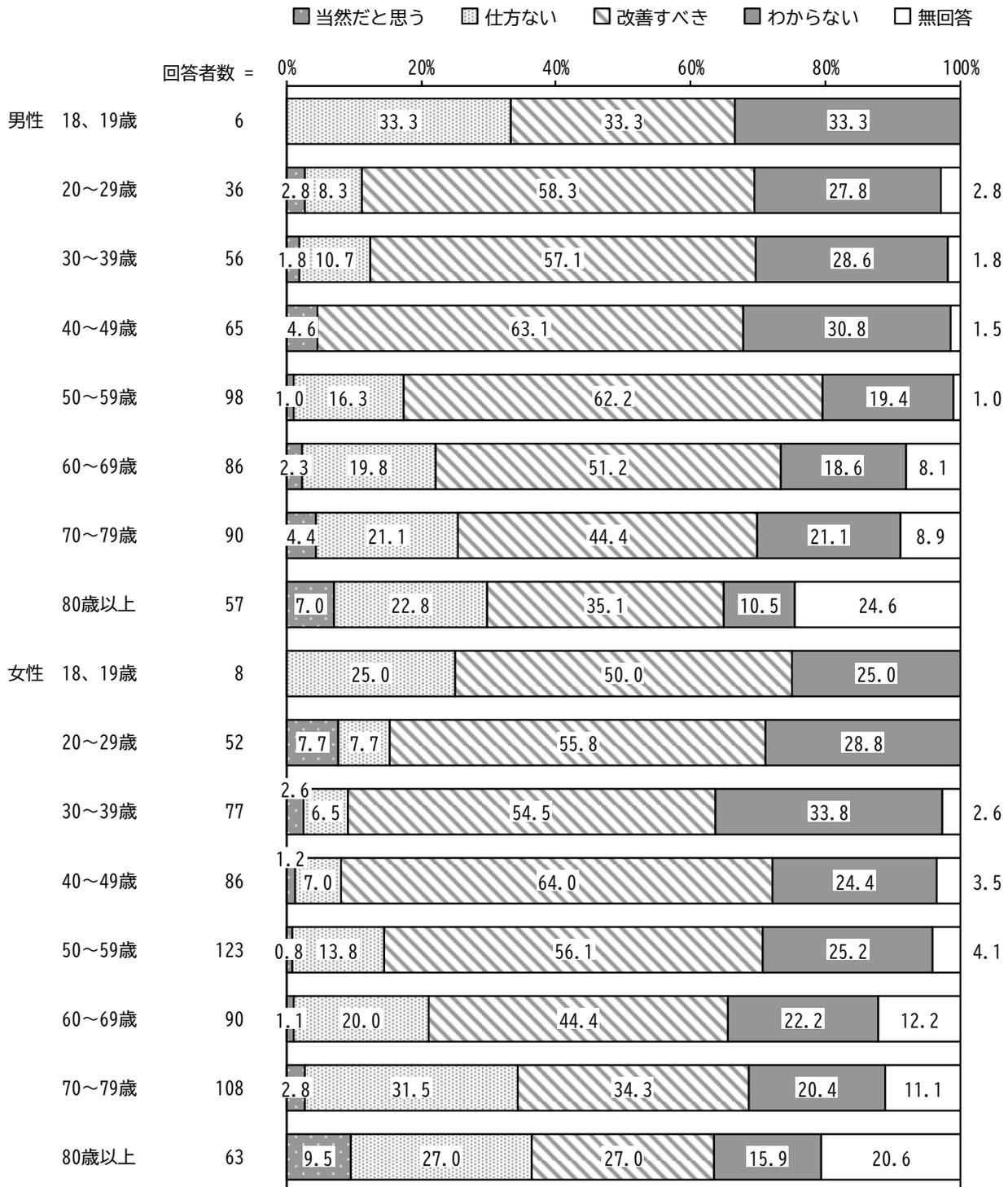
#### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

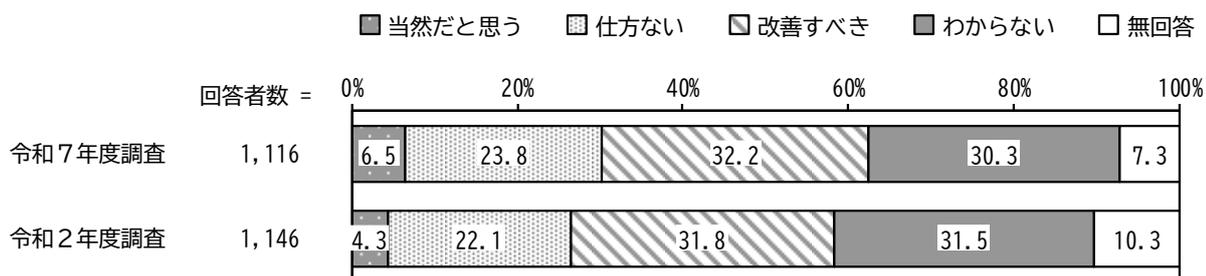
性・年齢別にみると、女性 70～79 歳で「仕方ない」、男性 40～49 歳、男性 50～59 歳、女性 40～49 歳で「改善すべき」の割合が高くなっています。



#### ④ 女性は役職につきたがらない

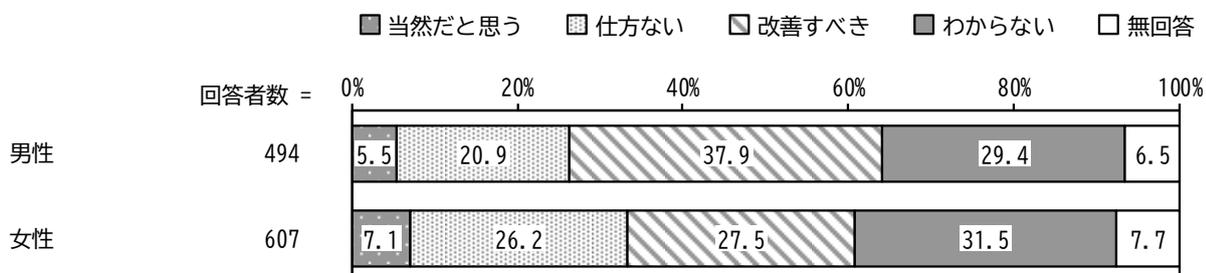
##### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



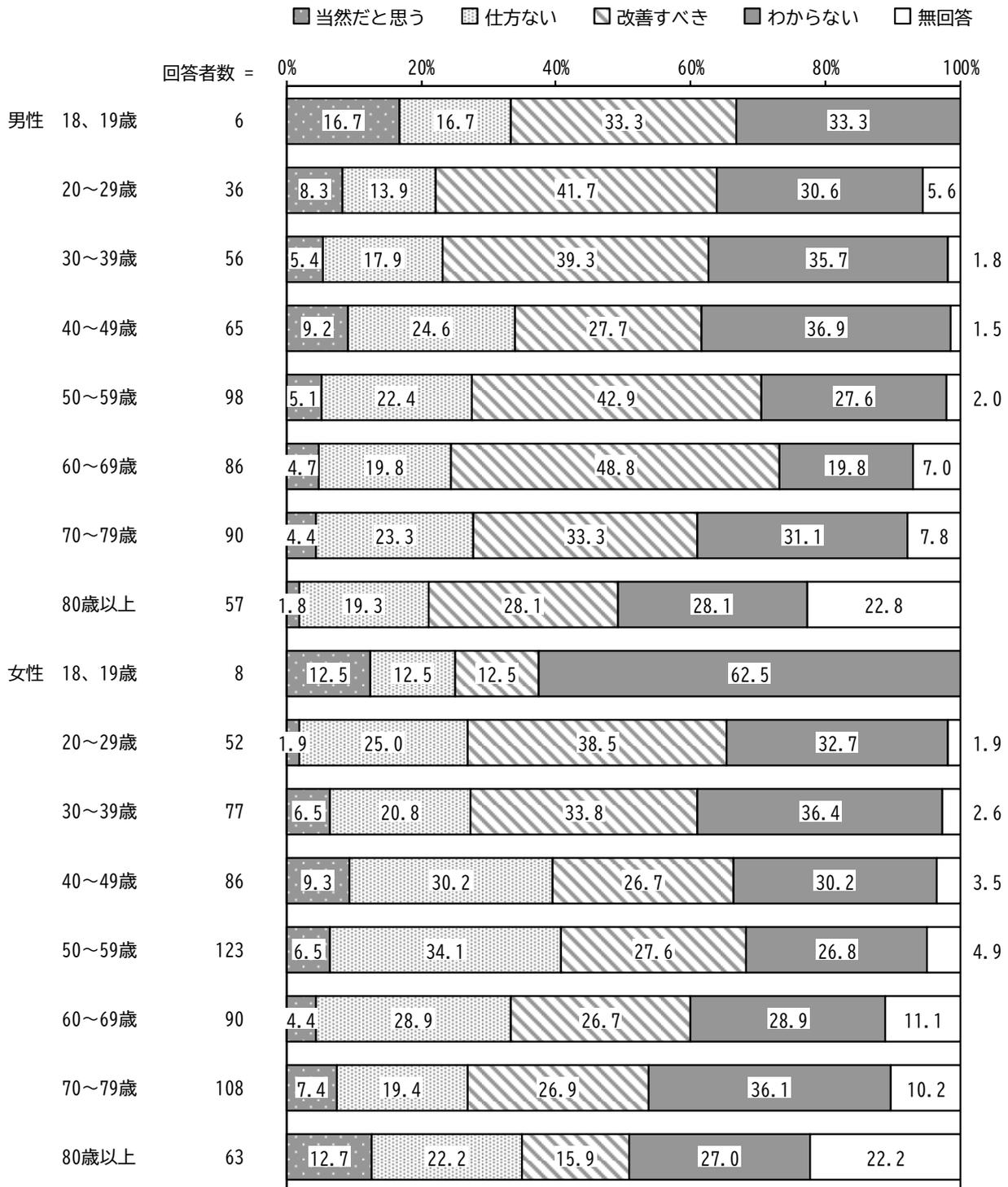
##### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「改善すべき」の割合が高く、男性と比較して女性で「仕方ない」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

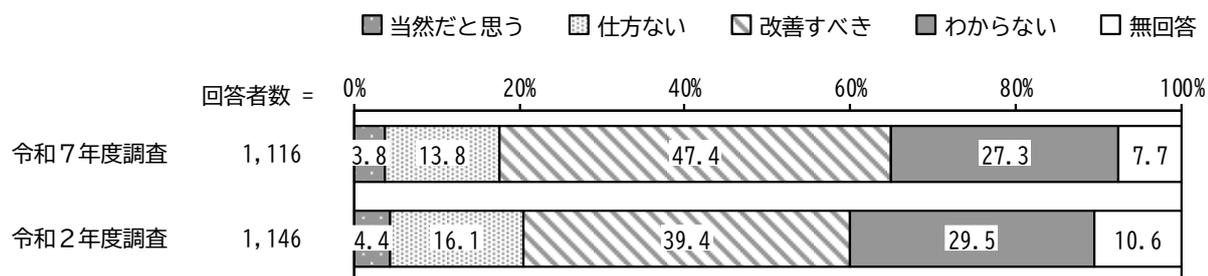
性・年齢別にみると、女性 50～59 歳で「仕方ない」、男性 60～69 歳で「改善すべき」の割合が高くなっています。



### ⑤ 自治区の集会では、男性が上座に座る

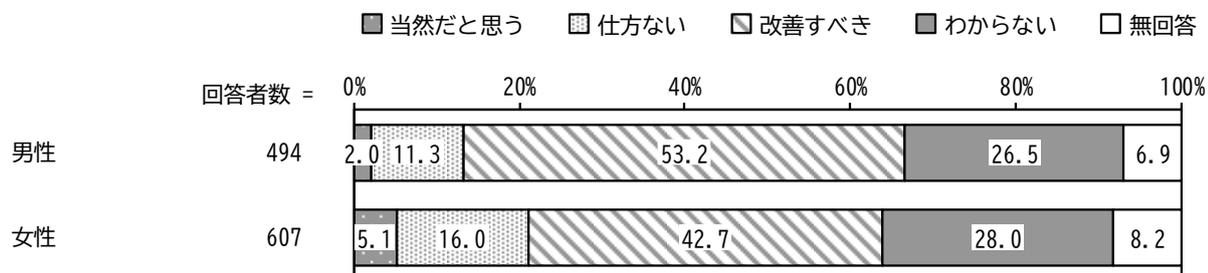
#### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「改善すべき」の割合が増加しています。



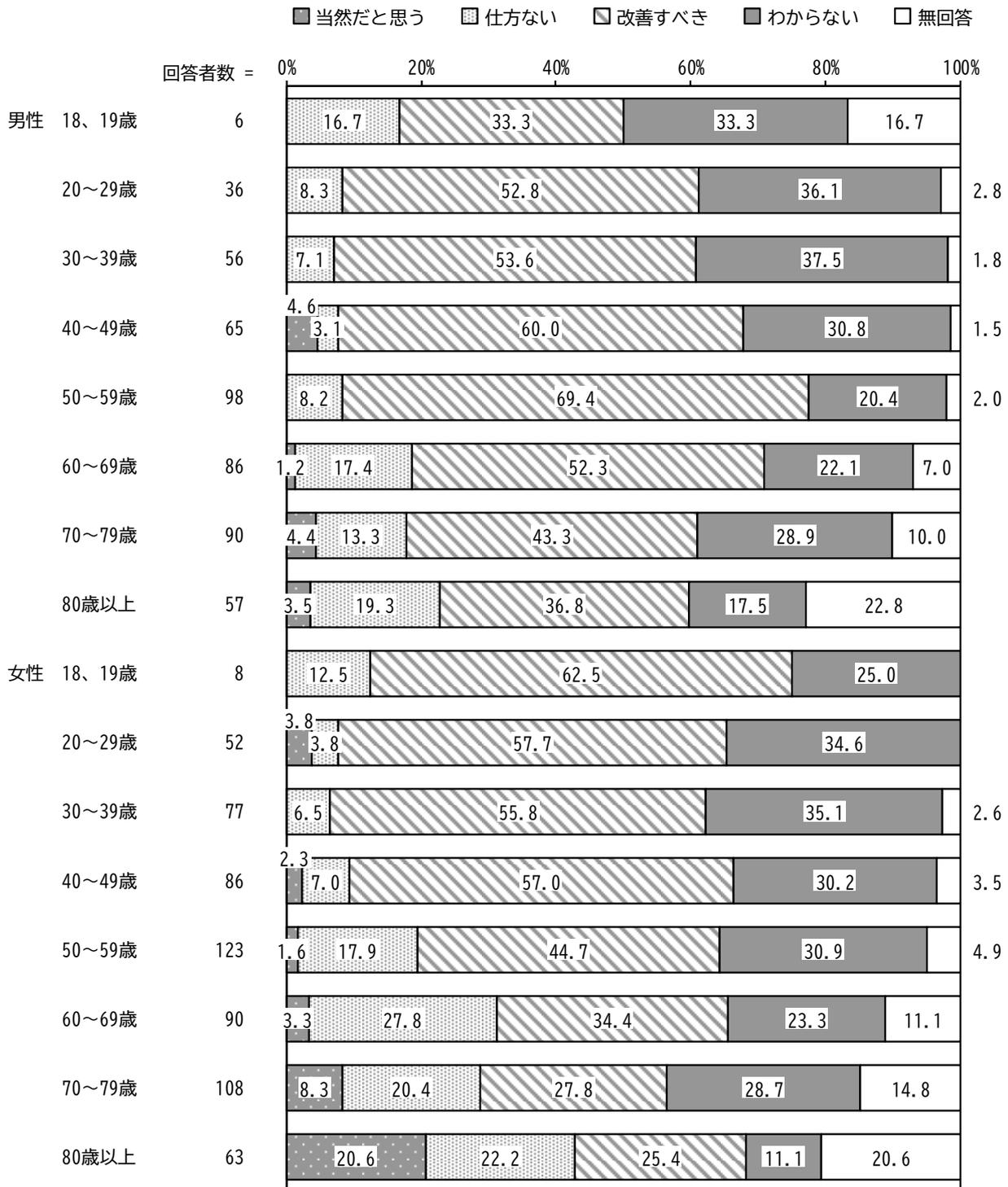
#### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「改善すべき」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

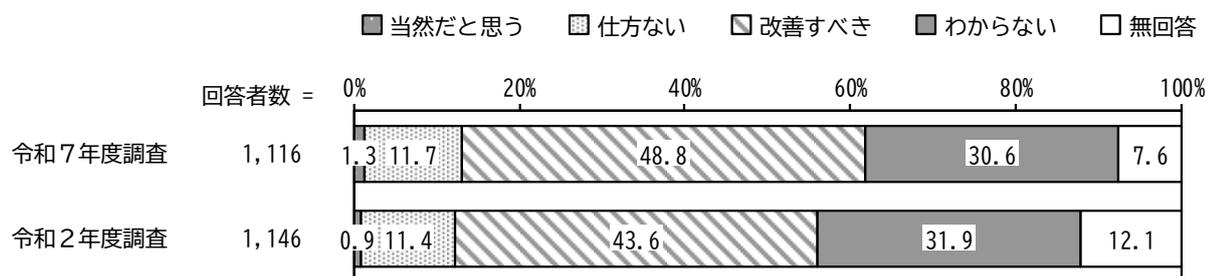
性・年齢別にみると、女性 80 歳以上で「当然だと思う」、女性 60～69 歳で「仕方ない」、男性 50～59 歳で「改善すべき」の割合が高くなっています。



## ⑥ 女性が発言することは少ない

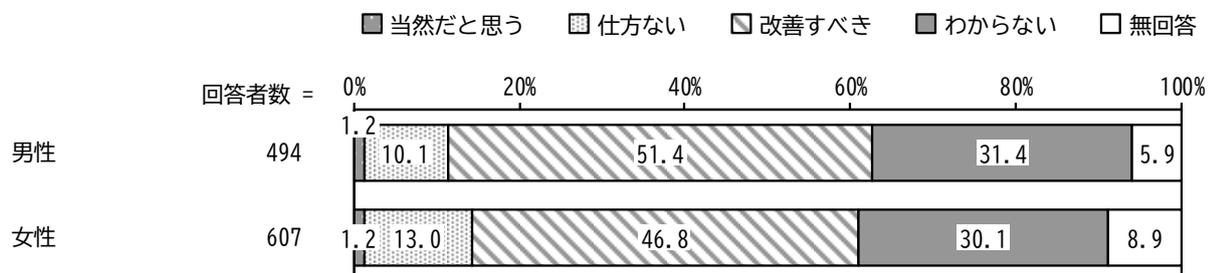
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「改善すべき」の割合が増加しています。



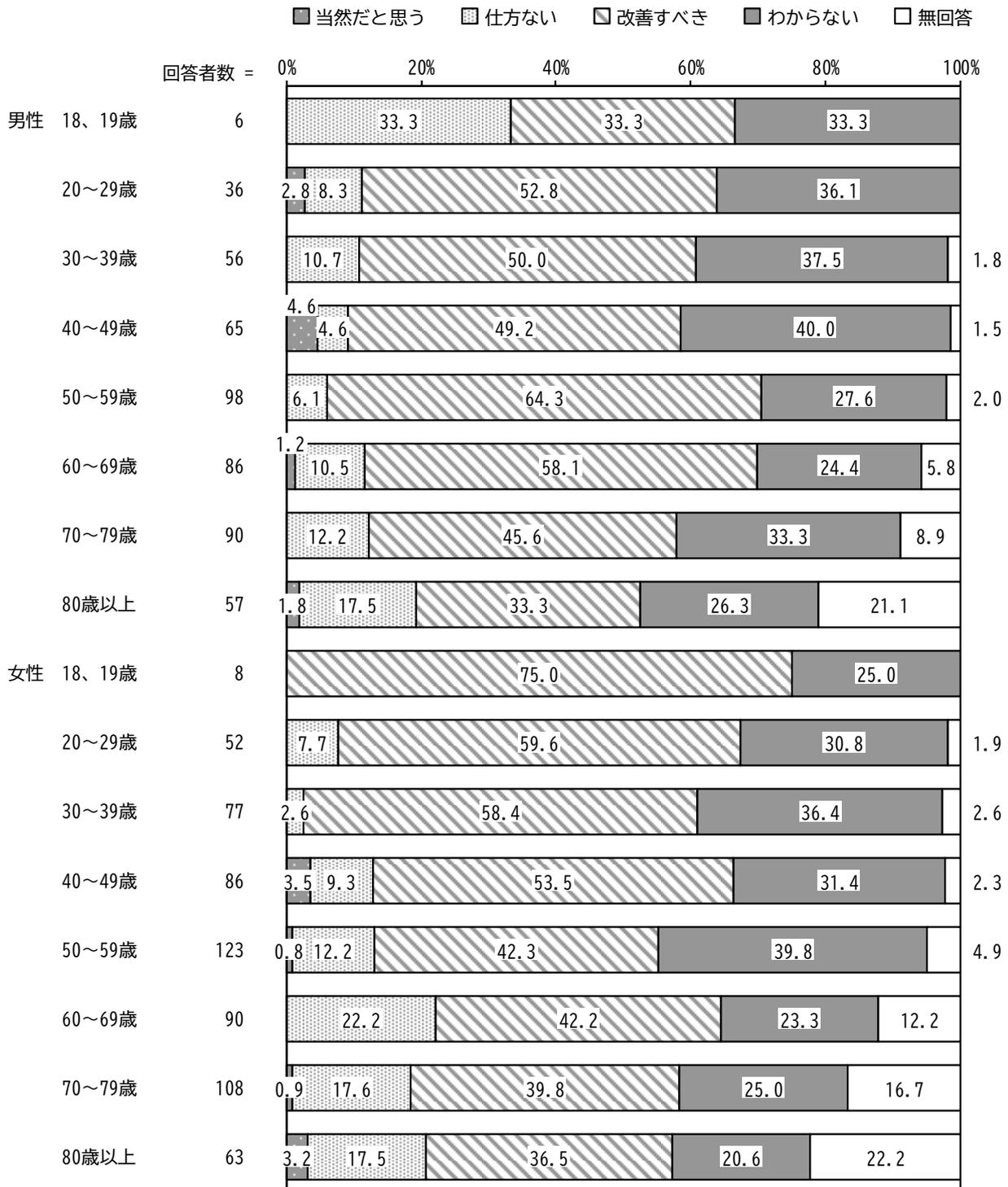
### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

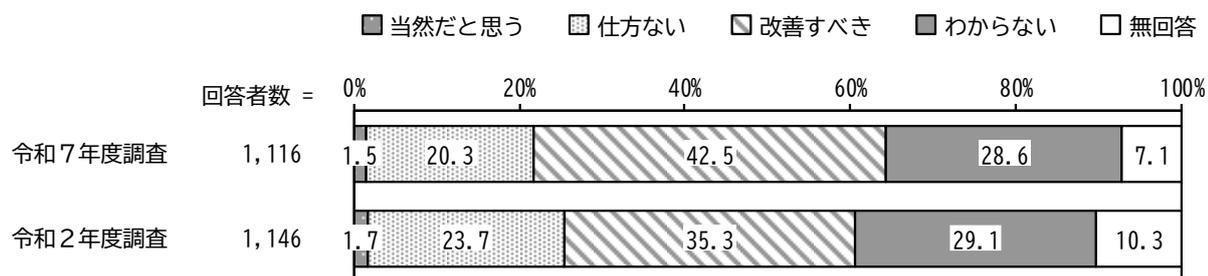
性・年齢別にみると、女性 60～69 歳で「仕方ない」、男性 50～59 歳で「改善すべき」の割合が高くなっています。



⑦ 自治区の組長などの登録は男性（夫）だが、実際は女性（妻）が出席することが多い

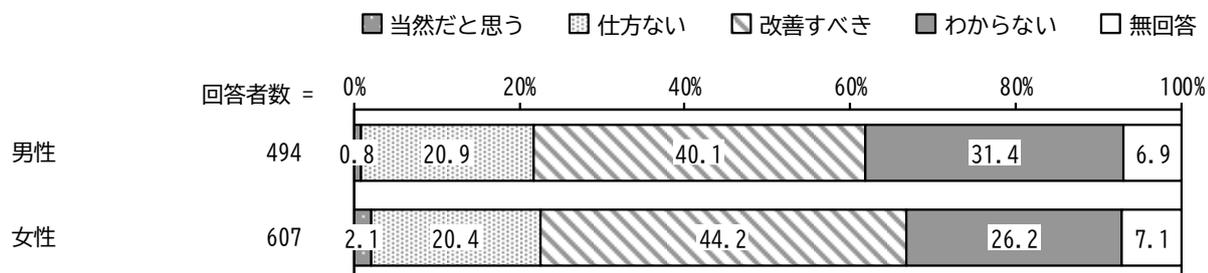
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「改善すべき」の割合が増加しています。



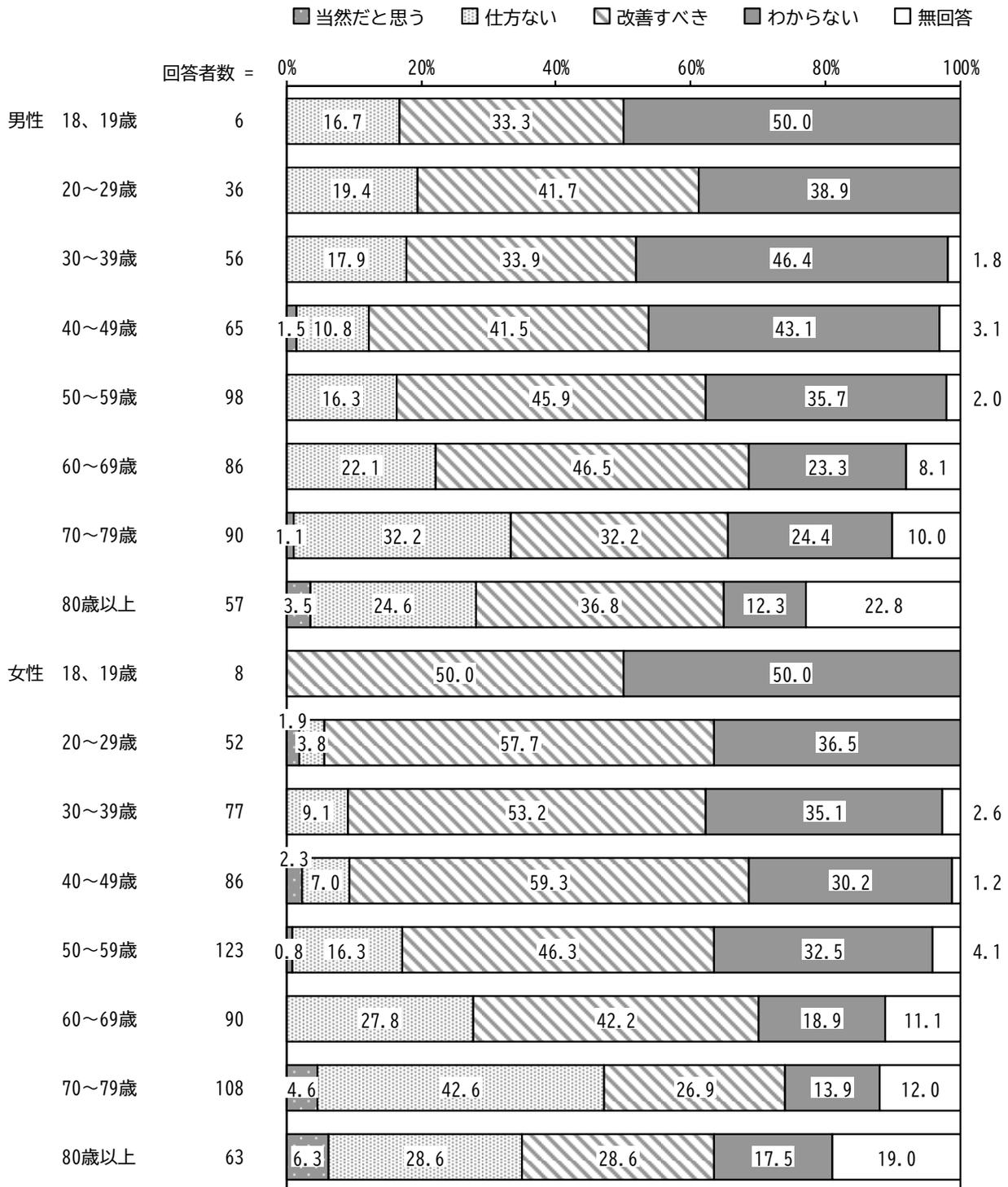
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

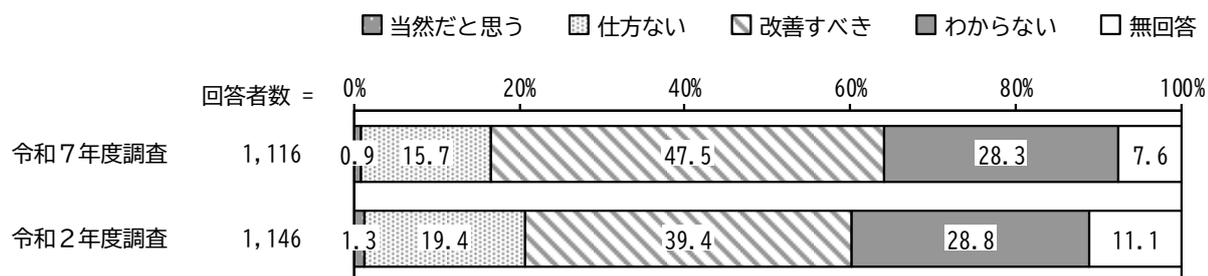
性・年齢別にみると、女性 70～79 歳で「仕方ない」、女性 20～29 歳、女性 40～49 歳で「改善すべき」の割合が高くなっています。



### ⑧ 実質的な活動はほとんど女性が参加する

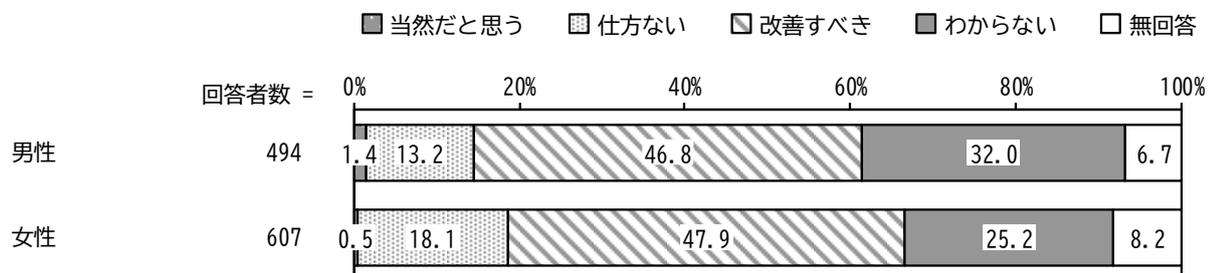
#### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「改善すべき」の割合が増加しています。



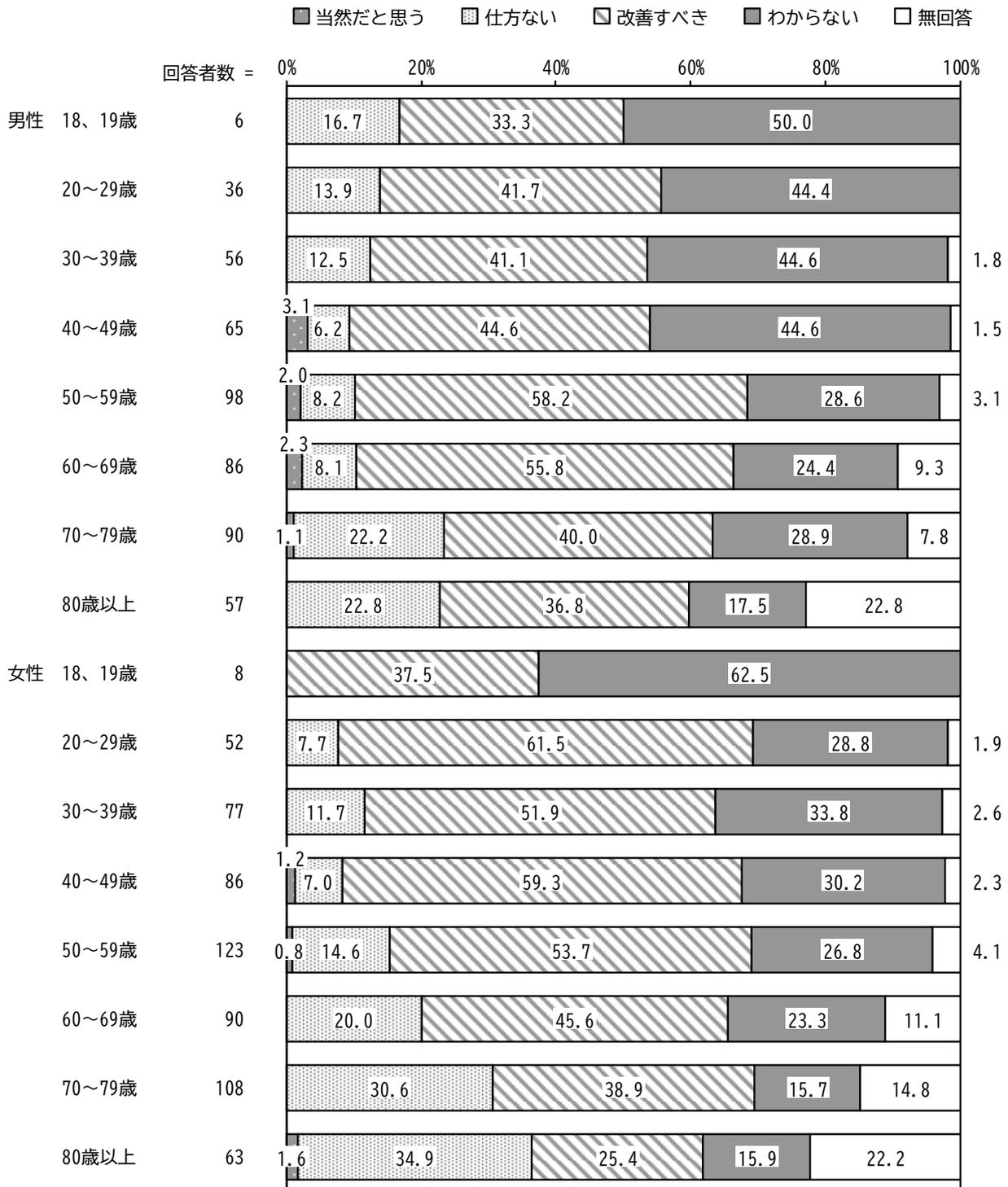
#### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



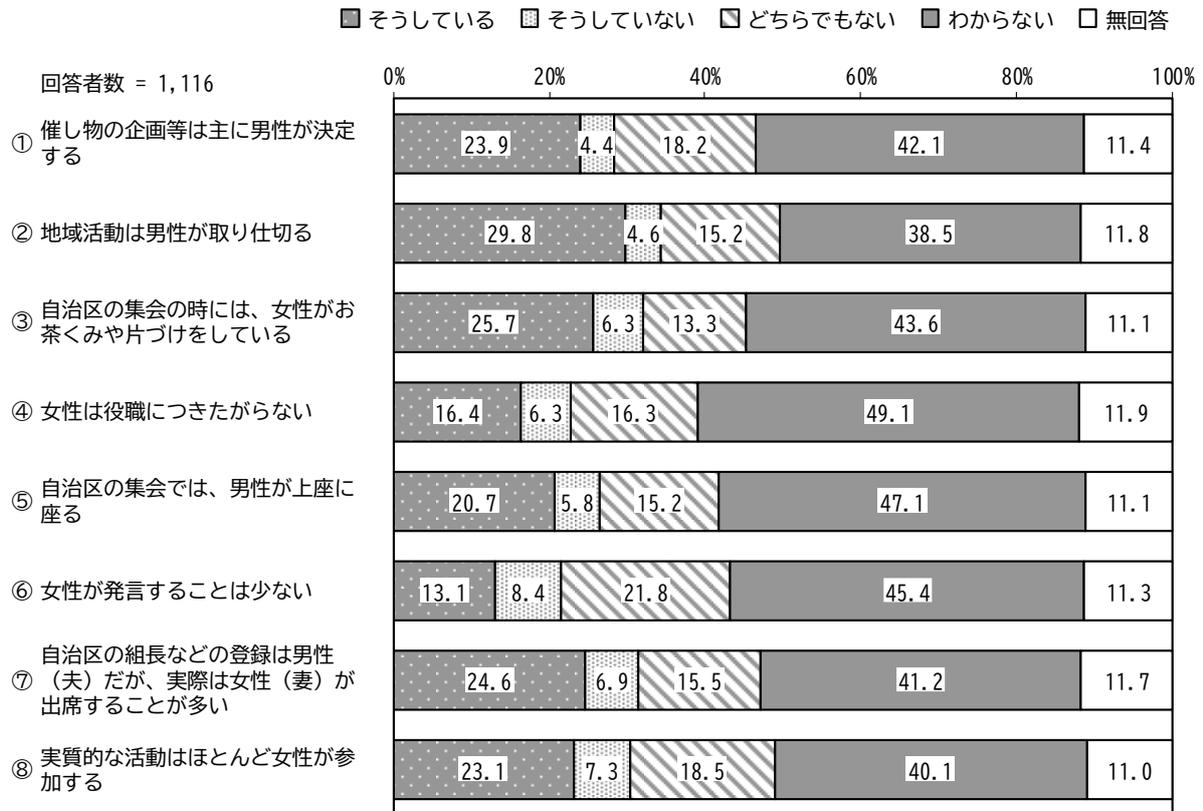
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 80 歳以上で「仕方ない」、女性 20～29 歳、女性 40～49 歳で「改善すべき」の割合が高くなっています。



## (2) 現状

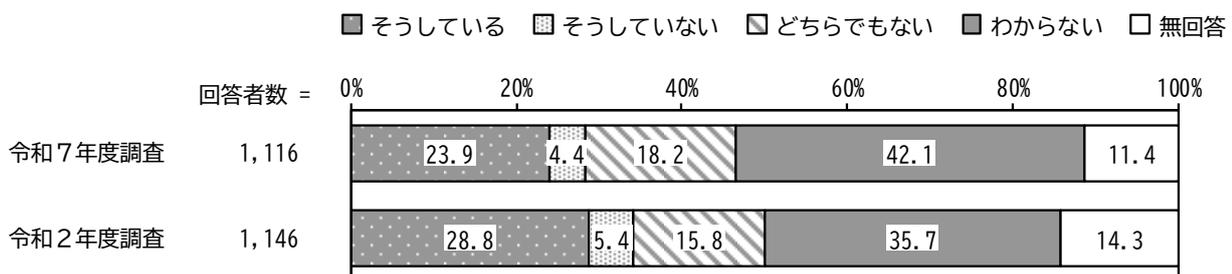
「そうしている」で『② 地域活動は男性が取り仕切る』が、「そうしていない」「どちらでもない」で『⑥ 女性が発言することは少ない』が高くなっています。



### ① 催し物の企画等は主に男性が決定する

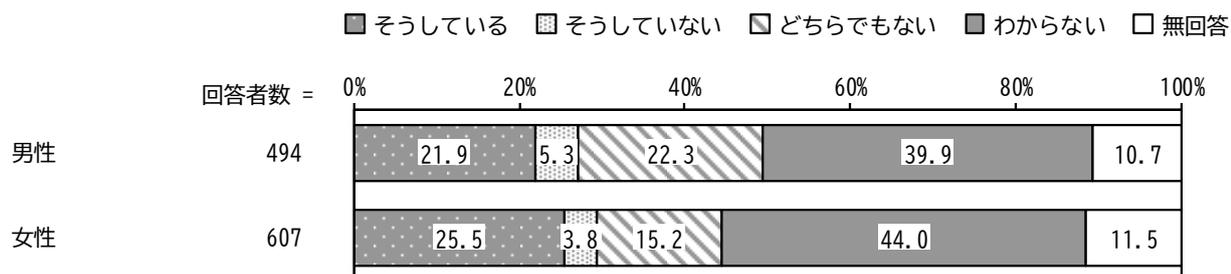
#### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



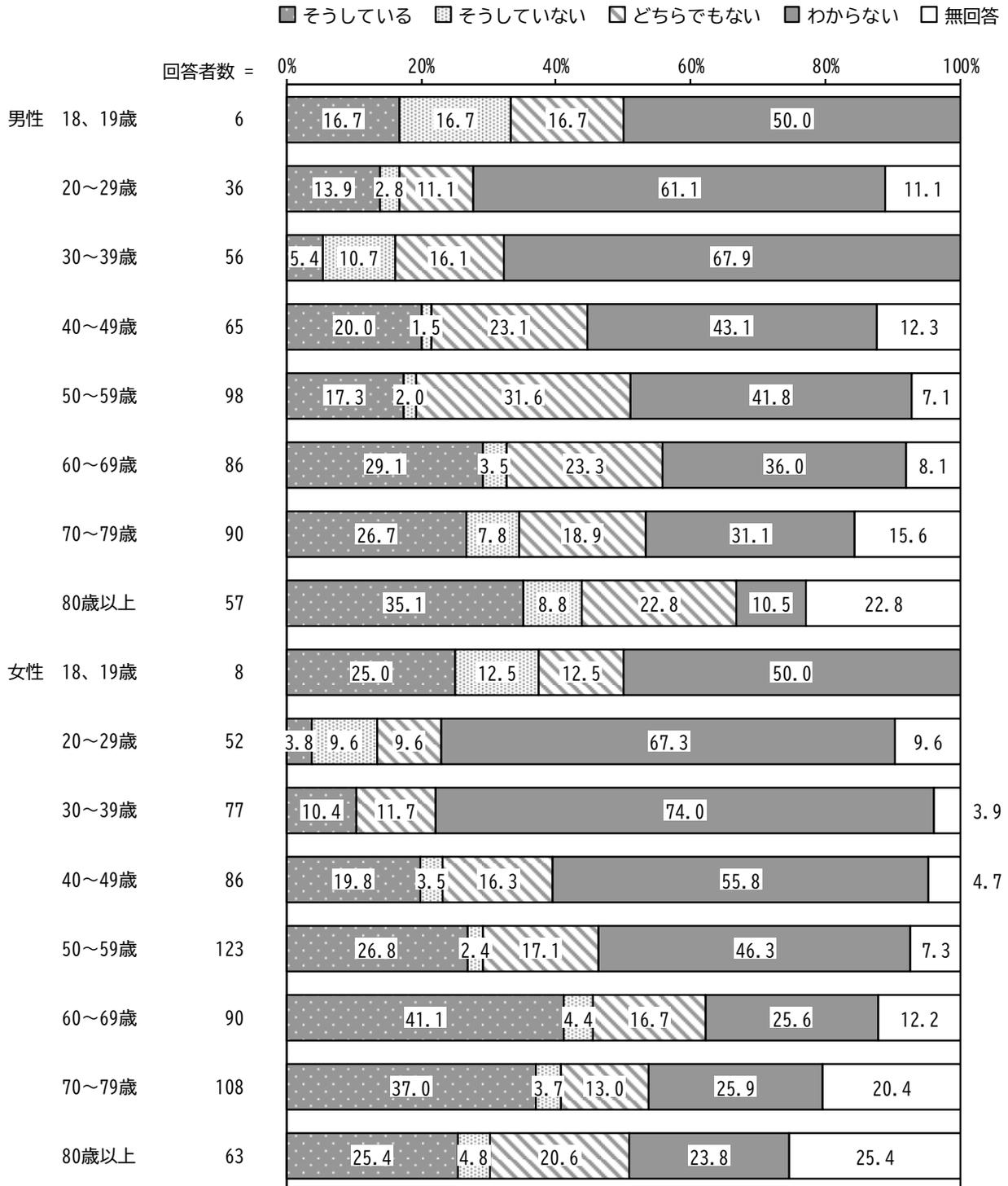
【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

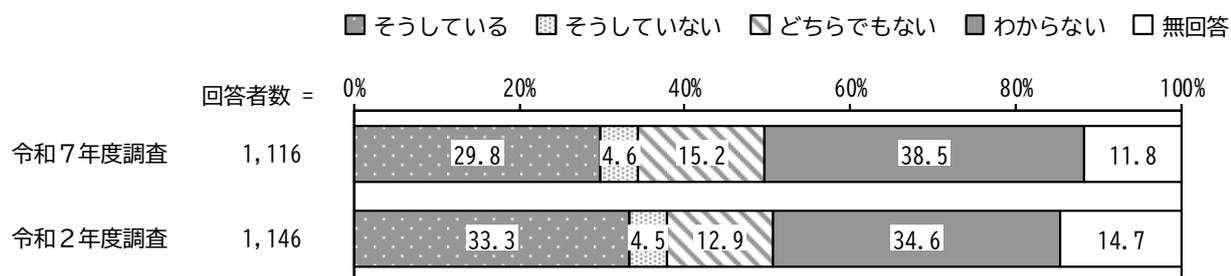
性・年齢別にみると、女性 60～69 歳で「そうしている」、男性 50～59 歳で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



## ② 地域活動は男性が取り仕切る

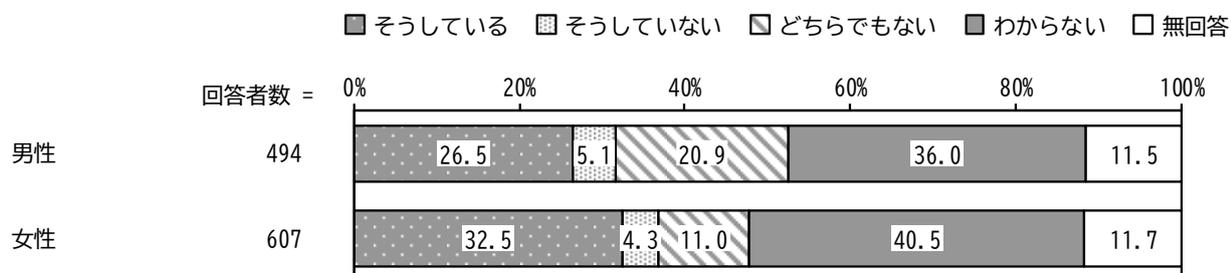
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



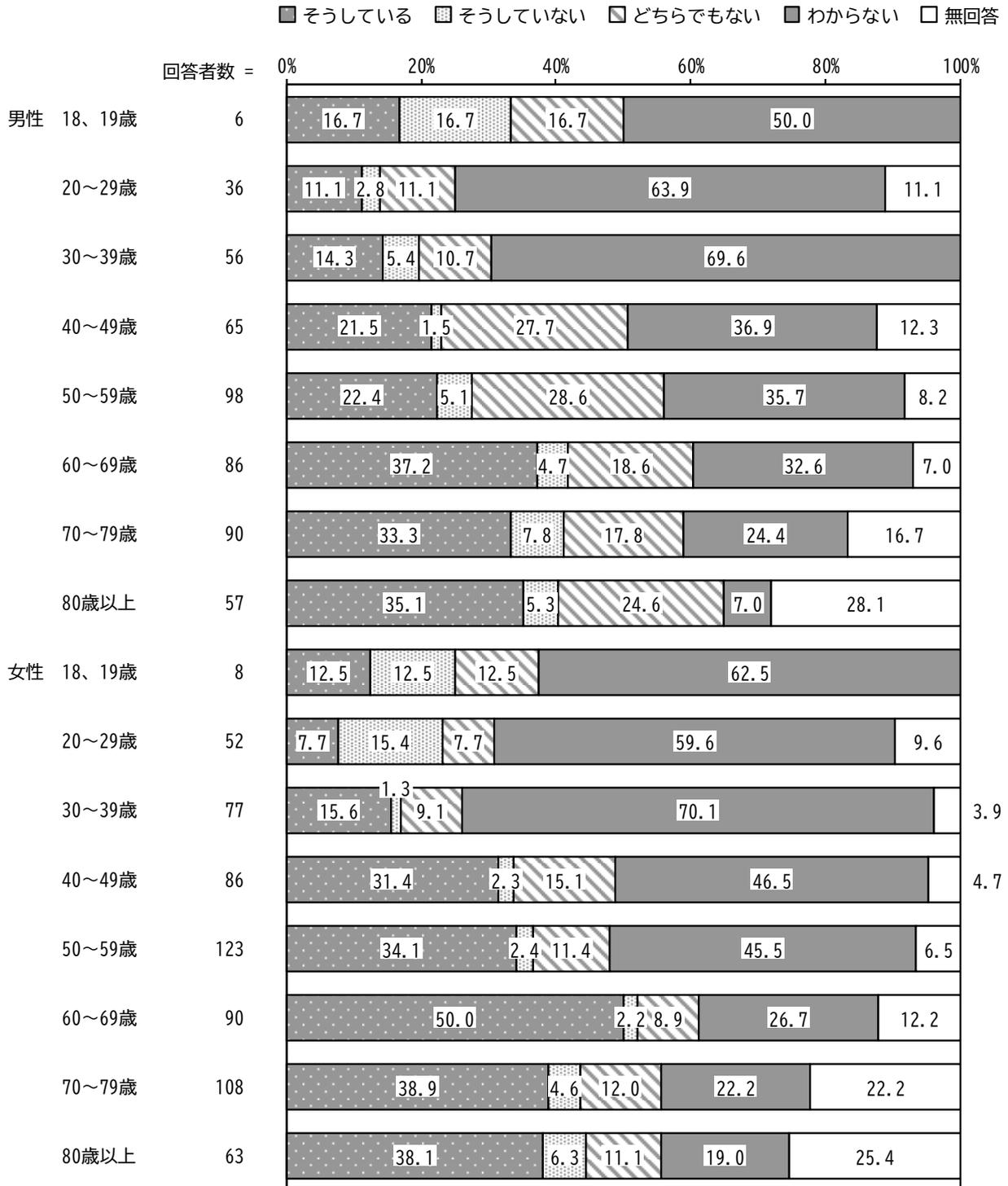
### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「どちらでもない」の割合が高く、男性と比較して女性で「そうしている」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

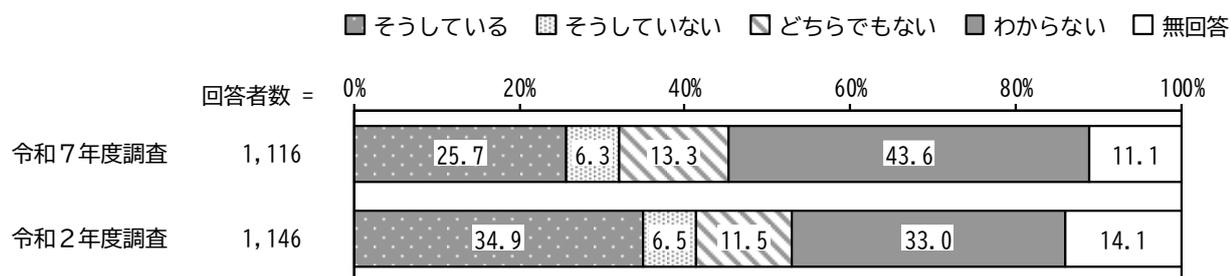
性・年齢別にみると、女性 60～69 歳で「そうしている」、女性 20～29 歳で「そうしていない」、男性 40～49 歳、男性 50～59 歳で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



### ③ 自治区の集会の時には、女性がお茶くみや片づけをしている

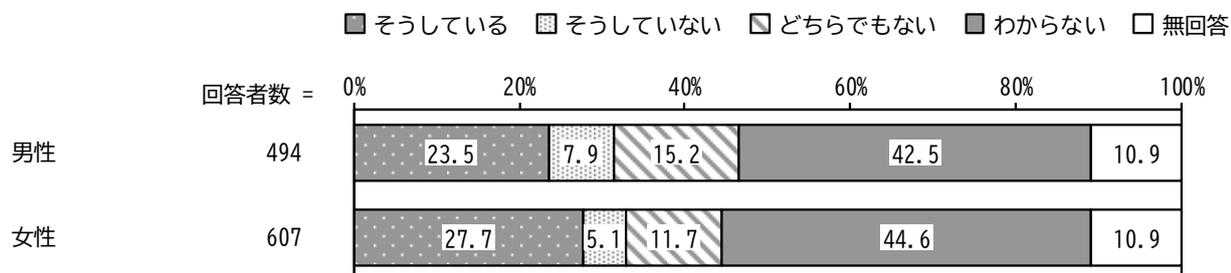
#### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「そうしている」の割合が減少しています。



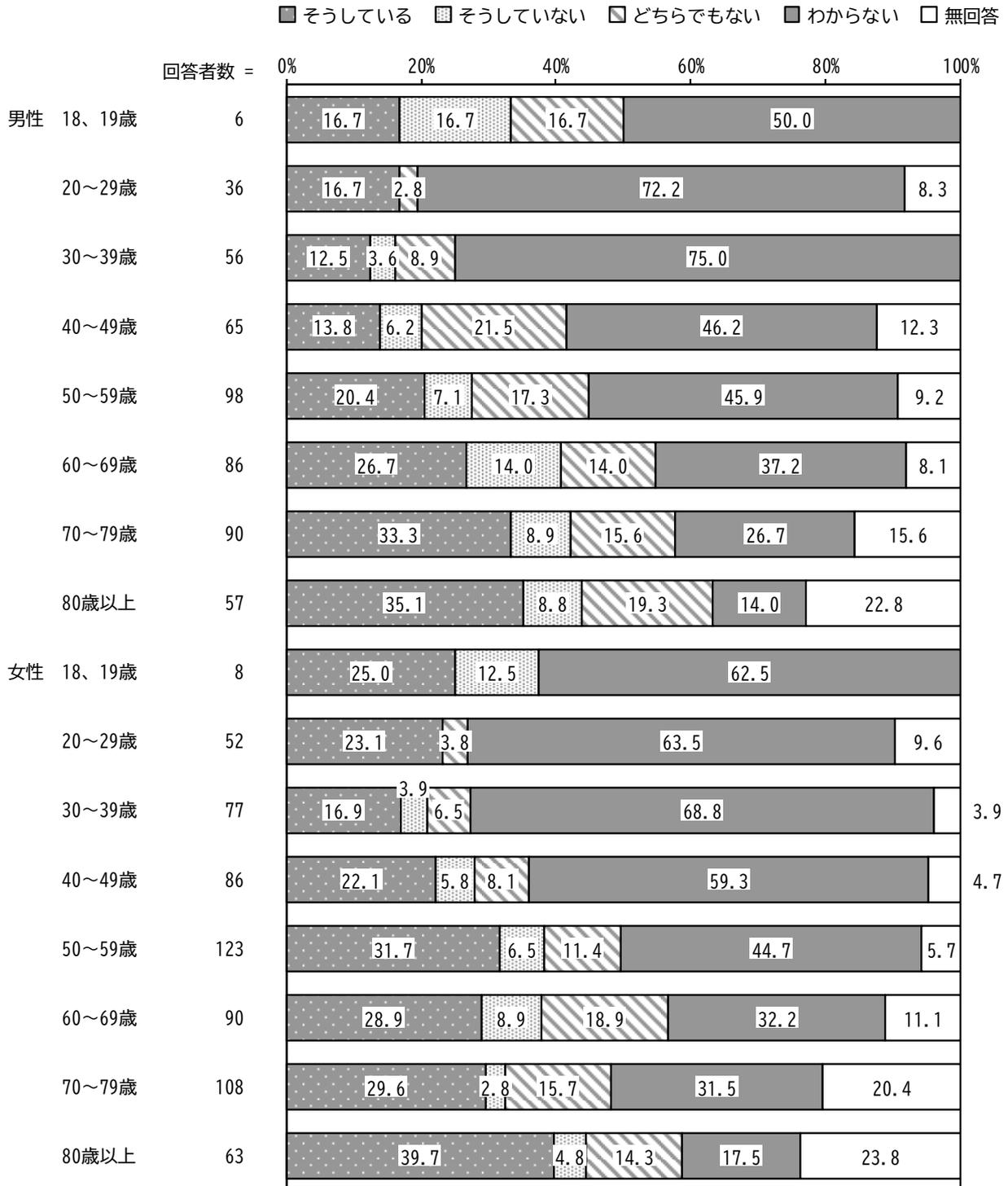
#### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

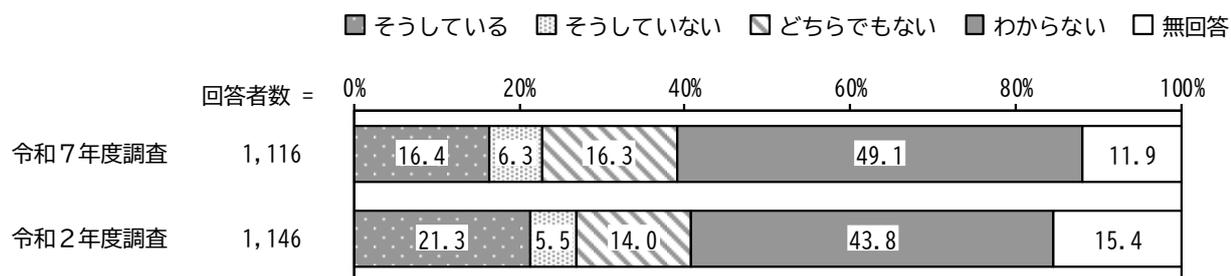
性・年齢別にみると、女性 80 歳以上で「そうしている」の割合が高く、男性 20～29 歳で「どちらでもない」の割合が低くなっています。



#### ④ 女性は役職につきたがらない

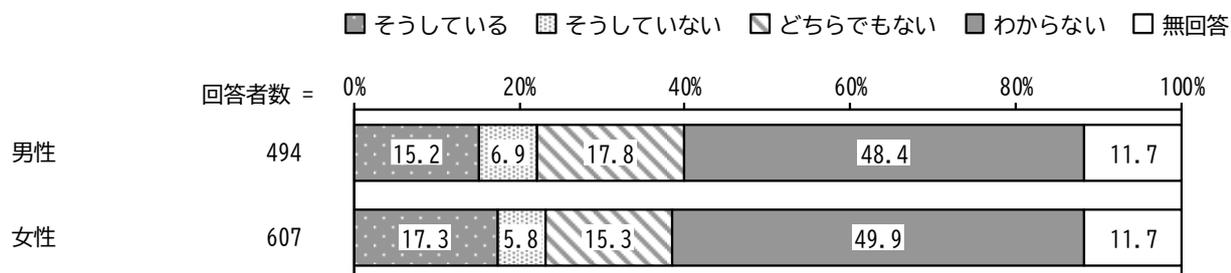
##### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



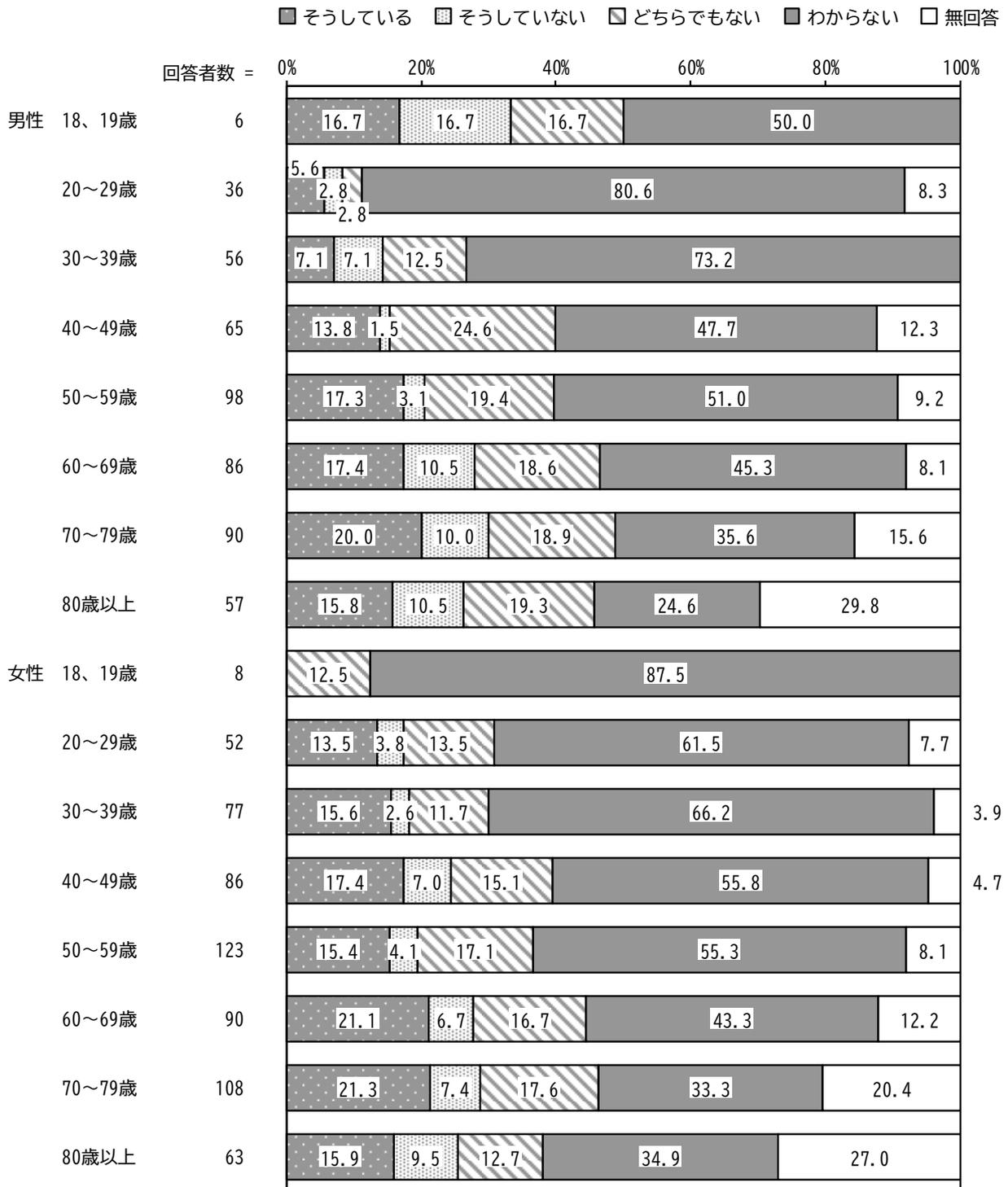
##### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

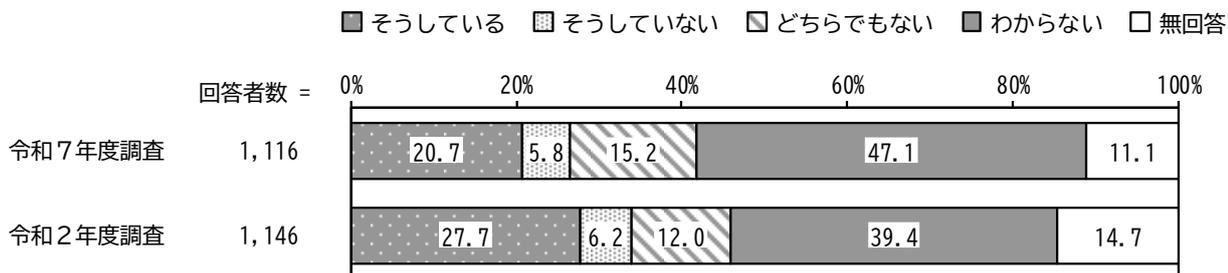
性・年齢別にみると、男性 20～29 歳で「そうしている」「どちらでもない」の割合が低くなっています。



⑤ 自治区の集会では、男性が上座に座る

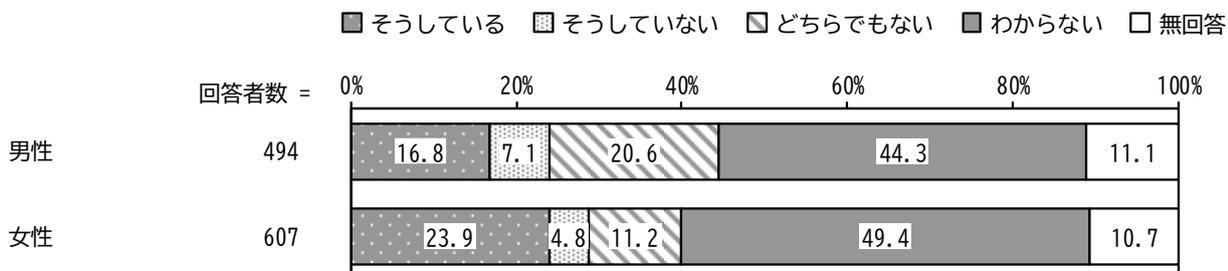
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「そうしている」の割合が減少しています。



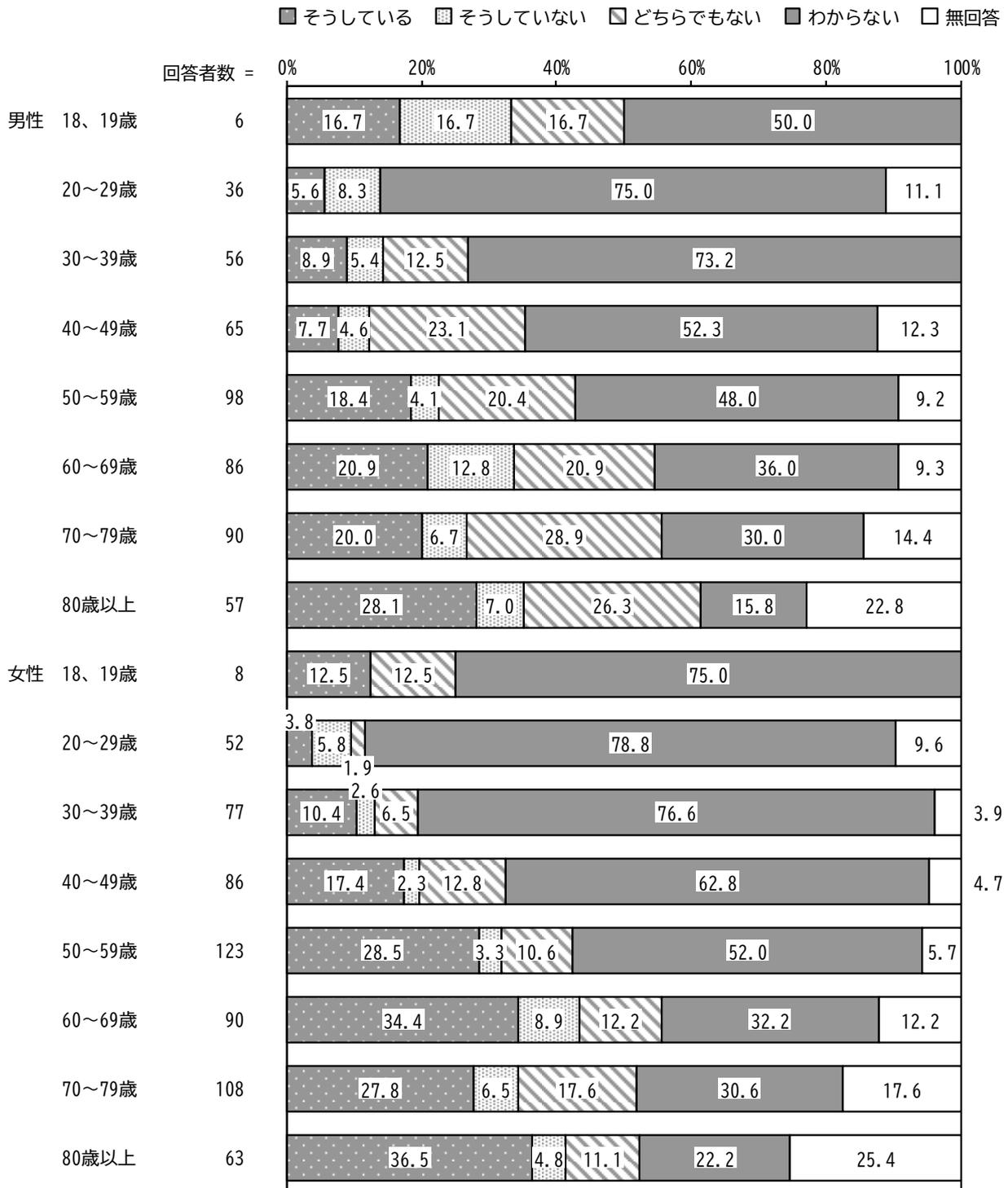
【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「どちらでもない」の割合が高く、男性と比較して女性で「そうしている」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

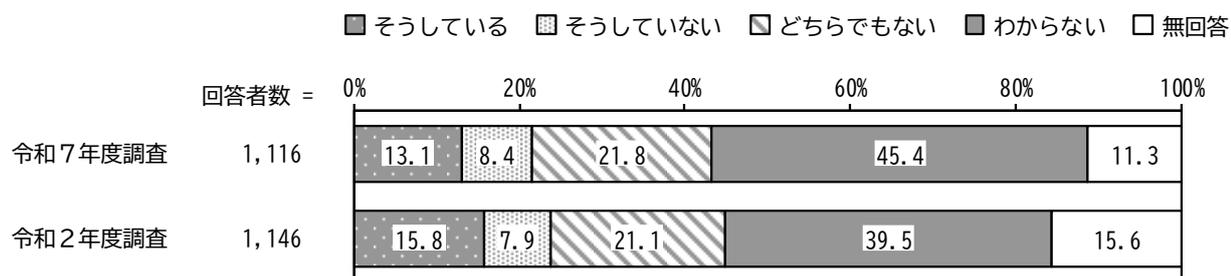
性・年齢別にみると、女性 60～69 歳、女性 80 歳以上で「そうしている」、男性 70～79 歳、男性 80 歳以上で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



## ⑥ 女性が発言することは少ない

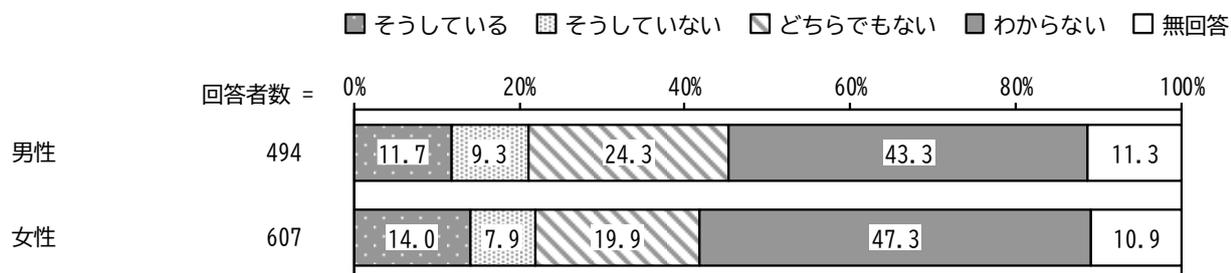
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



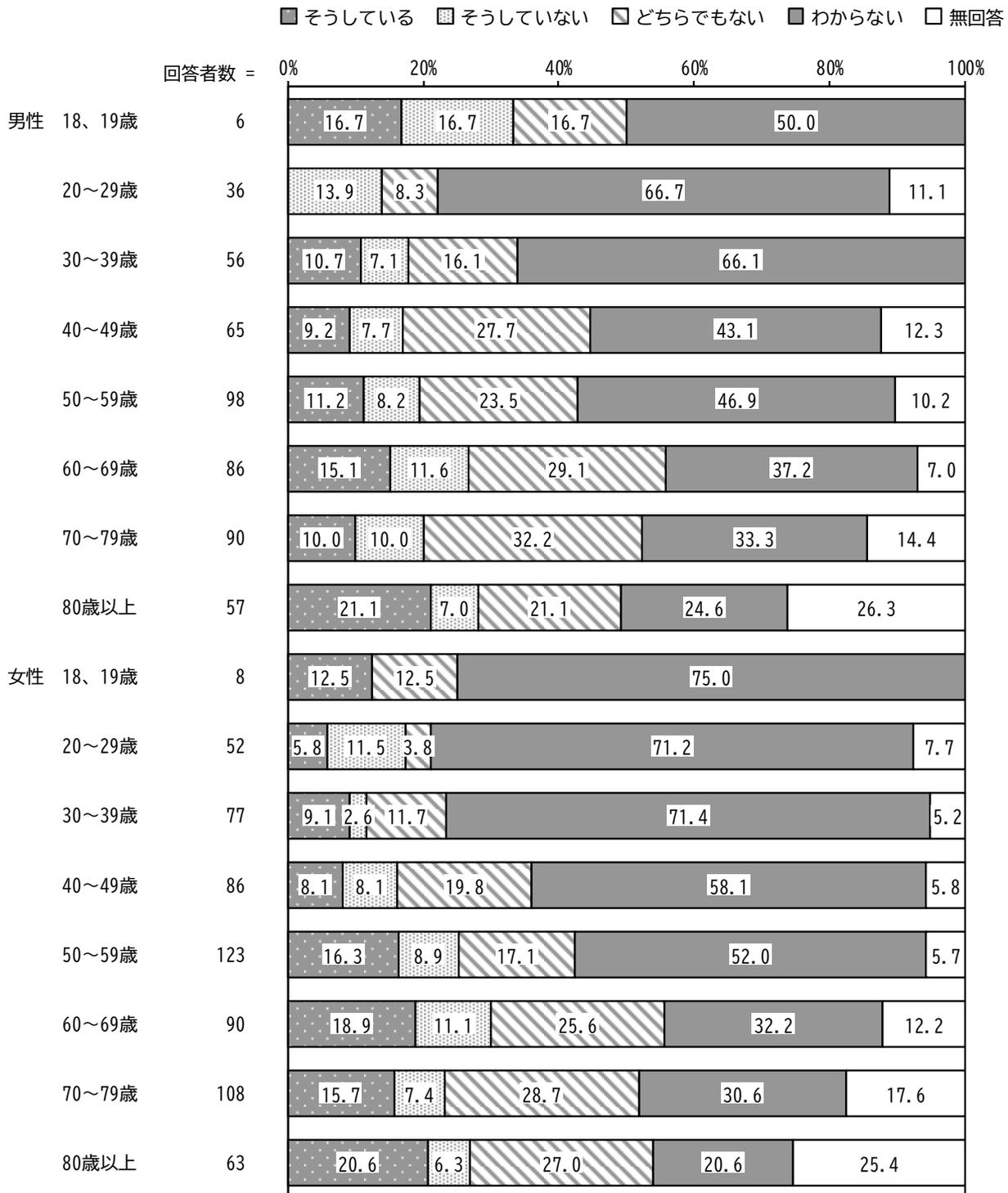
### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

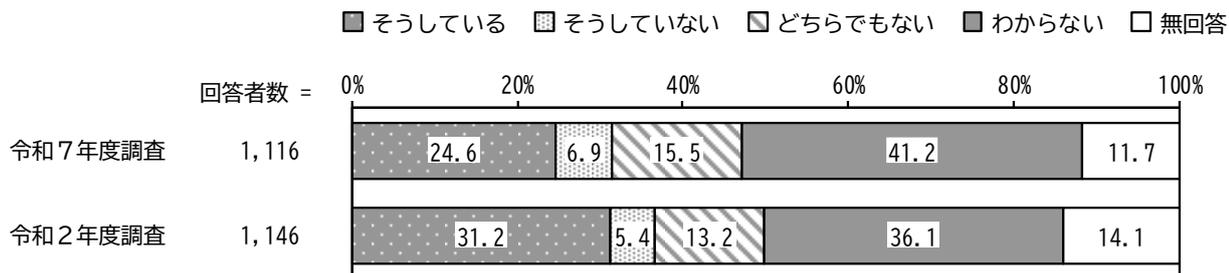
性・年齢別にみると、男性 80 歳以上、女性 60～69 歳、女性 80 歳以上で「そうしている」、男性 20～29 歳で「そうしていない」、男性 70～79 歳で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



⑦ 自治区の組長などの登録は男性（夫）だが、実際は女性（妻）が出席することが多い

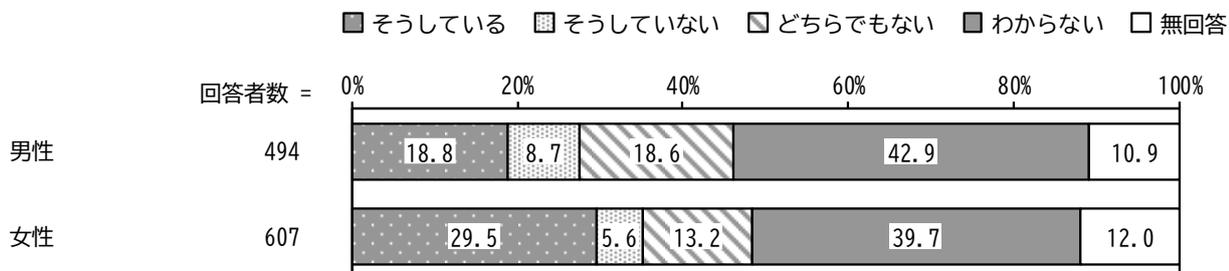
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「そうしている」の割合が減少しています。



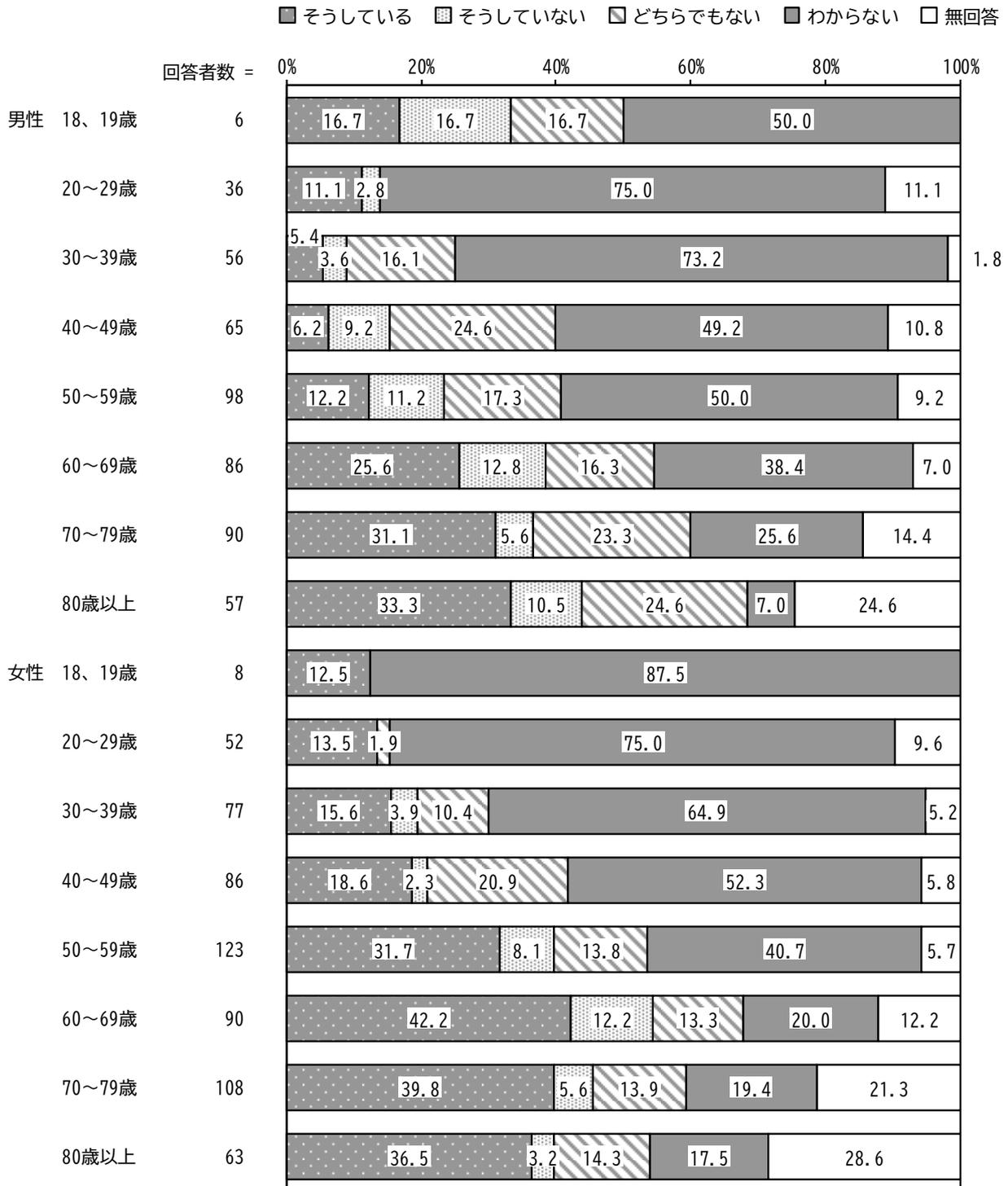
【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「どちらでもない」の割合が高く、男性と比較して女性で「そうしている」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

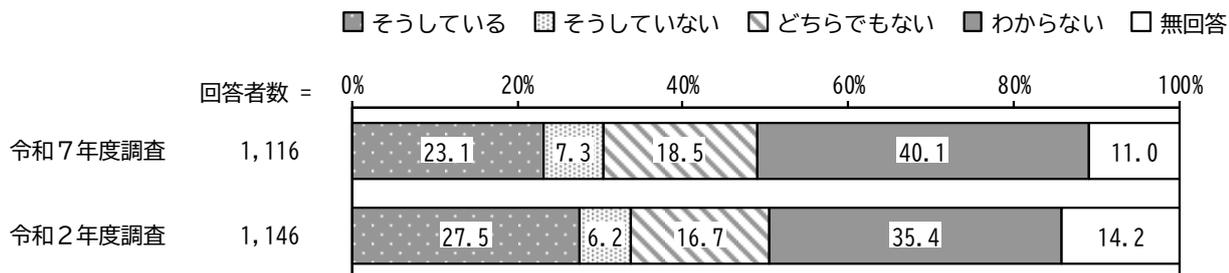
性・年齢別にみると、女性 60～69 歳、女性 70～79 歳で「そうしている」、男性 60～69 歳、女性 60～69 歳で「そうしていない」、男性 40～49 歳、男性 70～79 歳、男性 80 歳以上で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



⑧ 実質的な活動はほとんど女性が参加する

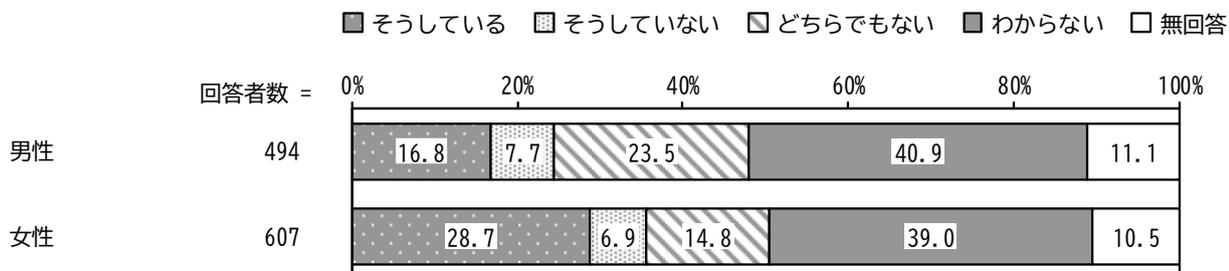
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



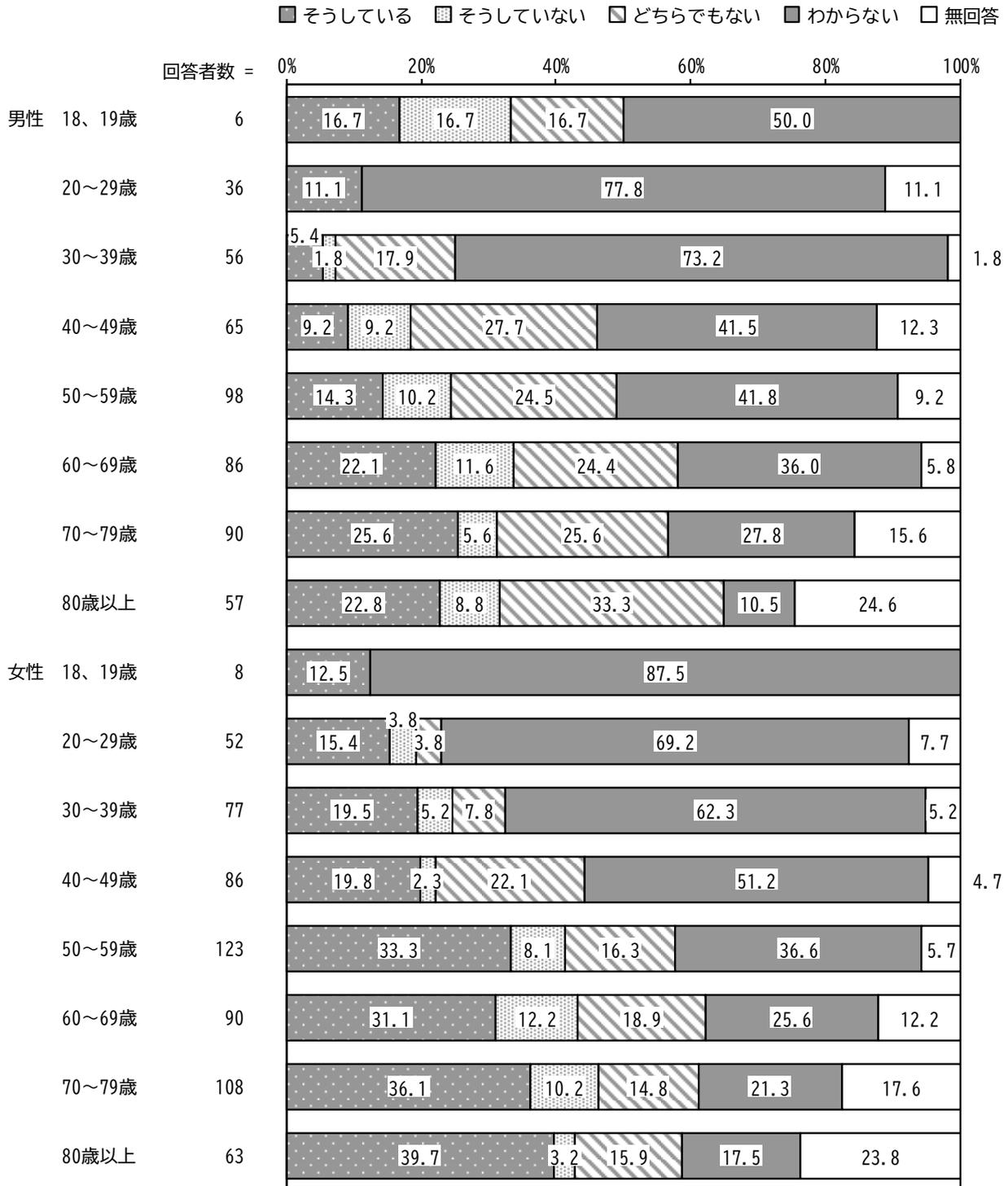
【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「どちらでもない」の割合が高く、男性と比較して女性で「そうしている」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

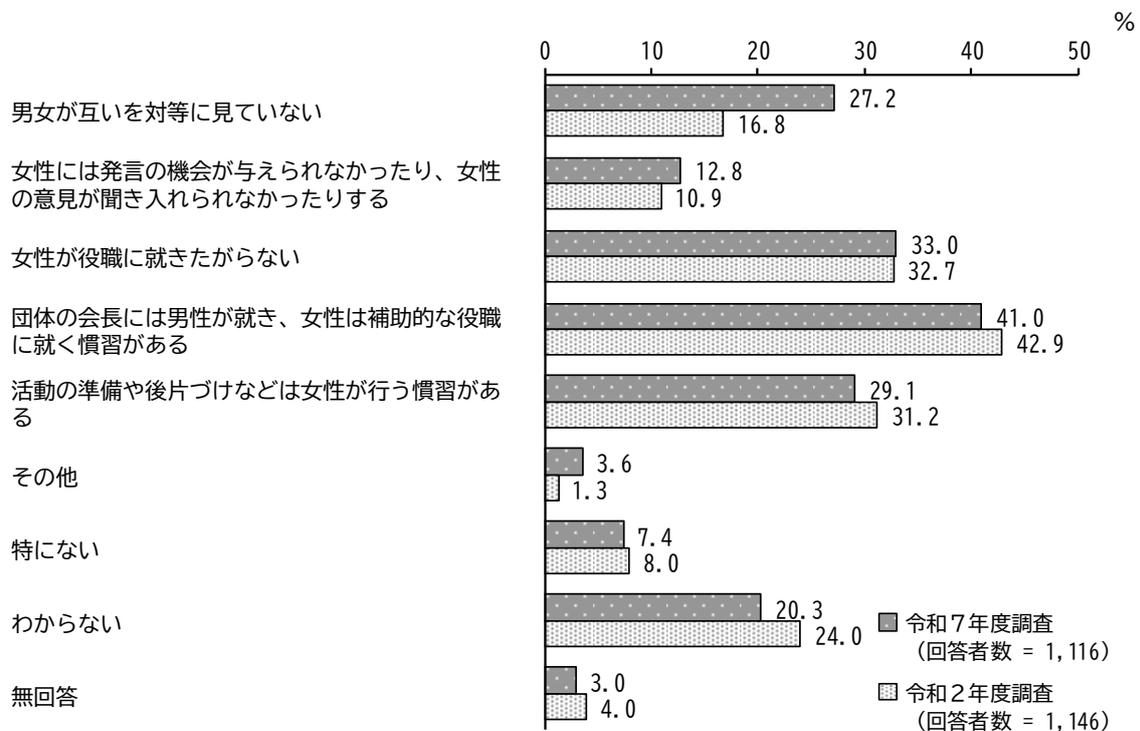
性・年齢別にみると、女性 80 歳以上で「そうしている」、男性 80 歳以上で「どちらでもない」の割合が高くなっています。



問6 あなたが地域活動における男女の役割分担などに差があると考えられることは何ですか。(〇印いくつでも)

「団体の会長には男性が就き、女性は補助的な役職に就く慣習がある」の割合が41.0%と最も高く、次いで「女性が役職に就きたがらない」の割合が33.0%、「活動の準備や後片づけなどは女性が行う慣習がある」の割合が29.1%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「男女が互いを対等に見ていない」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で「団体の会長には男性が就き、女性は補助的な役職に就く慣習がある」「活動の準備や後片づけなどは女性が行う慣習がある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	男女が互いを対等に見ていない	女性には発言の機会が与えられなかったり、女性の意見が聞き入れられなかったりする	女性が役職に就きたがらない	団体の会長には男性が就き、女性は補助的な役職に就く慣習がある
全体	1,116	27.2	12.8	33.0	41.0
男性	494	26.9	10.7	31.4	36.4
女性	607	26.9	14.7	34.4	44.6

区分	活動の準備や後片づけなどは女性が行う慣習がある	その他	特にない	わからない	無回答
全体	29.1	3.6	7.4	20.3	3.0
男性	21.9	4.7	8.1	20.0	3.0
女性	35.1	2.8	6.8	20.9	2.6

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 30～39 歳で「男女が互いを対等に見ていない」、男性 80 歳以上で「団体の会長には男性が就き、女性は補助的な役職に就く慣習がある」、女性 80 歳以上で「活動の準備や後片づけなどは女性が行う慣習がある」の割合が高くなっています。

単位：％

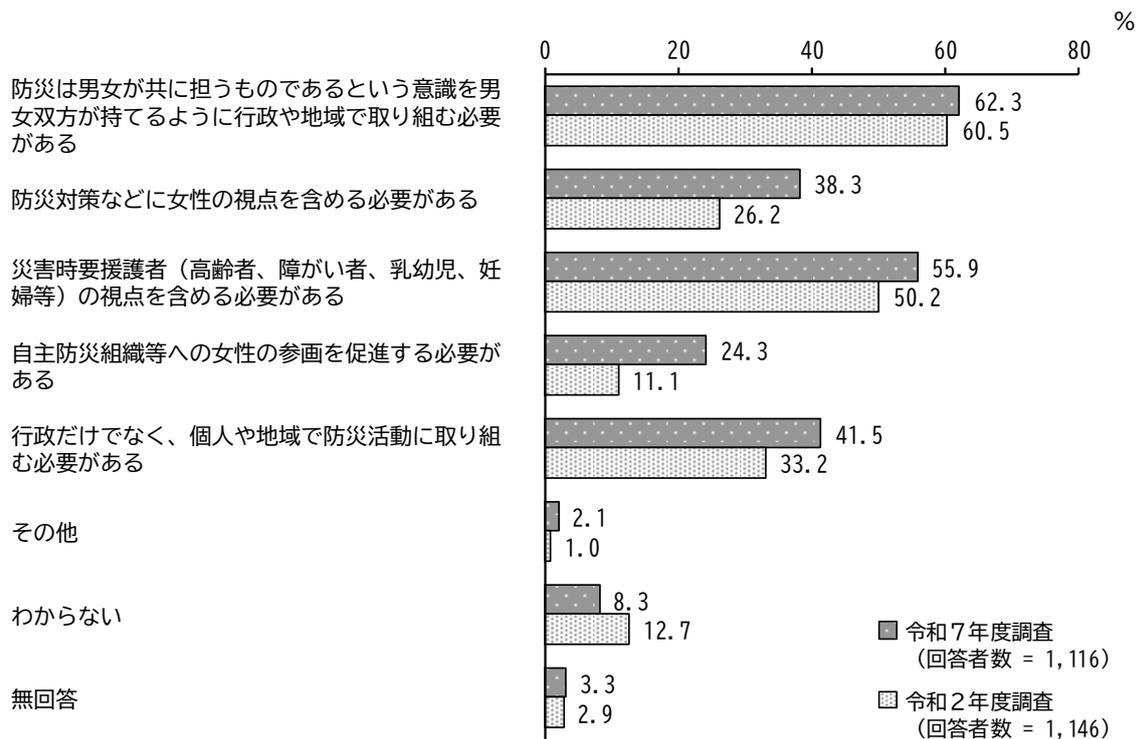
区分	回答者数 (件)	男女が互いを対等に見ていない	女性には発言の機会が与えられなかったり、女性の意見が聞き入れられなかったりする	女性が役職に就きたがらない	団体の会長には男性が就き、女性は補助的な役職に就く慣習がある
全体	1,116	27.2	12.8	33.0	41.0
男性 18、19歳	6	50.0	33.3	0.0	33.3
20～29歳	36	22.2	11.1	13.9	16.7
30～39歳	56	37.5	14.3	19.6	19.6
40～49歳	65	18.5	7.7	33.8	24.6
50～59歳	98	32.7	16.3	31.6	38.8
60～69歳	86	30.2	8.1	36.0	33.7
70～79歳	90	22.2	6.7	38.9	48.9
80歳以上	57	19.3	8.8	35.1	59.6
女性 18、19歳	8	37.5	62.5	50.0	25.0
20～29歳	52	30.8	21.2	25.0	34.6
30～39歳	77	27.3	18.2	27.3	33.8
40～49歳	86	26.7	11.6	32.6	38.4
50～59歳	123	34.1	10.6	39.0	49.6
60～69歳	90	22.2	16.7	30.0	45.6
70～79歳	108	21.3	10.2	38.0	53.7
80歳以上	63	23.8	15.9	42.9	50.8

区分	活動の準備や後片づけなどは女性が行う慣習がある	その他	特にない	わからない	無回答
全体	29.1	3.6	7.4	20.3	3.0
男性 18、19歳	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
20～29歳	8.3	2.8	0.0	47.2	2.8
30～39歳	12.5	5.4	5.4	33.9	0.0
40～49歳	23.1	13.8	10.8	21.5	1.5
50～59歳	29.6	4.1	6.1	17.3	1.0
60～69歳	17.4	4.7	7.0	15.1	5.8
70～79歳	21.1	1.1	12.2	15.6	3.3
80歳以上	31.6	1.8	12.3	5.3	7.0
女性 18、19歳	50.0	0.0	0.0	12.5	0.0
20～29歳	34.6	0.0	3.8	26.9	0.0
30～39歳	33.8	3.9	5.2	31.2	0.0
40～49歳	39.5	0.0	8.1	24.4	1.2
50～59歳	33.3	5.7	4.9	22.0	0.8
60～69歳	32.2	2.2	8.9	18.9	5.6
70～79歳	30.6	2.8	9.3	13.9	2.8
80歳以上	44.4	3.2	6.3	12.7	9.5

問7 地域の防災（災害対策）活動を推進するにあたり、あなたはどのようにお考えですか。  
（○印いくつでも）

「防災は男女が共に担うものであるという意識を男女双方が持てるように行政や地域で取り組む必要がある」の割合が62.3%と最も高く、次いで「災害時要援護者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦等）の視点を含める必要がある」の割合が55.9%、「行政だけでなく、個人や地域で防災活動に取り組む必要がある」の割合が41.5%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「防災対策などに女性の視点を含める必要がある」「災害時要援護者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦等）の視点を含める必要がある」「自主防災組織等への女性の参画を促進する必要がある」「行政だけでなく、個人や地域で防災活動に取り組む必要がある」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「自主防災組織等への女性の参画を促進する必要がある」の割合が高く、男性と比較して女性で「災害時要援護者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦等）の視点を含める必要がある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	防災は男女が共に担うものであるという意識を男女双方が持てるように行政や地域で取り組む必要がある	防災対策などに女性の視点を含める必要がある	災害時要援護者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦等）の視点を含める必要がある	自主防災組織等への女性の参画を促進する必要がある	行政だけでなく、個人や地域で防災活動に取り組む必要がある	その他	わからない	無回答
全体	1,116	62.3	38.3	55.9	24.3	41.5	2.1	8.3	3.3
男性	494	62.6	38.1	49.8	27.1	39.1	2.6	8.1	3.8
女性	607	62.4	38.4	60.5	21.7	43.2	1.6	8.7	2.6

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 20～29 歳で「防災は男女が共に担うものであるという意識を男女双方が持てるように行政や地域で取り組む必要がある」、男性 40～49 歳、女性 30～39 歳で「防災対策などに女性の視点を含める必要がある」、女性 50～59 歳で「災害時要援護者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦等）の視点を含める必要がある」、男性 80 歳以上で「自主防災組織等への女性の参画を促進する必要がある」の割合が高くなっています。

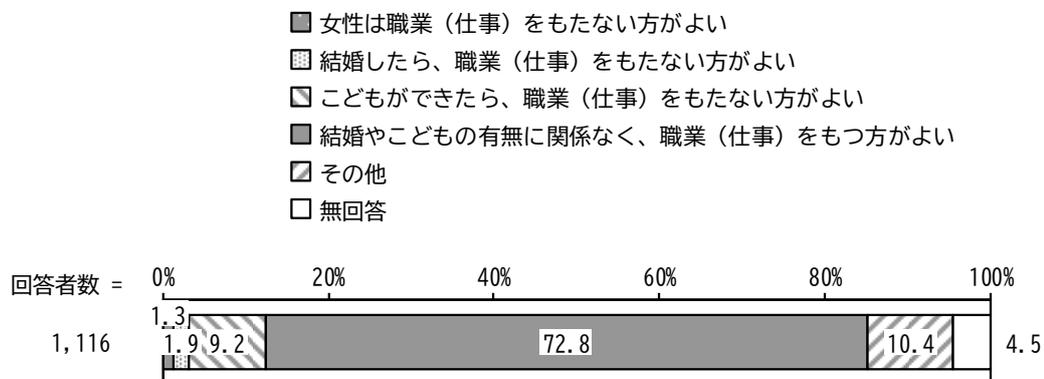
単位：％

区分	回答者数（件）	防災は男女が共に担うものであるという意識を男女双方が持てるように行政や地域で取り組む必要がある	防災対策などに女性の視点を含める必要がある	災害時要援護者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦等）の視点を含める必要がある	自主防災組織等への女性の参画を促進する必要がある	行政だけでなく、個人や地域で防災活動に取り組む必要がある	その他	わからない	無回答
全体	1,116	62.3	38.3	55.9	24.3	41.5	2.1	8.3	3.3
男性 18、19歳	6	83.3	50.0	66.7	50.0	66.7	0.0	16.7	0.0
20～29歳	36	58.3	16.7	22.2	11.1	36.1	0.0	19.4	5.6
30～39歳	56	58.9	32.1	35.7	12.5	28.6	3.6	8.9	0.0
40～49歳	65	63.1	56.9	60.0	32.3	44.6	4.6	7.7	0.0
50～59歳	98	53.1	45.9	56.1	27.6	32.7	3.1	9.2	2.0
60～69歳	86	66.3	39.5	61.6	30.2	38.4	3.5	4.7	3.5
70～79歳	90	68.9	30.0	44.4	25.6	43.3	1.1	6.7	5.6
80歳以上	57	66.7	31.6	47.4	40.4	47.4	1.8	5.3	12.3
女性 18、19歳	8	75.0	37.5	75.0	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0
20～29歳	52	73.1	42.3	59.6	17.3	38.5	0.0	9.6	0.0
30～39歳	77	62.3	58.4	63.6	20.8	41.6	3.9	7.8	0.0
40～49歳	86	59.3	46.5	61.6	24.4	45.3	1.2	8.1	1.2
50～59歳	123	58.5	36.6	65.9	26.0	39.0	0.0	9.8	2.4
60～69歳	90	65.6	40.0	65.6	18.9	45.6	4.4	7.8	1.1
70～79歳	108	63.0	22.2	49.1	20.4	45.4	0.9	10.2	3.7
80歳以上	63	58.7	28.6	55.6	22.2	47.6	1.6	7.9	11.1

## (4) 女性活躍推進について

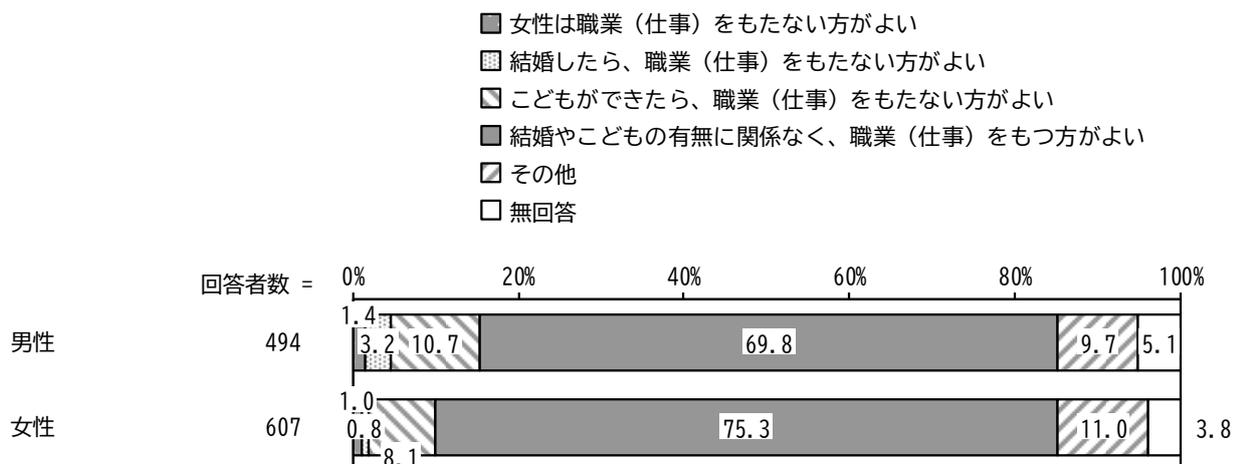
### 問8 女性が職業（仕事）をもつことについて、どう思いますか。（○印1つ）

「結婚や子どもの有無に関係なく、職業（仕事）をもつ方がよい」の割合が 72.8%と最も高くなっています。



#### 【性別】

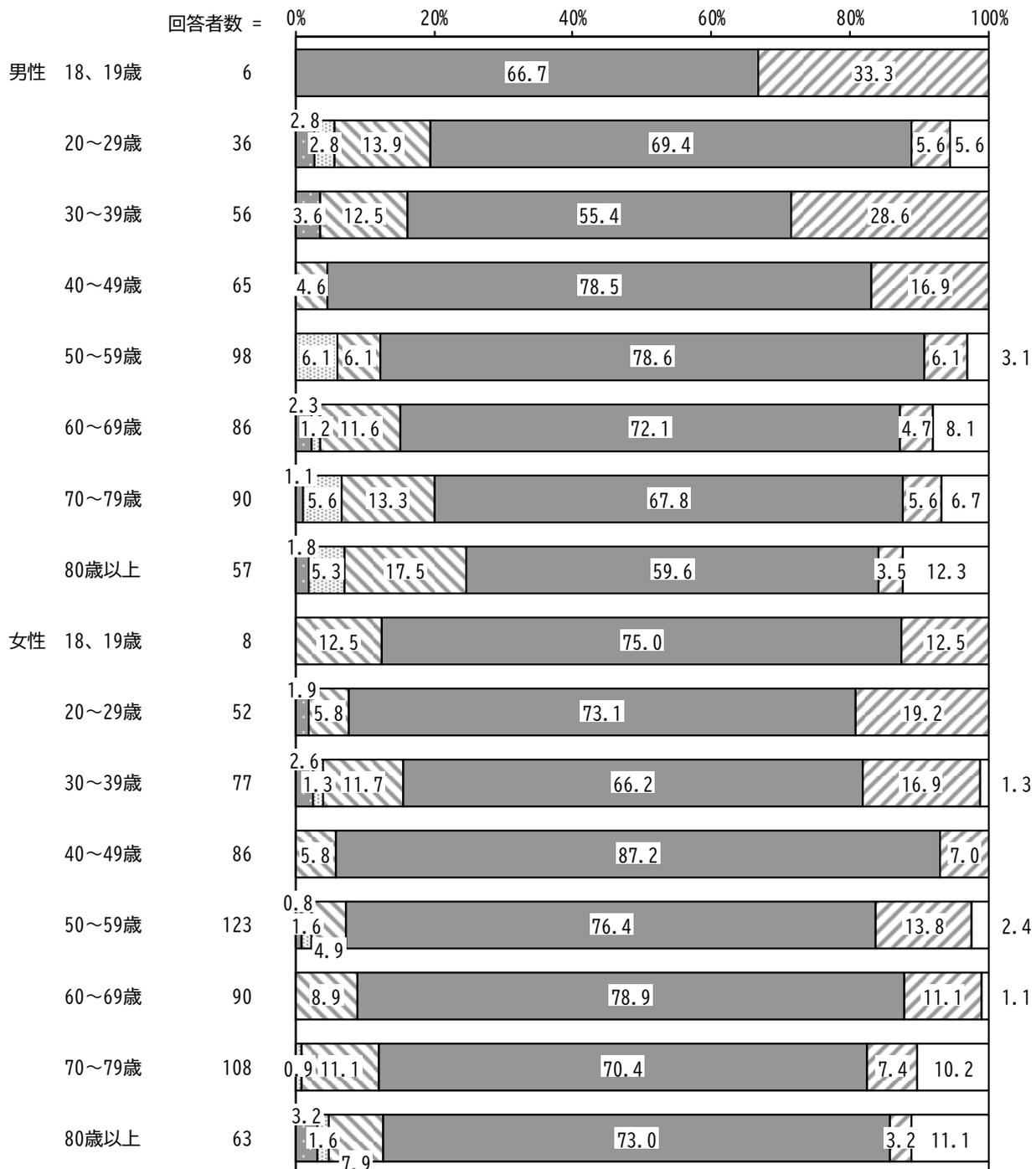
性別にみると、男性と比較して女性で「結婚や子どもの有無に関係なく、職業（仕事）をもつ方がよい」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 80 歳以上で「こどもができたら、職業（仕事）をもたない方がよい」、女性 40～49 歳で「結婚やこどもの有無に関係なく、職業（仕事）をもつ方がよい」の割合が高くなっています。

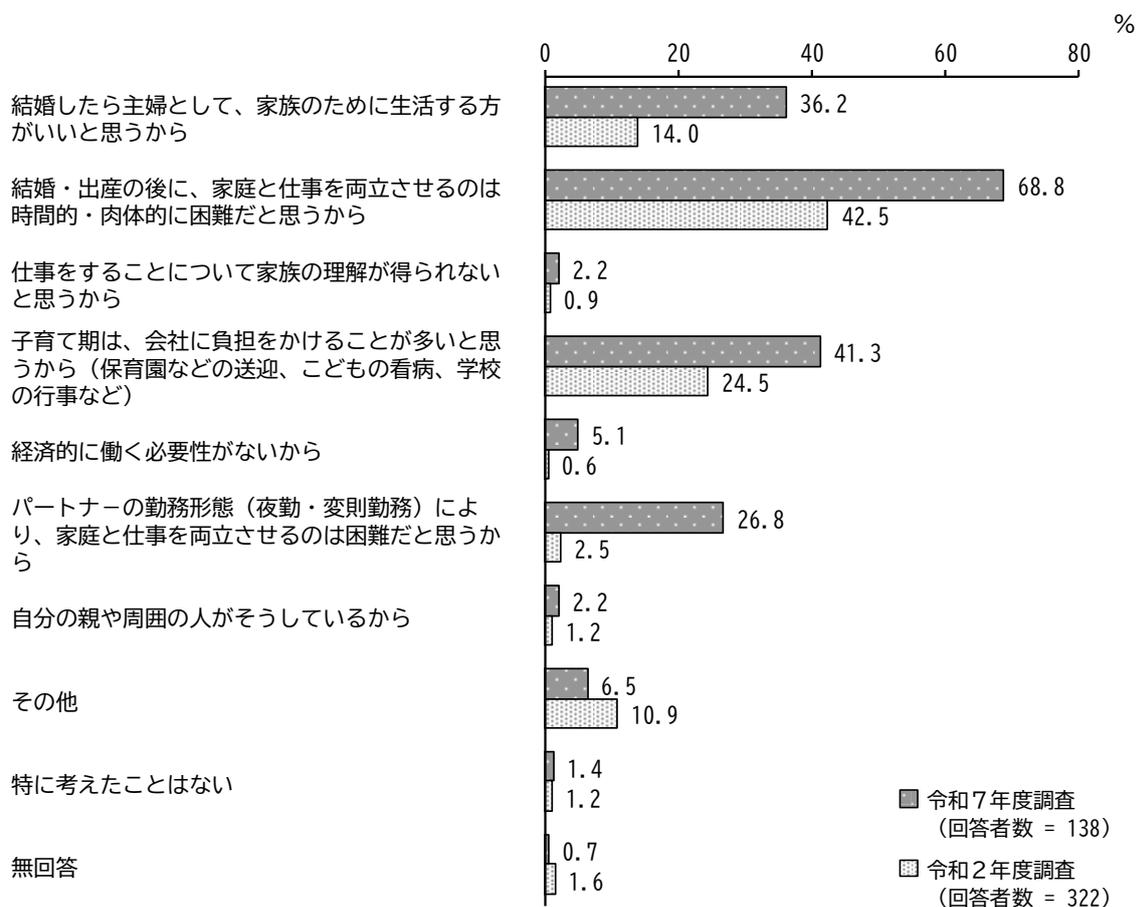
- 女性は職業（仕事）をもたない方がよい
- ▨ 結婚したら、職業（仕事）をもたない方がよい
- ▩ こどもができたら、職業（仕事）をもたない方がよい
- 結婚やこどもの有無に関係なく、職業（仕事）をもつ方がよい
- ▨ その他
- 無回答



問9 (問8で「女性は職業(仕事)をもたない方がよい」～「子どもができれば、職業(仕事)をもたない方がよい」と回答した方におたずねします) 職業(仕事)をもたない方がよいと考える理由は何ですか。(〇印いくつでも)

「結婚・出産の後に、家庭と仕事を両立させるのは時間的・肉体的に困難だと思うから」の割合が68.8%と最も高く、次いで「子育て期は、会社に負担をかけることが多いと思うから(保育園などの送迎、こどもの看病、学校の行事など)」の割合が41.3%、「結婚したら主婦として、家族のために生活する方がいいと思うから」の割合が36.2%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「結婚したら主婦として、家族のために生活する方がいいと思うから」「結婚・出産の後に、家庭と仕事を両立させるのは時間的・肉体的に困難だと思うから」「子育て期は、会社に負担をかけることが多いと思うから(保育園などの送迎、こどもの看病、学校の行事など)」「パートナーの勤務形態(夜勤・変則勤務)により、家庭と仕事を両立させるのは困難だと思うから」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「結婚したら主婦として、家族のために生活する方がいいと思うから」の割合が高く、男性と比較して女性で「結婚・出産の後に、家庭と仕事を両立させるのは時間的・肉体的に困難だと思うから」「子育て期は、会社に負担をかけることが多いと思うから（保育園などの送迎、こどもの看病、学校の行事など）」「パートナーの勤務形態（夜勤・変則勤務）により、家庭と仕事を両立させるのは困難だと思うから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	結婚したら主婦として、家族のために生活する方がいいと思うから	結婚・出産の後に、家庭と仕事を両立させるのは時間的・肉体的に困難だと思うから	仕事をすることについて家族の理解が得られないと思うから	子育て期は、会社に負担をかけることが多いと思うから（保育園などの送迎、こどもの看病、学校の行事など）	経済的に働く必要性がないから
全体	138	36.2	68.8	2.2	41.3	5.1
男性	76	44.7	63.2	2.6	36.8	6.6
女性	60	26.7	76.7	1.7	48.3	3.3

区分	パートナーの勤務形態（夜勤・変則勤務）により、家庭と仕事を両立させるのは困難だと思うから	自分の親や周囲の人がそうしているから	その他	特に考えたことはない	無回答
全体	26.8	2.2	6.5	1.4	0.7
男性	25.0	2.6	3.9	1.3	0.0
女性	30.0	1.7	10.0	0.0	1.7

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 70～79 歳で「結婚したら主婦として、家族のために生活する方がいいと思うから」「結婚・出産の後に、家庭と仕事を両立させるのは時間的・肉体的に困難だと思うから」、男性 60～69 歳で「経済的に働く必要性がないから」、男性 80 歳以上で「パートナーの勤務形態（夜勤・変則勤務）により、家庭と仕事を両立させるのは困難だと思うから」の割合が高くなっています。

単位：%

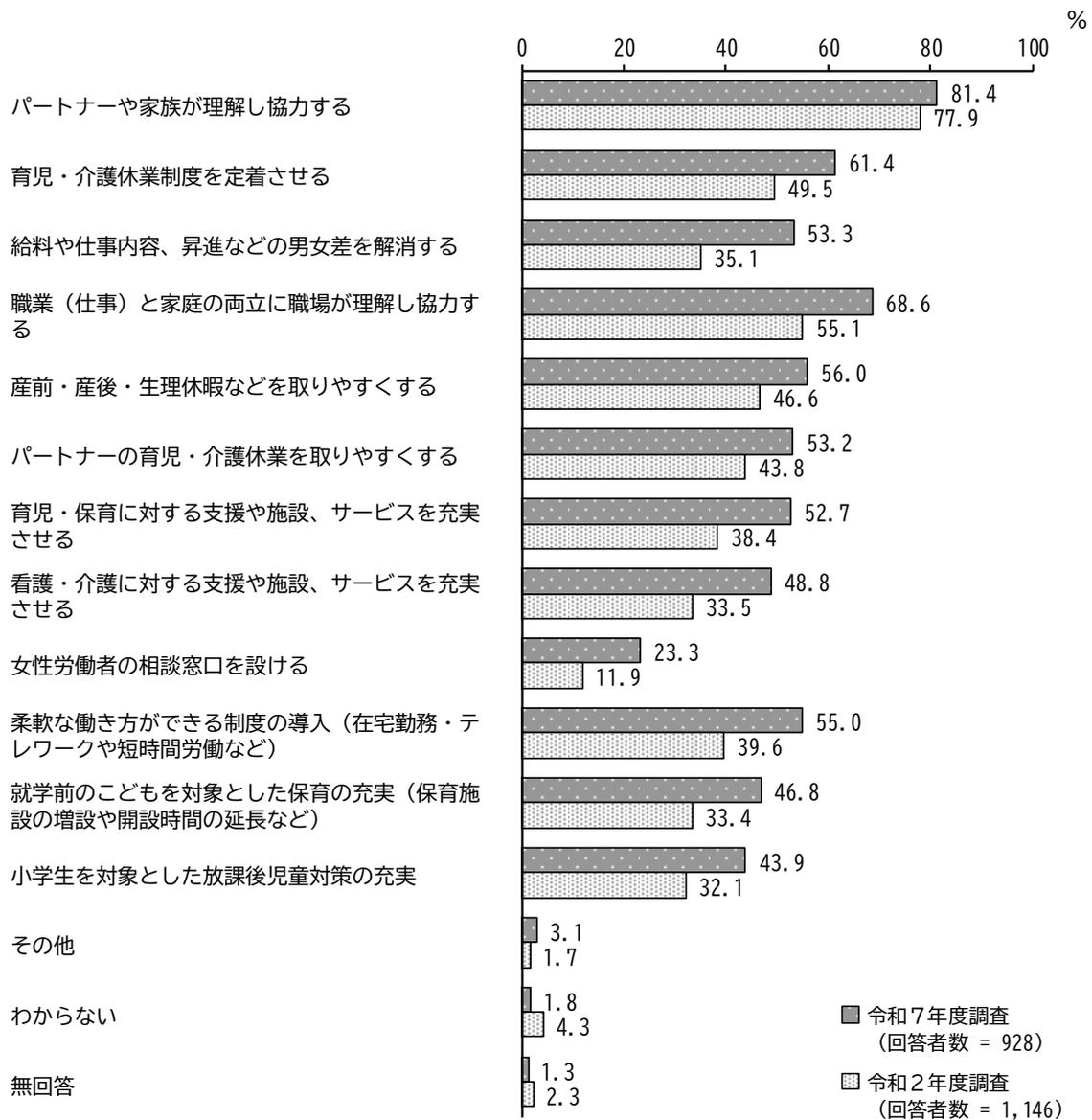
区分	回答者数(件)	結婚したら主婦として、家族のために生活する方がいいと思うから	結婚・出産の後に、家庭と仕事を両立させるのは時間的・肉体的に困難だと思うから	仕事をするということについて家族の理解が得られないと思うから	子育て期は、会社に負担をかけることが多いと思うから(保育園などの送迎、こどもの看病、学校の行事など)	経済的に働く必要性がないから
全体	138	36.2	68.8	2.2	41.3	5.1
男性 18、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	7	14.3	71.4	0.0	0.0	0.0
30～39歳	9	33.3	55.6	0.0	22.2	0.0
40～49歳	3	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0
50～59歳	12	50.0	50.0	0.0	41.7	8.3
60～69歳	13	53.8	53.8	7.7	30.8	15.4
70～79歳	18	66.7	88.9	0.0	44.4	5.6
80歳以上	14	28.6	57.1	7.1	50.0	7.1
女性 18、19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	4	50.0	75.0	0.0	25.0	25.0
30～39歳	12	33.3	83.3	0.0	50.0	0.0
40～49歳	5	0.0	80.0	0.0	60.0	0.0
50～59歳	9	22.2	66.7	11.1	66.7	11.1
60～69歳	8	0.0	87.5	0.0	62.5	0.0
70～79歳	13	30.8	76.9	0.0	38.5	0.0
80歳以上	8	50.0	62.5	0.0	37.5	0.0

区分	パートナーの勤務形態（夜勤・変則勤務）により、家庭と仕事を両立させるのは困難だと思うから	自分の親や周囲の人がそうしているから	その他	特に考えたことはない	無回答
全 体	26.8	2.2	6.5	1.4	0.7
男性 18、19歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
30～39歳	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0
40～49歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50～59歳	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
60～69歳	23.1	0.0	7.7	0.0	0.0
70～79歳	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0
80歳以上	42.9	7.1	0.0	7.1	0.0
女性 18、19歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	33.3	8.3	16.7	0.0	0.0
40～49歳	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
50～59歳	33.3	0.0	11.1	0.0	0.0
60～69歳	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70～79歳	23.1	0.0	7.7	0.0	0.0
80歳以上	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5

問10 (問8で「結婚やこどもの有無に関係なく、職業(仕事)をもつ方がよい」、「その他」と回答した方におたずねします) 女性が安心して働き続ける環境をつくるために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇印いくつでも)

「パートナーや家族が理解し協力する」の割合が81.4%と最も高く、次いで「職業(仕事)と家庭の両立に職場が理解し協力する」の割合が68.6%、「育児・介護休業制度を定着させる」の割合が61.4%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「育児・介護休業制度を定着させる」「給料や仕事内容、昇進などの男女差を解消する」「職業(仕事)と家庭の両立に職場が理解し協力する」「産前・産後・生理休暇などを取りやすくする」「パートナーの育児・介護休業を取りやすくする」「育児・保育に対する支援や施設、サービスを充実させる」「看護・介護に対する支援や施設、サービスを充実させる」「女性労働者の相談窓口を設ける」「柔軟な働き方ができる制度の導入(在宅勤務・テレワークや短時間労働など)」「就学前のこどもを対象とした保育の充実(保育施設の増設や開設時間の延長など)」「小学生を対象とした放課後児童対策の充実」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で「パートナーや家族が理解し協力する」「育児・介護休業制度を定着させる」「給料や仕事内容、昇進などの男女差を解消する」「職業（仕事）と家庭の両立に職場が理解し協力する」「産前・産後・生理休暇などを取りやすくする」「パートナーの育児・介護休業を取りやすくする」「育児・保育に対する支援や施設、サービスを充実させる」「看護・介護に対する支援や施設、サービスを充実させる」「柔軟な働き方ができる制度の導入（在宅勤務・テレワークや短時間労働など）」「就学前の子どもを対象とした保育の充実（保育施設の増設や開設時間の延長など）」「小学生を対象とした放課後児童対策の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	パートナーや家族が理解し協力する	育児・介護休業制度を定着させる	給料や仕事内容、昇進などの男女差を解消する	職業（仕事）と家庭の両立に職場が理解し協力する	産前・産後・生理休暇などを取りやすくする	パートナーの育児・介護休業を取りやすくする	育児・保育に対する支援や施設、サービスを充実させる
全体	928	81.4	61.4	53.3	68.6	56.0	53.2	52.7
男性	393	75.6	55.0	50.1	62.8	51.7	47.6	49.4
女性	524	85.7	66.2	55.5	72.9	59.2	57.1	55.2

区分	看護・介護に対する支援や施設、サービスを充実させる	女性労働者の相談窓口を設ける	柔軟な働き方ができる制度の導入（在宅勤務・テレワークや短時間労働など）	就学前の子どもを対象とした保育の充実（保育施設の増設や開設時間の延長など）	小学生を対象とした放課後児童対策の充実	その他	わからない	無回答
全体	48.8	23.3	55.0	46.8	43.9	3.1	1.8	1.3
男性	43.0	20.9	49.9	41.5	37.4	3.3	3.1	1.5
女性	53.1	24.6	58.2	50.4	48.5	3.1	1.0	1.0

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 40～49 歳、女性 50～59 歳で「パートナーや家族が理解し協力する」、女性 30～39 歳で「育児・介護休業制度を定着させる」「育児・保育に対する支援や施設、サービスを充実させる」「女性労働者の相談窓口を設ける」「柔軟な働き方ができる制度の導入（在宅勤務・テレワークや短時間労働など）」「就学前のこどもを対象とした保育の充実（保育施設の増設や開設時間の延長など）」、女性 30～39 歳、女性 40～49 歳で「給料や仕事内容、昇進などの男女差を解消する」「職業（仕事）と家庭の両立に職場が理解し協力する」「小学生を対象とした放課後児童対策の充実」、女性 20～29 歳で「産前・産後・生理休暇などを取りやすくする」、女性 20～29 歳、女性 30～39 歳で「パートナーの育児・介護休業を取りやすくする」、女性 80 歳以上で「看護・介護に対する支援や施設、サービスを充実させる」の割合が高くなっています。

単位：%

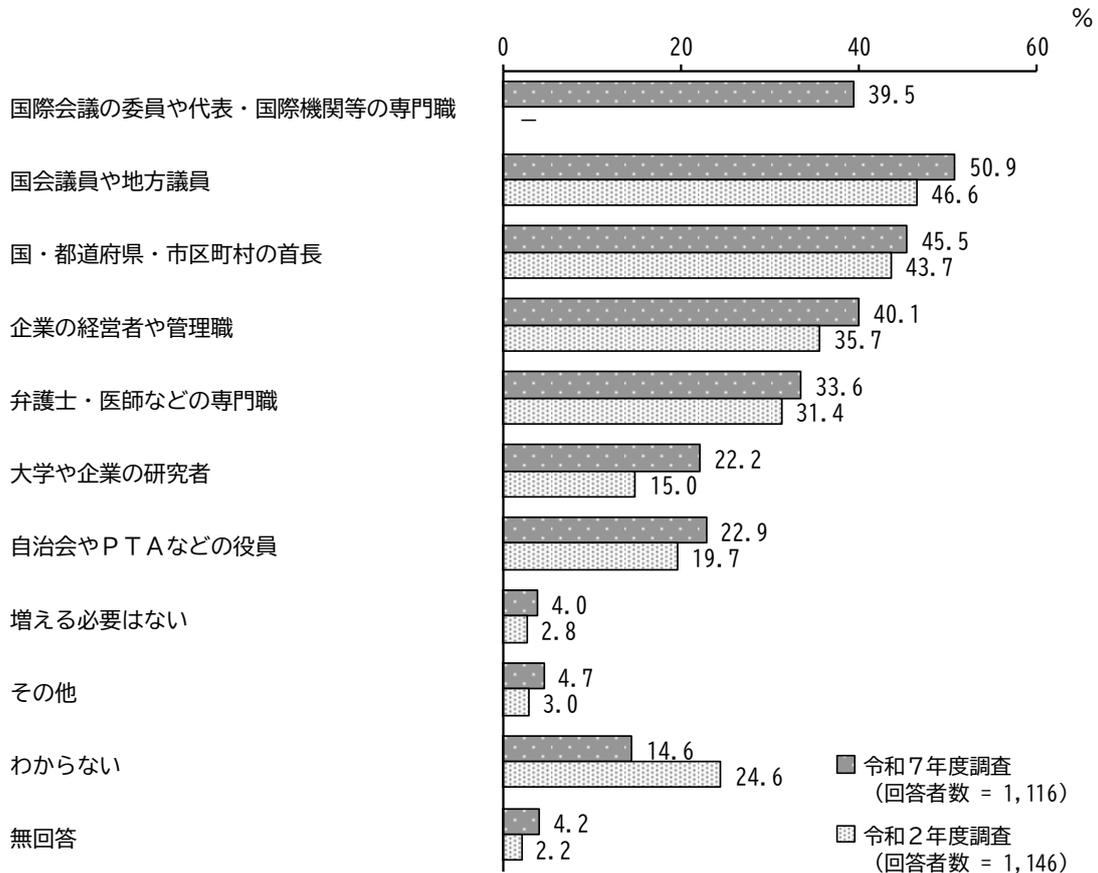
区分	回答者数 (件)	パートナ ーや家 族が理 解し 協力す る	育児・ 介護休 業制度 を定着 させる	給料や 仕事内 容、昇 進など の男女 差を解 消する	職業（ 仕事） と家庭 の両立 に職場 が理解 し協力 する	産前・ 産後・ 生理休 暇など をとり やすく する	パート ナーの 育児・ 介護休 業を 取りよ くする	育児・ 保育に 対する 支援や 施設、 サービ スを充 実させ る
全 体	928	81.4	61.4	53.3	68.6	56.0	53.2	52.7
男性 18、19歳	6	100.0	66.7	50.0	66.7	66.7	66.7	66.7
20～29歳	27	70.4	55.6	51.9	55.6	51.9	37.0	25.9
30～39歳	47	68.1	42.6	59.6	61.7	53.2	51.1	53.2
40～49歳	62	77.4	66.1	53.2	69.4	64.5	56.5	58.1
50～59歳	83	75.9	48.2	48.2	56.6	41.0	44.6	43.4
60～69歳	66	78.8	54.5	51.5	72.7	56.1	48.5	51.5
70～79歳	66	74.2	59.1	47.0	59.1	48.5	48.5	53.0
80歳以上	36	77.8	58.3	38.9	61.1	47.2	36.1	47.2
女性 18、19歳	7	71.4	85.7	85.7	85.7	85.7	57.1	57.1
20～29歳	48	85.4	75.0	56.3	72.9	81.3	70.8	56.3
30～39歳	64	79.7	82.8	67.2	81.3	73.4	71.9	73.4
40～49歳	81	91.4	64.2	69.1	80.2	64.2	55.6	59.3
50～59歳	111	91.9	70.3	59.5	77.5	58.6	56.8	54.1
60～69歳	81	85.2	61.7	53.1	71.6	48.1	51.9	56.8
70～79歳	84	84.5	48.8	38.1	61.9	46.4	51.2	34.5
80歳以上	48	75.0	64.6	37.5	58.3	47.9	45.8	58.3

区分	看護・介護に対する支援や施設、サービスを充実させる	女性労働者の相談窓口を設ける	柔軟な働き方ができる制度の導入（在宅勤務・テレワークや短時間労働など）	就学前のことも対象とした保育の充実（保育施設の増設や開設時間の延長など）	小学生を対象とした放課後児童対策の充実	その他	わからない	無回答
全体	48.8	23.3	55.0	46.8	43.9	3.1	1.8	1.3
男性 18、19歳	66.7	50.0	50.0	66.7	50.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	18.5	14.8	33.3	33.3	25.9	0.0	7.4	0.0
30～39歳	34.0	21.3	46.8	38.3	36.2	2.1	0.0	4.3
40～49歳	41.9	21.0	64.5	51.6	51.6	11.3	1.6	1.6
50～59歳	44.6	22.9	50.6	38.6	31.3	2.4	2.4	0.0
60～69歳	47.0	24.2	47.0	47.0	34.8	1.5	4.5	0.0
70～79歳	45.5	12.1	47.0	37.9	36.4	3.0	3.0	1.5
80歳以上	55.6	25.0	50.0	33.3	41.7	0.0	5.6	5.6
女性 18、19歳	42.9	42.9	71.4	57.1	71.4	0.0	0.0	0.0
20～29歳	41.7	25.0	56.3	47.9	43.8	0.0	0.0	2.1
30～39歳	53.1	34.4	84.4	64.1	54.7	7.8	0.0	0.0
40～49歳	56.8	23.5	65.4	53.1	54.3	4.9	2.5	0.0
50～59歳	57.7	26.1	63.1	53.2	53.2	3.6	0.9	0.0
60～69歳	51.9	23.5	54.3	45.7	51.9	2.5	0.0	0.0
70～79歳	45.2	16.7	36.9	46.4	40.5	1.2	1.2	3.6
80歳以上	64.6	22.9	43.8	37.5	29.2	0.0	2.1	2.1

問 11 女性が增える方がよいと思う職業や役職は何ですか。(○印いくつでも)

「国会議員や地方議員」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「国・都道府県・市区町村の首長」の割合が 45.5%、「企業の経営者や管理職」の割合が 40.1%となっています。

令和 2 年度調査と比較すると、「大学や企業の研究者」の割合が増加しています。



※令和 2 年度調査では、「国際会議の委員や代表・国際機関等の専門職」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「自治会やPTAなどの役員」の割合が高く、男性と比較して女性で「国際会議の委員や代表・国際機関等の専門職」「国会議員や地方議員」「国・都道府県・市区町村の首長」「企業の経営者や管理職」「弁護士・医師などの専門職」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	国際会議の委員や代表・国際機関等の専門職	国会議員や地方議員	国・都道府県・市区町村の首長	企業の経営者や管理職	弁護士・医師などの専門職	大学や企業の研究者	自治会やPTAなどの役員	増える必要はない	その他	わからない	無回答
全体	1,116	39.5	50.9	45.5	40.1	33.6	22.2	22.9	4.0	4.7	14.6	4.2
男性	494	35.0	47.8	41.9	36.4	27.3	20.2	28.7	5.1	5.7	14.4	4.5
女性	607	43.2	53.7	48.8	43.0	38.6	23.4	18.1	3.1	4.0	14.8	3.8

【性・年齢別】

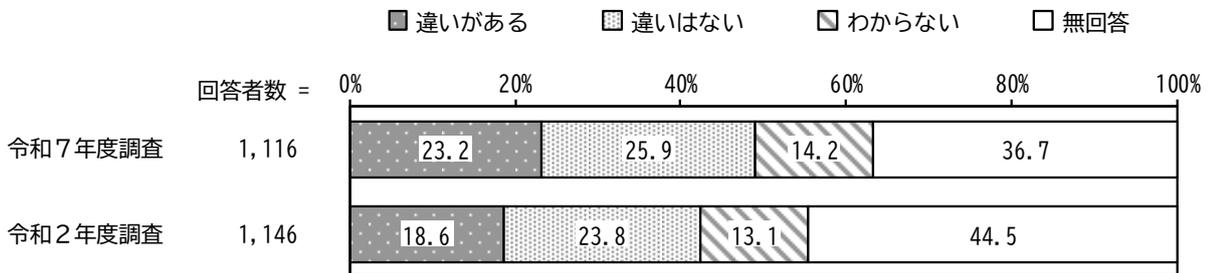
性・年齢別にみると、女性 20～29 歳、女性 30～39 歳で「国際会議の委員や代表・国際機関等の専門職」、女性 40～49 歳で「国会議員や地方議員」「国・都道府県・市区町村の首長」「企業の経営者や管理職」、女性 30～39 歳で「弁護士・医師などの専門職」、男性 40～49 歳で「自治会や P T A などの役員」、男性 30～39 歳で「増える必要はない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	国際会議の委員や代表・国際機関等の専門職	国会議員や地方議員	国・都道府県・市区町村の首長	企業の経営者や管理職	弁護士・医師などの専門職	大学や企業の研究者	自治会や P T A などの役員	増える必要はない	その他	わからない	無回答
全 体	1,116	39.5	50.9	45.5	40.1	33.6	22.2	22.9	4.0	4.7	14.6	4.2
男性 18、19歳	6	50.0	33.3	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7
20～29歳	36	41.7	41.7	36.1	25.0	22.2	19.4	19.4	8.3	2.8	19.4	5.6
30～39歳	56	35.7	46.4	35.7	32.1	26.8	16.1	19.6	14.3	7.1	16.1	0.0
40～49歳	65	44.6	52.3	53.8	49.2	33.8	27.7	36.9	3.1	16.9	13.8	0.0
50～59歳	98	39.8	45.9	42.9	42.9	27.6	16.3	24.5	3.1	5.1	13.3	2.0
60～69歳	86	34.9	57.0	46.5	40.7	29.1	24.4	33.7	5.8	5.8	10.5	3.5
70～79歳	90	21.1	47.8	40.0	32.2	25.6	17.8	31.1	2.2	1.1	15.6	3.3
80歳以上	57	31.6	38.6	33.3	24.6	24.6	19.3	31.6	1.8	0.0	17.5	19.3
女性 18、19歳	8	87.5	87.5	62.5	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
20～29歳	52	55.8	61.5	48.1	48.1	34.6	21.2	19.2	1.9	3.8	13.5	0.0
30～39歳	77	53.2	66.2	58.4	48.1	44.2	26.0	13.0	1.3	7.8	11.7	0.0
40～49歳	86	50.0	72.1	64.0	58.1	38.4	25.6	16.3	4.7	5.8	8.1	0.0
50～59歳	123	51.2	57.7	55.3	48.0	39.8	27.6	17.9	3.3	4.9	11.4	3.3
60～69歳	90	42.2	56.7	54.4	46.7	42.2	28.9	20.0	0.0	3.3	16.7	1.1
70～79歳	108	25.0	30.6	26.9	27.8	36.1	13.9	15.7	5.6	0.0	25.9	8.3
80歳以上	63	22.2	30.2	31.7	23.8	34.9	20.6	28.6	3.2	3.2	15.9	14.3

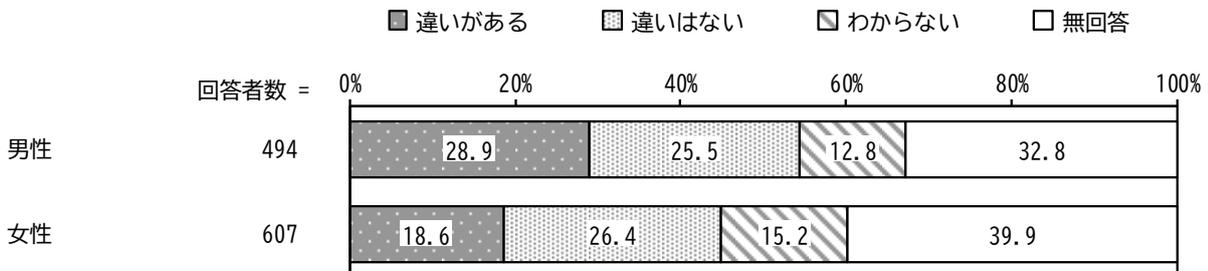
問12 現在働いている方におたずねします。それ以外の方は問14にお進みください。あなたの職場では、慣行や待遇、仕事の内容等で、性別による違いがあると思いますか。

「違いがある」の割合が23.2%、「違いはない」の割合が25.9%となっています。  
 令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



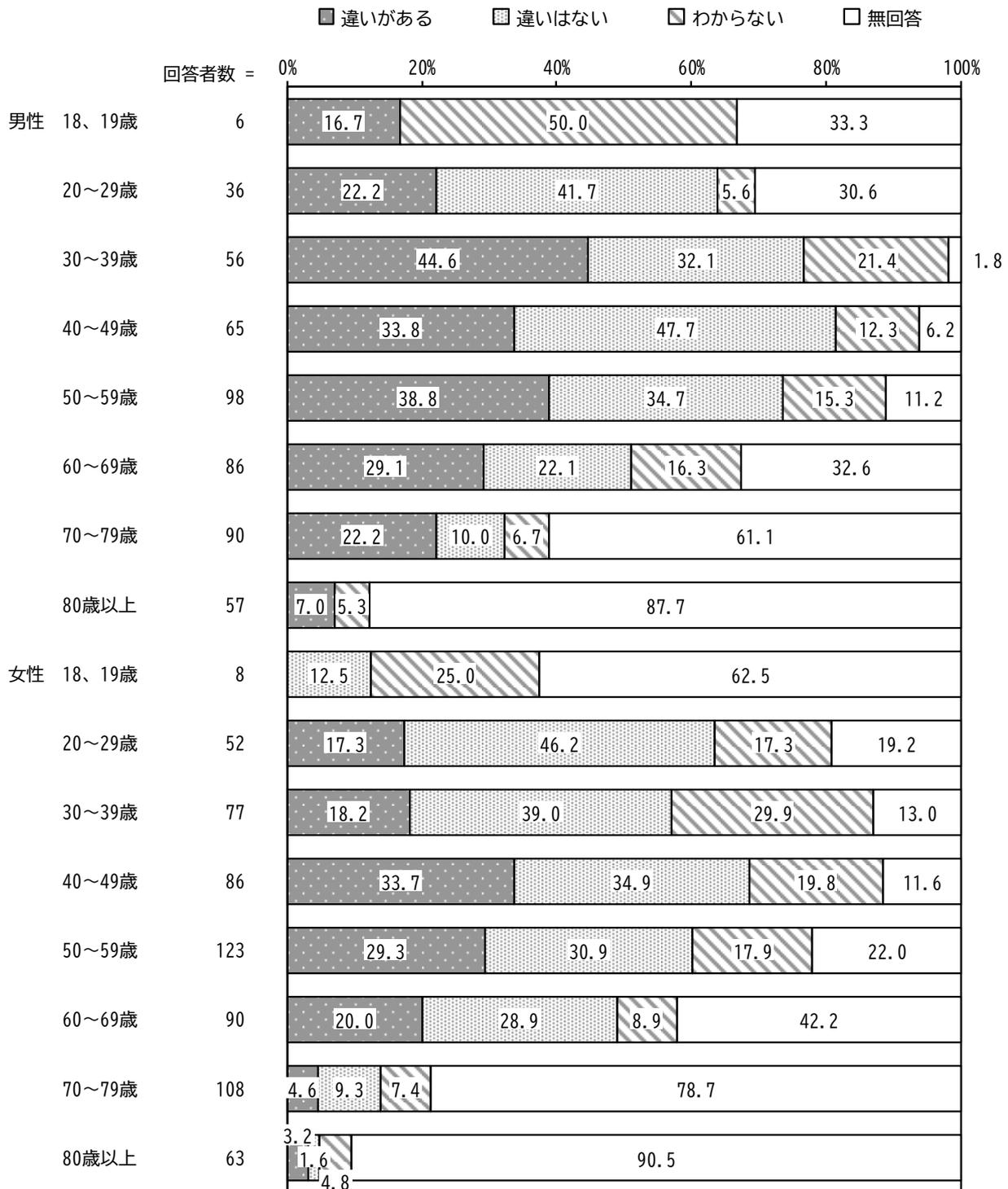
【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「違いがある」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

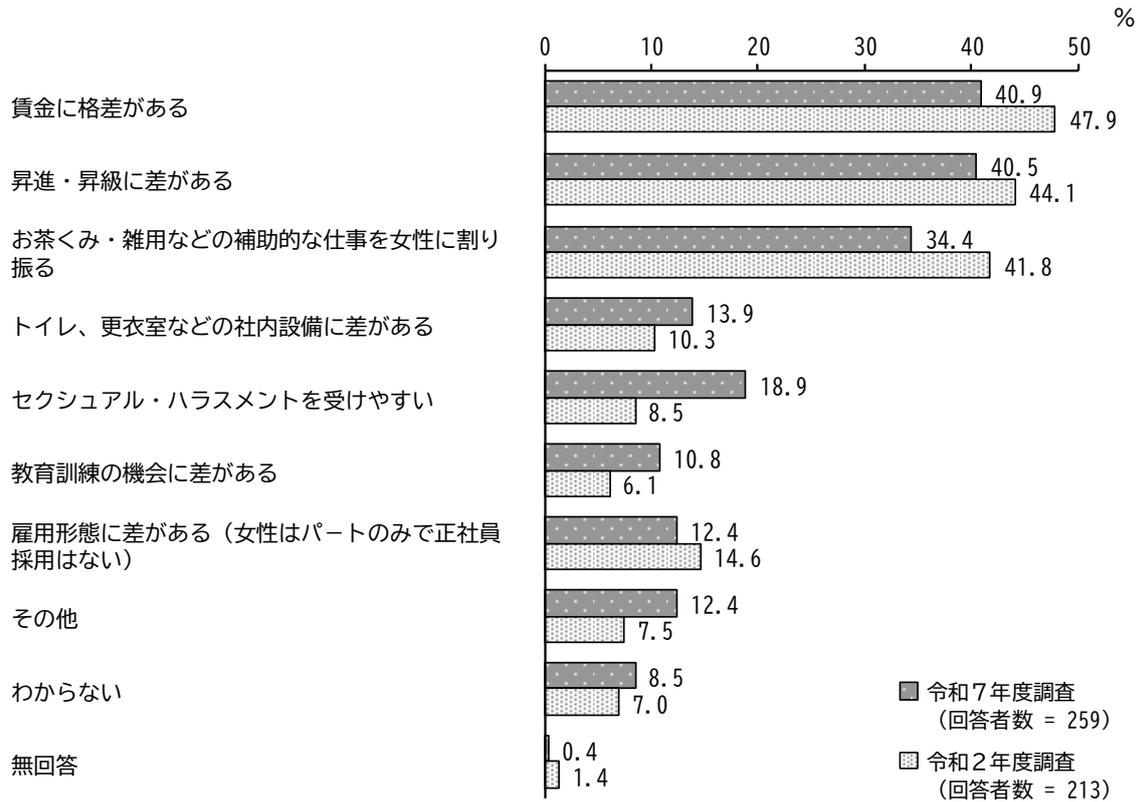
性・年齢別にみると、男性 30～39 歳で「違いがある」、男性 40～49 歳、女性 20～29 歳で「違いはない」の割合が高くなっています。



問13 (問12で「違いがある」と回答した方におたずねします) どのような違いがあると思いますか。(〇印いくつでも)

「賃金に格差がある」の割合が40.9%と最も高く、次いで「昇進・昇級に差がある」の割合が40.5%、「お茶くみ・雑用などの補助的な仕事を女性に割り振る」の割合が34.4%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「セクシュアル・ハラスメントを受けやすい」の割合が増加しています。一方、「賃金に格差がある」「お茶くみ・雑用などの補助的な仕事を女性に割り振る」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「トイレ、更衣室などの社内設備に差がある」「教育訓練の機会に差がある」の割合が高く、男性と比較して女性で「賃金に格差がある」「昇進・昇級に差がある」「お茶くみ・雑用などの補助的な仕事を女性に割り振る」「セクシュアル・ハラスメントを受けやすい」「雇用形態に差がある (女性はパートのみで正社員採用はない)」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	賃金に格差がある	昇進・昇級に差がある	お茶くみ・雑用などの補助的な仕事を女性に割り振る	トイレ、更衣室などの社内設備に差がある	セクシュアル・ハラスメントを受けやすい	教育訓練の機会に差がある	雇用形態に差がある (女性はパートのみで正社員採用はない)	その他	わからない	無回答
全体	259	40.9	40.5	34.4	13.9	18.9	10.8	12.4	12.4	8.5	0.4
男性	143	37.1	35.7	25.2	17.5	13.3	14.0	8.4	14.7	11.2	0.7
女性	113	45.1	46.9	45.1	8.8	26.5	7.1	17.7	8.8	5.3	0.0

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 60～69 歳で「賃金に格差がある」「セクシュアル・ハラスメントを受けやすい」、女性 30～39 歳で「昇進・昇級に差がある」「お茶くみ・雑用などの補助的な仕事を女性に割り振る」、男性 40～49 歳で「トイレ、更衣室などの社内設備に差がある」、男性 60～69 歳で「教育訓練の機会に差がある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	賃金に格差がある	昇進・昇級に差がある	お茶くみ・雑用などの補助的な仕事を女性に割り振る	トイレ、更衣室などの社内設備に差がある	セクシュアル・ハラスメントを受けやすい	教育訓練の機会に差がある	雇用形態に差がある(女性はパートのみで正社員採用はない)	その他	わからない	無回答
全 体	259	40.9	40.5	34.4	13.9	18.9	10.8	12.4	12.4	8.5	0.4
男性 18、19歳	1	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	8	0.0	12.5	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5
30～39歳	25	32.0	36.0	32.0	24.0	16.0	12.0	16.0	20.0	4.0	0.0
40～49歳	22	31.8	40.9	31.8	27.3	13.6	9.1	0.0	13.6	9.1	0.0
50～59歳	38	36.8	39.5	28.9	10.5	10.5	13.2	2.6	15.8	2.6	0.0
60～69歳	25	60.0	40.0	24.0	12.0	16.0	24.0	4.0	20.0	12.0	0.0
70～79歳	20	40.0	25.0	10.0	10.0	10.0	20.0	20.0	5.0	25.0	0.0
80歳以上	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0
女性 18、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	9	11.1	77.8	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
30～39歳	14	28.6	71.4	71.4	21.4	35.7	14.3	21.4	7.1	0.0	0.0
40～49歳	29	41.4	34.5	48.3	10.3	17.2	10.3	17.2	13.8	6.9	0.0
50～59歳	36	50.0	47.2	38.9	5.6	30.6	2.8	22.2	11.1	0.0	0.0
60～69歳	18	66.7	44.4	44.4	5.6	44.4	11.1	16.7	0.0	5.6	0.0
70～79歳	5	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0
80歳以上	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

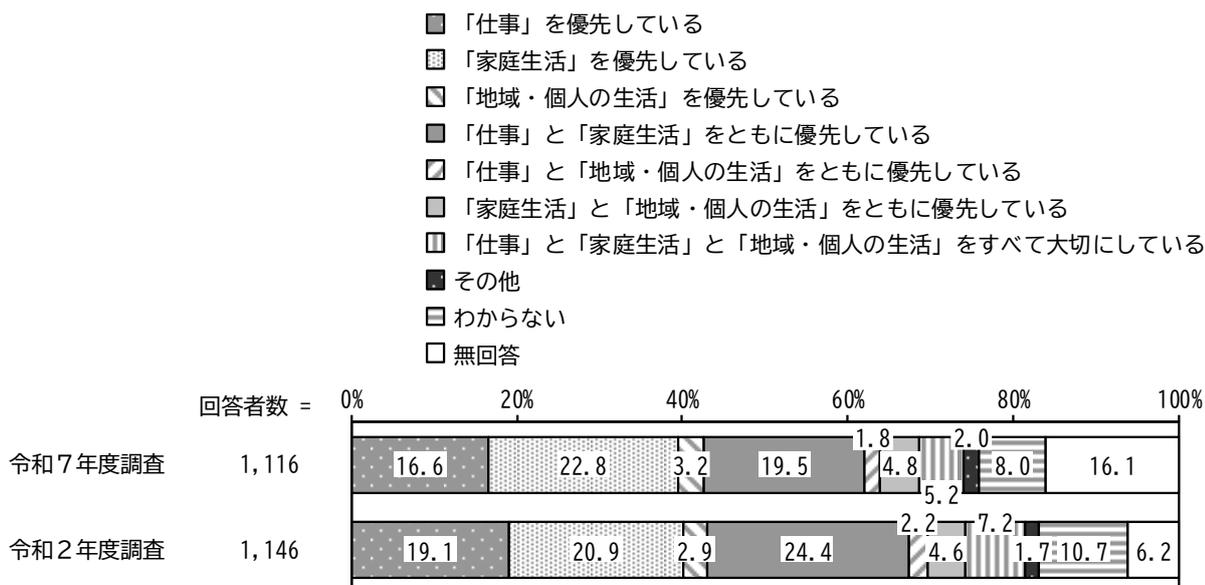
## (5) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問14 現在、ワーク・ライフ・バランスが重要視されていますが、あなたは生活の中で「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」で何を優先しますか。（○印①～②の項目ごとに1つずつ）

### ① 現実

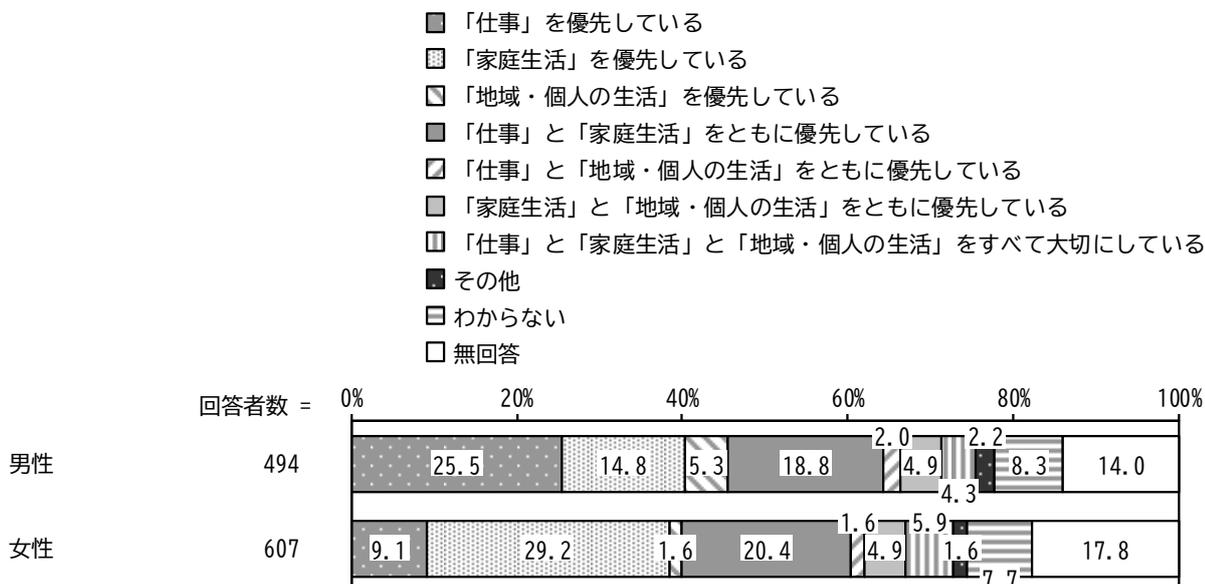
「家庭生活」を優先している」の割合が22.8%と最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」の割合が19.5%、「仕事」を優先している」の割合が16.6%となっています。

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 【性別】

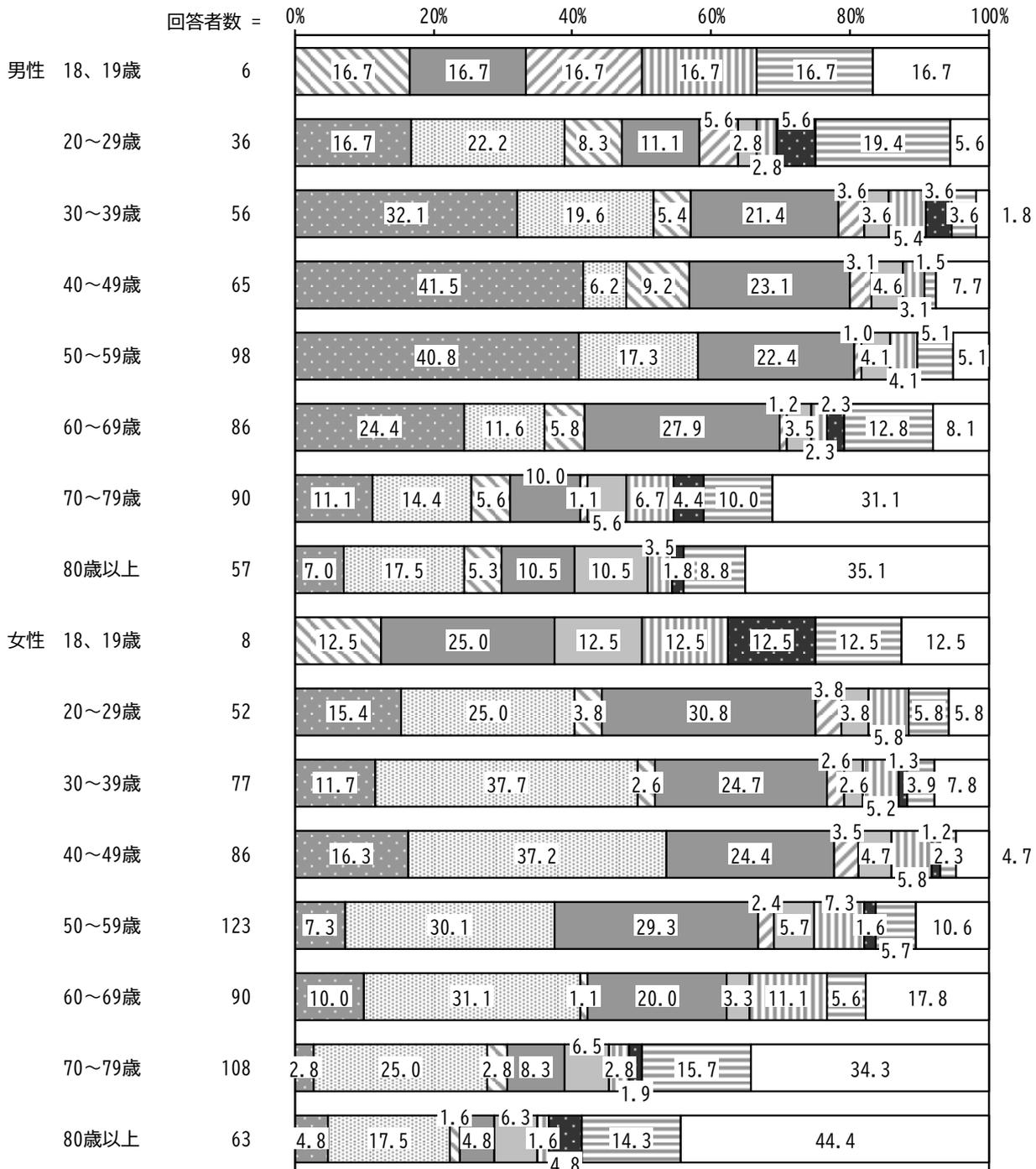
性別にみると、女性と比較して男性で「仕事」を優先している」の割合が高く、男性と比較して女性で「家庭生活」を優先している」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 40～49 歳、男性 50～59 歳で「仕事」を優先している、女性 30～39 歳、女性 40～49 歳で「家庭生活」を優先している、女性 20～29 歳で「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」の割合が高くなっています。

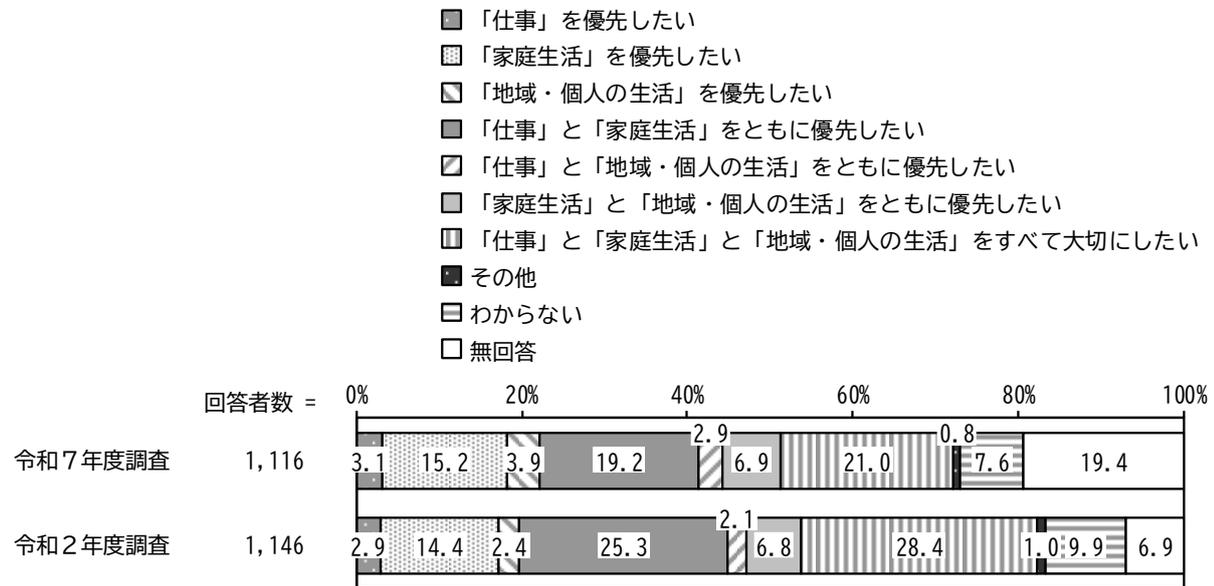
- 「仕事」を優先している
- 「家庭生活」を優先している
- 「地域・個人の生活」を優先している
- 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をすべて大切にしている
- その他
- わからない
- 無回答



② 理想

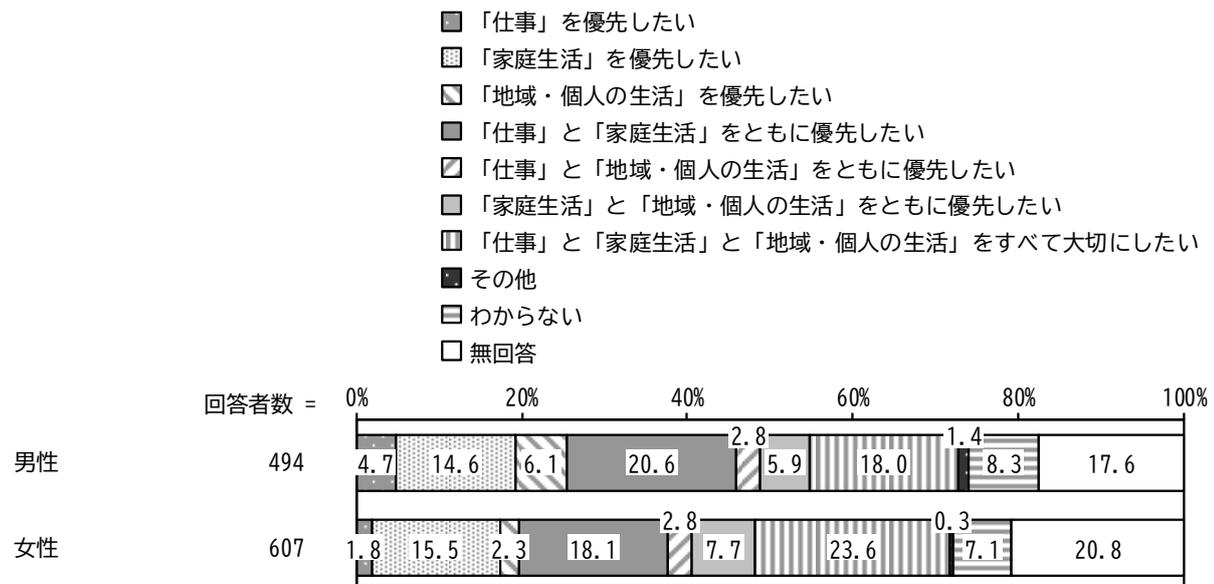
「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をすべて大切にしたい」の割合が21.0%と最も高く、次いで「「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」の割合が19.2%、「家庭生活」を優先したい」の割合が15.2%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をすべて大切にしたい」の割合が減少しています。



【性別】

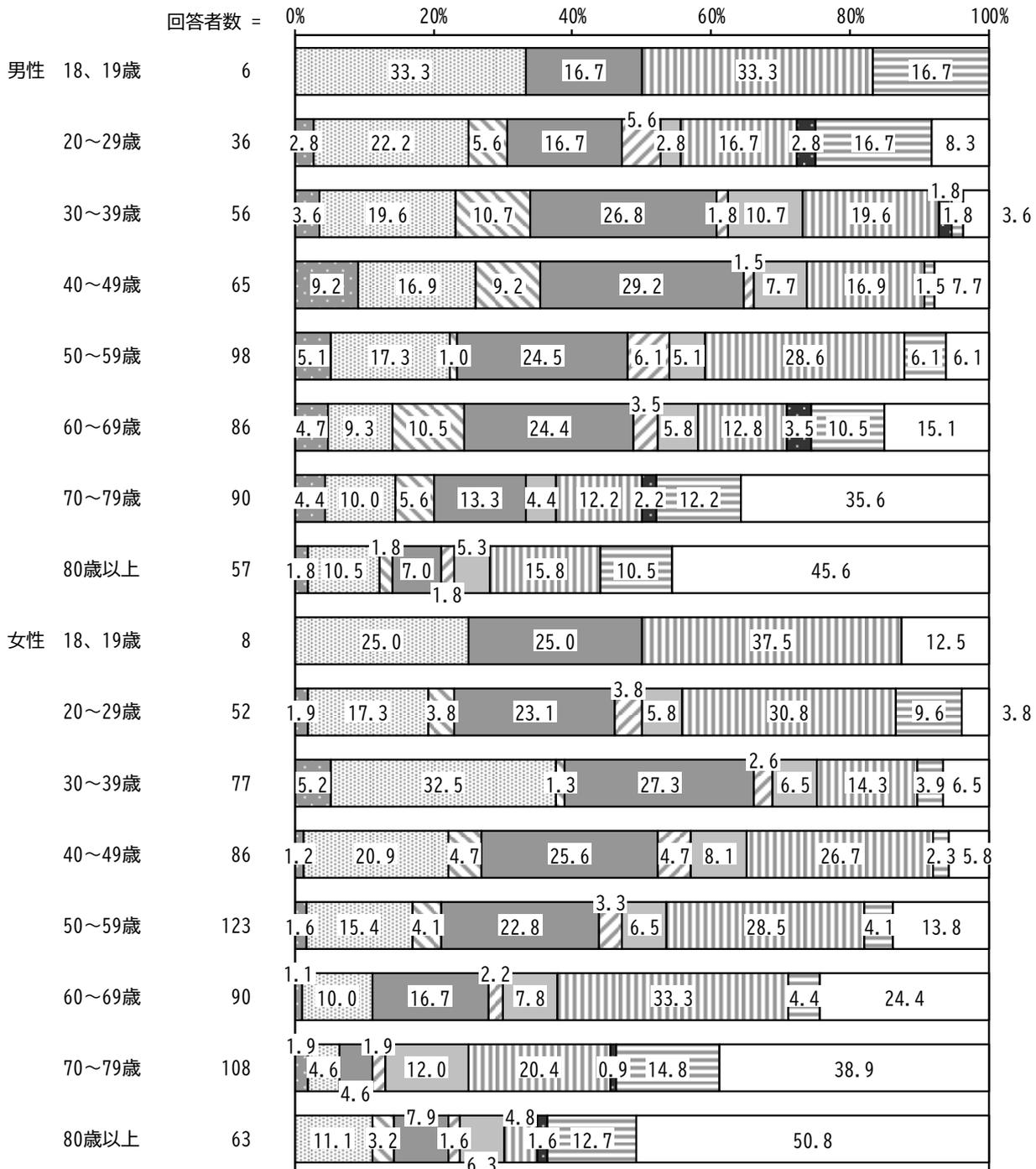
性別にみると、男性と比較して女性で「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をすべて大切にしたい」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 30～39 歳で「家庭生活」を優先したい」、男性 40～49 歳で「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」、女性 60～69 歳で「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をすべて大切にしたい」の割合が高くなっています。

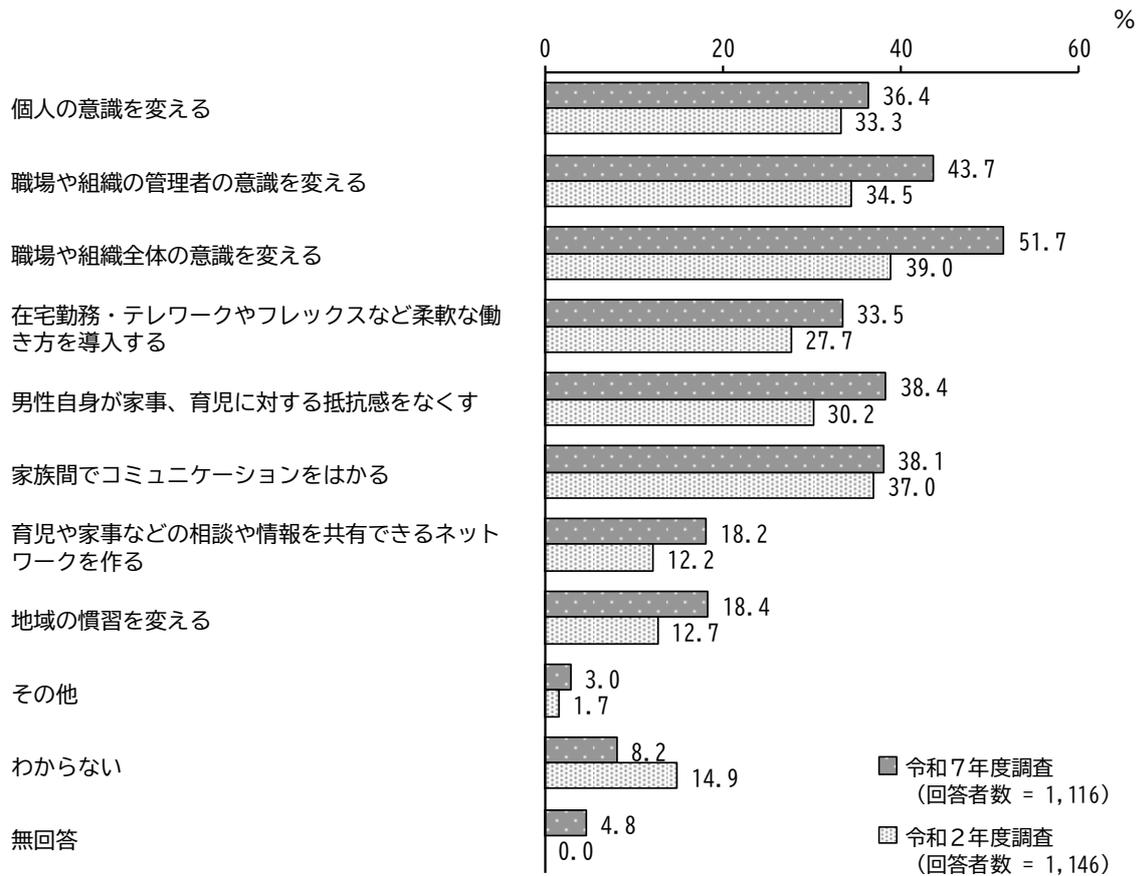
- 「仕事」を優先したい
- ▨ 「家庭生活」を優先したい
- ▧ 「地域・個人の生活」を優先したい
- 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- ▨ 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- ▧ 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- ▩ 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をすべて大切にしたい
- その他
- わからない
- 無回答



問15 ワーク・ライフ・バランスを実現するために、どのようなことが必要だと思いますか。  
(○印いくつでも)

「職場や組織全体の意識を変える」の割合が51.7%と最も高く、次いで「職場や組織の管理者の意識を変える」の割合が43.7%、「男性自身が家事、育児に対する抵抗感をなくす」の割合が38.4%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「職場や組織の管理者の意識を変える」「職場や組織全体の意識を変える」「在宅勤務・テレワークやフレックスなど柔軟な働き方を導入する」「男性自身が家事、育児に対する抵抗感をなくす」「育児や家事などの相談や情報を共有できるネットワークを作る」「地域の慣習を変える」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「個人の意識を変える」の割合が高く、男性と比較して女性で「在宅勤務・テレワークやフレックスなど柔軟な働き方を導入する」「男性自身が家事、育児に対する抵抗感をなくす」「家族間でコミュニケーションをはかる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	個人の意識を変える	職場や組織の管理者の意識を変える	在宅勤務・テレワークやフレックスなど柔軟な働き方を導入する	男性自身が家事、育児に対する抵抗感をなくす	家族間でコミュニケーションをはかる	育児や家事などの相談や情報を共有できるネットワークを作る	地域の慣習を変える	その他	わからない	無回答	
全体	1,116	36.4	43.7	51.7	33.5	38.4	38.1	18.2	18.4	3.0	8.2	4.8
男性	494	41.7	43.9	52.4	28.5	30.8	31.0	17.2	16.0	3.8	8.7	3.4
女性	607	32.5	44.0	51.4	37.6	45.3	44.3	19.3	20.4	2.3	7.6	5.8

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 20～29 歳で「個人の意識を変える」、男性 30～39 歳、男性 40～49 歳、女性 20～29 歳、女性 30～39 歳、女性 40～49 歳で「職場や組織の管理者の意識を変える」、男性 40～49 歳で「職場や組織全体の意識を変える」、女性 30～39 歳、女性 40～49 歳で「在宅勤務・テレワークやフレックスなど柔軟な働き方を導入する」、女性 50～59 歳で「男性自身が家事、育児に対する抵抗感をなくす」、女性 20～29 歳で「家族間でコミュニケーションをはかる」、女性 20～29 歳、女性 30～39 歳で「育児や家事などの相談や情報を共有できるネットワークを作る」の割合が高くなっています。

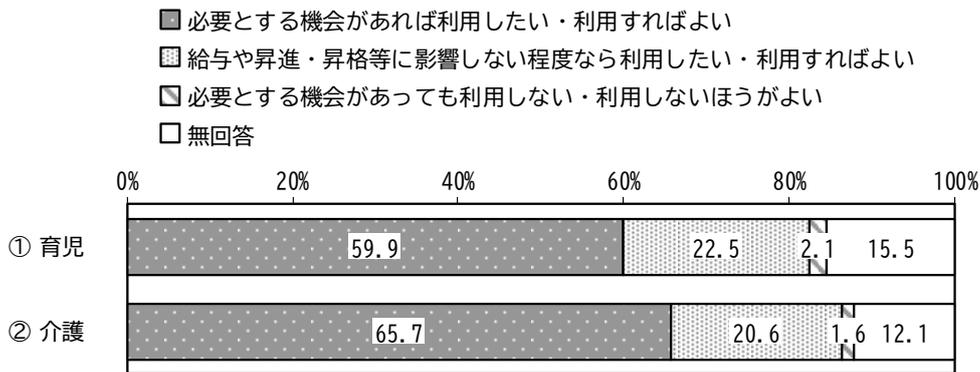
単位：％

区分	回答者数(件)	個人の意識を変える	職場や組織の管理者の意識を変える	職場や組織全体の意識を変える	在宅勤務・テレワークやフレックスなど柔軟な働き方を導入する	男性自身が家事、育児に対する抵抗感をなくす	家族間でコミュニケーションをはかる	育児や家事などの相談や情報を共有できるネットワークを作る	地域の慣習を変える	その他	わからない	無回答
全体	1,116	36.4	43.7	51.7	33.5	38.4	38.1	18.2	18.4	3.0	8.2	4.8
男性 18、19歳	6	66.7	66.7	50.0	50.0	50.0	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0
20～29歳	36	52.8	44.4	44.4	33.3	22.2	27.8	22.2	5.6	5.6	13.9	2.8
30～39歳	56	41.1	57.1	64.3	44.6	21.4	41.1	23.2	10.7	1.8	0.0	0.0
40～49歳	65	40.0	55.4	70.8	27.7	30.8	32.3	20.0	16.9	12.3	6.2	0.0
50～59歳	98	46.9	44.9	57.1	29.6	27.6	28.6	12.2	22.4	1.0	5.1	1.0
60～69歳	86	44.2	45.3	59.3	20.9	32.6	24.4	16.3	19.8	3.5	11.6	2.3
70～79歳	90	34.4	33.3	37.8	25.6	34.4	31.1	11.1	13.3	4.4	10.0	5.6
80歳以上	57	33.3	28.1	29.8	22.8	40.4	35.1	22.8	14.0	0.0	15.8	14.0
女性 18、19歳	8	37.5	62.5	87.5	75.0	50.0	62.5	50.0	25.0	0.0	12.5	0.0
20～29歳	52	42.3	55.8	65.4	48.1	44.2	55.8	28.8	26.9	0.0	5.8	0.0
30～39歳	77	27.3	55.8	63.6	53.2	53.2	48.1	31.2	18.2	6.5	1.3	0.0
40～49歳	86	33.7	54.7	62.8	51.2	40.7	43.0	14.0	22.1	4.7	2.3	1.2
50～59歳	123	40.7	49.6	58.5	38.2	57.7	48.8	21.1	24.4	1.6	7.3	1.6
60～69歳	90	41.1	43.3	41.1	30.0	42.2	42.2	16.7	23.3	3.3	5.6	4.4
70～79歳	108	22.2	23.1	32.4	17.6	38.0	39.8	12.0	9.3	0.0	14.8	14.8
80歳以上	63	17.5	28.6	38.1	30.2	34.9	31.7	12.7	22.2	0.0	14.3	19.0

問16 あなたは、育児休業制度、介護休業制度の利用について、どのように考えますか。(○印それぞれ1つ)

『① 育児』『② 介護』ともに、「必要とする機会があれば利用したい・利用すればよい」が最も高くなっています。

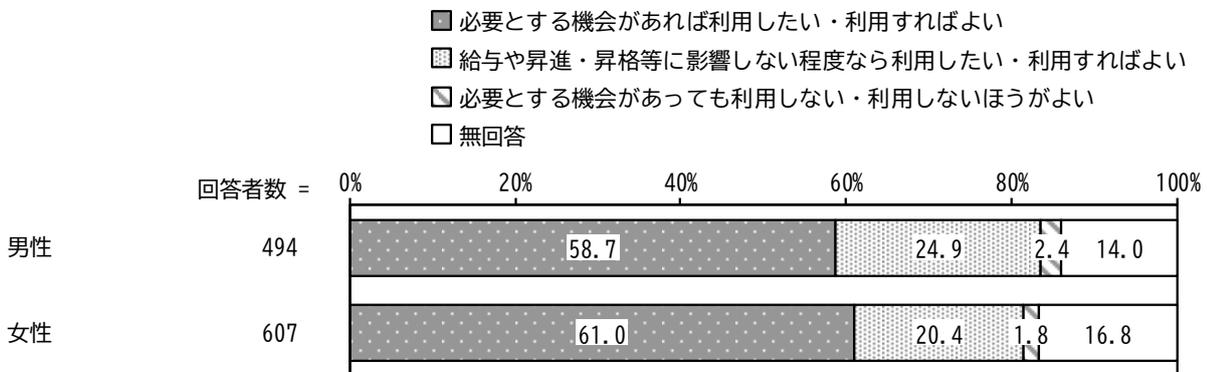
『① 育児』と比較して『② 介護』で「必要とする機会があれば利用したい・利用すればよい」が高くなっています。



① 育児

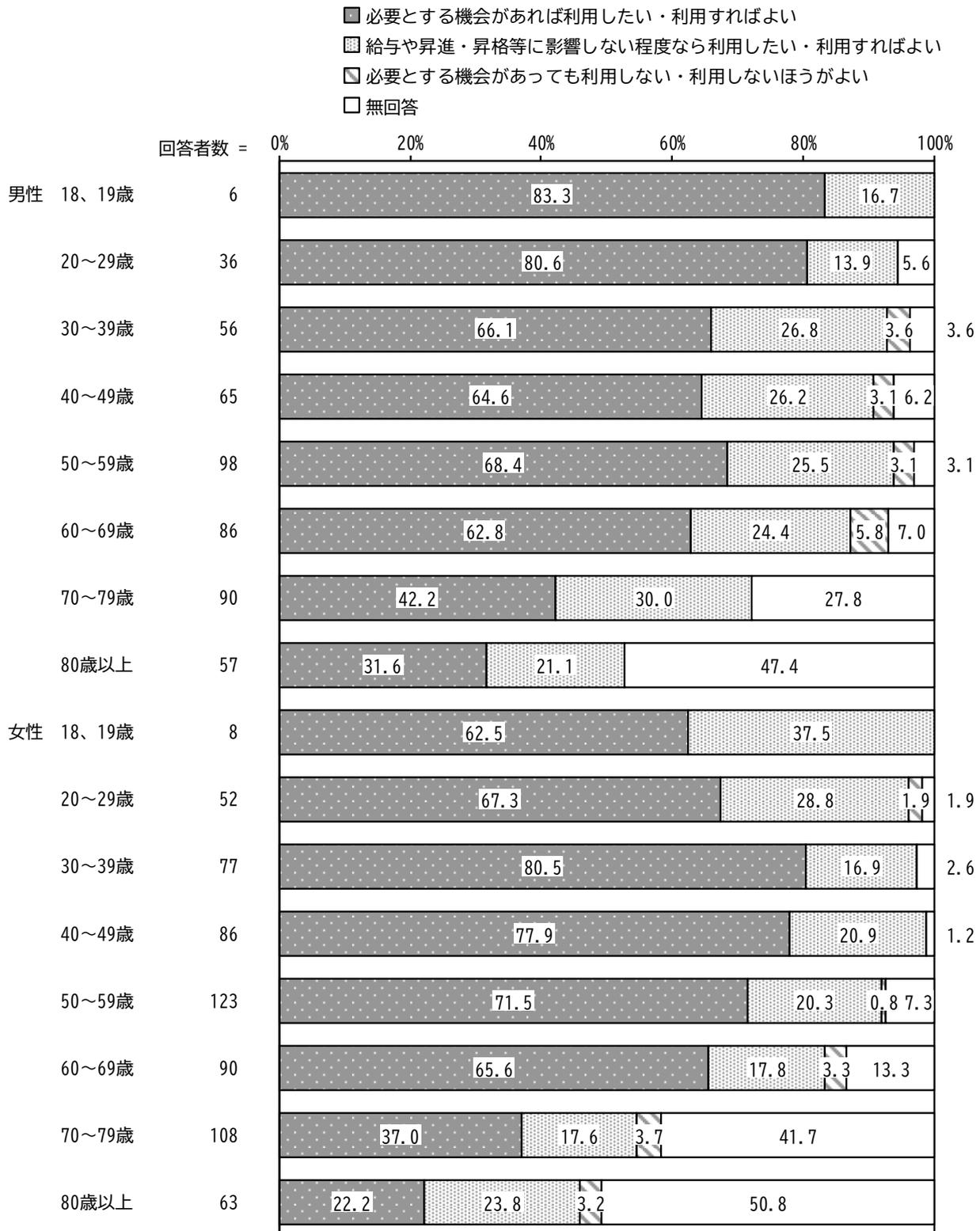
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

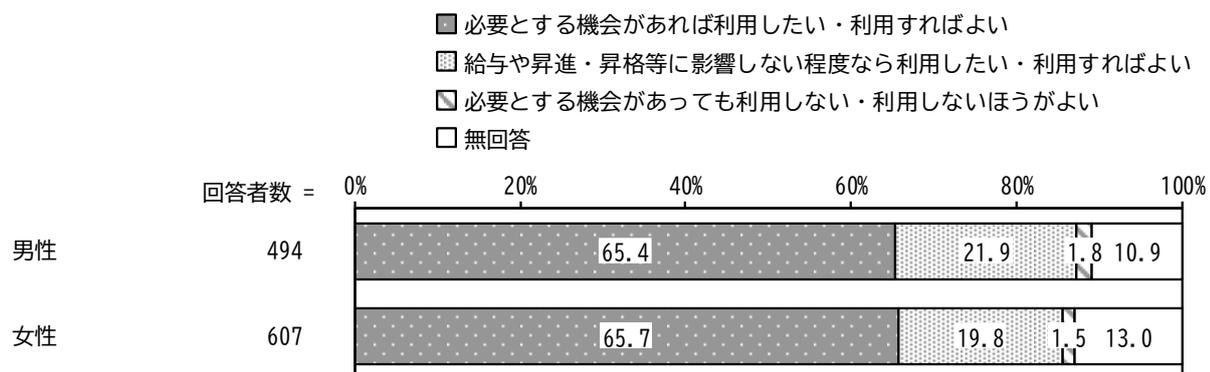
性・年齢別にみると、男性 20～29 歳、女性 30～39 歳、女性 40～49 歳で「必要とする機会があれば利用したい・利用すればよい」、男性 70～79 歳、女性 20～29 歳で「給与や昇進・昇格等に影響しない程度なら利用したい・利用すればよい」の割合が高くなっています。



## ② 介護

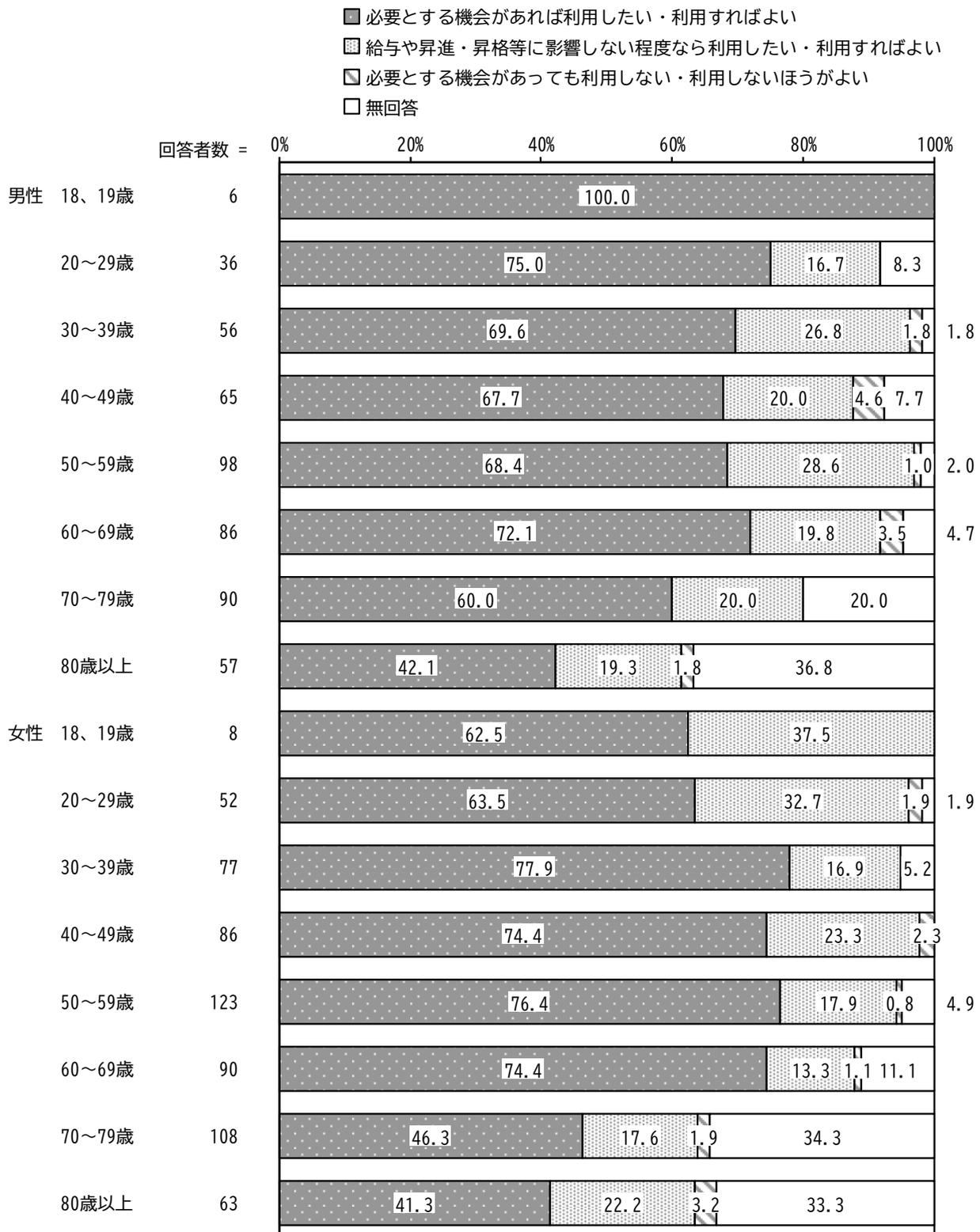
### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 30～39 歳、女性 50～59 歳で「必要とする機会があれば利用したい・利用すればよい」、女性 20～29 歳で「給与や昇進・昇格等に影響しない程度なら利用したい・利用すればよい」の割合が高くなっています。

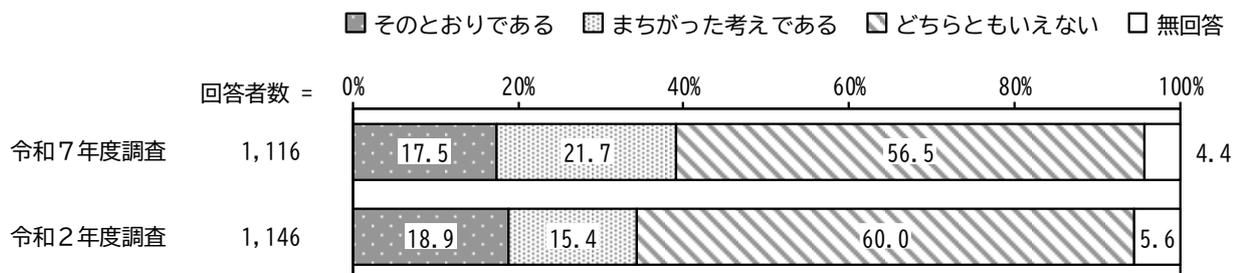


## (6) 子育て・こどもの教育について

問17 こどもの育て方については「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てた方がよい」とお考えですか。(○印1つ)

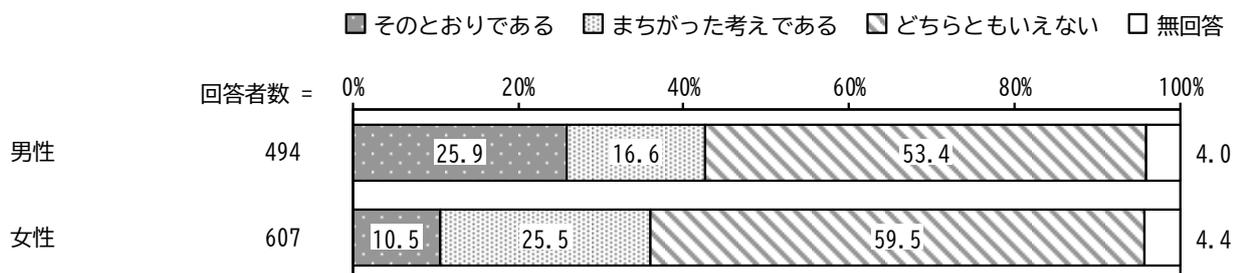
「そのとおりである」の割合が17.5%、「まちがった考えである」の割合が21.7%、「どちらともいえない」の割合が56.5%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「まちがった考えである」の割合が増加しています。



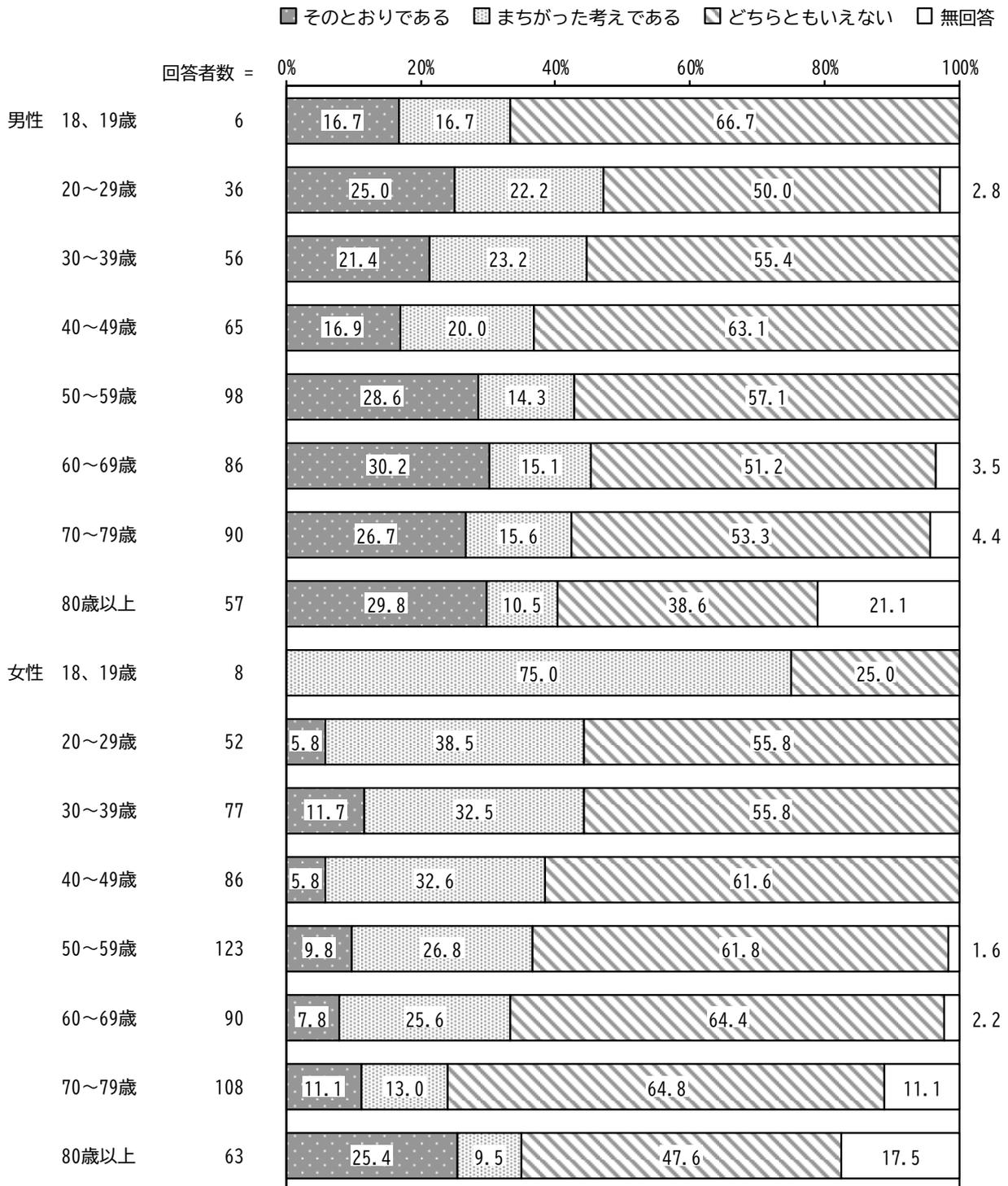
### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「そのとおりである」の割合が高く、男性と比較して女性で「まちがった考えである」「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

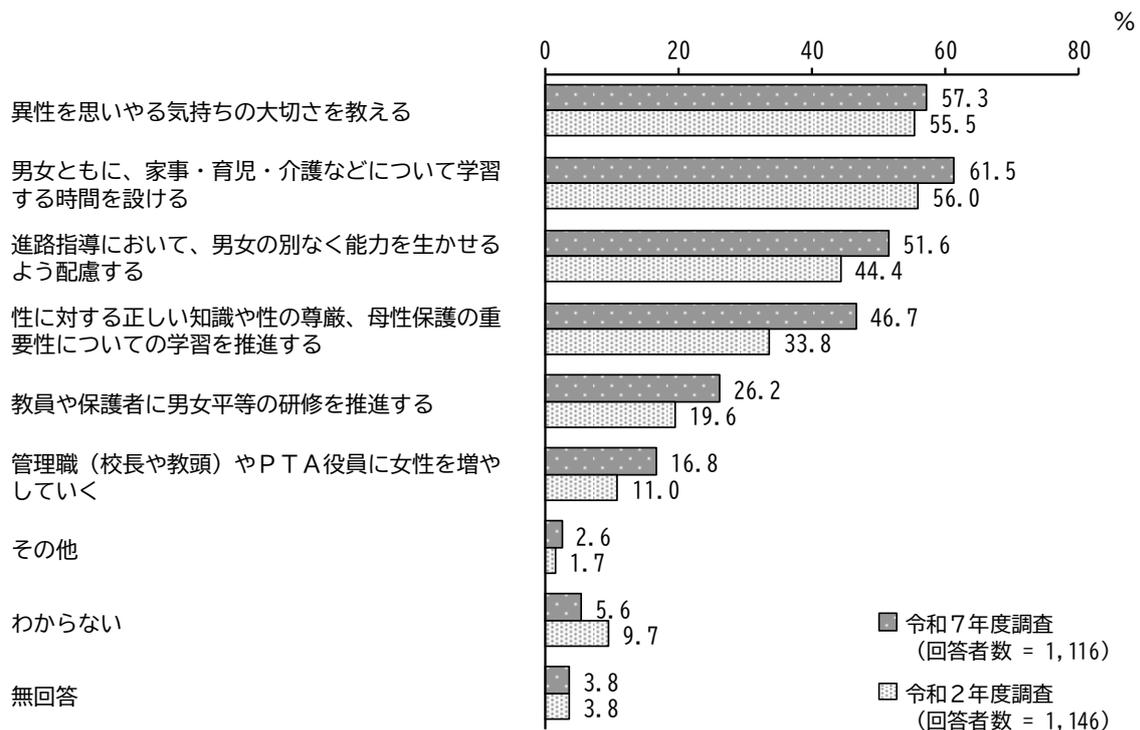
性・年齢別にみると、男性 50～59 歳、男性 60～69 歳、男性 80 歳以上で「そのとおりである」、女性 20～29 歳で「まちがった考えである」の割合が高くなっています。



問 18 男女平等の意識を育てるために、学校教育ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇印いくつでも)

「男女ともに、家事・育児・介護などについて学習する時間を設ける」の割合が61.5%と最も高く、次いで「異性を思いやる気持ちの大切さを教える」の割合が57.3%、「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」の割合が51.6%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「男女ともに、家事・育児・介護などについて学習する時間を設ける」「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」「性に対する正しい知識や性の尊厳、母性保護の重要性についての学習を推進する」「教員や保護者に男女平等の研修を推進する」「管理職（校長や教頭）やPTA役員に女性を増やしていく」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で「男女ともに、家事・育児・介護などについて学習する時間を設ける」「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」「性に対する正しい知識や性の尊厳、母性保護の重要性についての学習を推進する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	異性を思いやる気持ちの大切さを教える	男女ともに、家事・育児・介護などについて学習する時間を設ける	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	性に対する正しい知識や性の尊厳、母性保護の重要性についての学習を推進する	教員や保護者に男女平等の研修を推進する	管理職（校長や教頭）やPTA役員に女性を増やしていく	その他	わからない	無回答
全体	1,116	57.3	61.5	51.6	46.7	26.2	16.8	2.6	5.6	3.8
男性	494	55.3	53.6	46.4	40.1	24.1	15.8	3.2	6.3	3.2
女性	607	58.5	67.9	56.0	51.9	27.8	17.5	2.1	5.1	4.0

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 20～29 歳、女性 40～49 歳、女性 50～59 歳で「男女ともに、家事・育児・介護などについて学習する時間を設ける」、女性 20～29 歳で「性に対する正しい知識や性の尊厳、母性保護の重要性についての学習を推進する」「教員や保護者に男女平等の研修を推進する」の割合が高くなっています。

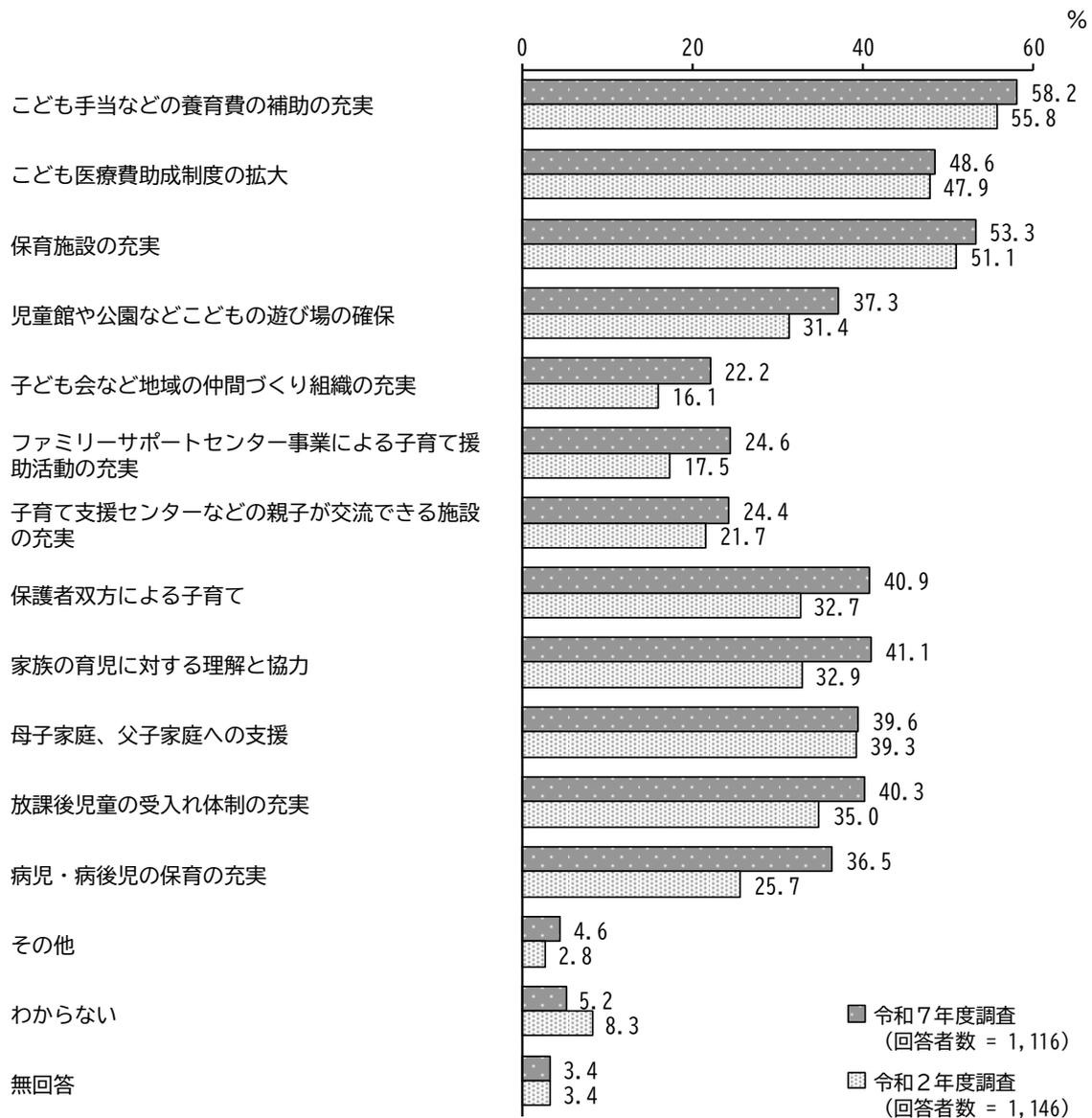
単位：％

区分	回答者数(件)	異性を思いやる気持ちの大切さを教える	男女ともに、家事・育児・介護などについて学習する時間を設ける	別なく能力を生かせるよう配慮する	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	性に対する正しい知識や性の尊厳、母性保護の重要性についての学習を推進する	教員や保護者に男女平等の研修を推進する	管理職(校長や教頭)やPTA役員に女性を増やしていく	その他	わからない	無回答
全体	1,116	57.3	61.5	51.6	46.7	26.2	16.8	2.6	5.6	3.8	
男性 18、19歳	6	83.3	33.3	50.0	83.3	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	
20～29歳	36	50.0	36.1	47.2	33.3	19.4	8.3	0.0	11.1	2.8	
30～39歳	56	58.9	69.6	46.4	51.8	30.4	16.1	1.8	5.4	0.0	
40～49歳	65	60.0	61.5	47.7	58.5	24.6	16.9	9.2	4.6	0.0	
50～59歳	98	56.1	57.1	49.0	33.7	26.5	22.4	2.0	4.1	1.0	
60～69歳	86	58.1	52.3	43.0	36.0	22.1	9.3	4.7	4.7	2.3	
70～79歳	90	56.7	46.7	52.2	33.3	24.4	13.3	2.2	8.9	3.3	
80歳以上	57	38.6	49.1	35.1	35.1	21.1	21.1	1.8	7.0	15.8	
女性 18、19歳	8	62.5	75.0	62.5	87.5	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	
20～29歳	52	63.5	75.0	57.7	67.3	38.5	23.1	5.8	3.8	0.0	
30～39歳	77	66.2	74.0	57.1	57.1	31.2	13.0	5.2	0.0	0.0	
40～49歳	86	55.8	75.6	58.1	54.7	27.9	18.6	0.0	4.7	0.0	
50～59歳	123	60.2	77.2	58.5	48.8	33.3	17.1	2.4	2.4	1.6	
60～69歳	90	58.9	72.2	57.8	53.3	25.6	24.4	3.3	6.7	2.2	
70～79歳	108	52.8	51.9	55.6	41.7	18.5	12.0	0.0	8.3	10.2	
80歳以上	63	54.0	46.0	42.9	46.0	22.2	15.9	0.0	11.1	14.3	

問19 安心して子どもを育てるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇印  
いくつでも)

「子ども手当などの養育費の補助の充実」の割合が58.2%と最も高く、次いで「保育施設の充実」の割合が53.3%、「子ども医療費助成制度の拡大」の割合が48.6%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「児童館や公園などこどもの遊び場の確保」「子ども会など地域の仲間づくり組織の充実」「ファミリーサポートセンター事業による子育て援助活動の充実」「保護者双方による子育て」「家族の育児に対する理解と協力」「放課後児童の受入れ体制の充実」「病児・病後児の保育の充実」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「こども手当などの養育費の補助の充実」「子ども会など地域の仲間づくり組織の充実」の割合が高く、男性と比較して女性で「保護者双方による子育て」「家族の育児に対する理解と協力」「放課後児童の受入れ体制の充実」「病児・病後児の保育の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	こども手当などの養育費の補助の充実	こども医療費助成制度の拡大	保育施設の充実	児童館や公園などこどもの遊び場の確保	子ども会など地域の仲間づくり組織の充実	ファミリーサポートセンター事業による子育て援助活動の充実	子育て支援センターなどの親子が交流できる施設の充実
全体	1,116	58.2	48.6	53.3	37.3	22.2	24.6	24.4
男性	494	62.6	50.4	50.8	36.4	25.1	21.9	23.1
女性	607	54.7	47.1	55.2	38.1	19.9	26.7	24.9

区分	保護者双方による子育て	家族の育児に対する理解と協力	母子家庭、父子家庭への支援	放課後児童の受入れ体制の充実	病児・病後児の保育の充実	その他	わからない	無回答
全体	40.9	41.1	39.6	40.3	36.5	4.6	5.2	3.4
男性	36.6	38.5	37.7	35.8	30.4	4.3	5.5	2.4
女性	44.5	43.5	40.9	44.3	41.7	4.9	5.1	4.0

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 20～29 歳で「こども手当などの養育費の補助の充実」「保育施設の充実」「子育て支援センターなどの親子が交流できる施設の充実」「母子家庭、父子家庭への支援」、男性 40～49 歳で「こども医療費助成制度の拡大」、男性 30～39 歳で「児童館や公園などこどもの遊び場の確保」、男性 50～59 歳、女性 20～29 歳で「子ども会など地域の仲間づくり組織の充実」、女性 30～39 歳で「ファミリーサポートセンター事業による子育て援助活動の充実」「放課後児童の受入れ体制の充実」「病児・病後児の保育の充実」、女性 30～39 歳、女性 40～49 歳で「保護者双方による子育て」、男性 20～29 歳、女性 30～39 歳で「家族の育児に対する理解と協力」の割合が高くなっています。

単位：％

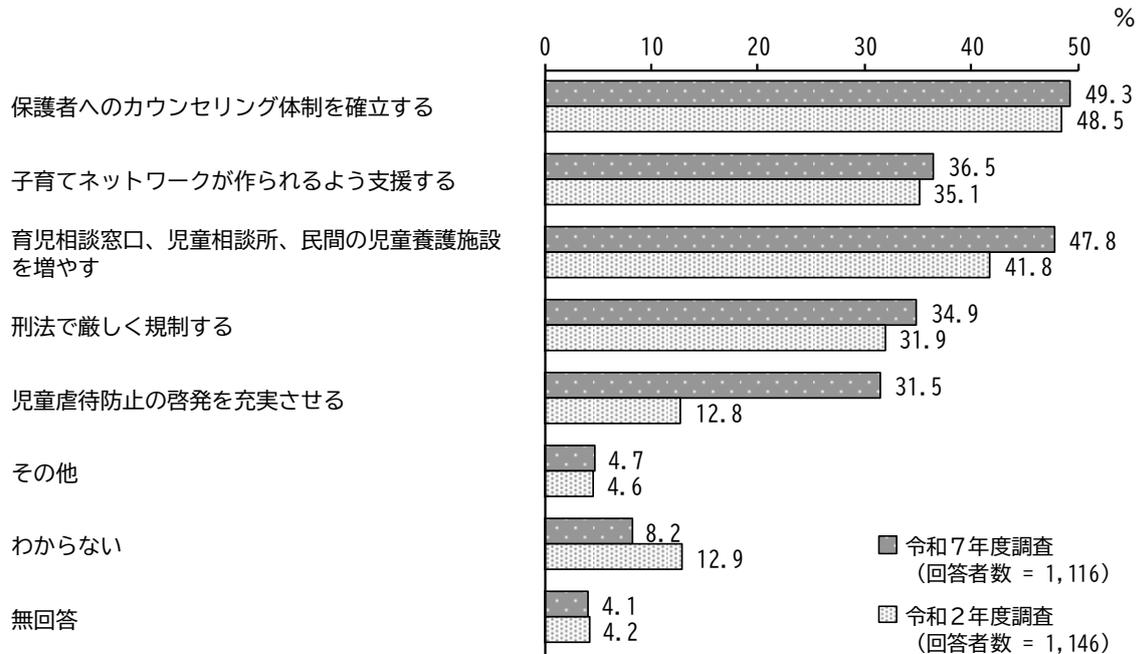
区分	回答者数 (件)	こども手当などの 養育費の補助の充実	こども医療費助成制度 の拡大	保育施設の充実	児童館や公園などこ どもの遊び場の確保	子ども会など地域の仲 間づくり組織の充実	ファミリーサポートセ ンター事業による子育 て援助活動の充実	子育て支援センターな どの親子が交流できる 施設の充実
全 体	1,116	58.2	48.6	53.3	37.3	22.2	24.6	24.4
男性 18、19歳	6	83.3	83.3	66.7	50.0	50.0	33.3	16.7
20～29歳	36	72.2	38.9	38.9	38.9	13.9	16.7	19.4
30～39歳	56	78.6	60.7	62.5	57.1	23.2	30.4	25.0
40～49歳	65	70.8	66.2	55.4	50.8	30.8	20.0	21.5
50～59歳	98	64.3	44.9	41.8	33.7	34.7	21.4	23.5
60～69歳	86	48.8	44.2	55.8	30.2	19.8	17.4	23.3
70～79歳	90	57.8	51.1	51.1	23.3	16.7	18.9	22.2
80歳以上	57	54.4	43.9	47.4	31.6	29.8	29.8	26.3
女性 18、19歳	8	100.0	100.0	62.5	75.0	37.5	50.0	25.0
20～29歳	52	88.5	59.6	69.2	48.1	36.5	30.8	34.6
30～39歳	77	71.4	62.3	61.0	51.9	20.8	37.7	31.2
40～49歳	86	55.8	54.7	51.2	34.9	16.3	24.4	19.8
50～59歳	123	53.7	52.0	59.3	43.9	17.9	33.3	25.2
60～69歳	90	47.8	42.2	56.7	34.4	23.3	22.2	27.8
70～79歳	108	39.8	32.4	49.1	27.8	13.0	16.7	16.7
80歳以上	63	36.5	23.8	41.3	23.8	19.0	20.6	25.4

区分	保護者双方による子育て	家族の育児に対する理解と協力	母子家庭、父子家庭への支援	放課後児童の受入れ体制の充実	病児・病後児の保育の充実	その他	わからない	無回答
全体	40.9	41.1	39.6	40.3	36.5	4.6	5.2	3.4
男性								
18、19歳	66.7	66.7	66.7	50.0	66.7	0.0	16.7	0.0
20～29歳	38.9	52.8	33.3	36.1	36.1	0.0	8.3	2.8
30～39歳	42.9	48.2	39.3	44.6	39.3	3.6	1.8	0.0
40～49歳	47.7	46.2	38.5	38.5	33.8	10.8	1.5	0.0
50～59歳	39.8	33.7	37.8	30.6	28.6	4.1	5.1	0.0
60～69歳	31.4	29.1	36.0	31.4	29.1	7.0	9.3	1.2
70～79歳	24.4	31.1	40.0	38.9	24.4	1.1	4.4	4.4
80歳以上	35.1	42.1	33.3	33.3	24.6	1.8	7.0	10.5
女性								
18、19歳	50.0	62.5	62.5	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	50.0	50.0	53.8	46.2	46.2	3.8	1.9	0.0
30～39歳	54.5	55.8	48.1	51.9	55.8	10.4	3.9	0.0
40～49歳	55.8	47.7	45.3	48.8	47.7	5.8	4.7	0.0
50～59歳	46.3	43.9	43.9	48.0	44.7	4.1	3.3	0.8
60～69歳	34.4	38.9	37.8	47.8	48.9	5.6	3.3	2.2
70～79歳	36.1	36.1	31.5	37.0	25.0	2.8	8.3	11.1
80歳以上	36.5	33.3	27.0	27.0	23.8	3.2	11.1	14.3

問 20 こどもへの虐待を起こさないためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇印いくつでも)

「保護者へのカウンセリング体制を確立する」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「育児相談窓口、児童相談所、民間の児童養護施設を増やす」の割合が 47.8%、「子育てネットワークが作られるよう支援する」の割合が 36.5%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「育児相談窓口、児童相談所、民間の児童養護施設を増やす」「児童虐待防止の啓発を充実させる」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「刑法で厳しく規制する」「児童虐待防止の啓発を充実させる」の割合が高く、男性と比較して女性で「育児相談窓口、児童相談所、民間の児童養護施設を増やす」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	保護者へのカウンセリング体制を確立する	子育てネットワークが作られるよう支援する	育児相談窓口、児童相談所、民間の児童養護施設を増やす	刑法で厳しく規制する	児童虐待防止の啓発を充実させる	その他	わからない	無回答
全体	1,116	49.3	36.5	47.8	34.9	31.5	4.7	8.2	4.1
男性	494	50.0	34.6	43.5	39.5	35.4	4.7	7.5	2.6
女性	607	48.6	38.1	51.6	31.1	28.2	4.6	9.1	5.1

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 30～39 歳で「保護者へのカウンセリング体制を確立する」、男性 40～49 歳、女性 20～29 歳で「子育てネットワークが作られるよう支援する」、女性 20～29 歳、女性 30～39 歳で「育児相談窓口、児童相談所、民間の児童養護施設を増やす」、男性 30～39 歳、男性 50～59 歳で「刑法で厳しく規制する」、男性 80 歳以上で「児童虐待防止の啓発を充実させる」の割合が高くなっています。

単位：％

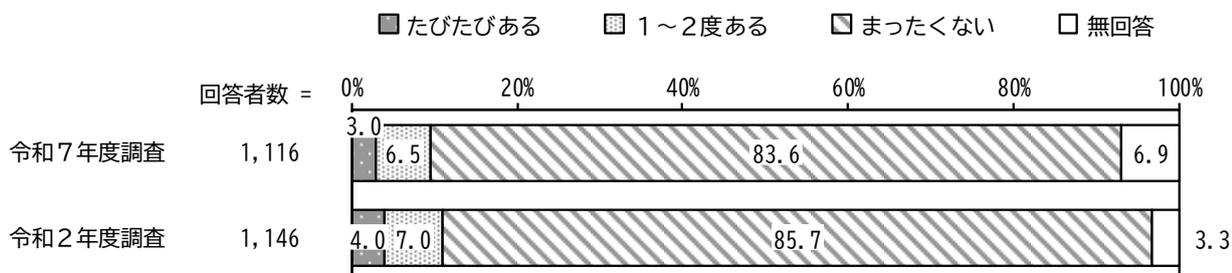
区分	回答者数(件)	保護者へのカウンセリング体制を確立する	子育てネットワークが作られるよう支援する	育児相談窓口、児童相談所、民間の児童養護施設を増やす	刑法で厳しく規制する	児童虐待防止の啓発を充実させる	その他	わからない	無回答
全体	1,116	49.3	36.5	47.8	34.9	31.5	4.7	8.2	4.1
男性 18、19歳	6	66.7	33.3	33.3	50.0	33.3	16.7	16.7	0.0
20～29歳	36	44.4	33.3	30.6	33.3	27.8	2.8	13.9	2.8
30～39歳	56	53.6	37.5	53.6	53.6	33.9	7.1	3.6	0.0
40～49歳	65	61.5	49.2	38.5	46.2	41.5	9.2	7.7	0.0
50～59歳	98	50.0	34.7	44.9	51.0	28.6	3.1	7.1	0.0
60～69歳	86	52.3	36.0	50.0	32.6	26.7	7.0	3.5	2.3
70～79歳	90	44.4	26.7	38.9	32.2	43.3	1.1	8.9	3.3
80歳以上	57	40.4	26.3	43.9	22.8	47.4	1.8	10.5	12.3
女性 18、19歳	8	75.0	37.5	50.0	50.0	37.5	0.0	0.0	0.0
20～29歳	52	53.8	48.1	69.2	46.2	38.5	1.9	1.9	0.0
30～39歳	77	64.9	42.9	66.2	36.4	26.0	13.0	5.2	0.0
40～49歳	86	50.0	45.3	44.2	32.6	19.8	8.1	10.5	0.0
50～59歳	123	54.5	45.5	57.7	33.3	30.9	5.7	10.6	2.4
60～69歳	90	46.7	27.8	46.7	35.6	32.2	3.3	7.8	4.4
70～79歳	108	38.9	33.3	48.1	17.6	23.1	0.0	11.1	11.1
80歳以上	63	27.0	22.2	30.2	20.6	30.2	0.0	14.3	19.0

## (7) パートナー等からの暴力について

問21 あなたはこれまでに、DVを受けたことがありますか。(○印1つ)

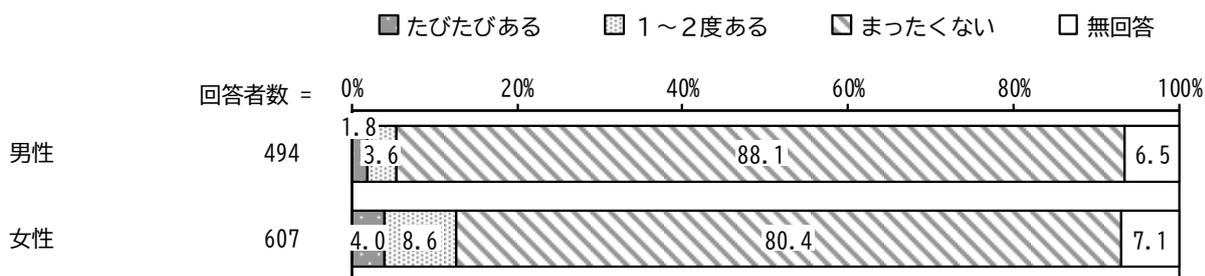
「たびたびある」の割合が3.0%、「1～2度ある」の割合が6.5%、「まったくない」の割合が83.6%となっています。

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



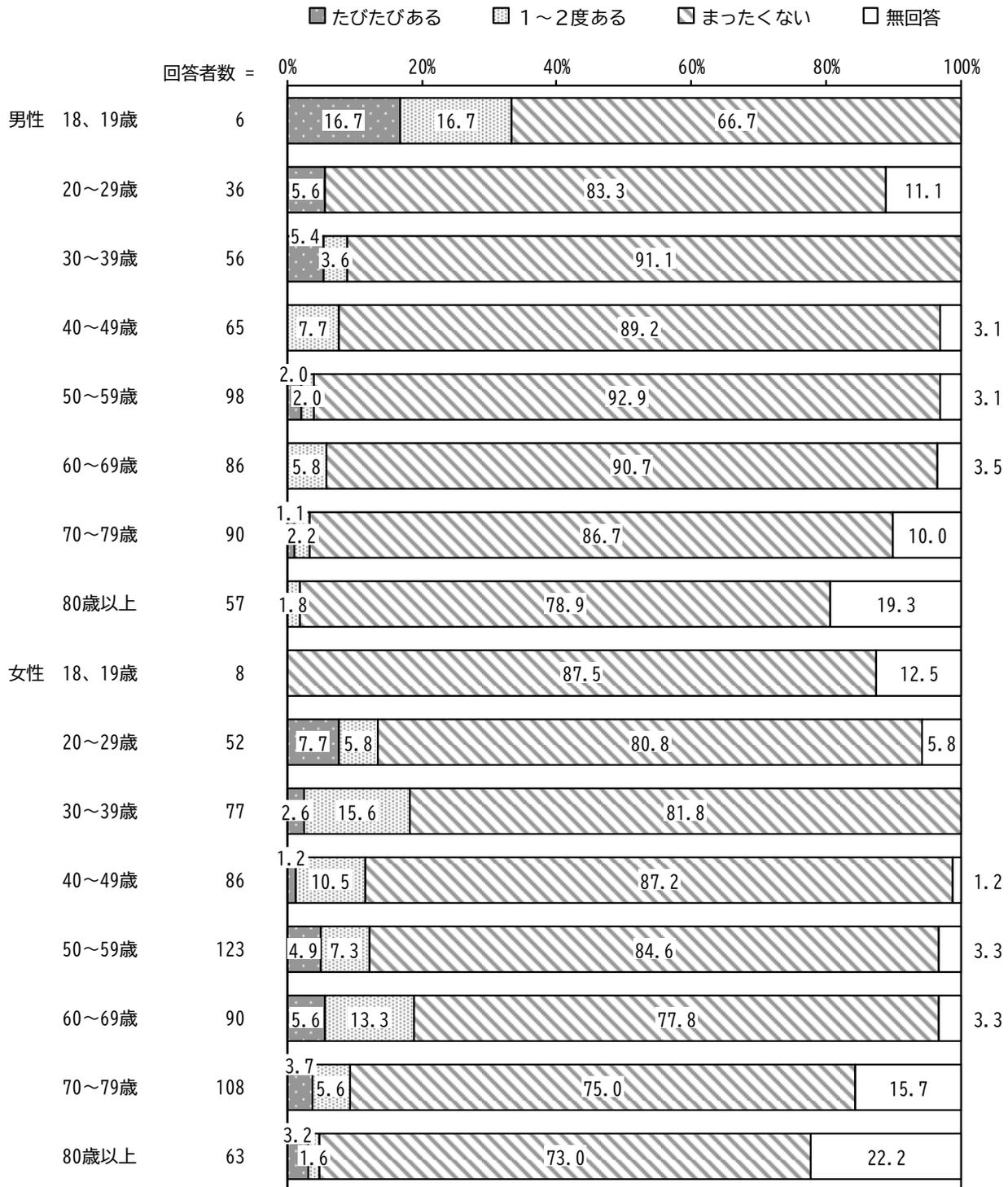
### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「まったくない」の割合が高く、男性と比較して女性で「1～2度ある」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

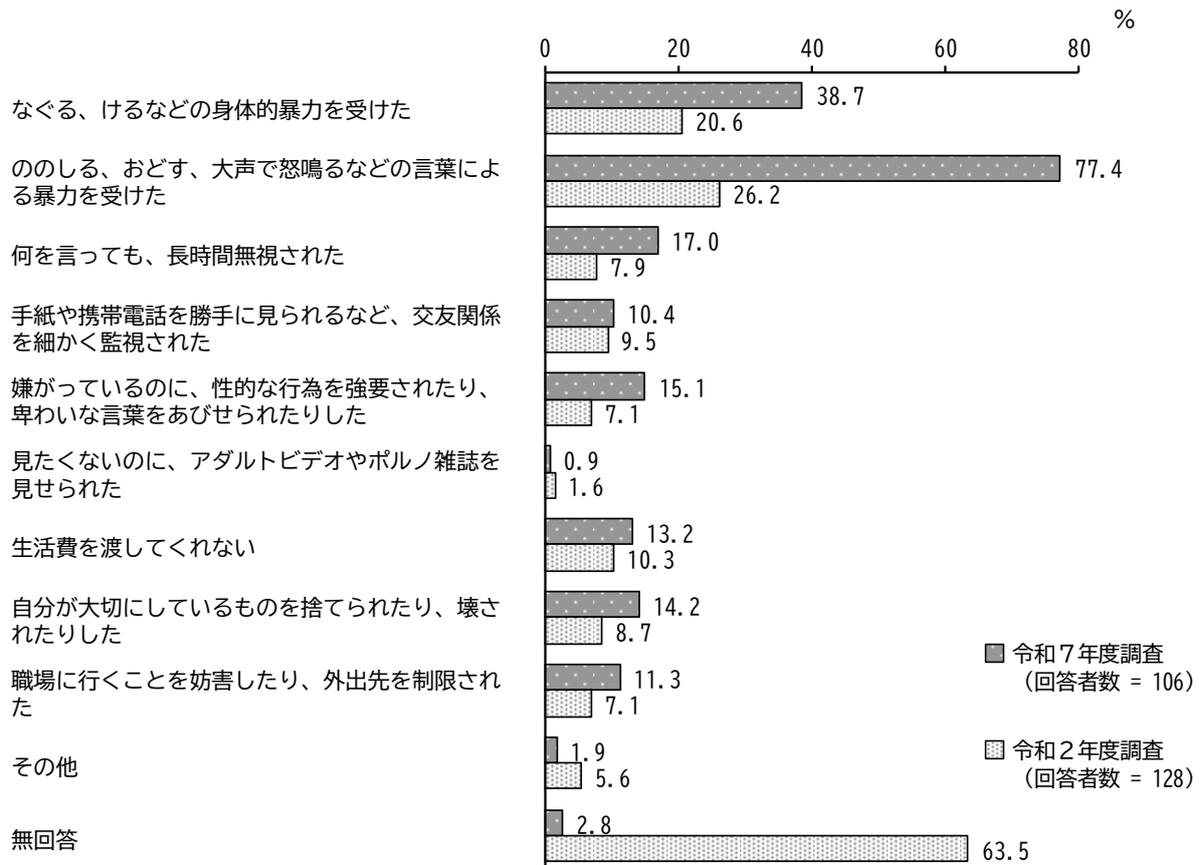
性・年齢別にみると、女性 30～39 歳、女性 60～69 歳で「1～2度ある」、男性 30～39 歳、男性 50～59 歳、男性 60～69 歳で「まったくない」の割合が高くなっています。



問22 (問21で「たびたびある」「1～2度ある」と回答した方におたずねします) どのようなDVを受けましたか。(〇印いくつでも)

「ののしる、おどす、大声で怒鳴るなどの言葉による暴力を受けた」の割合が77.4%と最も高く、次いで「なぐる、けるなどの身体的暴力を受けた」の割合が38.7%、「何を言っても、長時間無視された」の割合が17.0%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「なぐる、けるなどの身体的暴力を受けた」「ののしる、おどす、大声で怒鳴るなどの言葉による暴力を受けた」「何を言っても、長時間無視された」「嫌がっているのに、性的な行為を強要されたり、卑わいな言葉をあびせられたりした」「自分が大切にしているものを捨てられたり、壊されたりした」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「自分が大切にしているものを捨てられたり、壊されたりした」の割合が高く、男性と比較して女性で「ののしる、おどす、大声で怒鳴るなどの言葉による暴力を受けた」「手紙や携帯電話を勝手に見られるなど、交友関係を細かく監視された」「嫌がっているのに、性的な行為を強要されたり、卑わいな言葉をあびせられたりした」「生活費を渡してくれない」「職場に行くことを妨害したり、外出先を制限された」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	なぐる、けるなどの身体的暴力を受けた	ののしる、おどす、大声で怒鳴るなどの言葉による暴力を受けた	何を言っても、長時間無視された	手紙や携帯電話を勝手に見られるなど、交友関係を細かく監視された	嫌がっているのに、性的な行為を強要されたり、卑わいな言葉をあびせられたりした
全体	106	38.7	77.4	17.0	10.4	15.1
男性	27	37.0	74.1	14.8	3.7	3.7
女性	76	40.8	80.3	17.1	11.8	19.7

区分	見たくないのに、アダルトビデオやポルノ雑誌を見せられた	生活費を渡してくれない	自分が大切にしているものを捨てられたり、壊されたりした	職場に行くことを妨害したり、外出先を制限された	その他	無回答
全体	0.9	13.2	14.2	11.3	1.9	2.8
男性	0.0	7.4	18.5	3.7	3.7	0.0
女性	1.3	15.8	11.8	14.5	1.3	2.6

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 50～59 歳で「ののしる、おどす、大声で怒鳴るなどの言葉による暴力を受けた」、女性 30～39 歳で「嫌がっているのに、性的な行為を強要されたり、卑わいな言葉をあびせられたりした」「職場に行くことを妨害したり、外出先を制限された」、女性 70～79 歳で「生活費を渡してくれない」「自分が大切にしているものを捨てられたり、壊されたりした」の割合が高くなっています。

単位：％

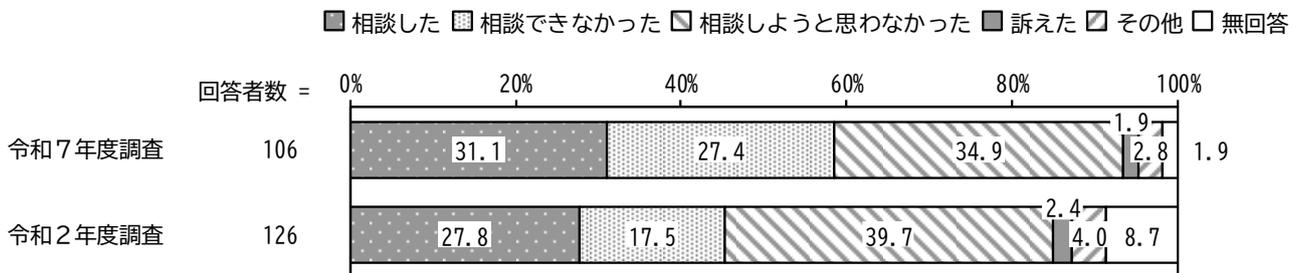
区分	回答者数(件)	なぐる、けるなどの身体的暴力を受けた	ののしる、おどす、大声で怒鳴るなどの言葉による暴力を受けた	何を言っても、長時間無視された	手紙や携帯電話を勝手に見られるなど、交友関係を細かく監視された	嫌がっているのに、性的な行為を強要されたり、卑わいな言葉をあびせられたりした
全 体	106	38.7	77.4	17.0	10.4	15.1
男性 18、19歳	2	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	5	60.0	60.0	20.0	20.0	20.0
40～49歳	5	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
50～59歳	4	75.0	75.0	25.0	0.0	0.0
60～69歳	5	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
70～79歳	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
80歳以上	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
女性 18、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	7	57.1	71.4	14.3	14.3	28.6
30～39歳	14	28.6	71.4	14.3	14.3	35.7
40～49歳	10	20.0	70.0	20.0	10.0	20.0
50～59歳	15	46.7	93.3	26.7	20.0	13.3
60～69歳	17	47.1	82.4	11.8	5.9	5.9
70～79歳	10	40.0	80.0	20.0	10.0	30.0
80歳以上	3	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0

区分	見たくないのに、アダルトビデオやポルノ雑誌を見せられた	生活費を渡してくれない	自分が大切にしているものを捨てられたり、壊されたりした	職場に行くことを妨害したり、外出先を制限された	その他	無回答
全体	0.9	13.2	14.2	11.3	1.9	2.8
男性 18、19歳	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0
40～49歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50～59歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～69歳	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
70～79歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性 18、19歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0
30～39歳	0.0	21.4	21.4	28.6	0.0	7.1
40～49歳	0.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0
50～59歳	0.0	20.0	0.0	13.3	0.0	0.0
60～69歳	0.0	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0
70～79歳	10.0	30.0	30.0	10.0	0.0	10.0
80歳以上	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0

問 23 (問 21 で「たびたびある」「1～2度ある」と回答した方におたずねします) DVを受けた時に誰かに打ち明けましたか。(○印1つ)

「相談しようと思わなかった」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「相談した」の割合が 31.1%、「相談できなかった」の割合が 27.4%となっています。

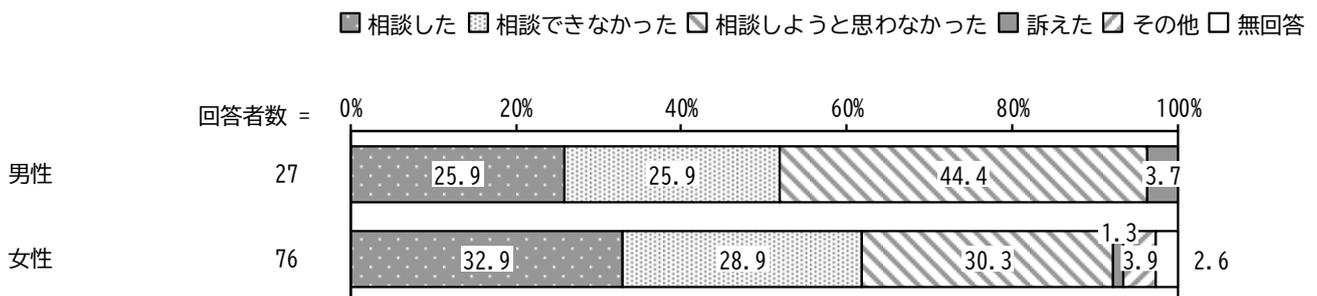
令和2年度調査と比較すると、「相談できなかった」の割合が増加しています。



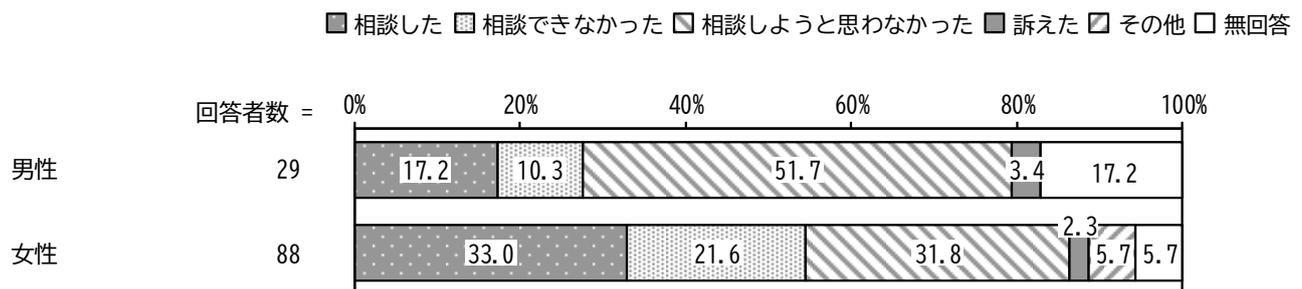
【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「相談しようと思わなかった」の割合が高く、男性と比較して女性で「相談した」の割合が高くなっています。

令和2年度調査と比較すると、男性で「相談できなかった」の割合が 15.6 ポイント増加しています。

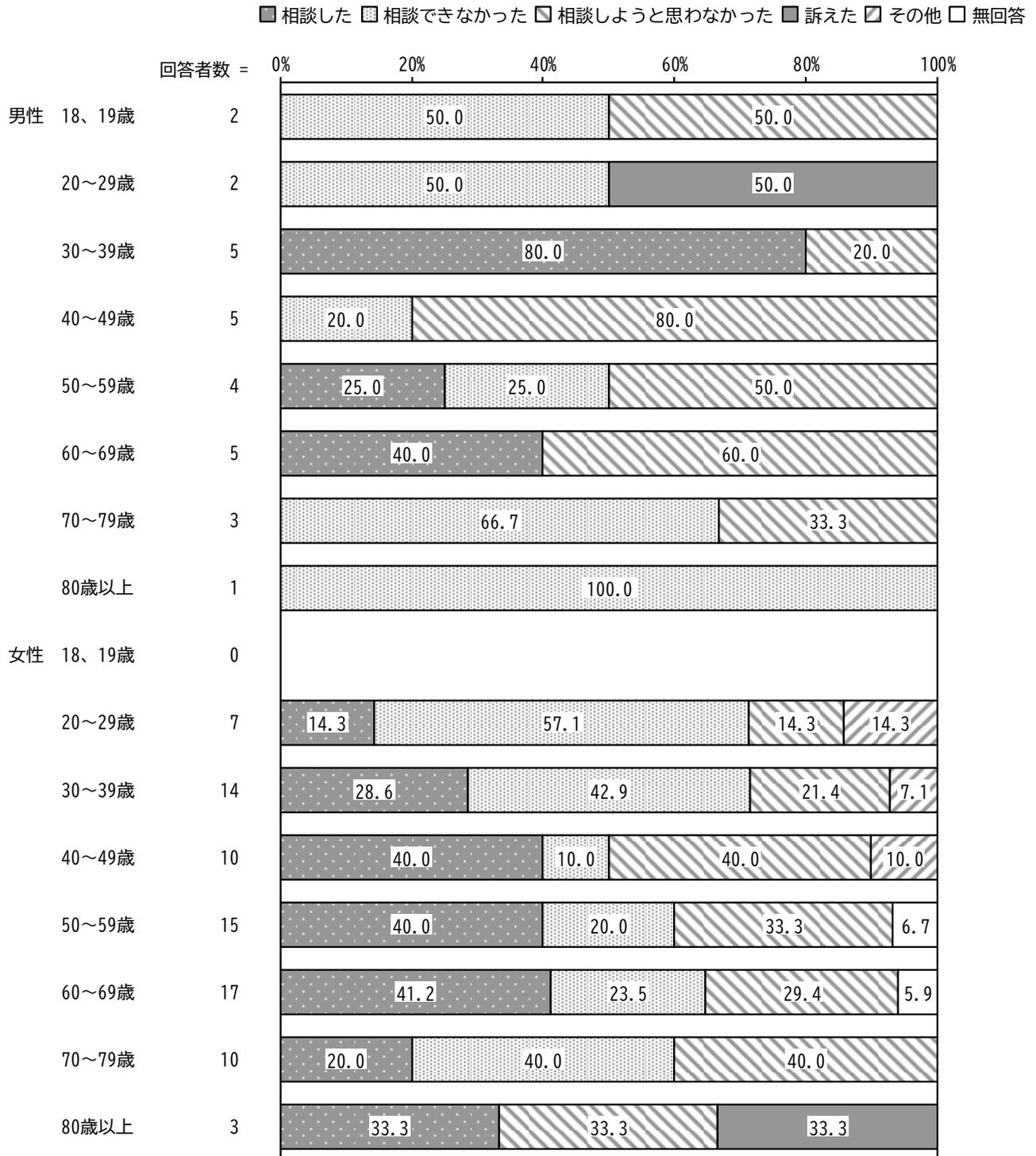


【性別（令和2年度調査）】



【性・年齢別】

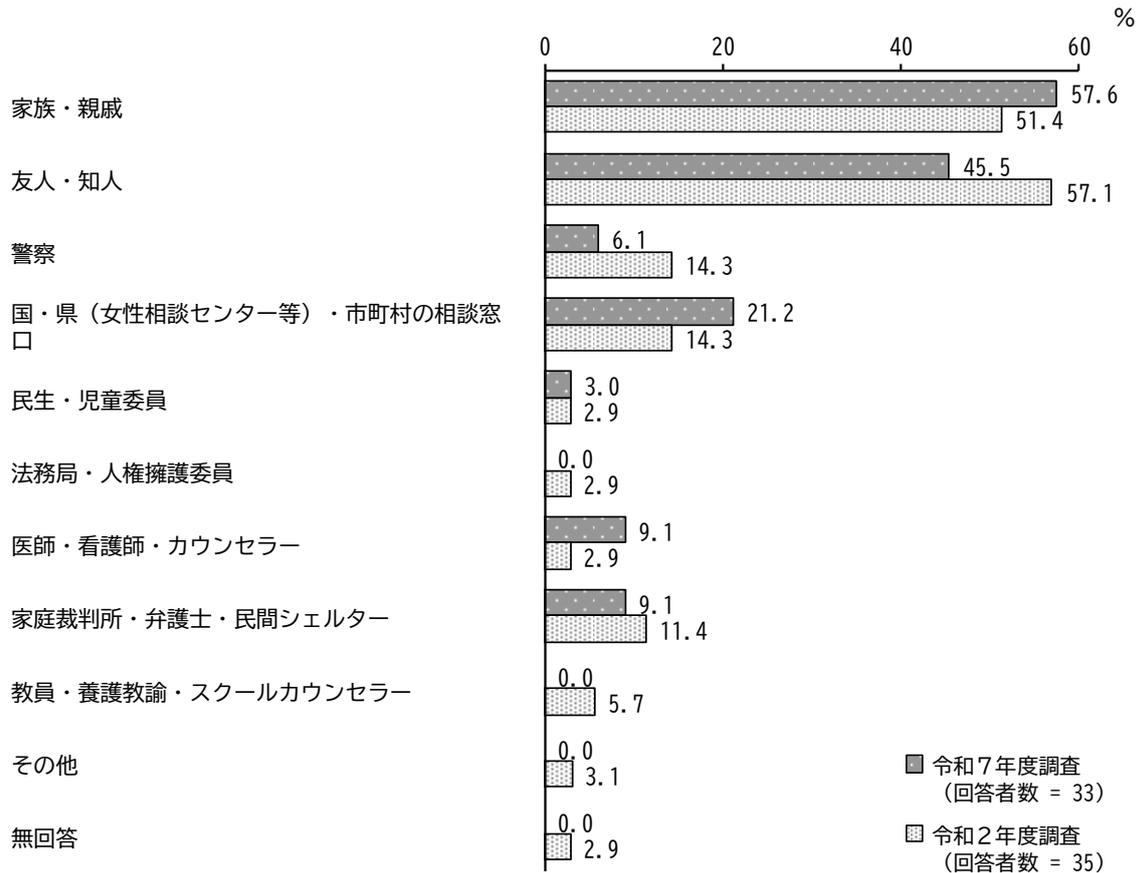
性・年齢別にみると、女性 60～69 歳で「相談した」、女性 30～39 歳、女性 70～79 歳で「相談できなかった」の割合が高くなっています。



問 24 (問 23 で「相談した」と回答した方におたずねします) 誰 (どこ) に相談しましたか。(〇印いくつでも)

「家族・親戚」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 45.5%、「国・県(女性相談センター等)・市町村の相談窓口」の割合が 21.2%となっています。

令和 2 年度調査と比較すると、「家族・親戚」「国・県(女性相談センター等)・市町村の相談窓口」「医師・看護師・カウンセラー」の割合が増加しています。一方、「友人・知人」「警察」「教員・養護教諭・スクールカウンセラー」の割合が減少しています。



【性別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族・親戚	友人・知人	警察	国・県(女性相談センター等)・市町村の相談窓口	民生・児童委員	法務局・人権擁護委員	医師・看護師・カウンセラー	家庭裁判所・弁護士・民間シェルター	教員・養護教諭・スクールカウンセラー	その他	無回答
全体	33	57.6	45.5	6.1	21.2	3.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0
男性	7	57.1	42.9	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	25	56.0	44.0	8.0	20.0	0.0	0.0	8.0	12.0	0.0	0.0	0.0

【性・年齢別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。

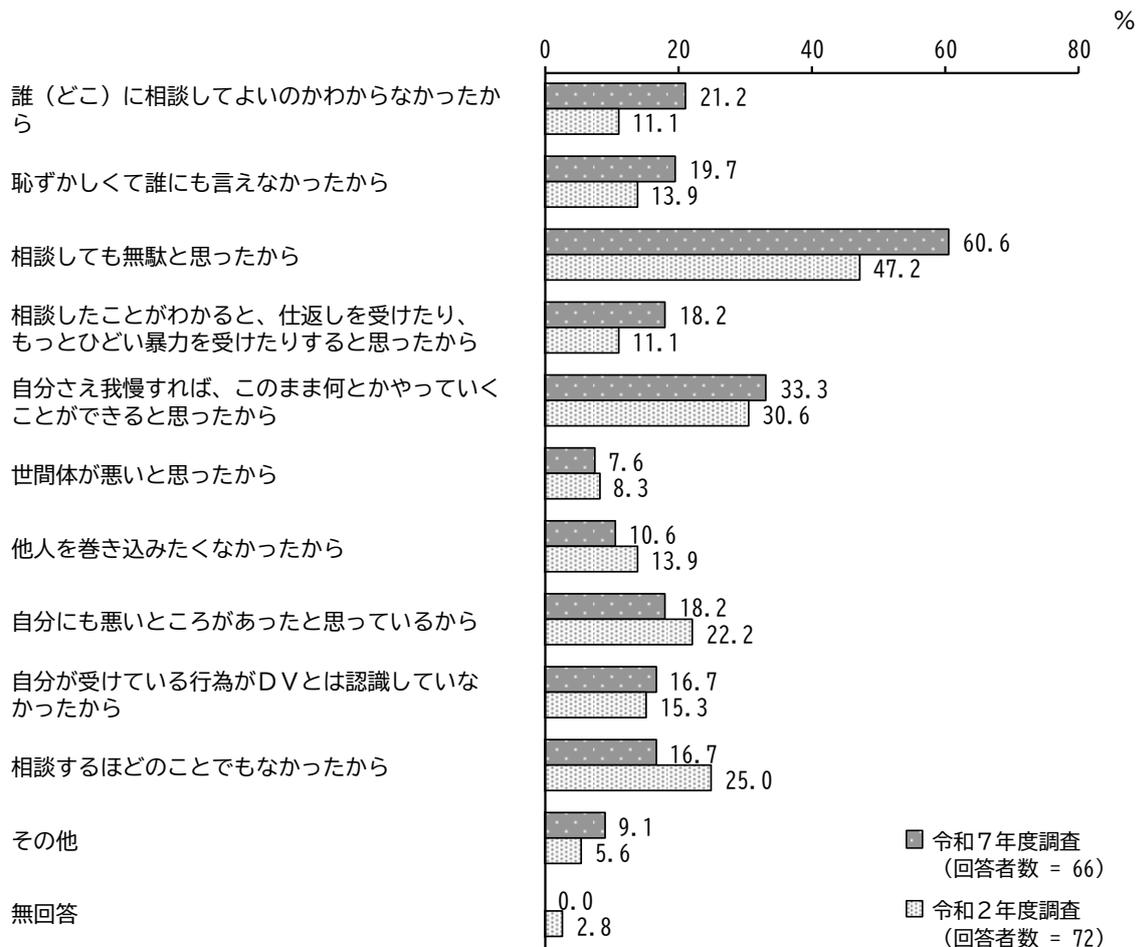
単位：％

区分	回答者数(件)	家族・親戚	友人・知人	警察	国・県(女性相談センター等)・市町村の相談窓口	民生・児童委員	法務局・人権擁護委員	医師・看護師・カウンセラー	家庭裁判所・弁護士・民間シエルト	教員・養護教諭・スクールカウンセラー	その他	無回答
全体	33	57.6	45.5	6.1	21.2	3.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0
男性 18、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	4	25.0	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40～49歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50～59歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～69歳	2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70～79歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性 18、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	4	75.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
40～49歳	4	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50～59歳	6	50.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
60～69歳	7	71.4	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
70～79歳	2	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80歳以上	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 25 (問 23 で「相談できなかった」「相談しようと思わなかった」と回答した方におたずねします) その理由はなぜですか。(〇印いくつでも)

「相談しても無駄と思ったから」の割合が 60.6%と最も高く、次いで「自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから」の割合が 33.3%、「誰(どこ)に相談してよいのかわからなかったから」の割合が 21.2%となっています。

令和 2 年度調査と比較すると、「誰(どこ)に相談してよいのかわからなかったから」「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」「相談しても無駄と思ったから」「相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから」の割合が増加しています。一方、「相談するほどのことでもなかったから」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「他人を巻き込みたくなかったから」「自分が受けている行為がDVとは認識していなかったから」「相談するほどのことでもなかったから」の割合が高く、男性と比較して女性で「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」「相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	誰(どこ)に相談してよいのかわからなかったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	相談しても無駄と思ったから	相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから	自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから	世間体が悪いと思ったから
全体	66	21.2	19.7	60.6	18.2	33.3	7.6
男性	19	21.1	15.8	57.9	5.3	31.6	5.3
女性	45	22.2	22.2	60.0	24.4	35.6	8.9

区分	他人を巻き込みたくなかったから	自分にも悪いところがあったかと思っっているから	自分が受けている行為がDVとは認識していなかったから	相談するほどのことでもなかったから	その他	無回答
全体	10.6	18.2	16.7	16.7	9.1	0.0
男性	21.1	21.1	21.1	26.3	5.3	0.0
女性	6.7	17.8	15.6	13.3	11.1	0.0

【性・年齢別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。

単位：％

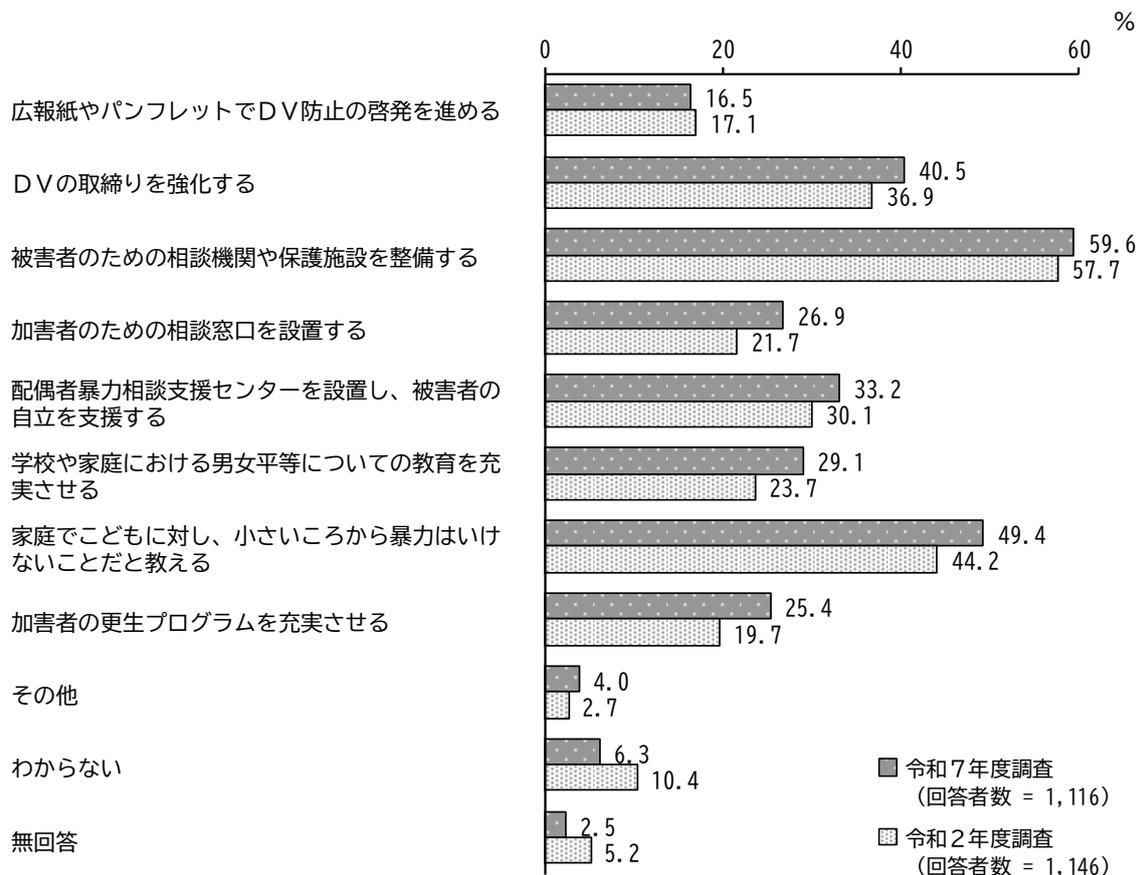
区分	回答者数(件)	誰(どこ)に相談してよいかわからなかったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	相談しても無駄と思ったから	相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから	自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから	世間体が悪いと思ったから
全体	66	21.2	19.7	60.6	18.2	33.3	7.6
男性 18、19歳	2	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0
20～29歳	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
40～49歳	5	0.0	20.0	40.0	0.0	40.0	0.0
50～59歳	3	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0
60～69歳	3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
70～79歳	3	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0
80歳以上	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
女性 18、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	5	60.0	20.0	80.0	60.0	60.0	20.0
30～39歳	9	22.2	33.3	66.7	22.2	22.2	0.0
40～49歳	5	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
50～59歳	8	0.0	12.5	75.0	12.5	50.0	0.0
60～69歳	9	33.3	44.4	55.6	33.3	44.4	11.1
70～79歳	8	12.5	12.5	50.0	12.5	25.0	25.0
80歳以上	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0

区分	他人を巻き込みたくなかったから	自分にも悪いところがあったと思ってるから	自分が受けている行為がDVとは認識してないから	相談するほどのことでもなかったから	その他	無回答
全体	10.6	18.2	16.7	16.7	9.1	0.0
男性 18、19歳	50.0	50.0	100.0	100.0	0.0	0.0
20～29歳	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40～49歳	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0
50～59歳	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～69歳	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
70～79歳	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
80歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性 18、19歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	0.0	33.3	33.3	22.2	22.2	0.0
40～49歳	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0
50～59歳	0.0	12.5	12.5	12.5	25.0	0.0
60～69歳	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0
70～79歳	12.5	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0
80歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 26 すべての方におたずねします。DVを防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇印いくつでも)

「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える」の割合が 49.4%、「DVの取締りを強化する」の割合が 40.5%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「加害者のための相談窓口を設置する」「学校や家庭における男女平等についての教育を充実させる」「家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える」「加害者の更生プログラムを充実させる」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」「配偶者暴力相談支援センターを設置し、被害者の自立を支援する」「家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える」「加害者の更生プログラムを充実させる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	広報紙やパンフレットの啓発を進める	DVの取締りを強化する	被害者のための相談機関や保護施設を整備する	加害者のための相談窓口を設置する	配偶者暴力相談支援センターを設置し、被害者の自立を支援する	学校や家庭における男女平等についての教育を充実させる	家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える	加害者の更生プログラムを充実させる	その他	わからない	無回答
全体	1,116	16.5	40.5	59.6	26.9	33.2	29.1	49.4	25.4	4.0	6.3	2.5
男性	494	16.6	42.9	55.1	26.3	29.8	26.9	44.9	22.5	3.8	8.7	1.8
女性	607	16.3	38.4	64.1	27.5	36.4	31.1	53.0	28.3	4.3	4.3	2.6

【性・年齢別】

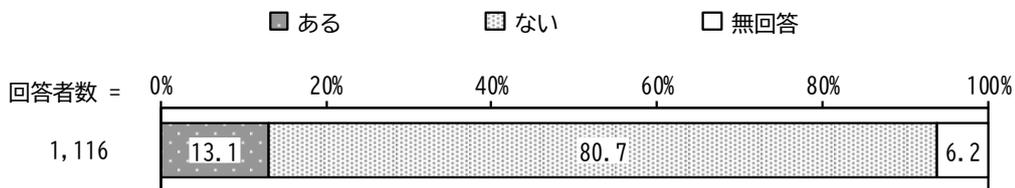
性・年齢別にみると、男性 30～39 歳、女性 20～29 歳で「DVの取締りを強化する」、女性 30～39 歳、女性 50～59 歳で「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」、女性 40～49 歳で「加害者のための相談窓口を設置する」、女性 30～39 歳で「家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える」「加害者の更生プログラムを充実させる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	広報紙やパンフレットでDV防止の啓発を進める	DVの取締りを強化する	被害者のための相談機関や保護施設を整備する	加害者のための相談窓口を設置する	配偶者暴力相談支援センターを設置し、被害者の自立を支援する	学校や家庭における男女平等についての教育を充実させる	家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える	加害者の更生プログラムを充実させる	その他	わからない	無回答
全体	1,116	16.5	40.5	59.6	26.9	33.2	29.1	49.4	25.4	4.0	6.3	2.5
男性 18、19歳	6	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7	0.0
20～29歳	36	13.9	47.2	47.2	33.3	19.4	19.4	25.0	13.9	0.0	16.7	2.8
30～39歳	56	16.1	58.9	57.1	30.4	23.2	28.6	39.3	19.6	3.6	7.1	0.0
40～49歳	65	13.8	55.4	61.5	33.8	40.0	36.9	56.9	33.8	10.8	6.2	0.0
50～59歳	98	10.2	53.1	59.2	28.6	32.7	27.6	46.9	30.6	2.0	5.1	0.0
60～69歳	86	15.1	34.9	55.8	19.8	27.9	22.1	43.0	22.1	5.8	8.1	2.3
70～79歳	90	24.4	26.7	55.6	20.0	24.4	21.1	42.2	18.9	1.1	11.1	1.1
80歳以上	57	21.1	31.6	43.9	24.6	36.8	35.1	54.4	10.5	0.0	10.5	8.8
女性 18、19歳	8	12.5	62.5	50.0	25.0	50.0	62.5	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	52	15.4	59.6	57.7	26.9	34.6	30.8	53.8	38.5	0.0	1.9	0.0
30～39歳	77	11.7	48.1	72.7	29.9	39.0	37.7	59.7	44.2	7.8	0.0	0.0
40～49歳	86	12.8	37.2	62.8	37.2	37.2	34.9	57.0	33.7	3.5	5.8	0.0
50～59歳	123	20.3	46.3	75.6	23.6	43.1	30.1	48.8	31.7	8.1	4.1	0.8
60～69歳	90	14.4	38.9	67.8	25.6	38.9	33.3	52.2	27.8	3.3	2.2	1.1
70～79歳	108	14.8	23.1	55.6	25.9	31.5	25.0	52.8	11.1	1.9	8.3	5.6
80歳以上	63	25.4	17.5	49.2	25.4	23.8	23.8	46.0	14.3	3.2	6.3	12.7

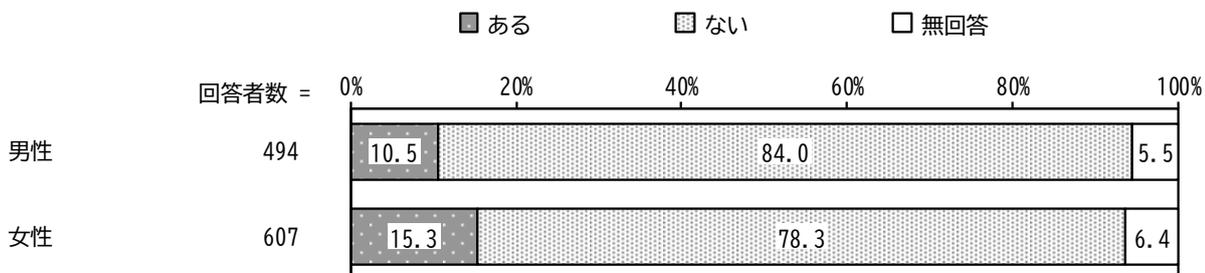
問 27 令和6年4月1日から「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されました。あなた自身又は、あなたの周りで困難な問題を抱えている女性を見たり聞いたりしたことがありますか。(○印1つ)

「ある」の割合が13.1%、「ない」の割合が80.7%となっています。



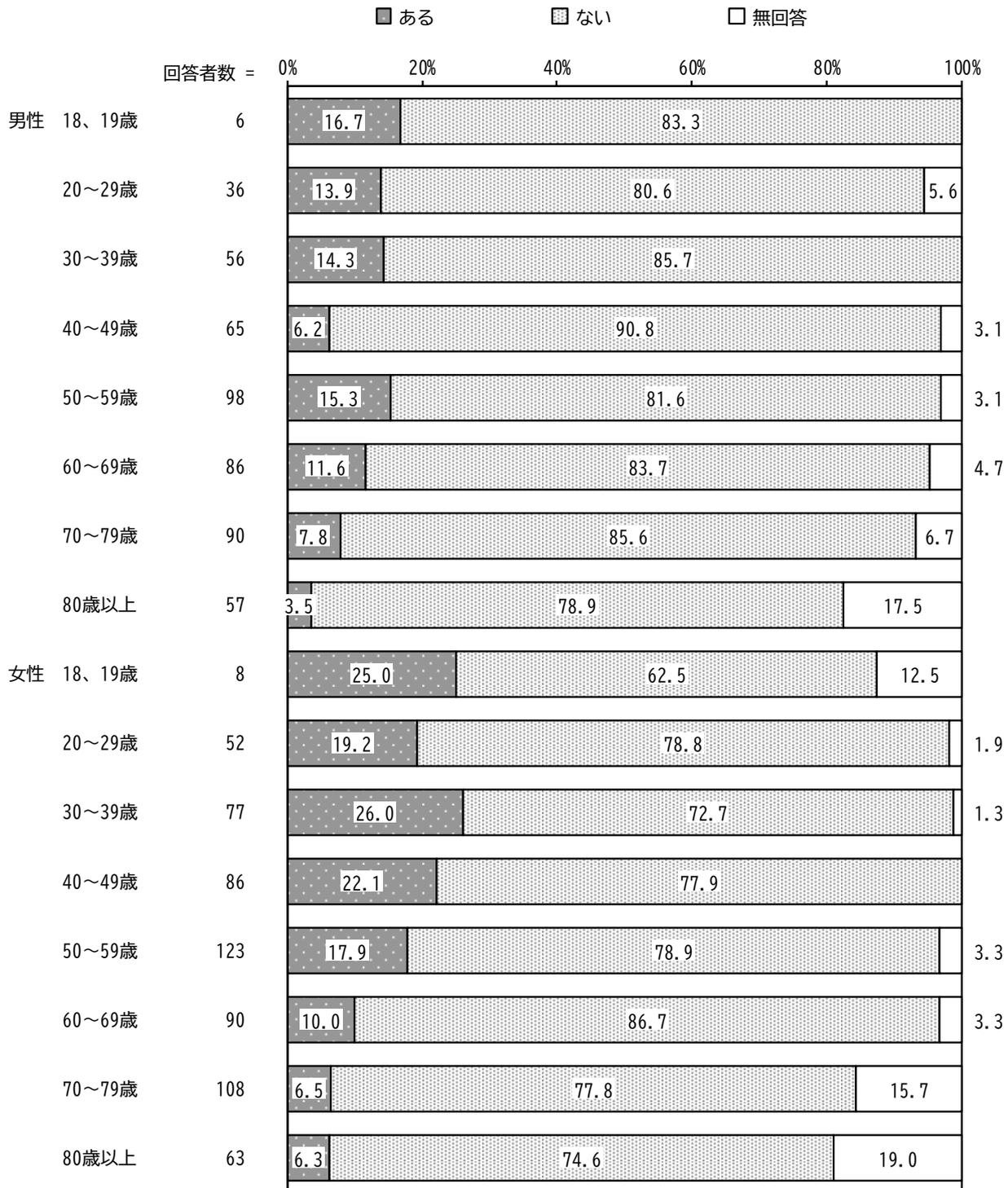
【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「ない」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

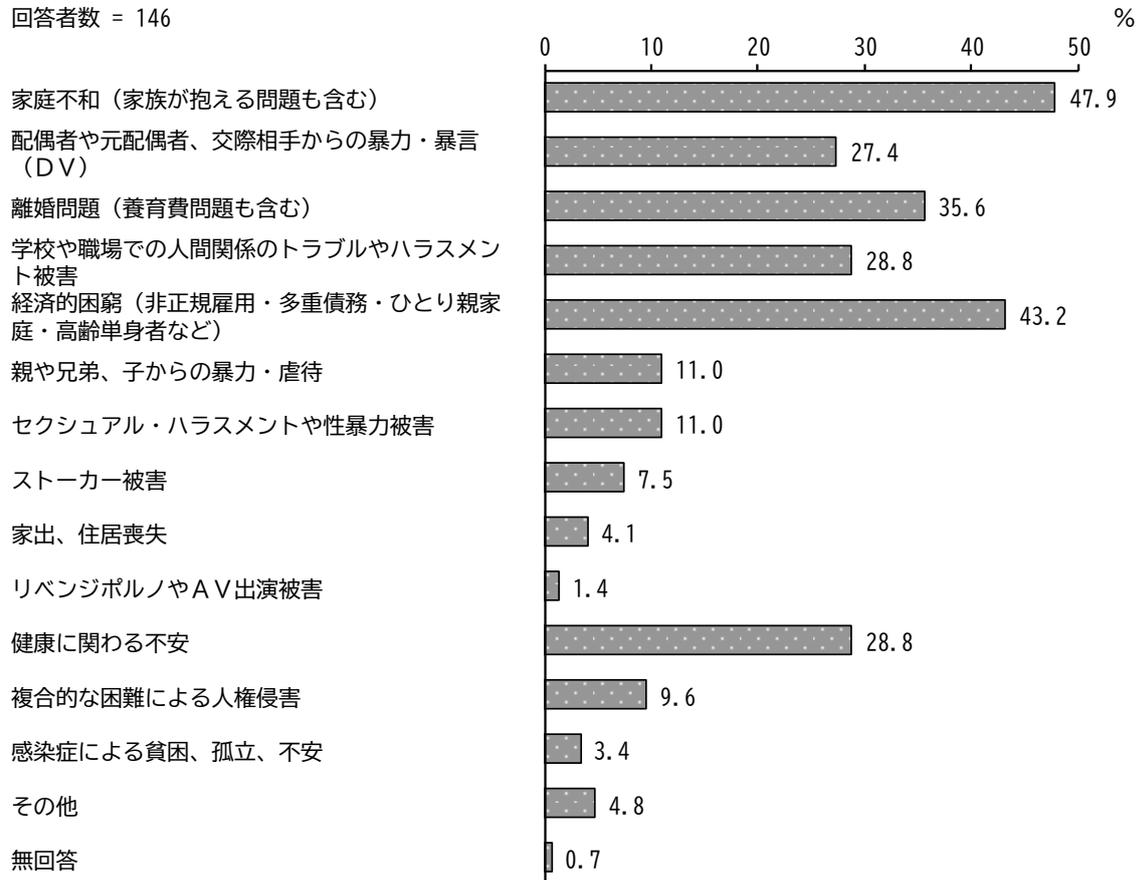
性・年齢別にみると、女性 30～39 歳で「ある」、男性 40～49 歳で「ない」の割合が高くなっています。



問 28 (問 27 で「ある」と回答された方におたずねします) それはどのような困難な問題ですか。(〇印いくつでも)

「家庭不和 (家族が抱える問題も含む)」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「経済的困窮 (非正規雇用・多重債務・ひとり親家庭・高齢単身者など)」の割合が 43.2%、「離婚問題 (養育費問題も含む)」の割合が 35.6%となっています。

回答者数 = 146



【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「学校や職場での人間関係のトラブルやハラスメント被害」の割合が高く、男性と比較して女性で「家庭不和（家族が抱える問題も含む）」「配偶者や元配偶者、交際相手からの暴力・暴言（DV）」「経済的困窮（非正規雇用・多重債務・ひとり親家庭・高齢単身者など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	家庭不和（家族が抱える問題も含む）	配偶者や元配偶者、交際相手からの暴力・暴言（DV）	離婚問題（養育費問題も含む）	学校や職場での人間関係のトラブルやハラスメント被害	経済的困窮（非正規雇用・多重債務・ひとり親家庭・高齢単身者など）	親や兄弟、子からの暴力・虐待	セクシユアル・ハラスメントや性暴力被害
全 体	146	47.9	27.4	35.6	28.8	43.2	11.0	11.0
男性	52	38.5	13.5	32.7	32.7	34.6	9.6	11.5
女性	93	52.7	34.4	36.6	25.8	48.4	11.8	10.8

区分	ストーカー被害	家出、住居喪失	リベンジポルノやAV出演被害	健康に関わる不安	複合的な困難による人権侵害	感染症による貧困、孤立、不安	その他	無回答
全 体	7.5	4.1	1.4	28.8	9.6	3.4	4.8	0.7
男性	5.8	3.8	0.0	26.9	9.6	1.9	3.8	1.9
女性	8.6	4.3	2.2	30.1	9.7	4.3	5.4	0.0

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 20～29 歳、女性 30～39 歳、女性 40～49 歳で「家庭不和（家族が抱える問題も含む）」、女性 30～39 歳で「配偶者や元配偶者、交際相手からの暴力・暴言（DV）」「離婚問題（養育費問題も含む）」、女性 20～29 歳で「学校や職場での人間関係のトラブルやハラスメント被害」「経済的困窮（非正規雇用・多重債務・ひとり親家庭・高齢単身者など）」「複合的な困難による人権侵害」、男性 60～69 歳で「健康に関わる不安」、女性 50～59 歳で「感染症による貧困、孤立、不安」の割合が高くなっています。

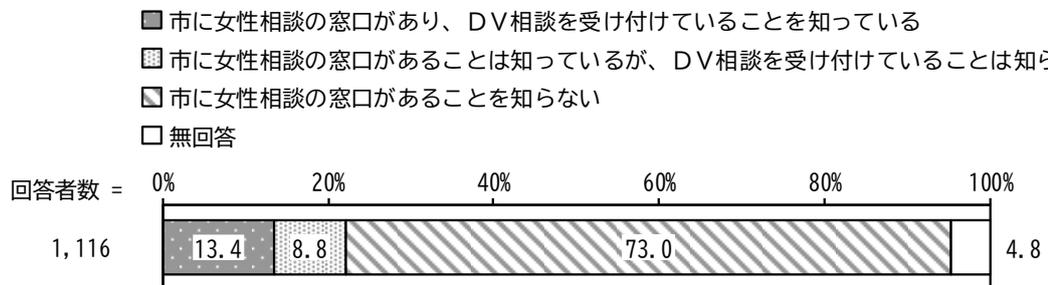
単位：％

区分	回答者数（件）	家庭不和（家族が抱える問題も含む）	配偶者や元配偶者、交際相手からの暴力・暴言（DV）	離婚問題（養育費問題も含む）	学校や職場での人間関係のトラブルやハラスメント被害	経済的困窮（非正規雇用・多重債務・ひとり親家庭・高齢単身者など）	親や兄弟、子からの暴力・虐待	セクシユアル・ハラスメントや性暴力被害
全 体	146	47.9	27.4	35.6	28.8	43.2	11.0	11.0
男性 18、19歳	1	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
20～29歳	5	40.0	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0
30～39歳	8	37.5	25.0	37.5	37.5	37.5	25.0	12.5
40～49歳	4	75.0	25.0	75.0	75.0	75.0	25.0	50.0
50～59歳	15	46.7	20.0	40.0	20.0	40.0	0.0	13.3
60～69歳	10	30.0	0.0	20.0	30.0	30.0	10.0	0.0
70～79歳	7	14.3	0.0	0.0	28.6	28.6	0.0	0.0
80歳以上	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性 18、19歳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
20～29歳	10	60.0	40.0	40.0	50.0	70.0	20.0	10.0
30～39歳	20	60.0	55.0	50.0	35.0	45.0	15.0	20.0
40～49歳	19	57.9	26.3	42.1	42.1	57.9	15.8	15.8
50～59歳	22	50.0	31.8	27.3	18.2	45.5	9.1	9.1
60～69歳	9	44.4	22.2	33.3	0.0	55.6	0.0	0.0
70～79歳	7	42.9	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0
80歳以上	4	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

区分	ストーカー被害	家出、住居喪失	リベンジポルノやAV出演被害	健康に関わる不安	複合的な困難による人権侵害	感染症による貧困、孤立、不安	その他	無回答
全体	7.5	4.1	1.4	28.8	9.6	3.4	4.8	0.7
男性 18、19歳	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	12.5	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
40～49歳	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
50～59歳	6.7	0.0	0.0	26.7	6.7	0.0	6.7	0.0
60～69歳	0.0	0.0	0.0	40.0	10.0	0.0	0.0	10.0
70～79歳	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0
80歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性 18、19歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	10.0	10.0	0.0	20.0	20.0	0.0	10.0	0.0
30～39歳	15.0	5.0	0.0	30.0	5.0	5.0	5.0	0.0
40～49歳	5.3	5.3	0.0	31.6	5.3	0.0	5.3	0.0
50～59歳	13.6	4.5	9.1	36.4	18.2	13.6	4.5	0.0
60～69歳	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
70～79歳	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0
80歳以上	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0

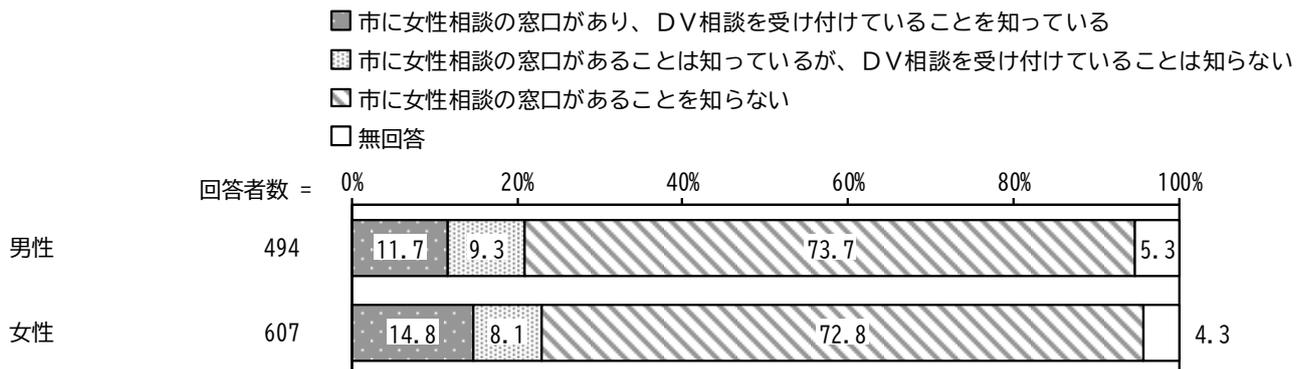
問 29 あなたは市に女性相談の窓口があり、そこでDV相談を受け付けていることを知っていますか。(○印1つ)

「市に女性相談の窓口があり、DV相談を受け付けていることを知っている」の割合が13.4%、「市に女性相談の窓口があることは知っているが、DV相談を受け付けていることは知らない」の割合が8.8%、「市に女性相談の窓口があることを知らない」の割合が73.0%となっています。



【性別】

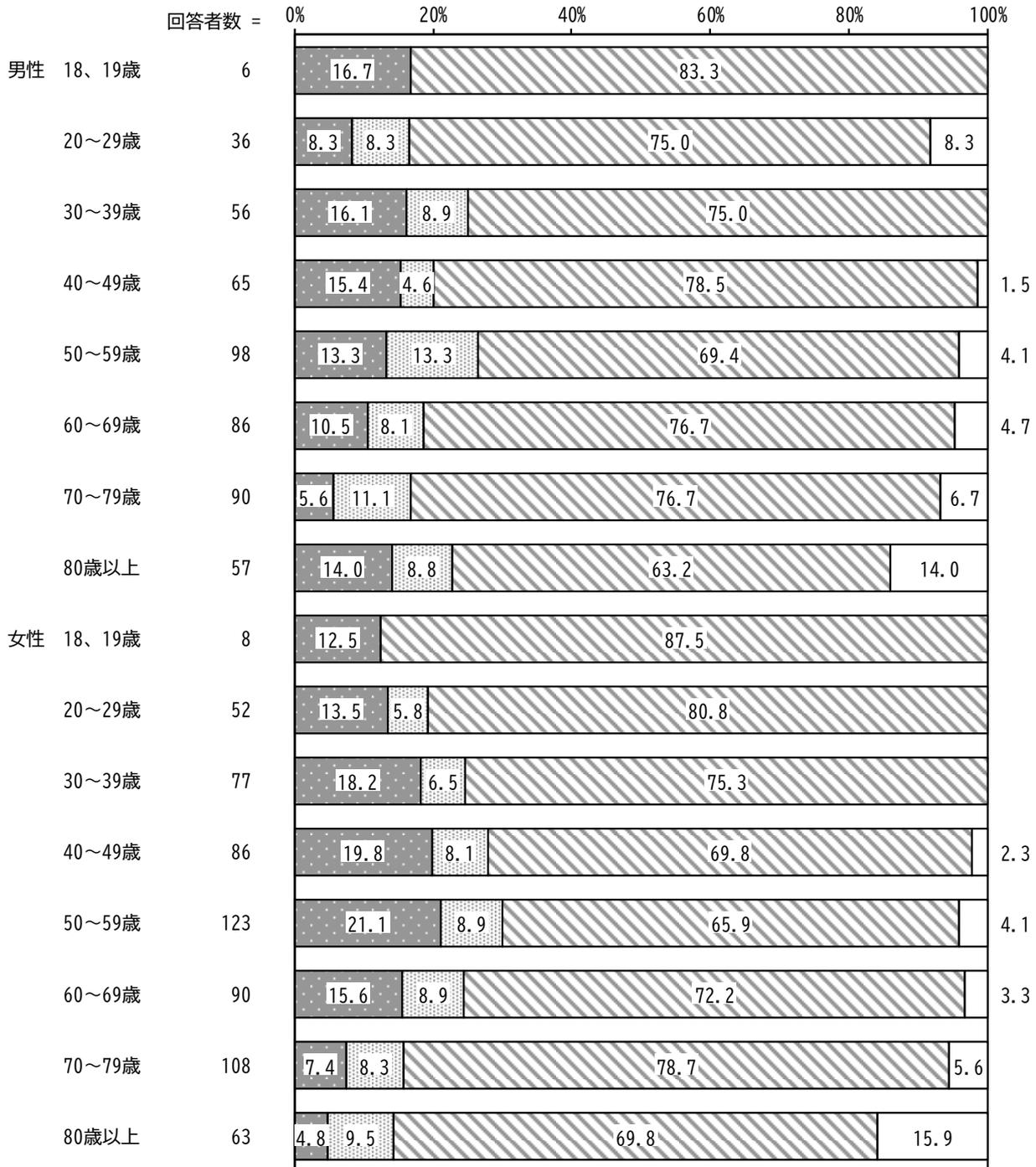
性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 40～49 歳、女性 50～59 歳で「市に女性相談の窓口があり、DV相談を受け付けていることを知っている」、男性 40～49 歳、女性 20～29 歳、女性 70～79 歳で「市に女性相談の窓口があることを知らない」の割合が高くなっています。

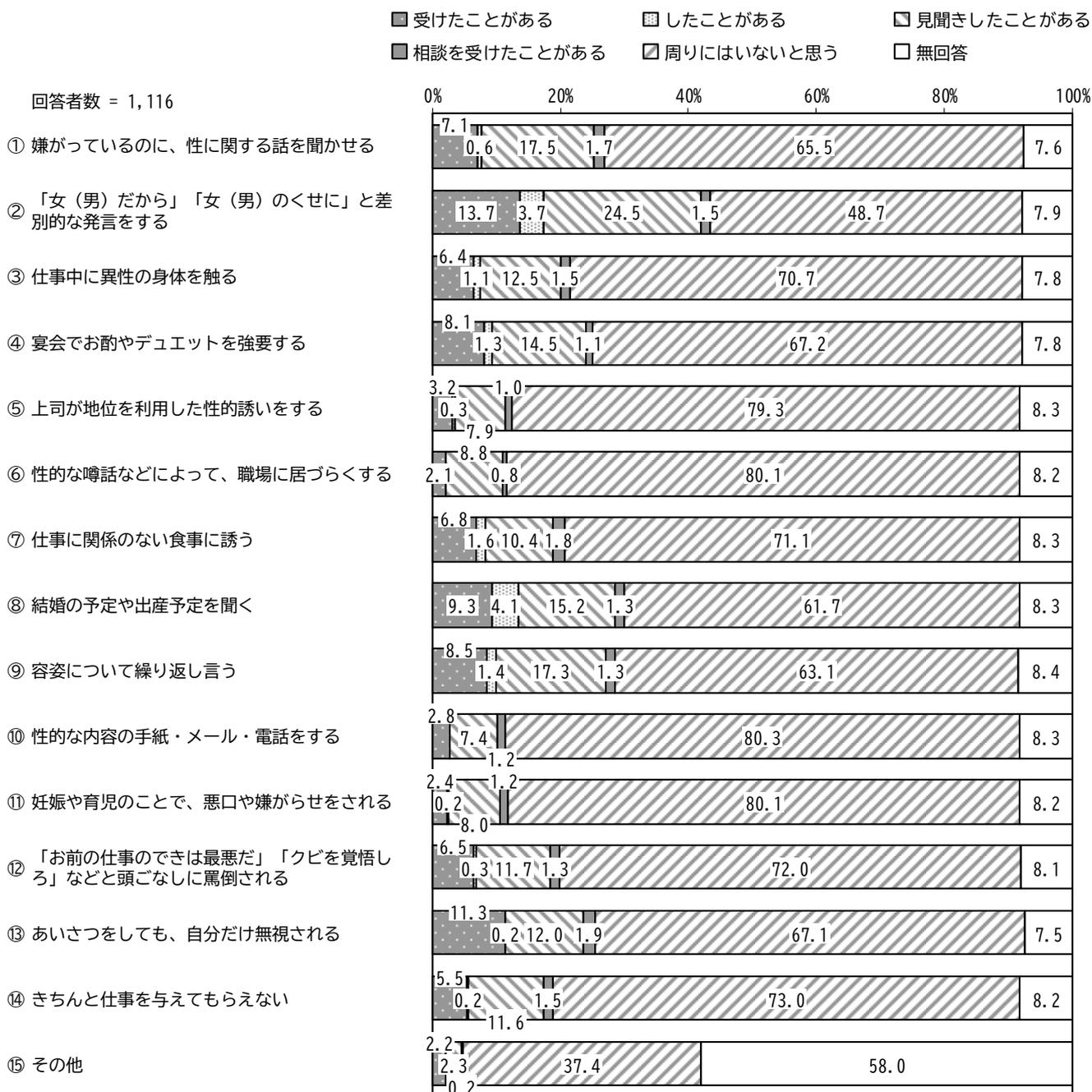
- 市に女性相談の窓口があり、DV相談を受け付けていることを知っている
- ▨ 市に女性相談の窓口があることは知っているが、DV相談を受け付けていることは知らない
- ▩ 市に女性相談の窓口があることを知らない
- 無回答



## (8) ハラスメントについて

問 30 あなたは職場・地域・学校などで、セクシュアル・ハラスメントやパワーハラスメントを受けたり、あるいはしたり、身近で見聞きしたことがありますか。(○印①～⑮の項目ごとに1つずつ)

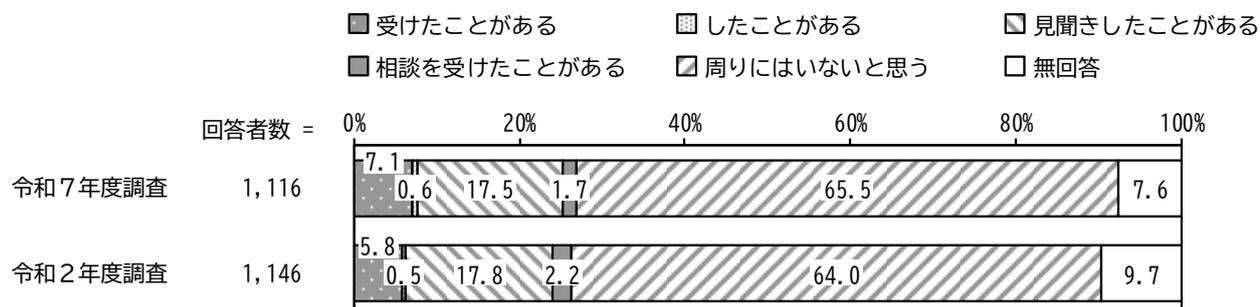
「受けたことがある」「見聞きしたことがある」で『② 「女(男)だから」「女(男)のくせに」と差別的な発言をする』が、「したことがある」で『⑧ 結婚の予定や出産予定を聞く』が、「相談を受けたことがある」で『⑬ あいさつをしても、自分だけ無視される』が、「周りにはいないと思う」で『⑩ 性的な内容の手紙・メール・電話をする』が高くなっています。



### ① 嫌がっているのに、性に関する話を聞かせる

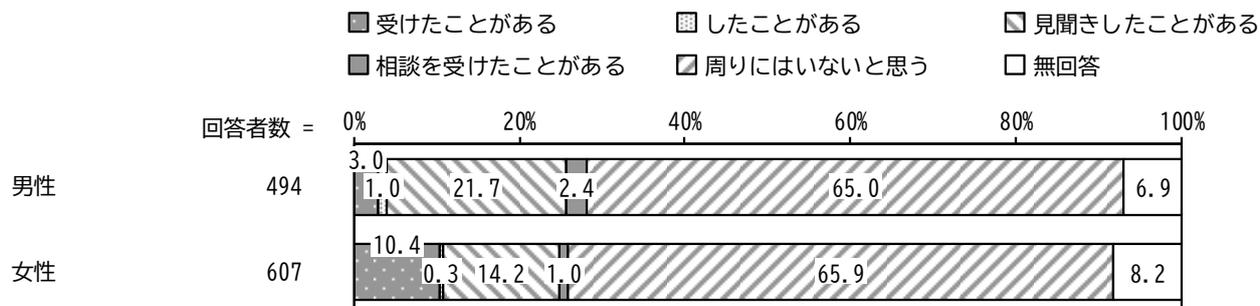
#### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



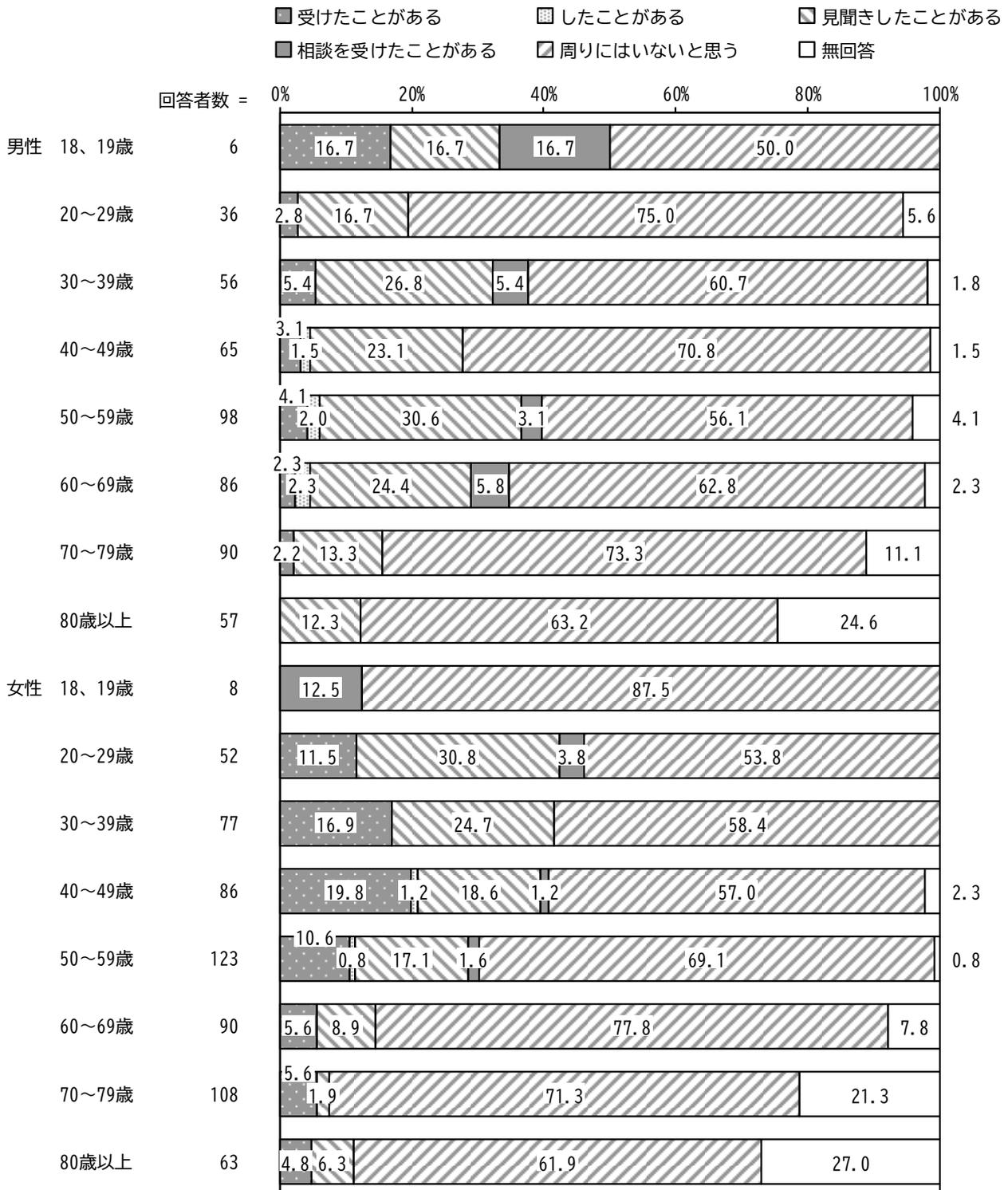
#### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「聞きしたことがある」の割合が高く、男性と比較して女性で「受けたことがある」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

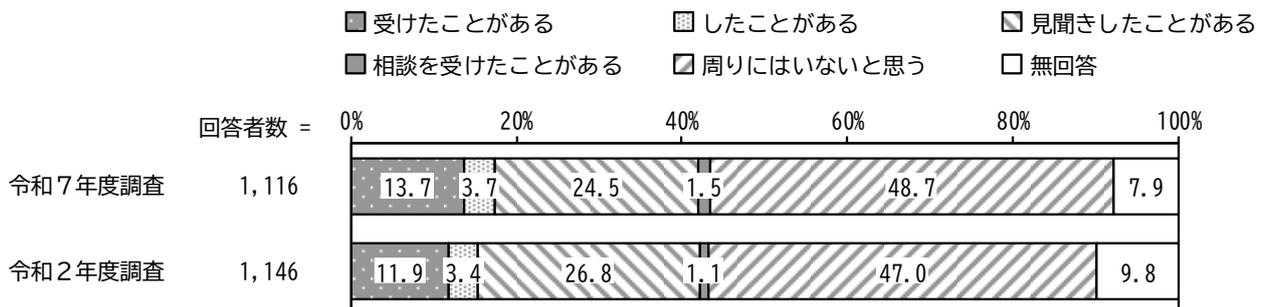
性・年齢別にみると、女性 40～49 歳で「受けたことがある」、男性 50～59 歳、女性 20～29 歳で「見聞きしたことがある」、女性 60～69 歳で「周りにはいないと思う」の割合が高くなっています。



## ② 「女（男）だから」「女（男）のくせに」と差別的な発言をする

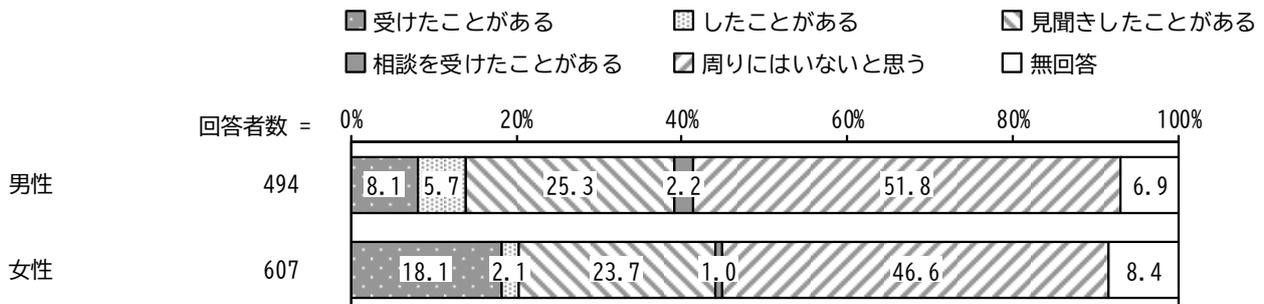
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



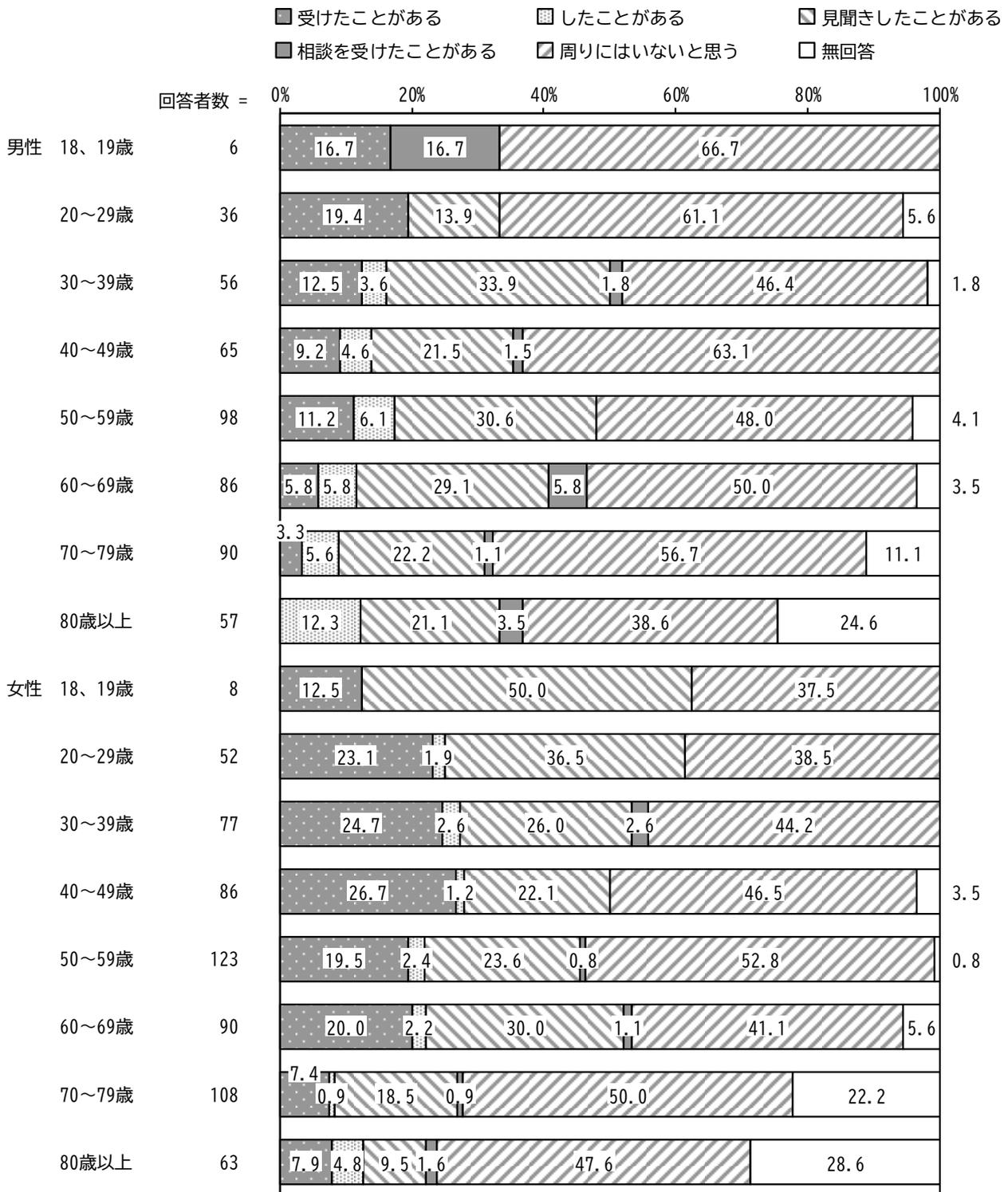
### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「周りにはいないと思う」の割合が高く、男性と比較して女性で「受けたことがある」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

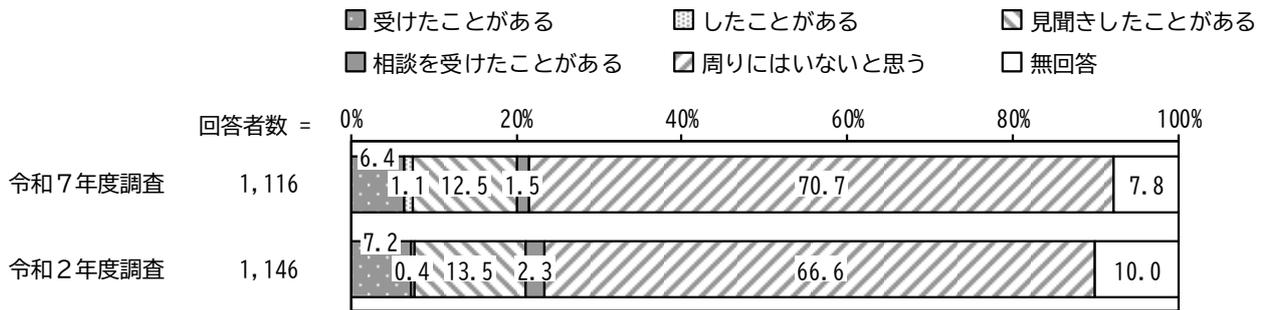
性・年齢別にみると、女性 30～39 歳、女性 40～49 歳で「受けたことがある」、女性 20～29 歳で「見聞きしたことがある」、男性 20～29 歳、男性 40～49 歳で「周りにはいないと思う」の割合が高くなっています。



### ③ 仕事中に異性の身体を触る

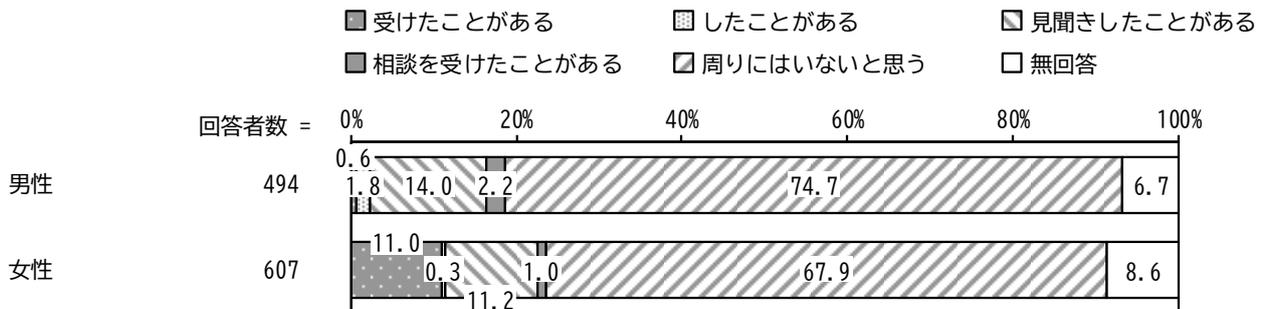
#### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



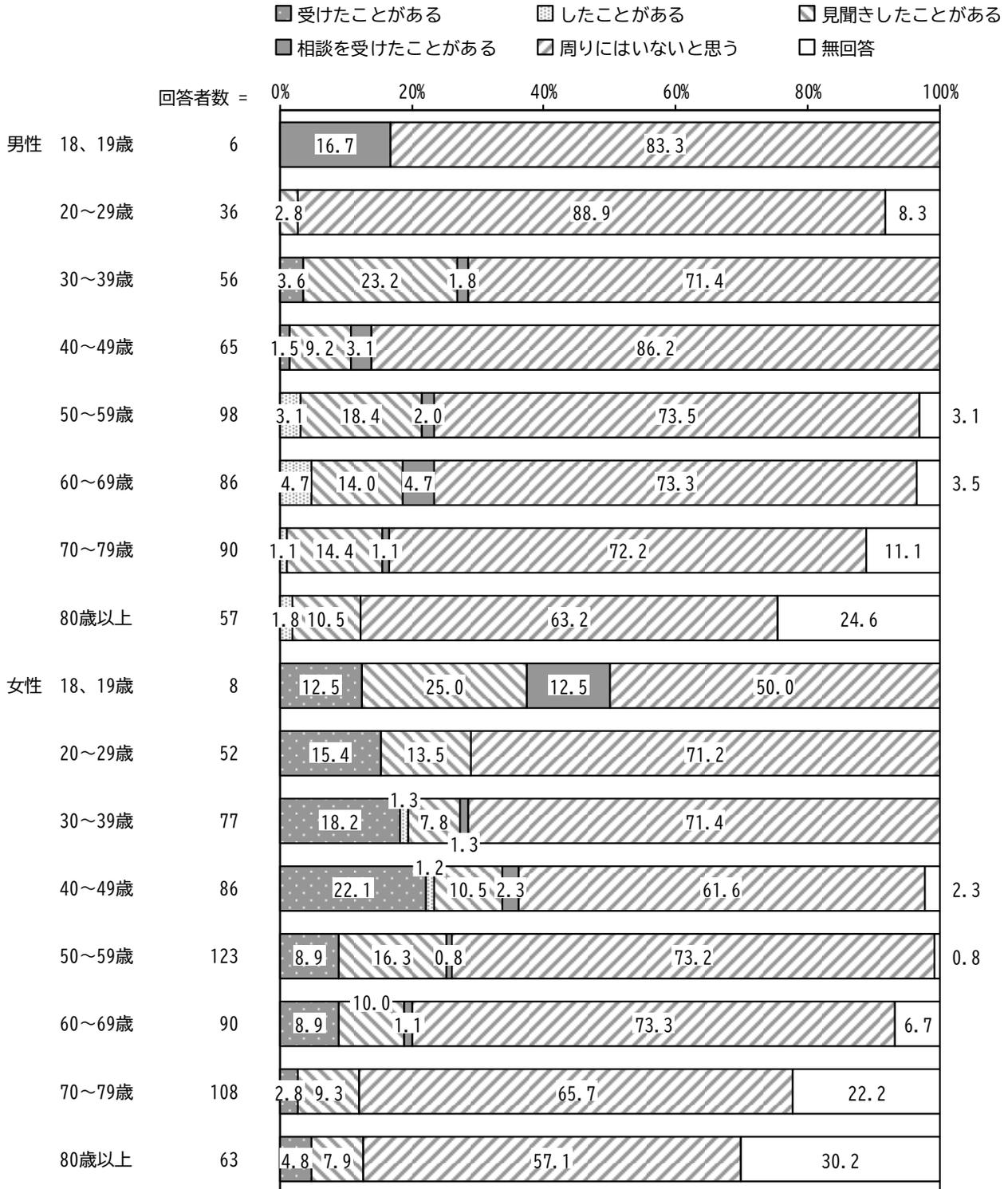
#### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「周りにはいないと思う」の割合が高く、男性と比較して女性で「受けたことがある」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

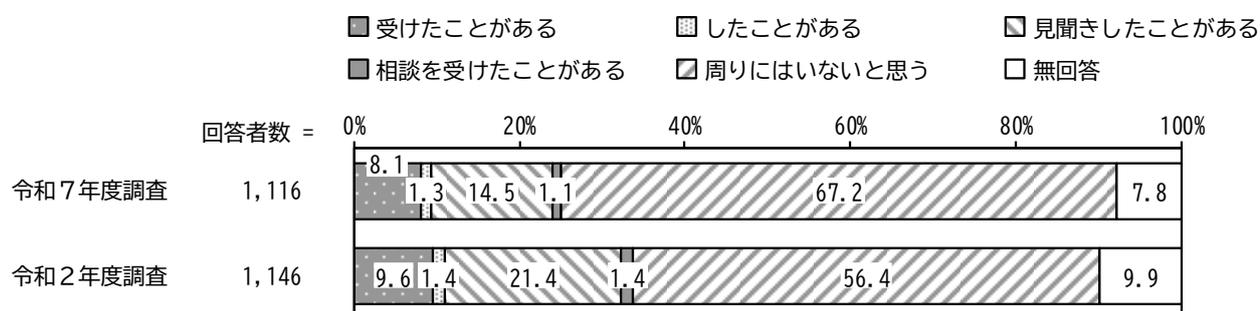
性・年齢別にみると、女性 40～49 歳で「受けたことがある」、男性 30～39 歳で「見聞きしたことがある」、男性 20～29 歳、男性 40～49 歳で「周りにはいないと思う」の割合が高くなっています。



#### ④ 宴会でお酌やデュエットを強要する

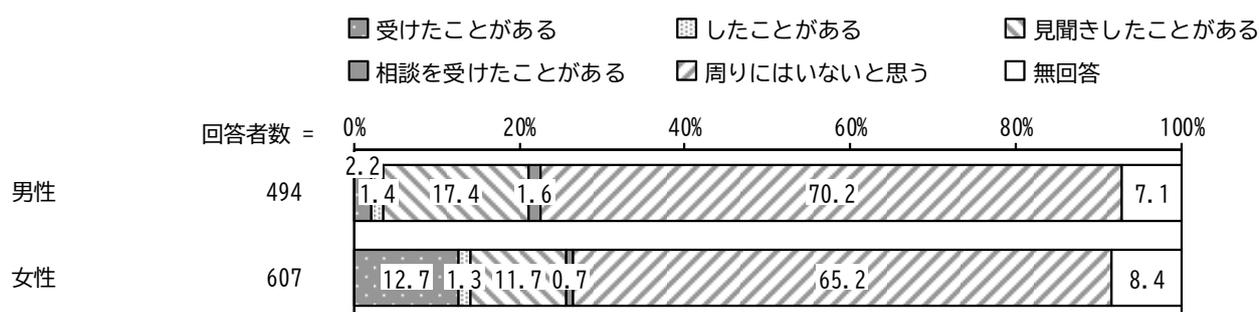
##### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「周りにはいないと思う」の割合が増加しています。一方、「見聞きしたことがある」の割合が減少しています。



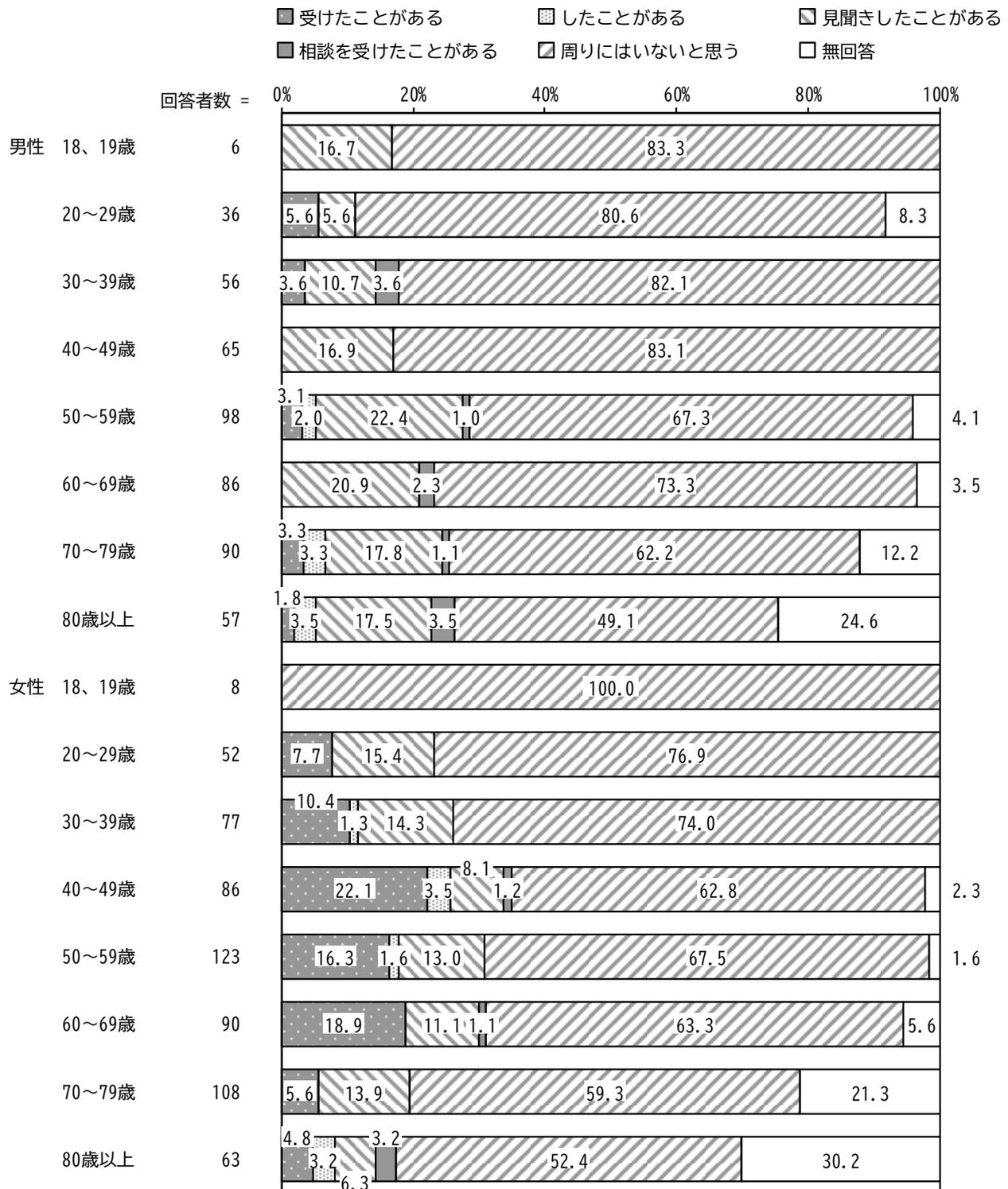
##### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「見聞きしたことがある」「周りにはいないと思う」の割合が高く、男性と比較して女性で「受けたことがある」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

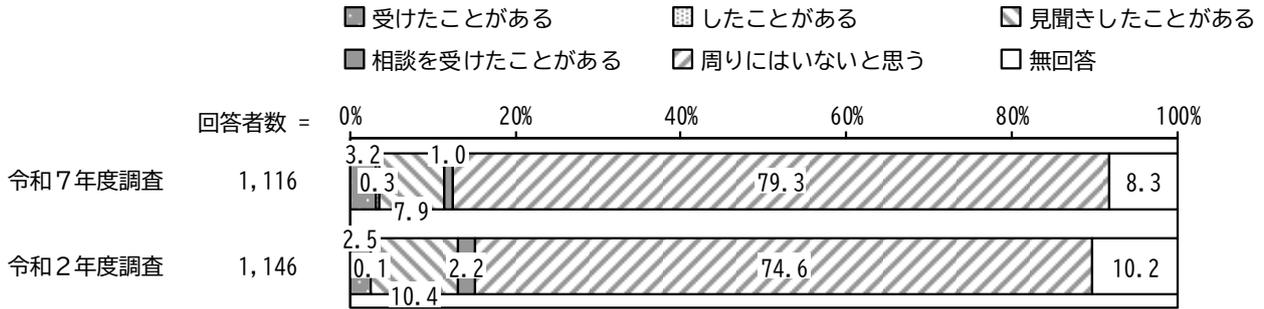
性・年齢別にみると、女性 40～49 歳で「受けたことがある」、男性 50～59 歳、男性 60～69 歳で「見聞きしたことがある」、男性 20～29 歳、男性 30～39 歳、男性 40～49 歳で「周りにはいないと思う」の割合が高くなっています。



⑤ 上司が地位を利用した性的誘いをする

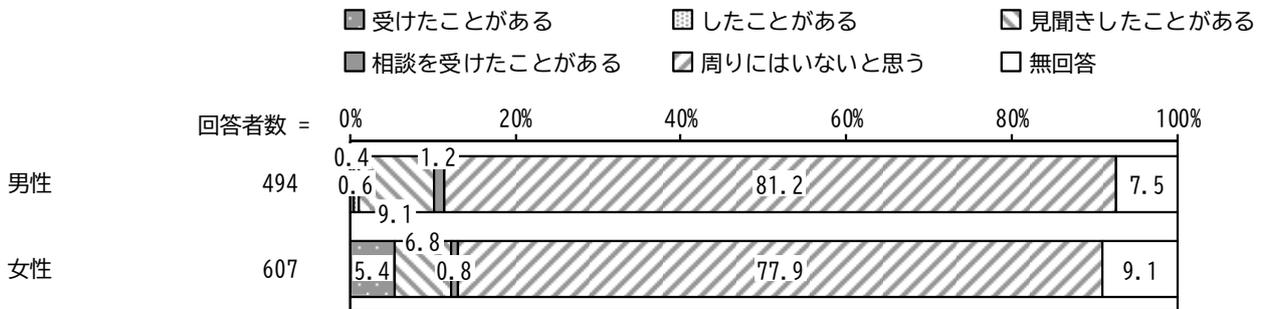
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



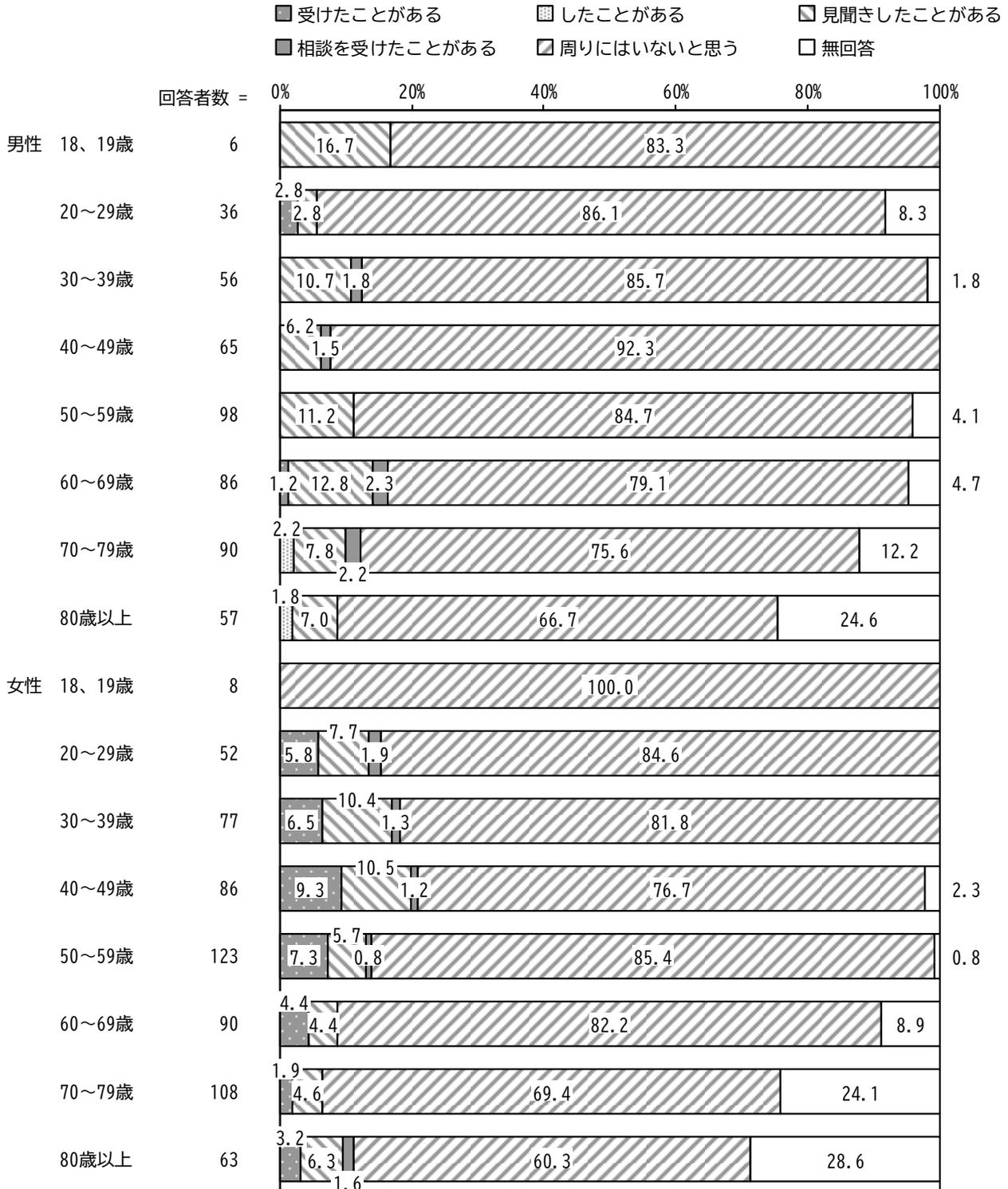
【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で「受けたことがある」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

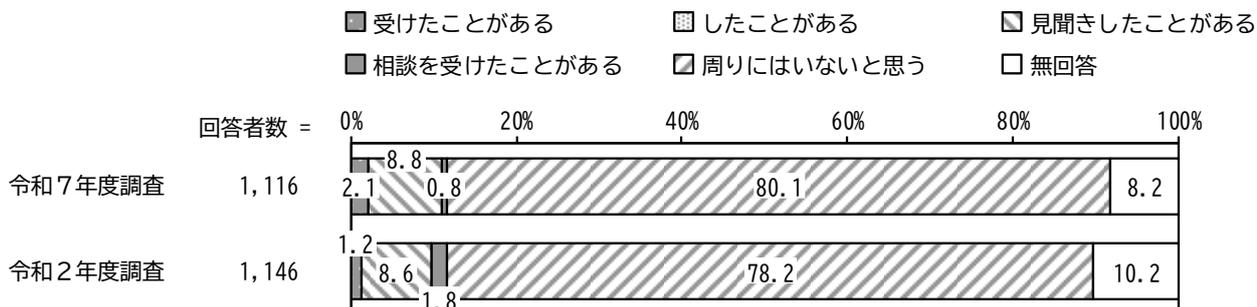
性・年齢別にみると、女性 40～49 歳で「受けたことがある」、男性 40～49 歳で「周りにはいないと思う」の割合が高くなっています。



## ⑥ 性的な噂話などによって、職場に居づらくする

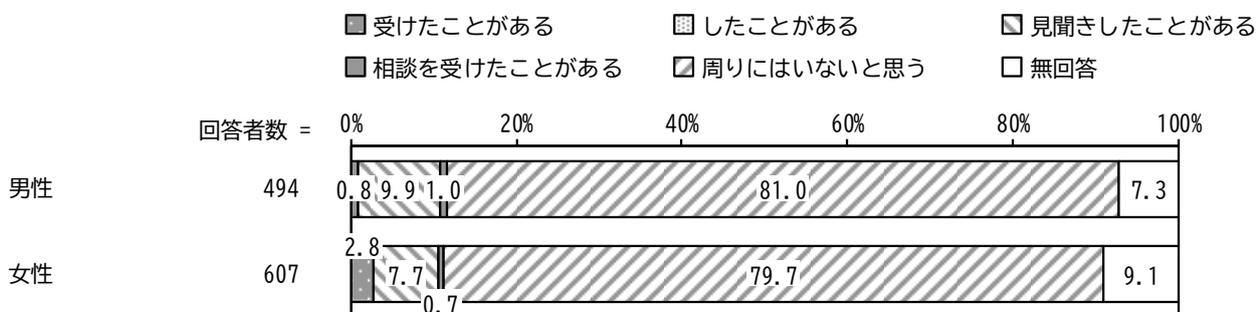
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



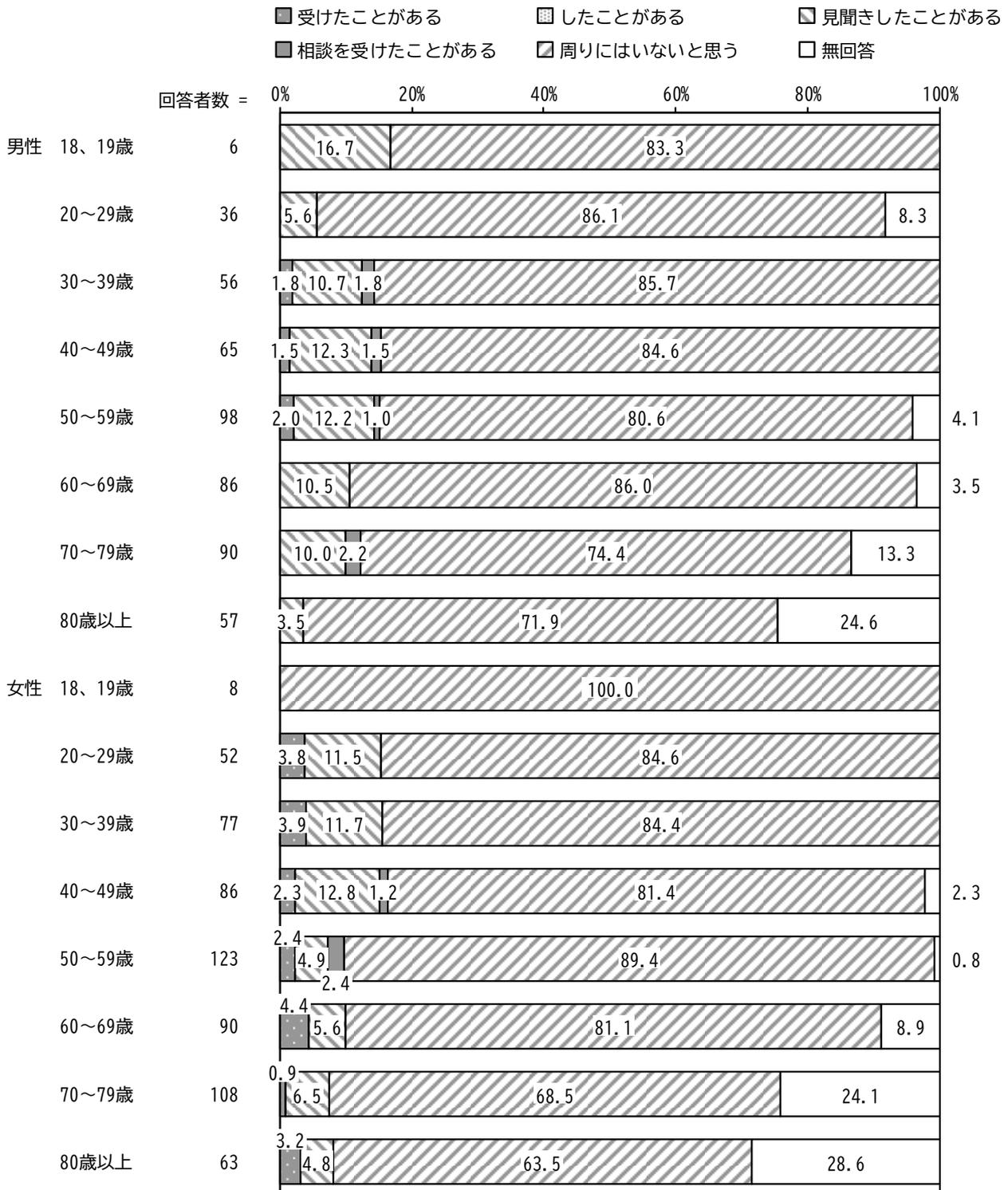
### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

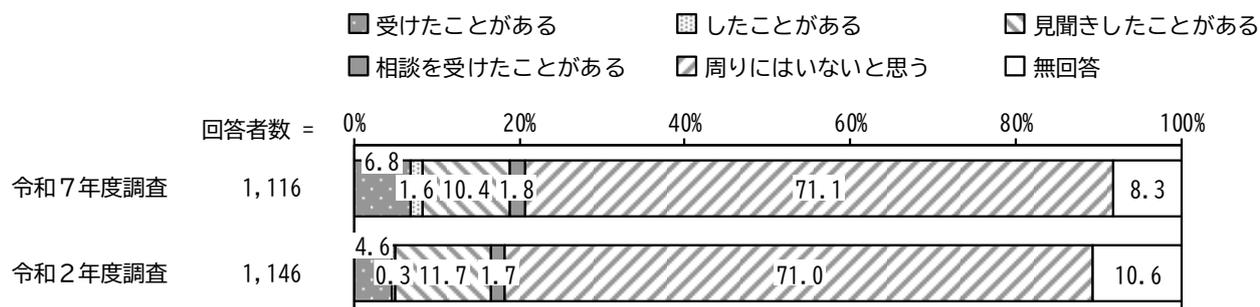
性・年齢別にみると、女性 50～59 歳で「周りにはいないと思う」の割合が高く、男性 80 歳以上で「見聞きしたことがある」の割合が低くなっています。



## ⑦ 仕事に関係のない食事に誘う

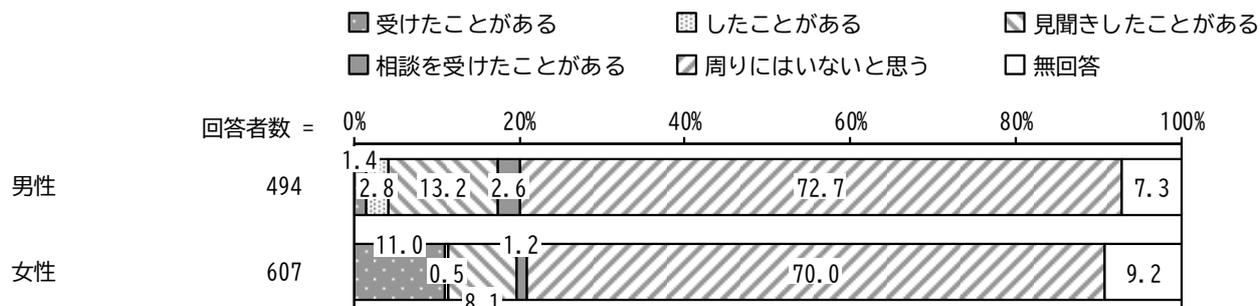
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



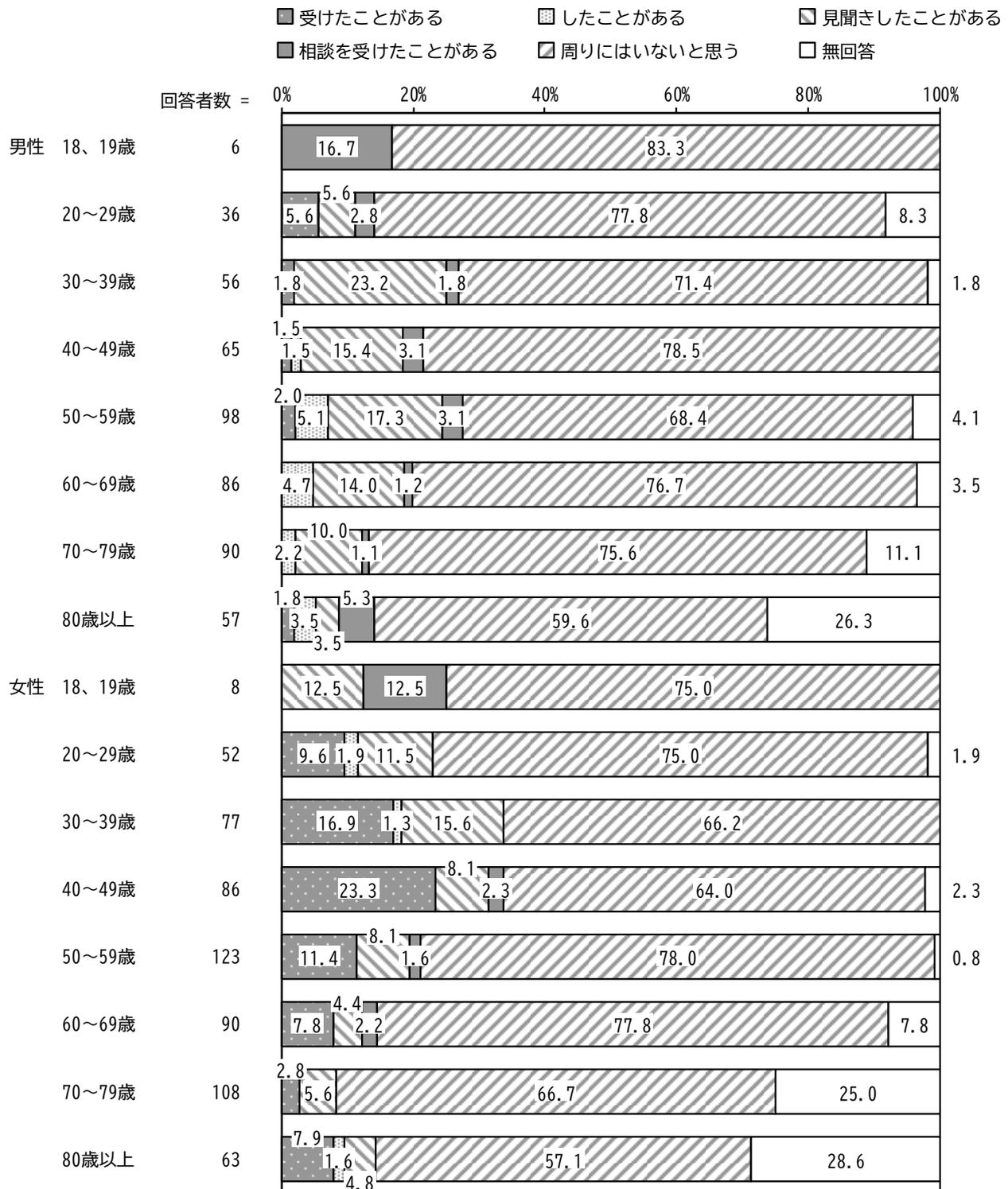
### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「見聞きしたことがある」の割合が高く、男性と比較して女性で「受けたことがある」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

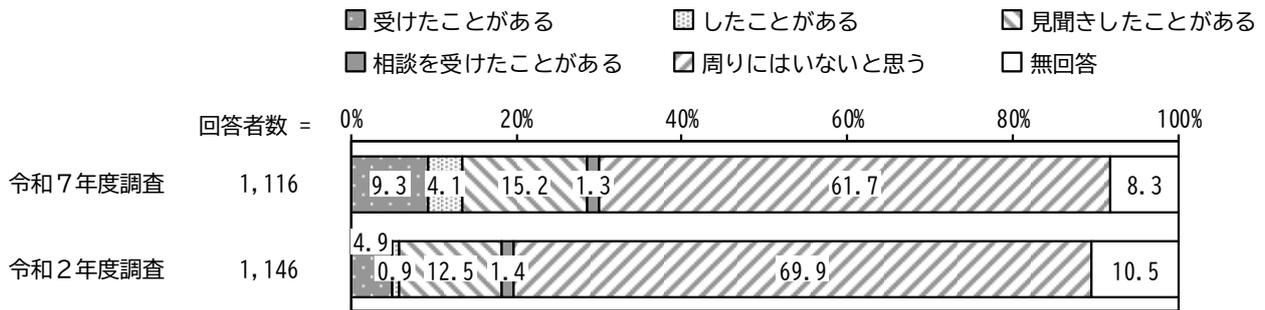
性・年齢別にみると、女性 40～49 歳で「受けたことがある」、男性 30～39 歳で「見聞きしたことがある」の割合が高く、男性 80 歳以上、女性 80 歳以上で「周りにはいないと思う」の割合が低くなっています。



⑧ 結婚の予定や出産予定を聞く

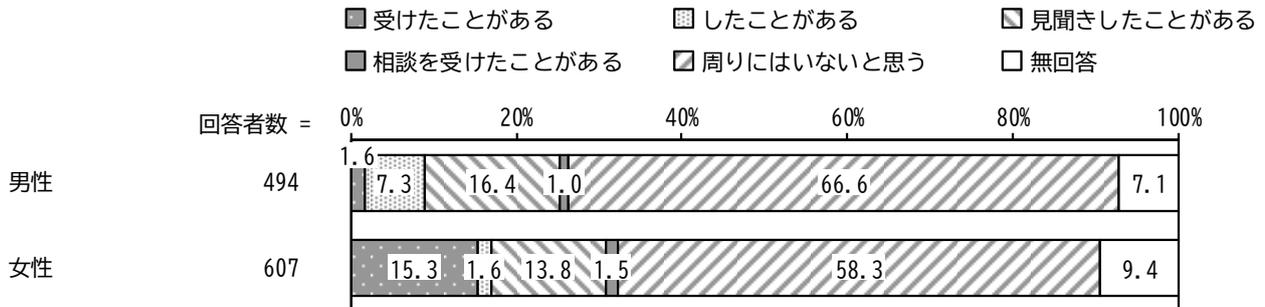
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「周りにはいないと思う」の割合が減少しています。



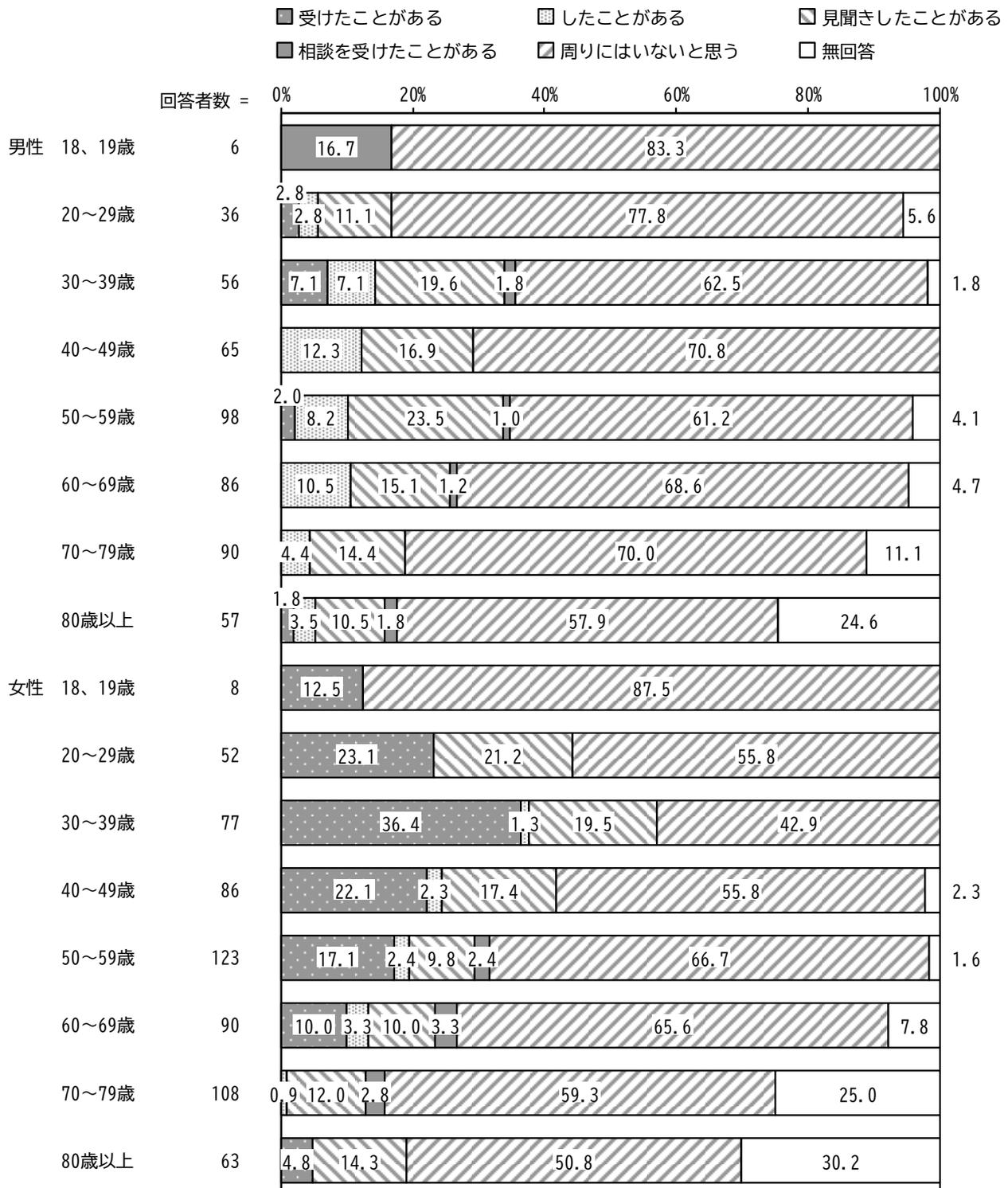
【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「したことがある」「周りにはいないと思う」の割合が高く、男性と比較して女性で「受けたことがある」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

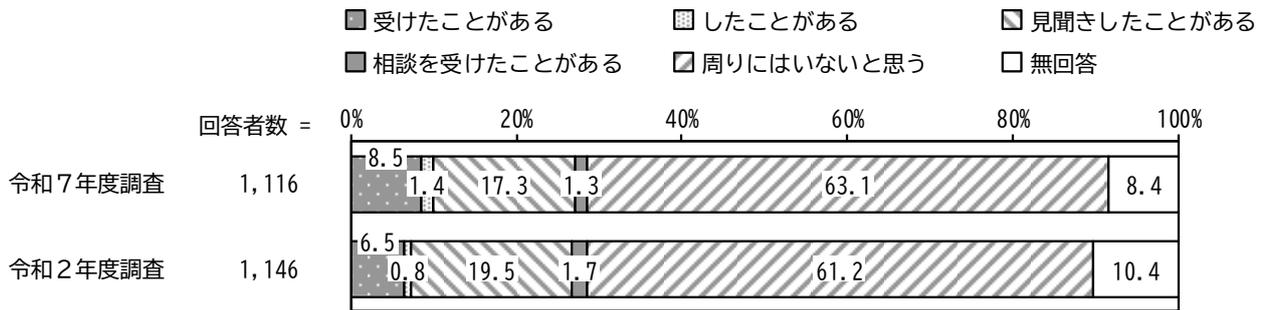
性・年齢別にみると、女性 30～39 歳で「受けたことがある」、男性 40～49 歳、男性 60～69 歳で「したことがある」、男性 50～59 歳、女性 20～29 歳で「見聞きしたことがある」、男性 20～29 歳で「周りにはいないと思う」の割合が高くなっています。



⑨ 容姿について繰り返し言う

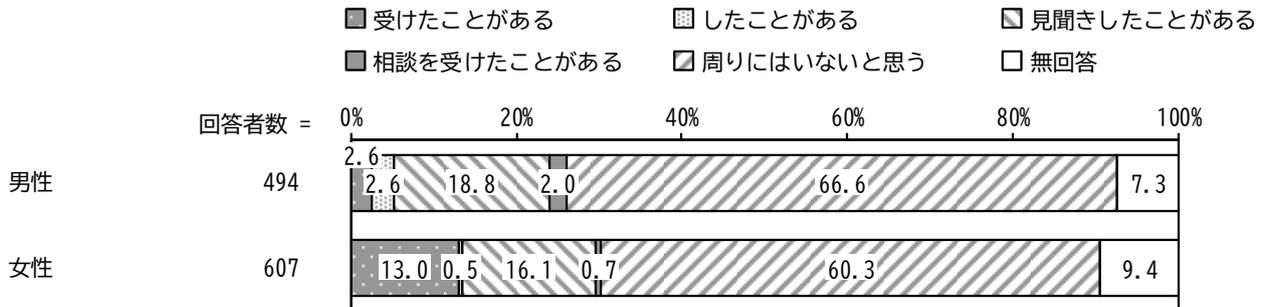
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



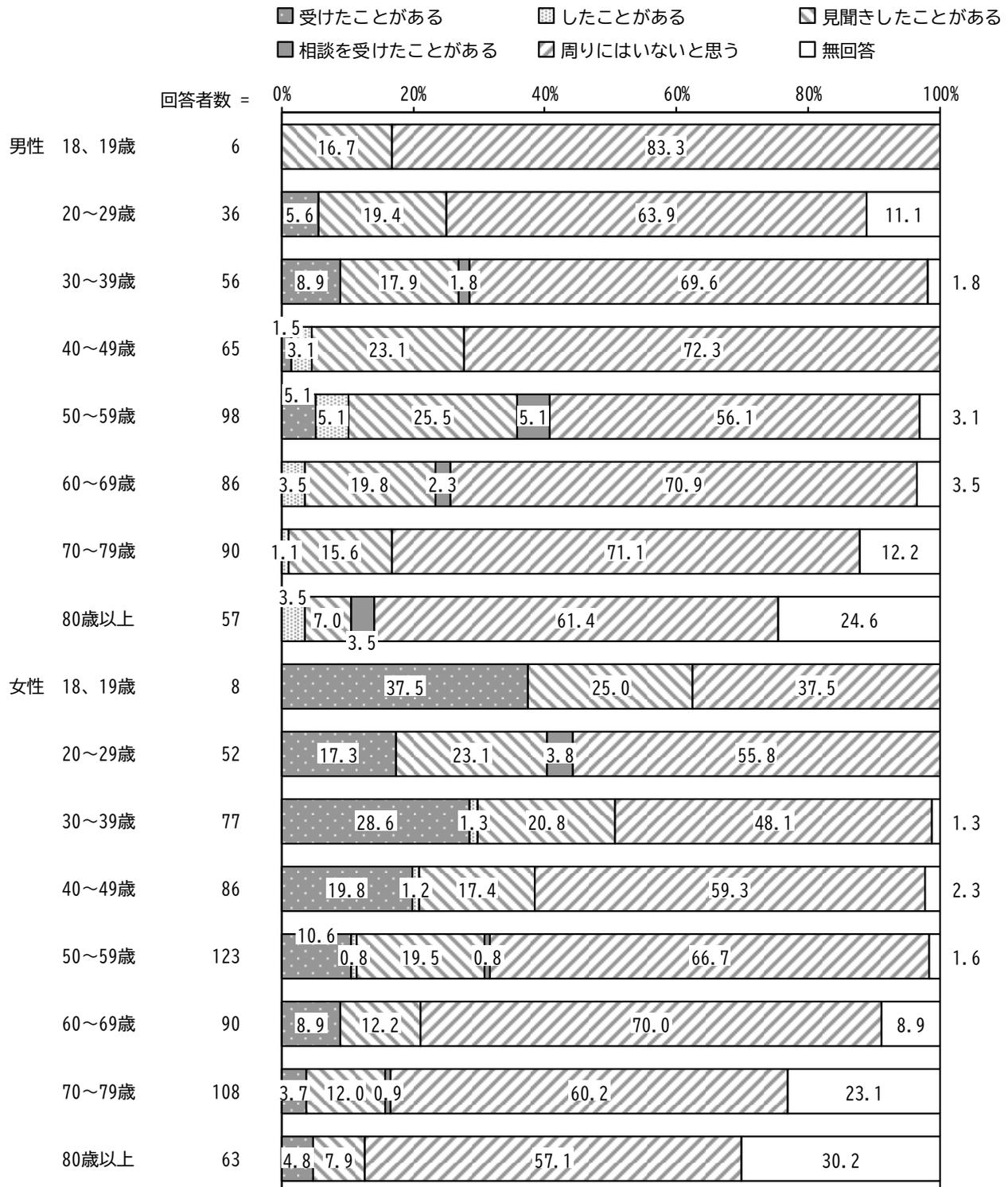
【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「周りにはいないと思う」の割合が高く、男性と比較して女性で「受けたことがある」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

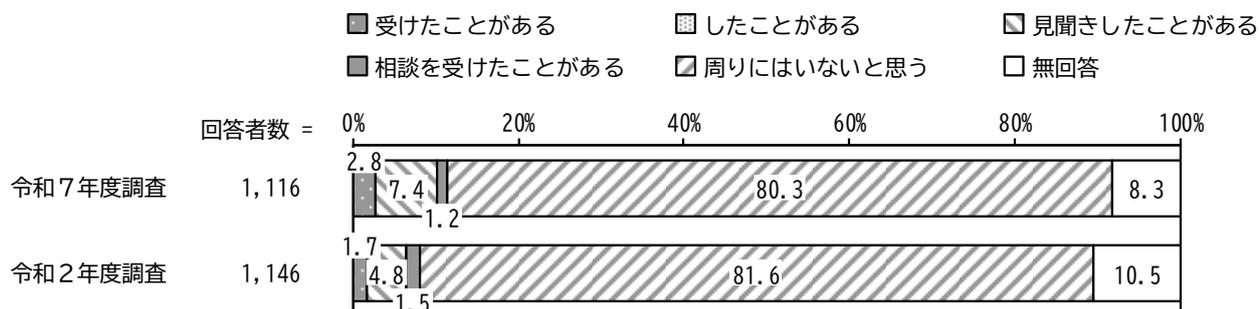
性・年齢別にみると、女性 30～39 歳で「受けたことがある」の割合が高く、男性 80 歳以上で「見聞きしたことがある」、女性 30～39 歳で「周りにはいないと思う」の割合が低くなっています。



## ⑩ 性的な内容の手紙・メール・電話をする

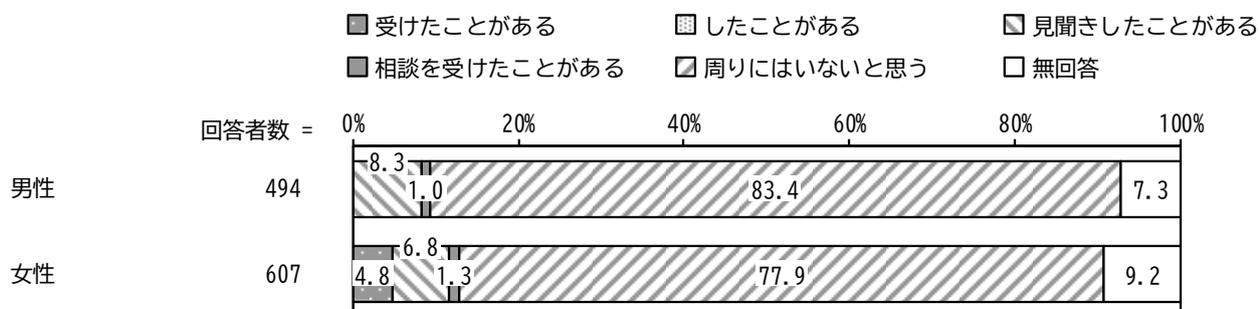
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



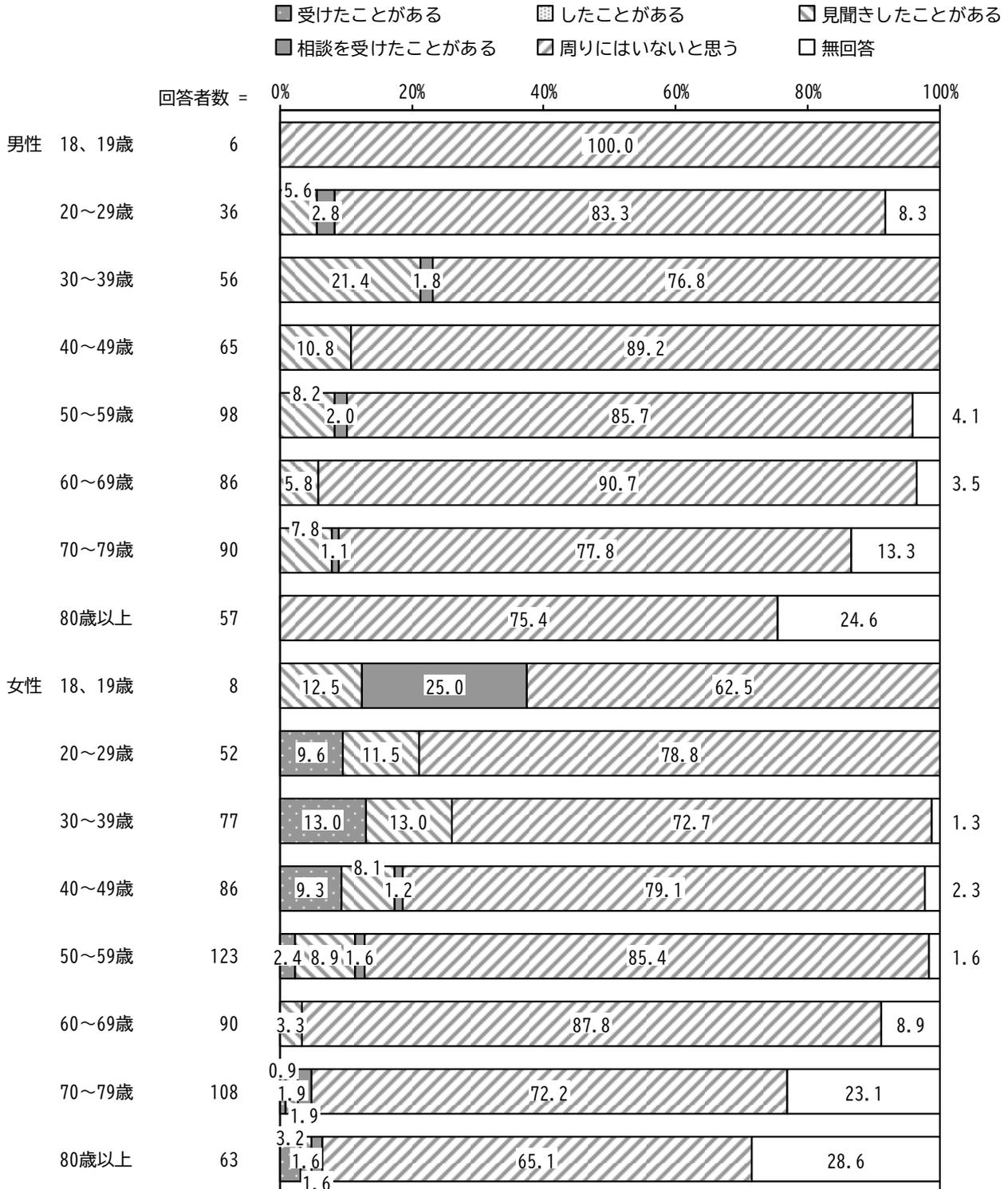
### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「周りにはいないと思う」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

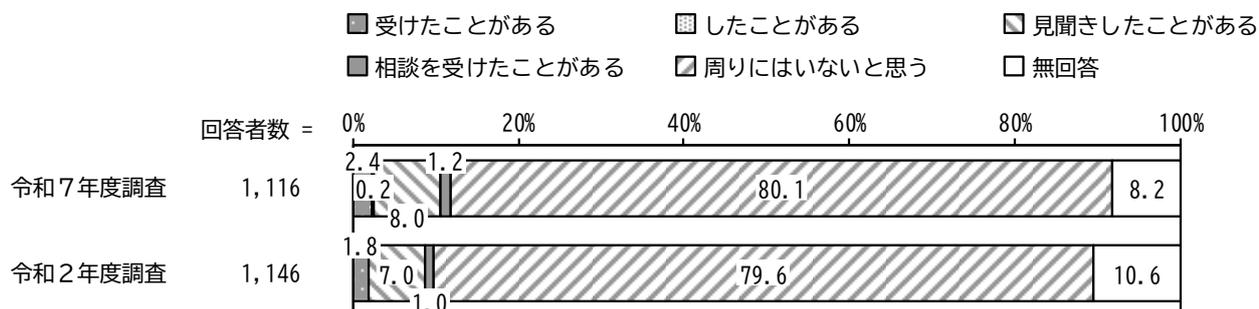
性・年齢別にみると、女性 30～39 歳で「受けたことがある」、男性 30～39 歳で「見聞きしたことがある」、男性 60～69 歳で「周りにはいないと思う」の割合が高くなっています。



### ⑪ 妊娠や育児のことで、悪口や嫌がらせをされる

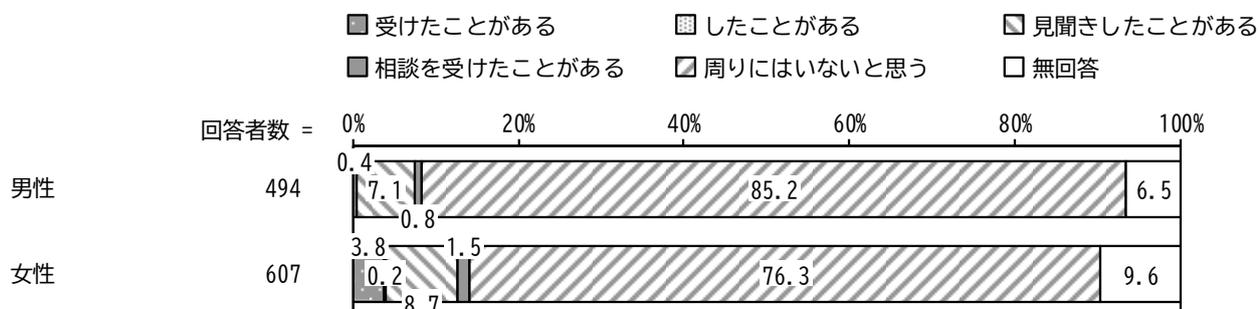
#### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



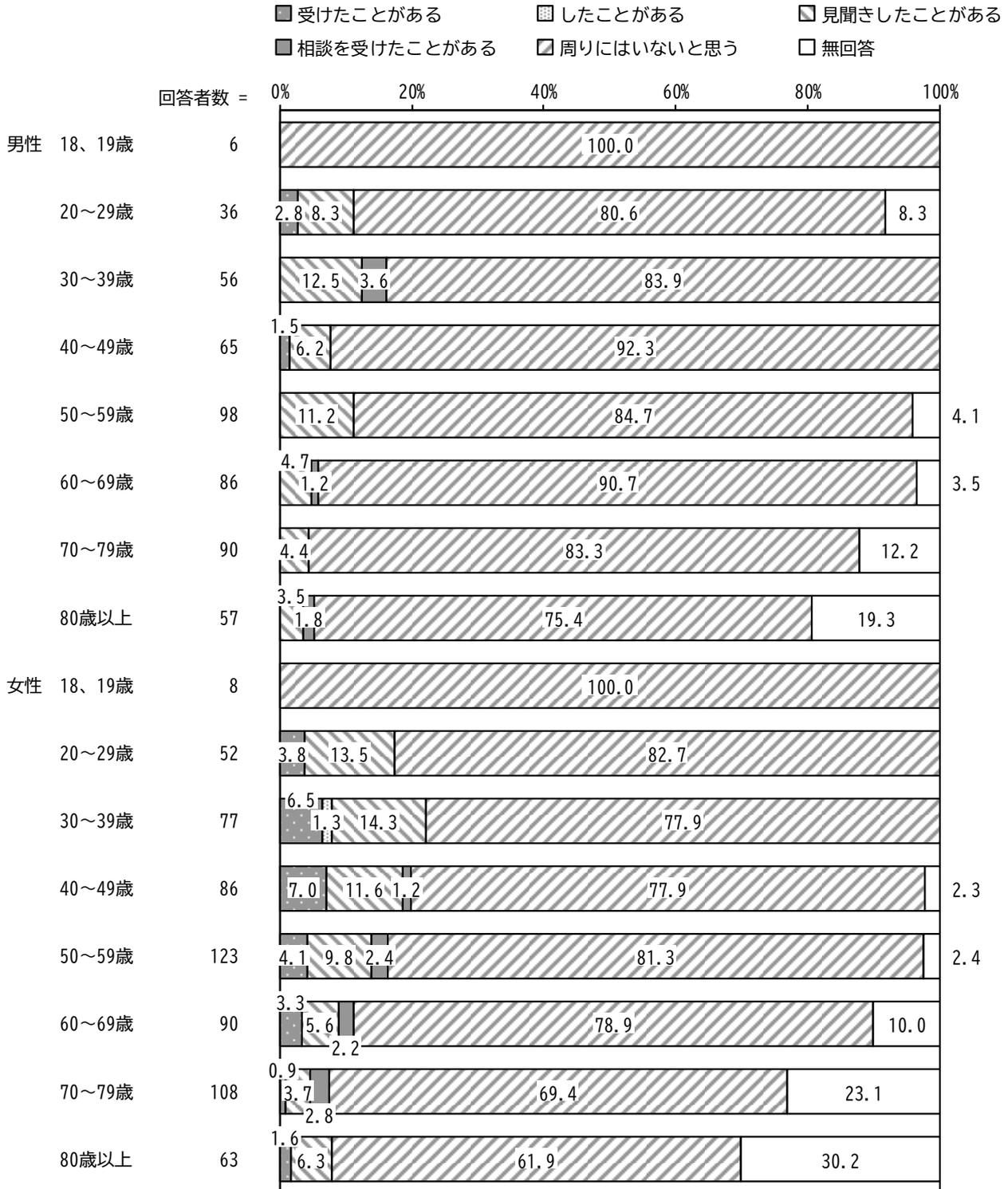
#### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「周りにはいないと思う」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

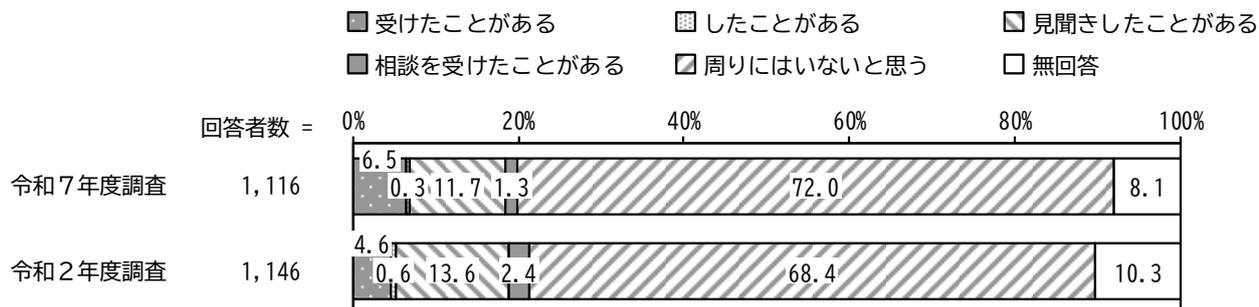
性・年齢別にみると、女性 20～29 歳、女性 30～39 歳で「見聞きしたことがある」、男性 40～49 歳、男性 60～69 歳で「周りにはいないと思う」の割合が高くなっています。



⑫ 「お前の仕事のできは最悪だ」「クビを覚悟しろ」などと頭ごなしに罵倒される

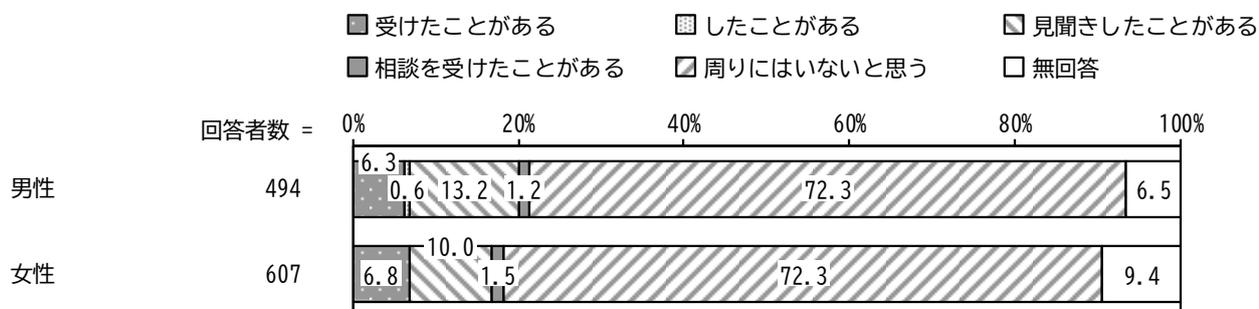
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



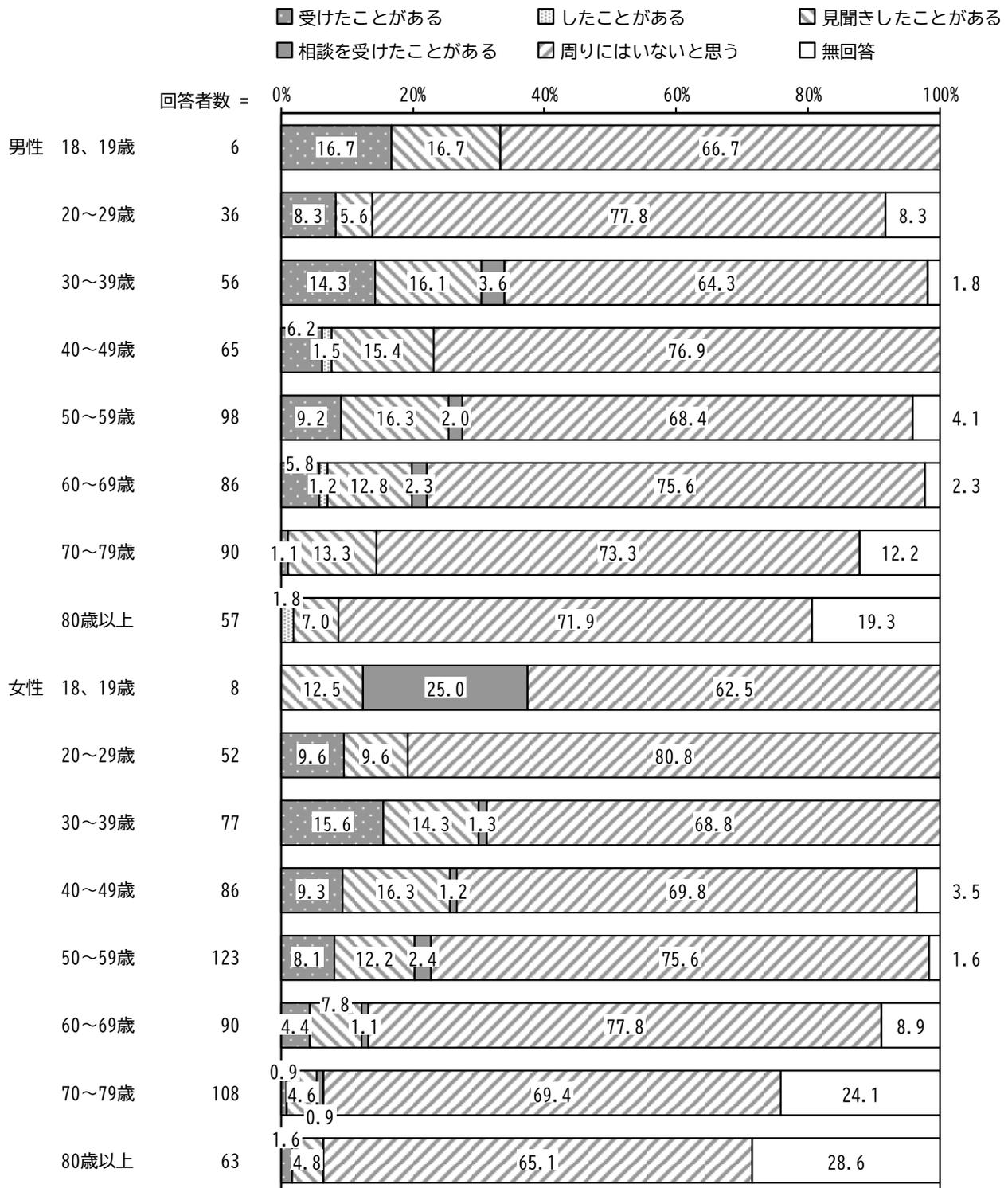
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

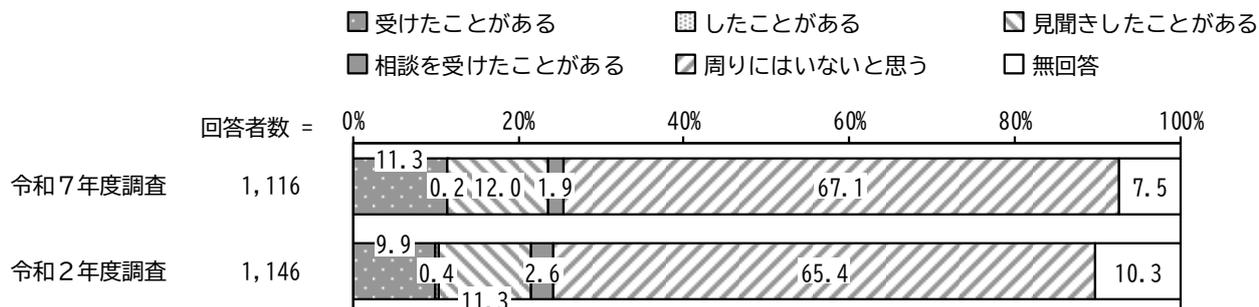
性・年齢別にみると、男性 30～39 歳、女性 30～39 歳で「受けたことがある」、女性 20～29 歳で「周りにはいないと思う」の割合が高く、男性 20～29 歳、女性 70～79 歳、女性 80 歳以上で「見聞きしたことがある」の割合が低くなっています。



### ⑬ あいさつをしても、自分だけ無視される

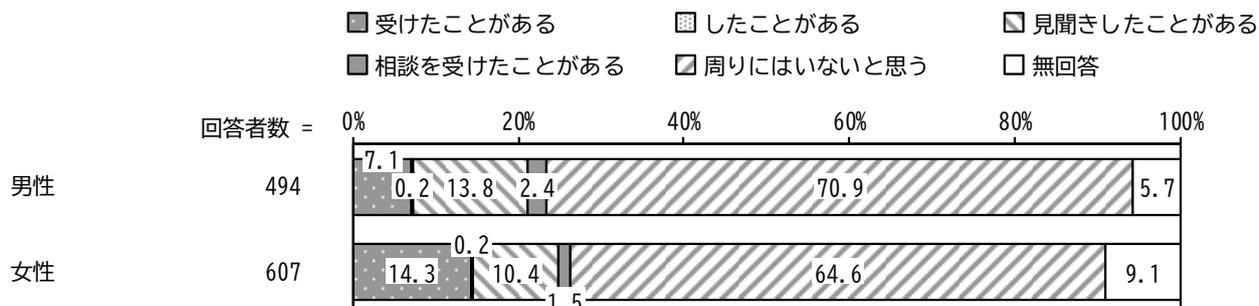
#### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



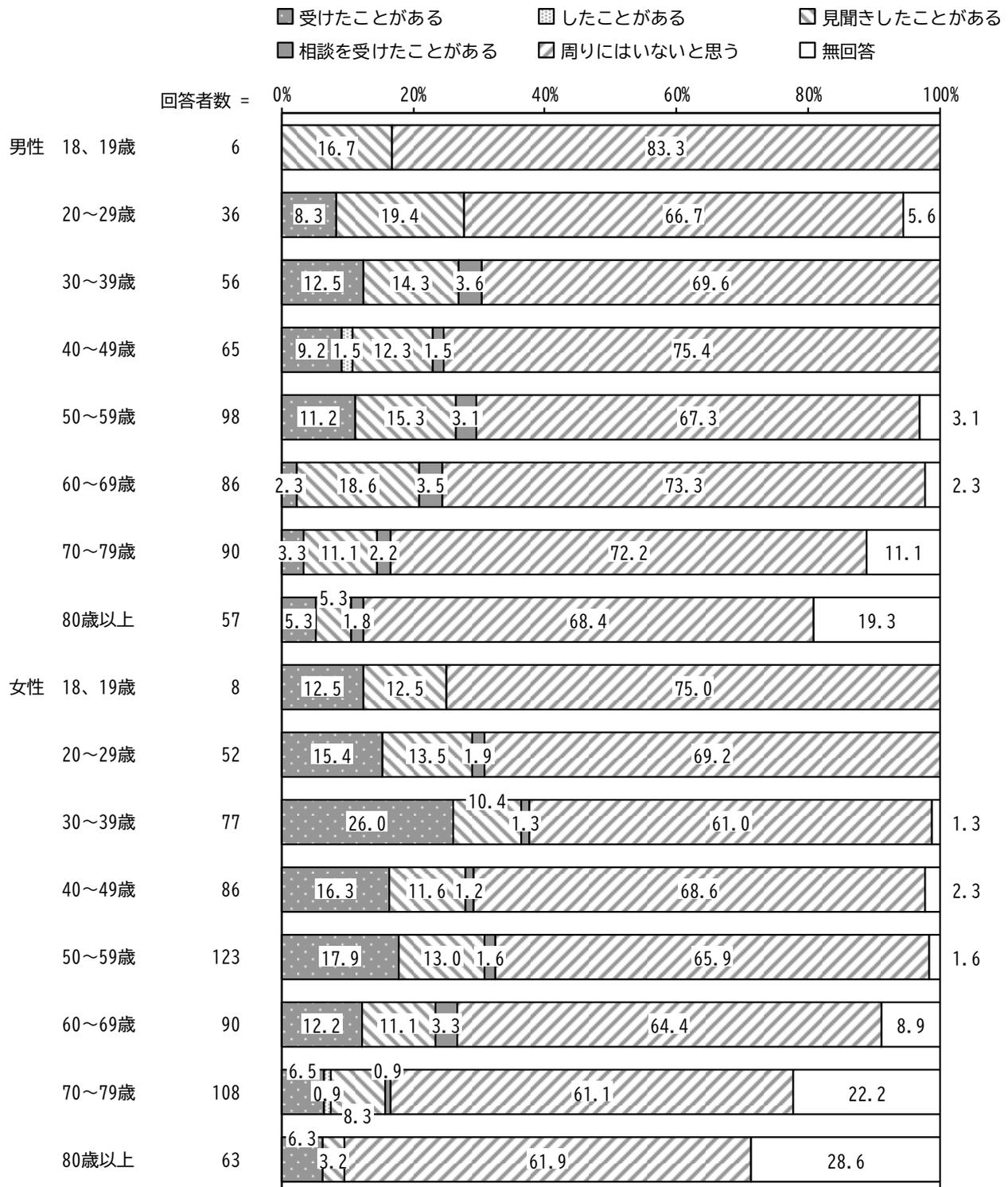
#### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「周りにはいないと思う」の割合が高く、男性と比較して女性で「受けたことがある」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

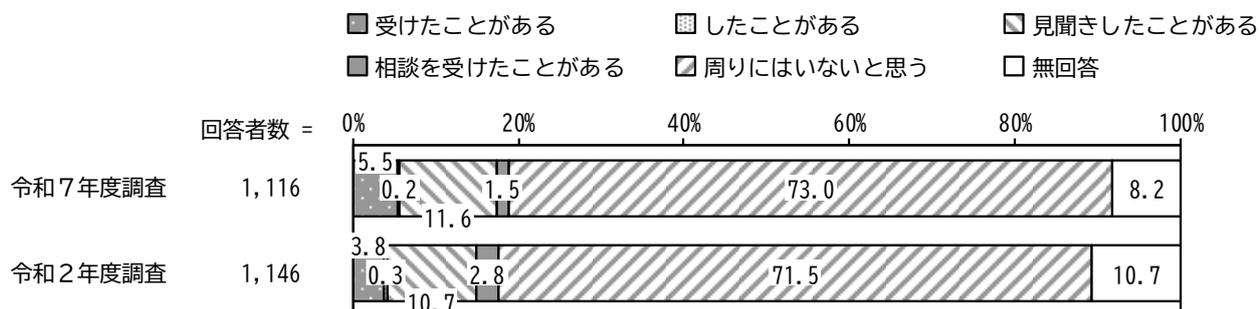
性・年齢別にみると、女性 30～39 歳で「受けたことがある」、男性 20～29 歳、男性 60～69 歳で「見聞きしたことがある」、男性 40～49 歳、男性 60～69 歳で「周りにはいないと思う」の割合が高くなっています。



⑭ きちんと仕事を与えてもらえない

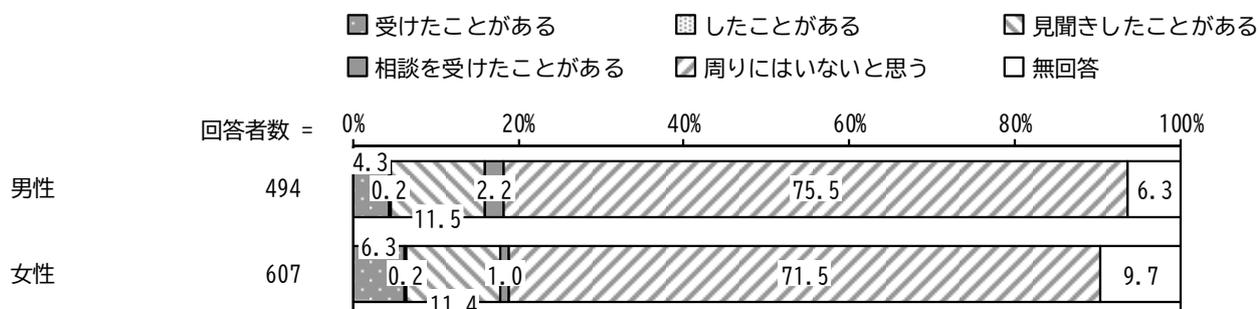
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



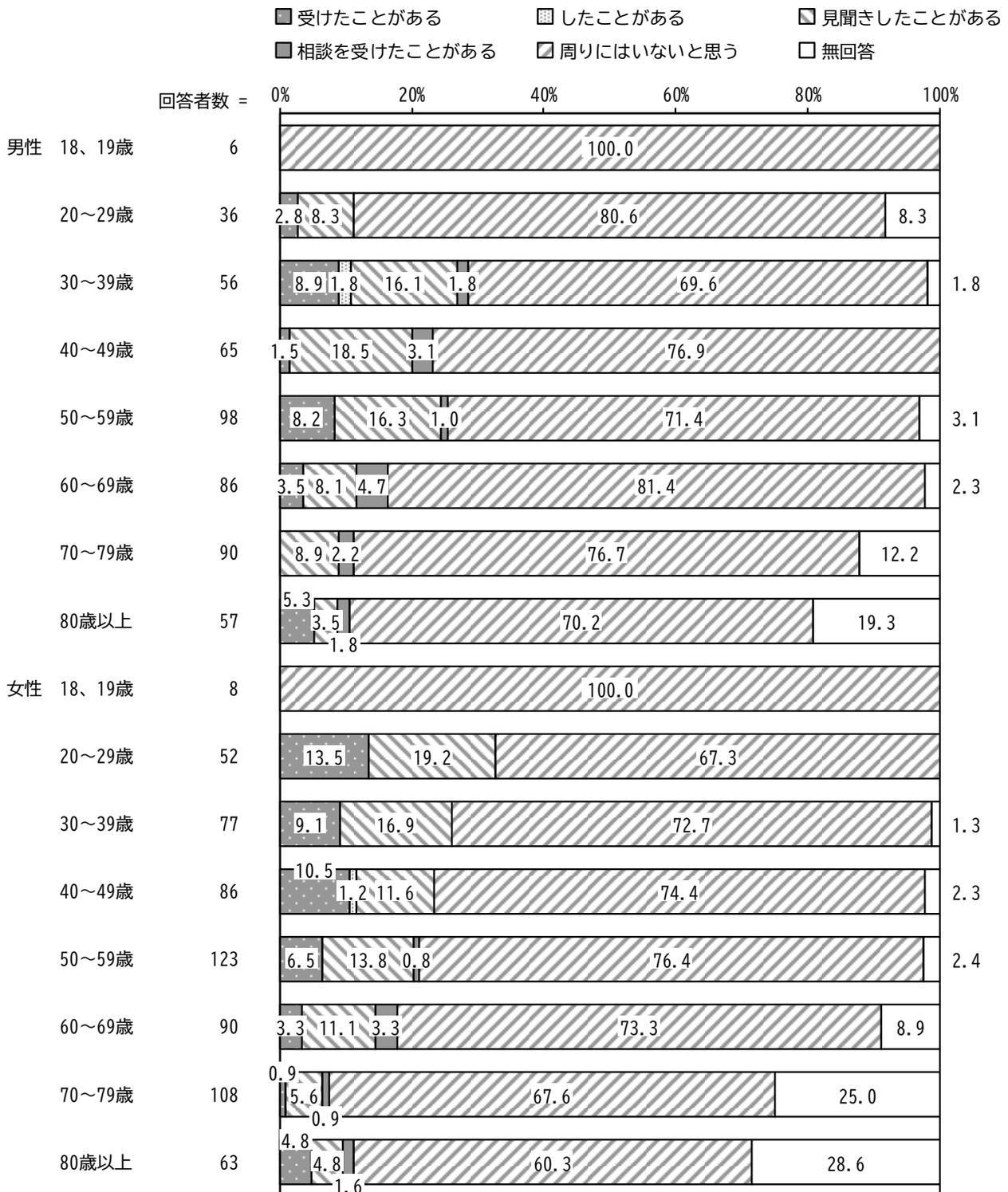
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

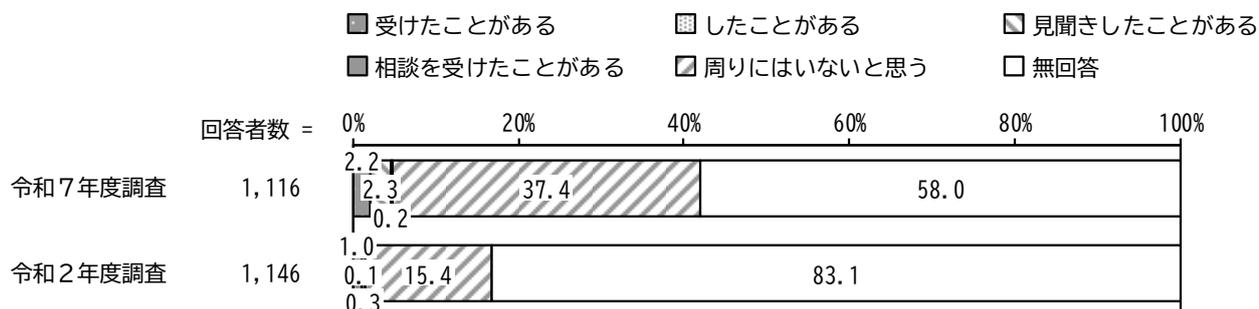
性・年齢別にみると、女性 20～29 歳、女性 40～49 歳で「受けたことがある」、男性 40～49 歳、女性 20～29 歳、女性 30～39 歳で「見聞きしたことがある」、男性 20～29 歳、男性 60～69 歳で「周りにはいないと思う」の割合が高くなっています。



⑮ その他

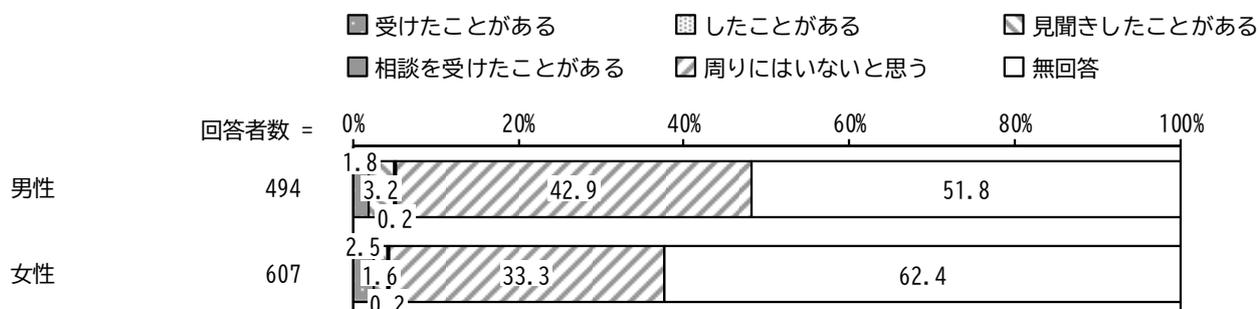
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「周りにはいないと思う」の割合が増加しています。



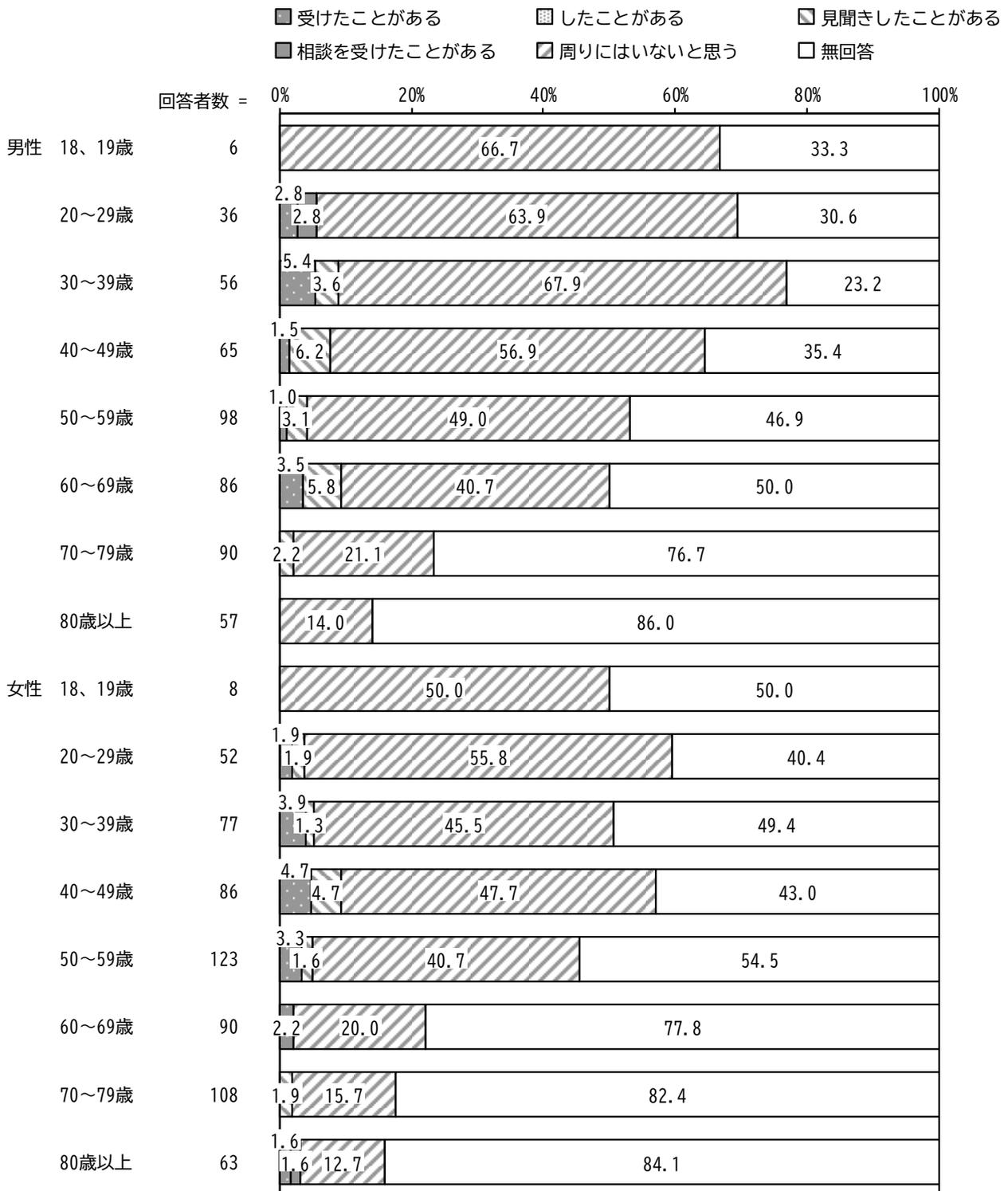
【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「周りにはいないと思う」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 30～39 歳で「周りにはいないと思う」の割合が高くなっています。

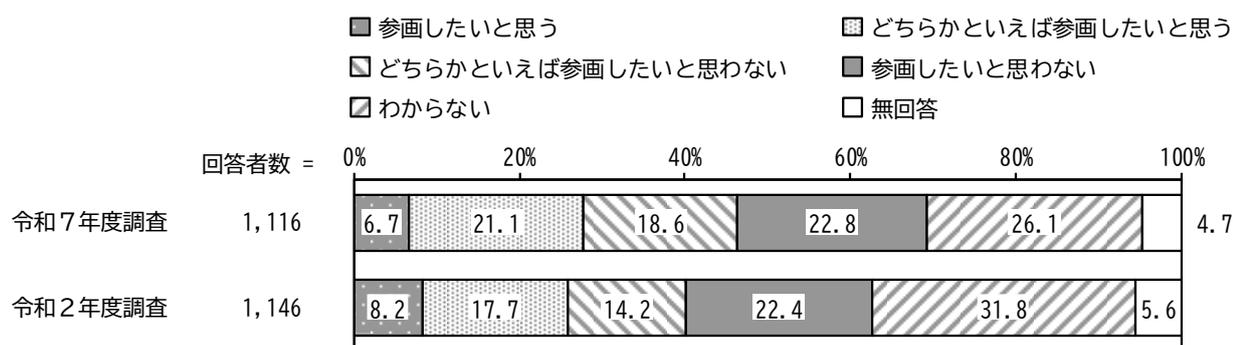


## (9) 男女共同参画について

問31 あなたは、地域・職場などにおいて、方針決定の場へ参画したいと思いますか。(○印は1つ)

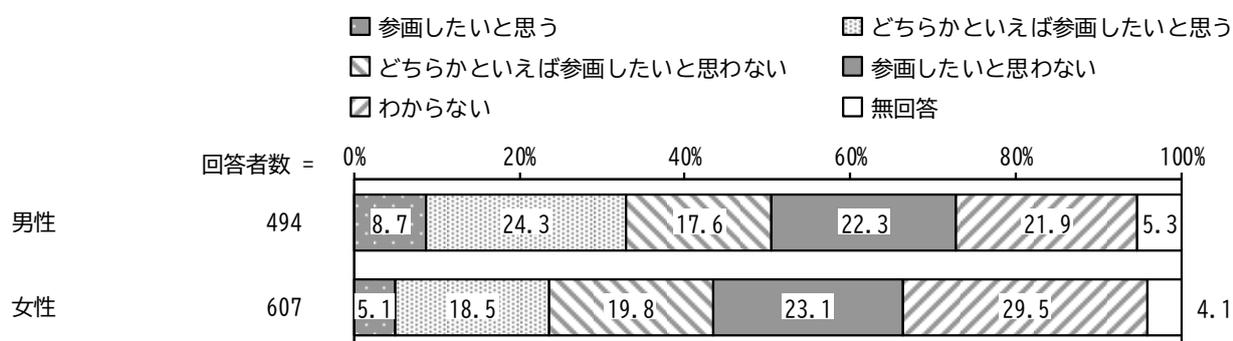
「参画したいと思う」「どちらかといえば参画したいと思う」を合わせた“参画したいと思う”の割合が27.8%、「どちらかといえば参画したいと思わない」「参画したいと思わない」を合わせた“参加したいと思わない”の割合が41.4%となっています。

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



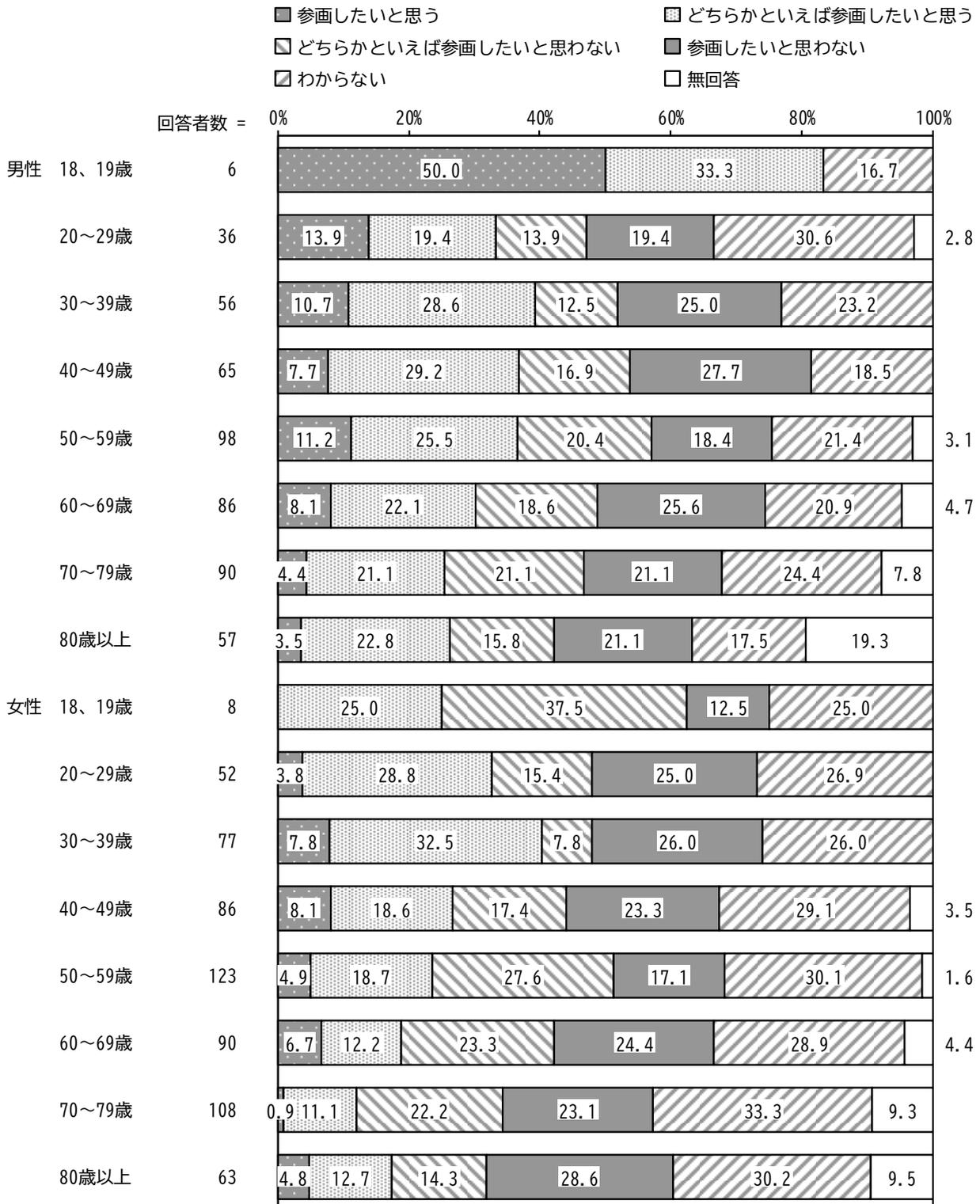
### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で“参画したいと思う”の割合が高くなっています。



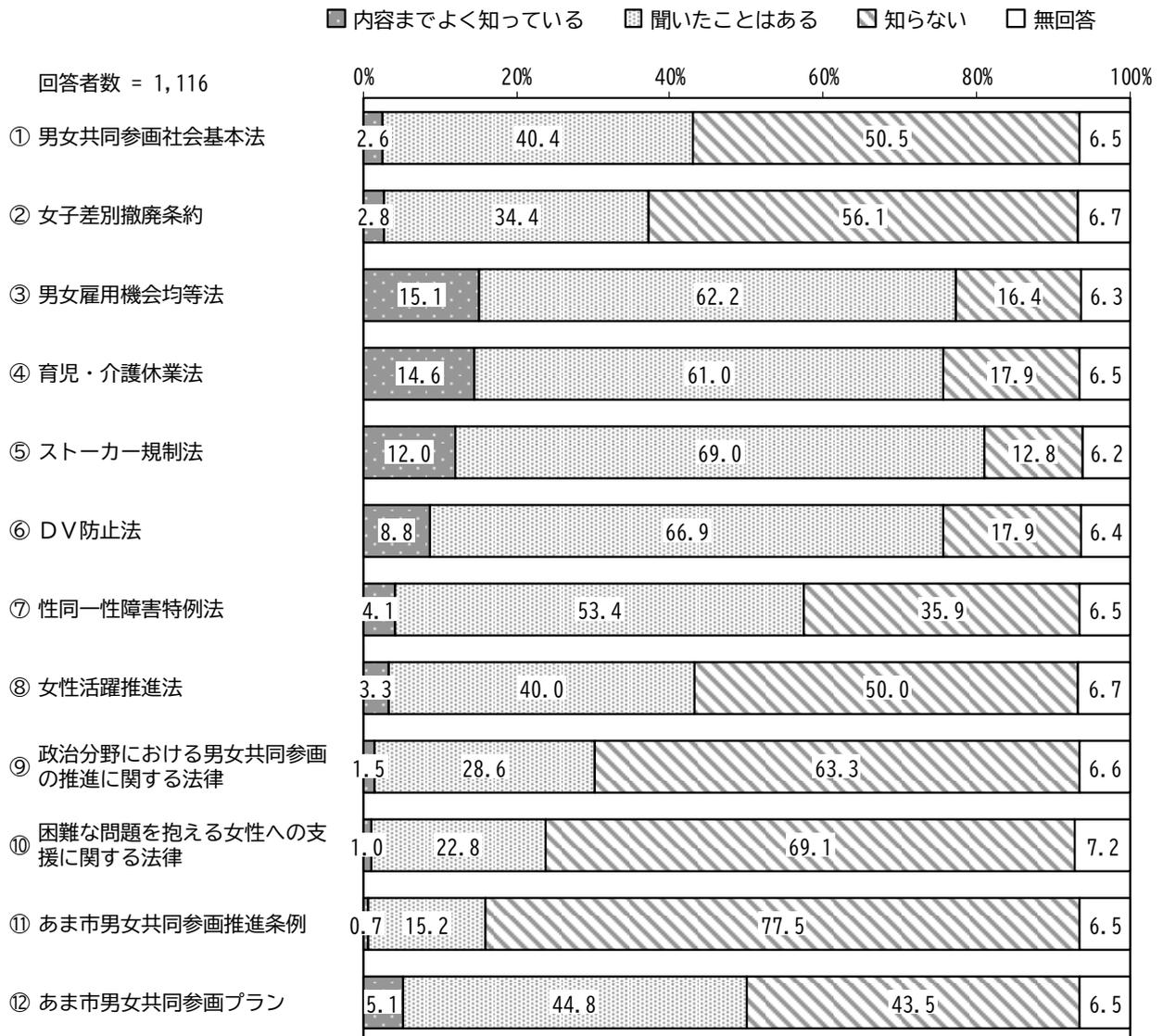
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 30～39 歳、女性 30～39 歳で“参画したいと思う”の割合が高くなっています。



問 32 現在、男女共同参画社会の実現に向けて、法律や制度等の整備が進んでいます。あなたは、次のような法律等についてご存じですか。(○印①~⑫の項目ごとに1つずつ)

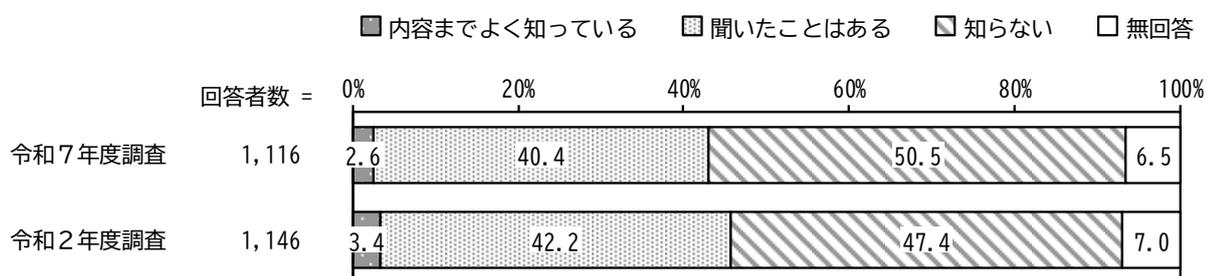
「内容までよく知っている」で『③ 男女雇用機会均等法』が、「聞いたことはある」で『⑤ ストーカー規制法』が、「知らない」で『⑪ あま市男女共同参画推進条例』が高くなっています。



## ① 男女共同参画社会基本法

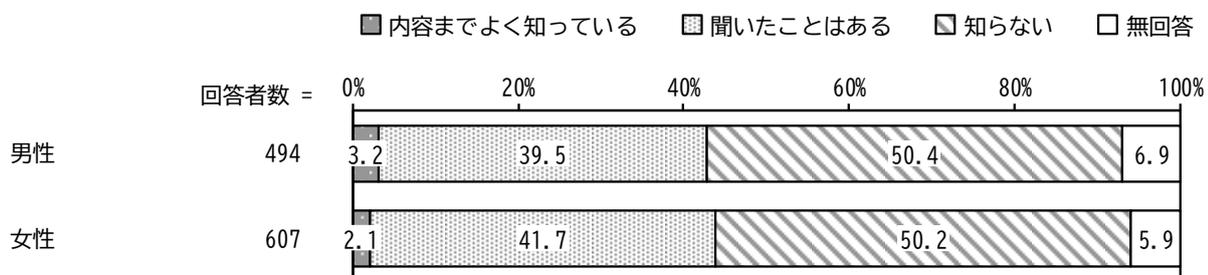
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



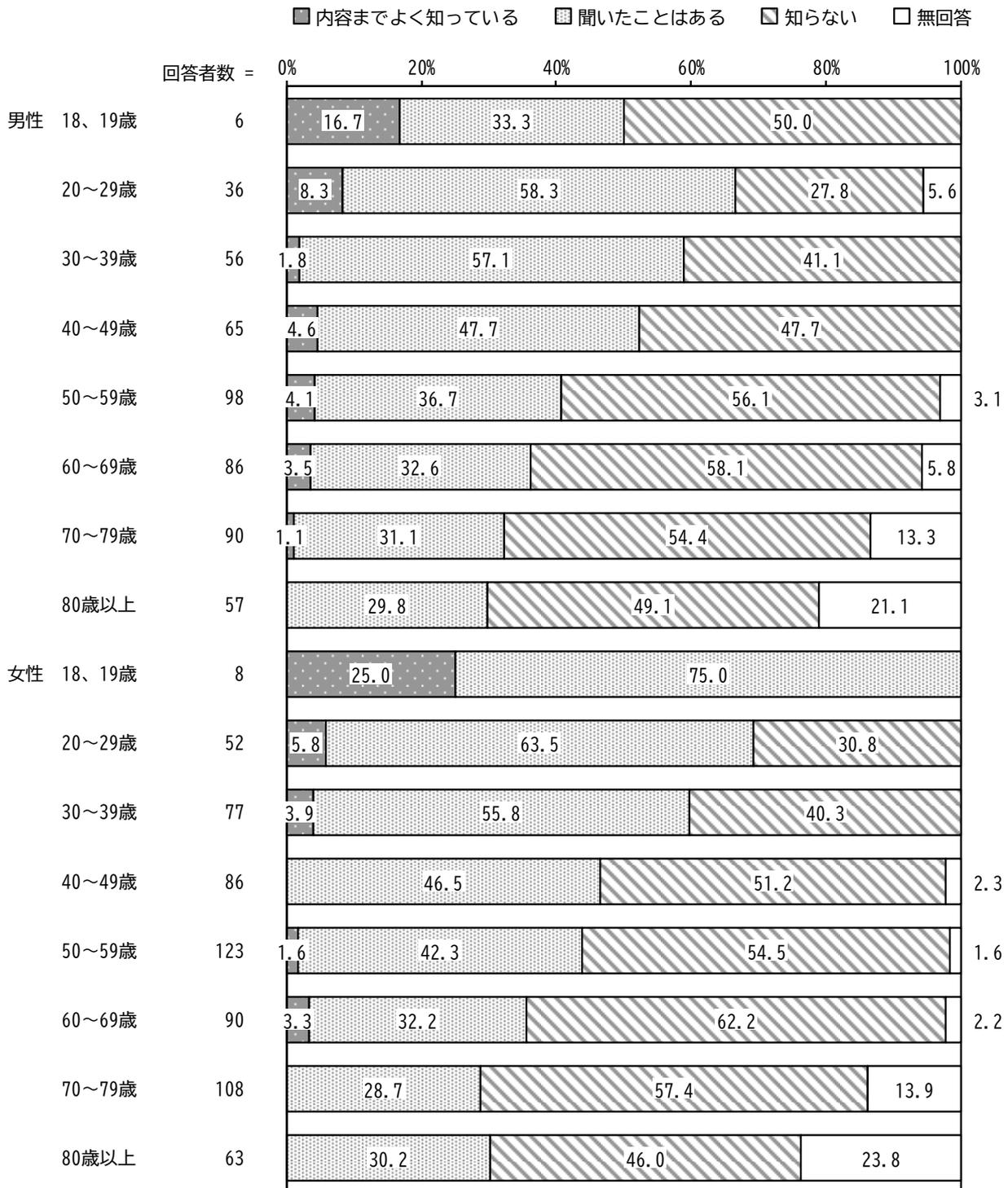
### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

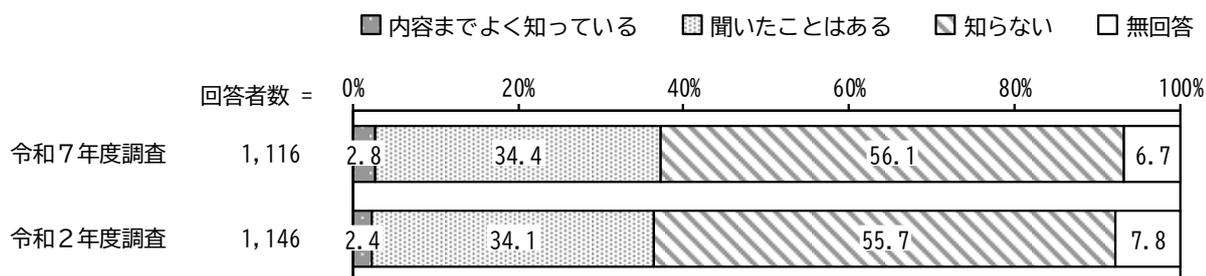
性・年齢別にみると、女性 20～29 歳で「聞いたことはある」、女性 60～69 歳で「知らない」の割合が高くなっています。



## ② 女子差別撤廃条約

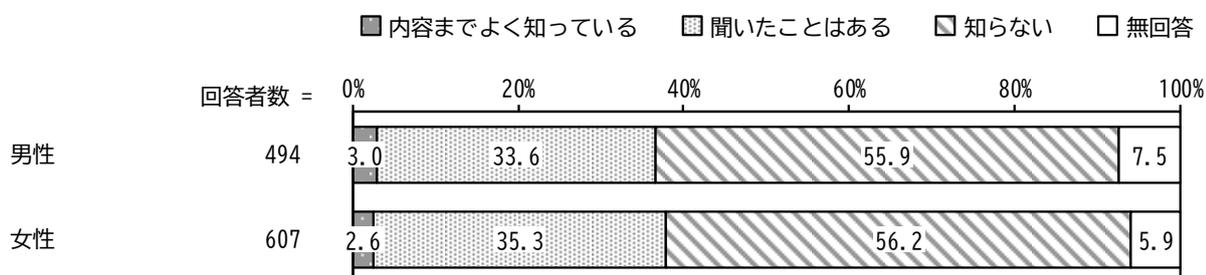
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



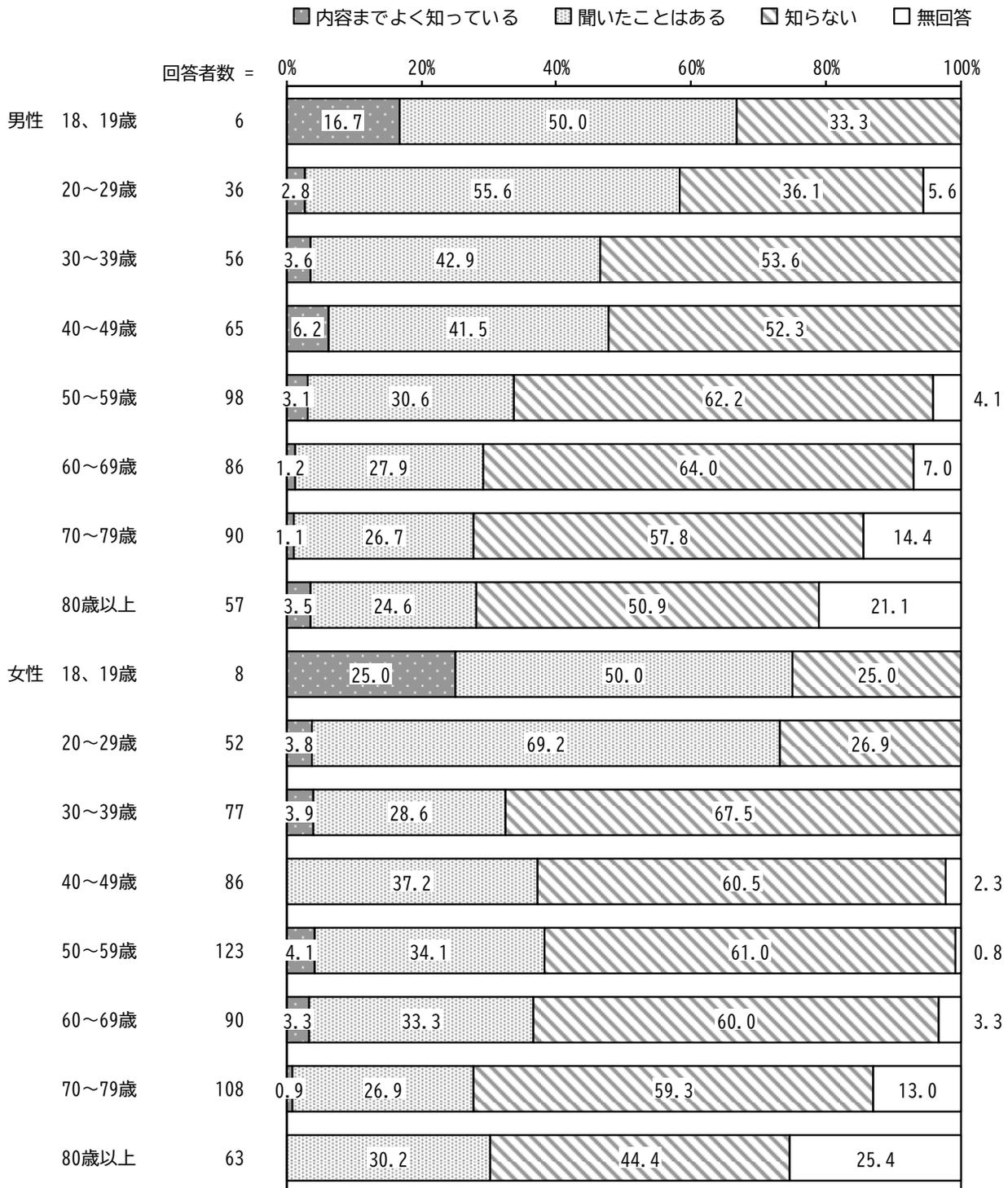
### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

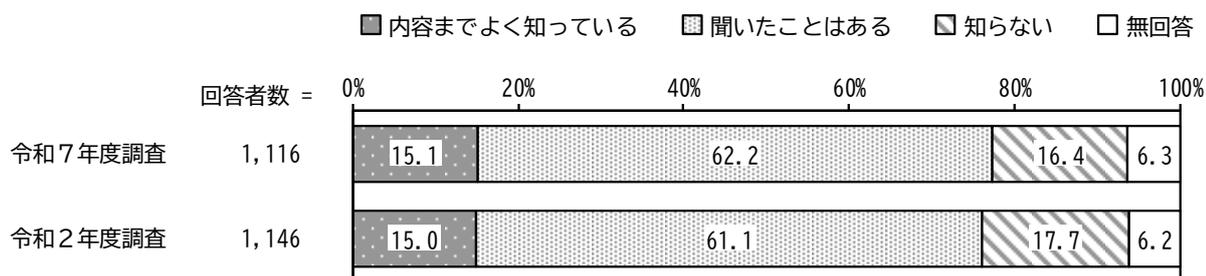
性・年齢別にみると、女性 20～29 歳で「聞いたことはある」、女性 30～39 歳で「知らない」の割合が高くなっています。



### ③ 男女雇用機会均等法

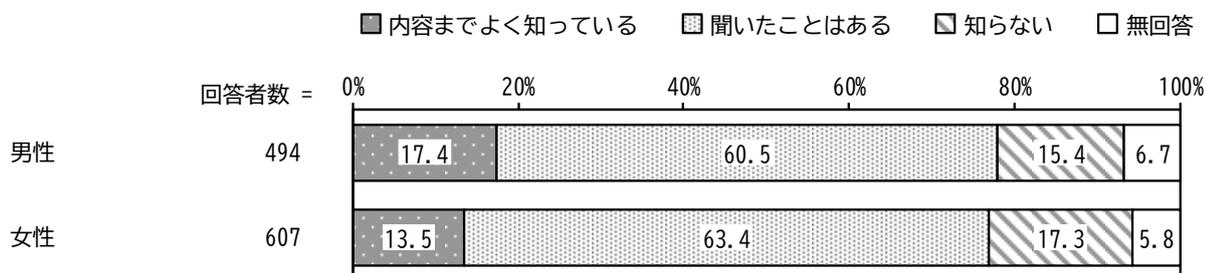
#### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



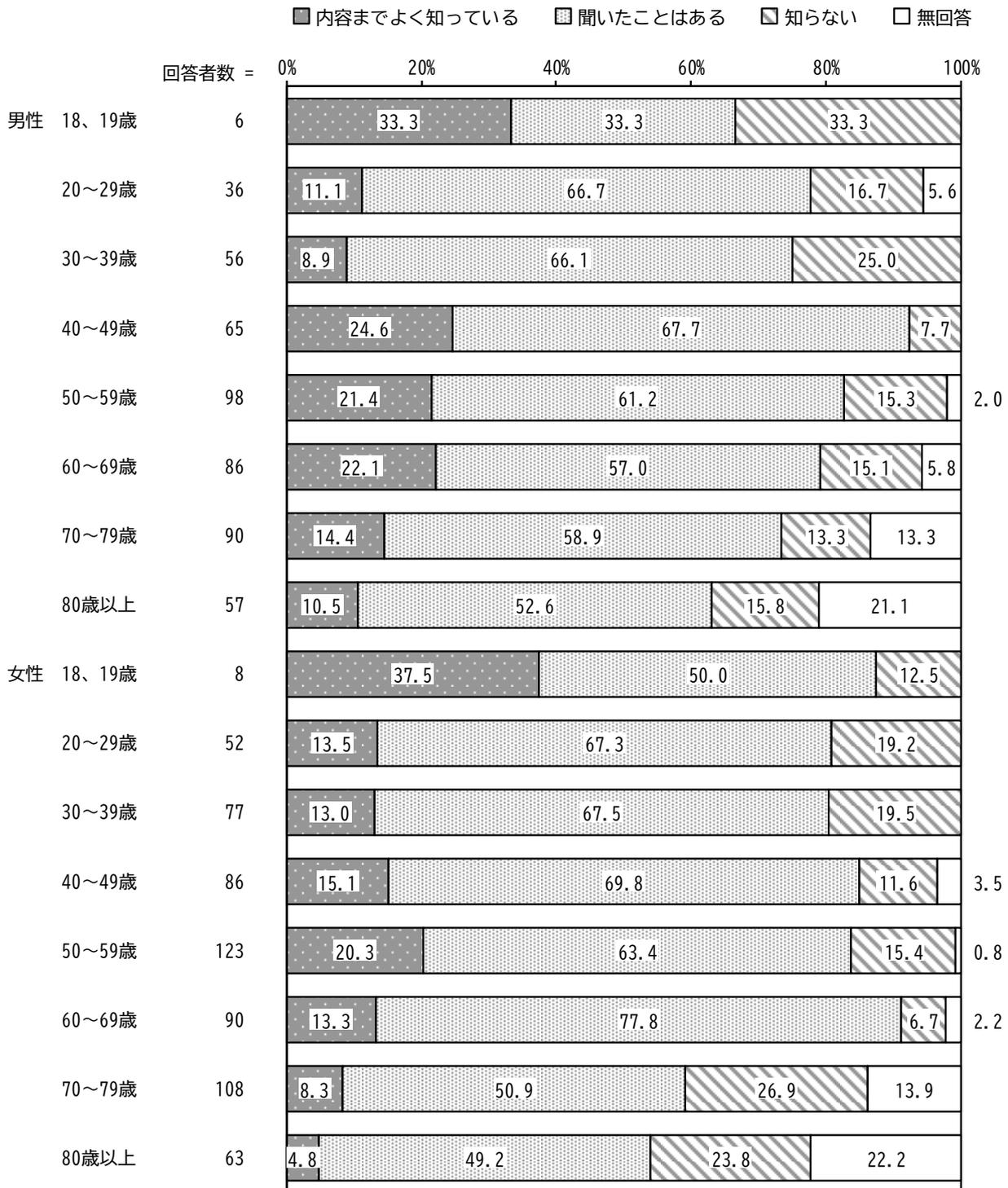
#### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

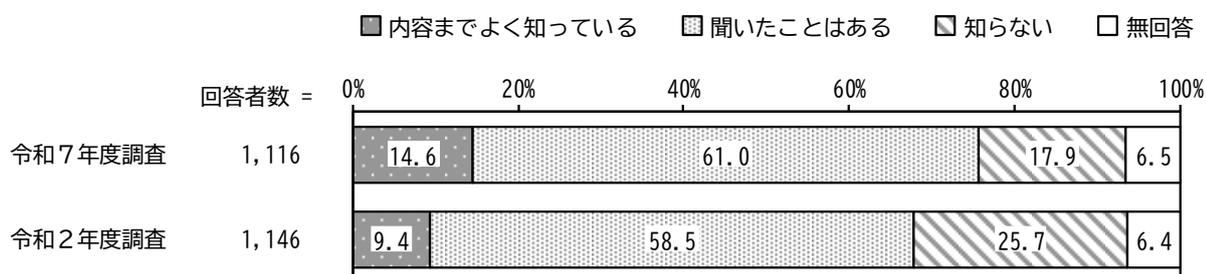
性・年齢別にみると、女性 60～69 歳で「聞いたことはある」、女性 70～79 歳で「知らない」の割合が高くなっています。



#### ④ 育児・介護休業法

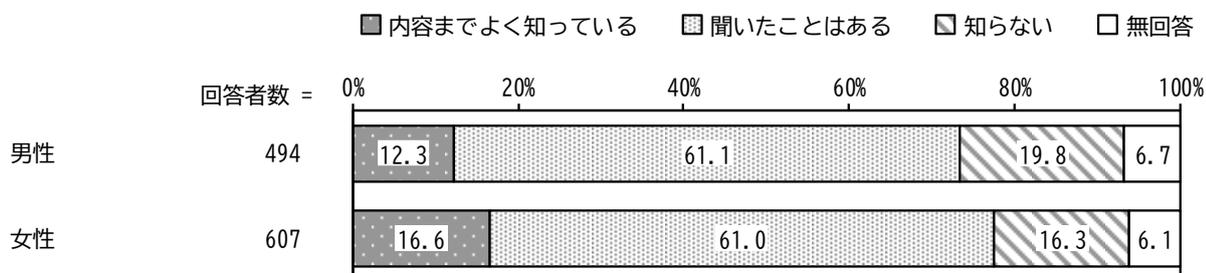
##### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「内容までよく知っている」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



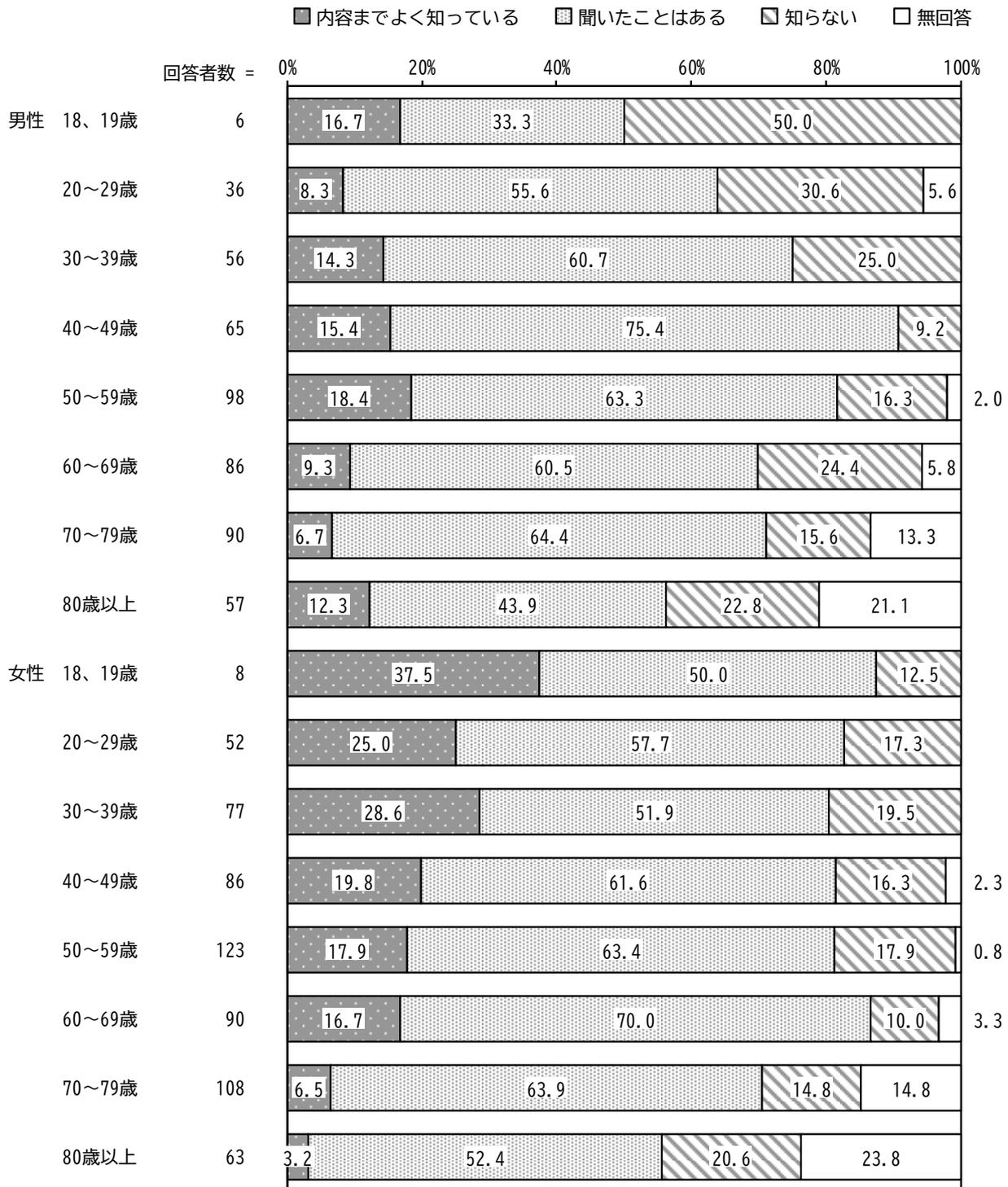
##### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

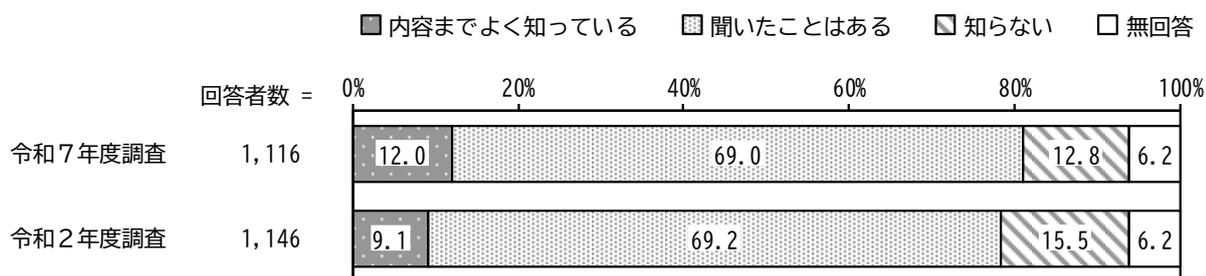
性・年齢別にみると、女性 30～39 歳で「内容までよく知っている」、男性 40～49 歳で「聞いたことはある」、男性 20～29 歳で「知らない」の割合が高くなっています。



## ⑤ ストーカー規制法

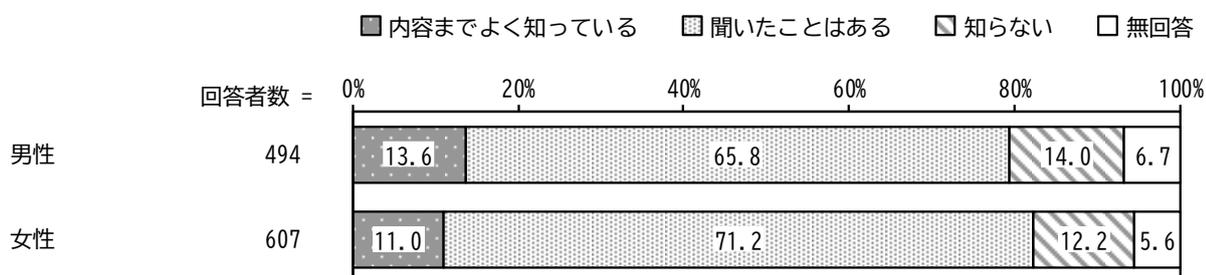
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



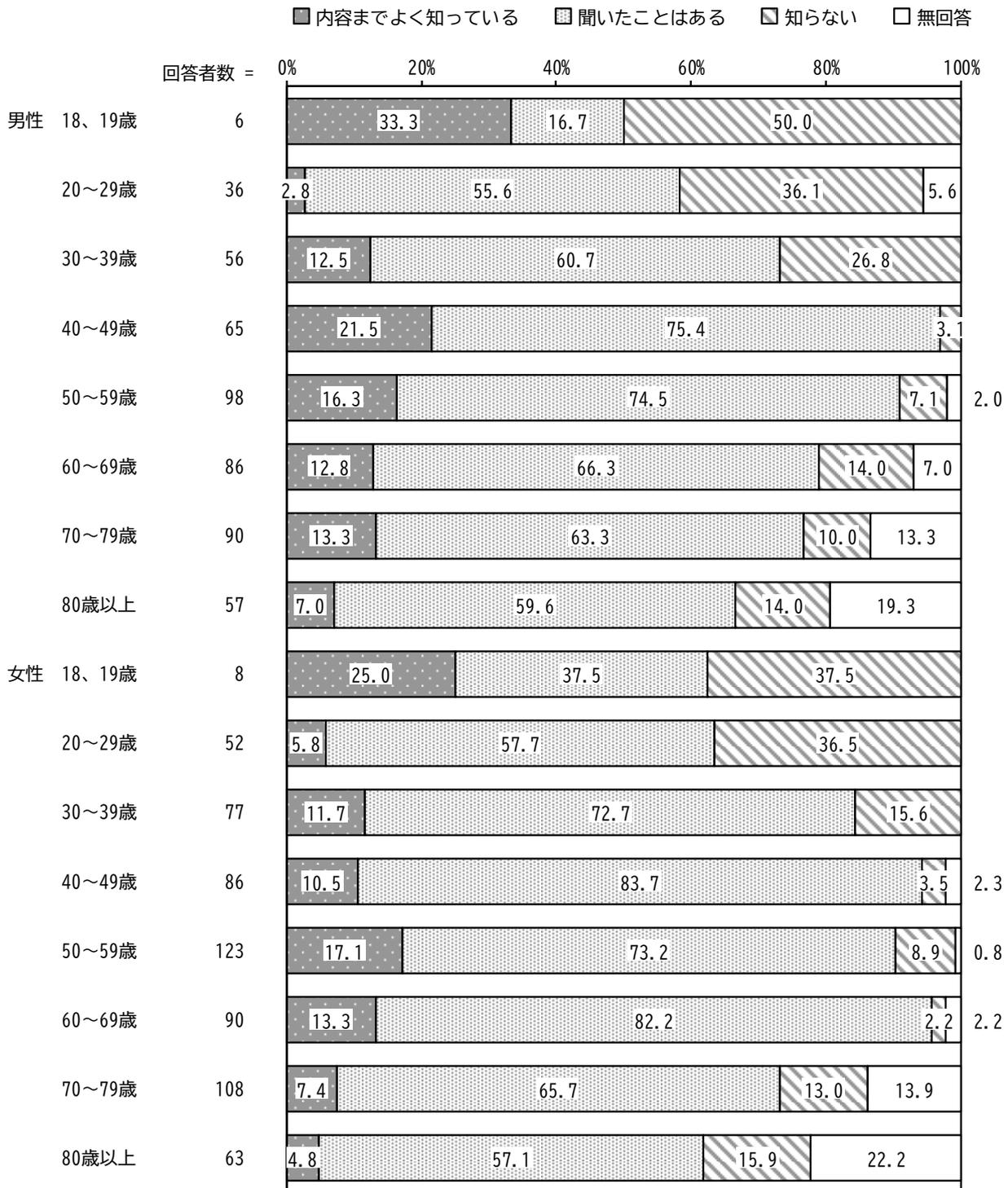
### 【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で「聞いたことはある」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

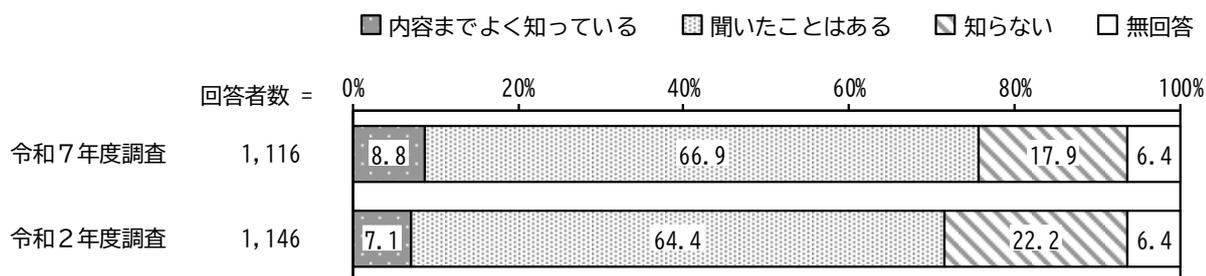
性・年齢別にみると、女性 40～49 歳、女性 60～69 歳で「聞いたことはある」、男性 20～29 歳、女性 20～29 歳で「知らない」の割合が高くなっています。



## ⑥ DV防止法

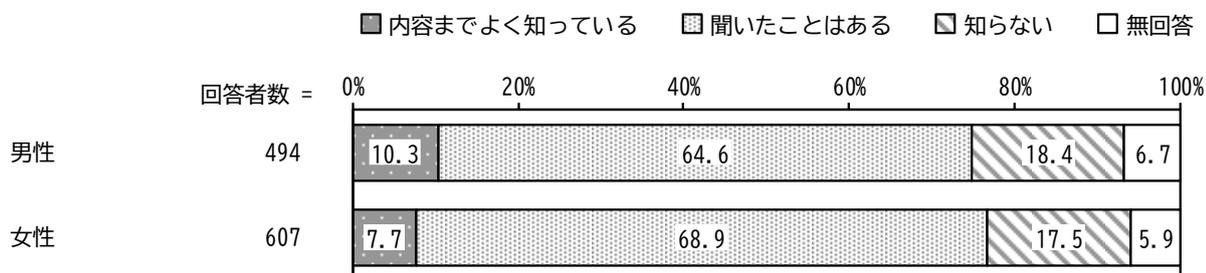
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



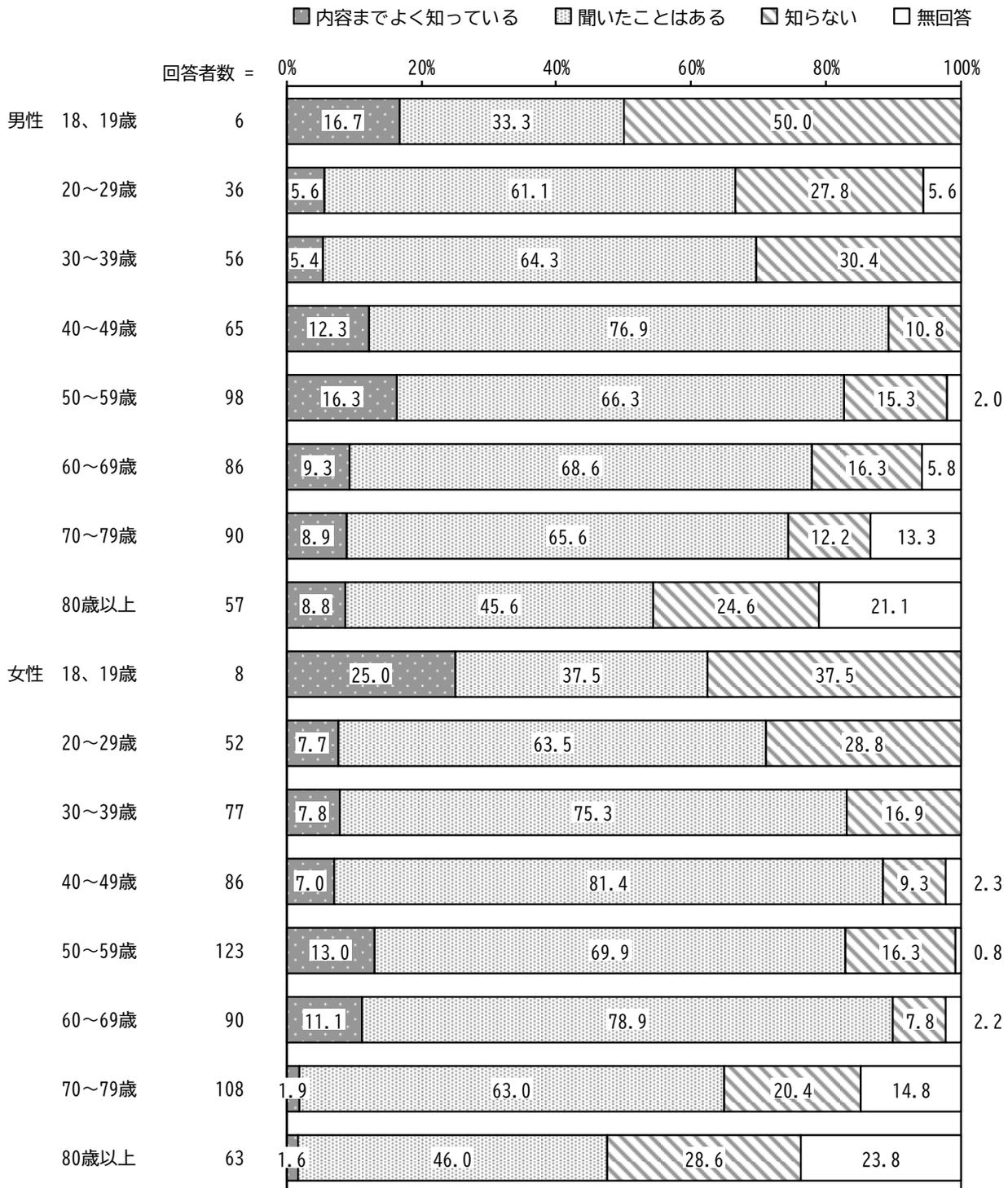
### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

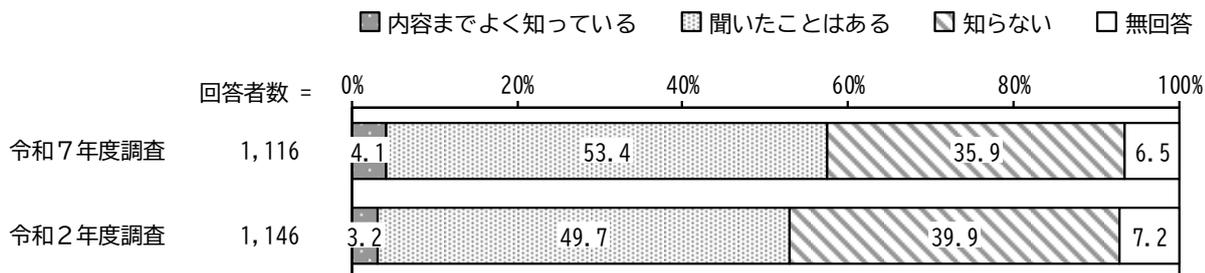
性・年齢別にみると、女性 40～49 歳、女性 60～69 歳で「聞いたことはある」、男性 30～39 歳、女性 20～29 歳、女性 80 歳以上で「知らない」の割合が高くなっています。



⑦ 性同一性障害特例法

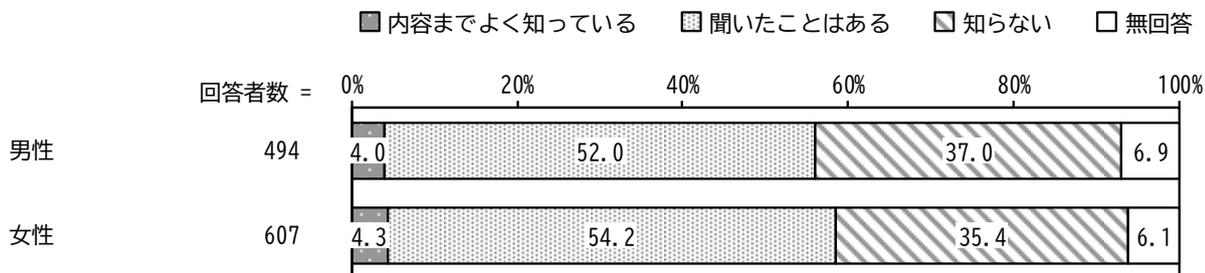
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



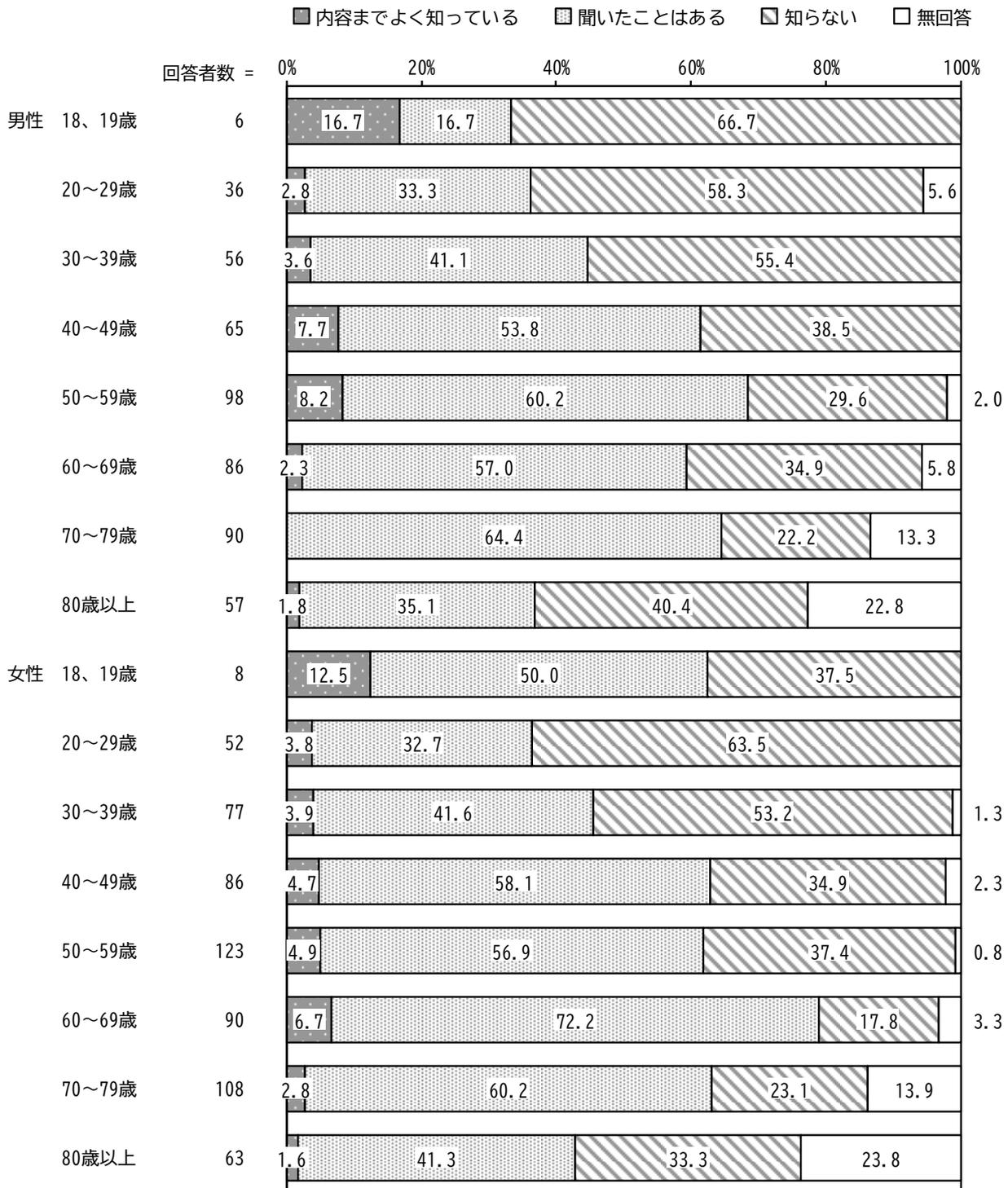
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

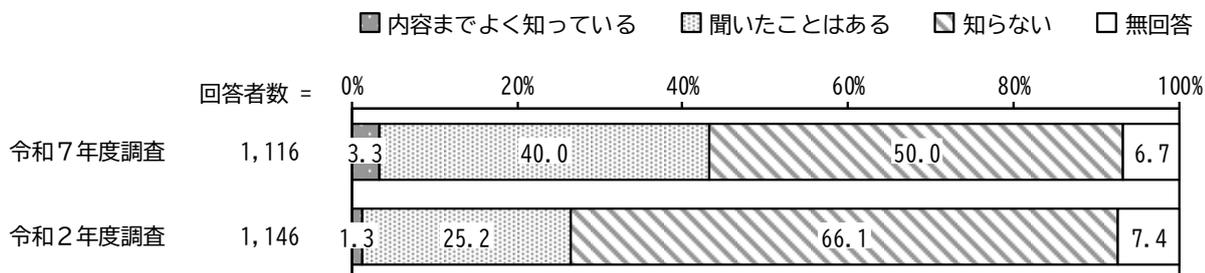
性・年齢別にみると、女性 60～69 歳で「聞いたことはある」、女性 20～29 歳で「知らない」の割合が高くなっています。



## ⑧ 女性活躍推進法

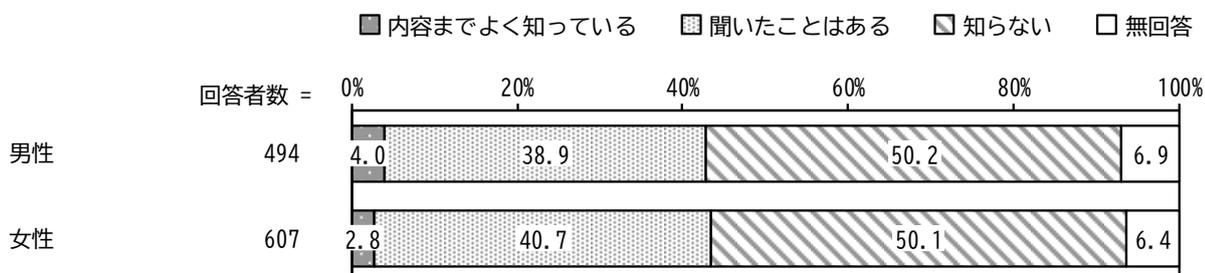
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「聞いたことはある」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



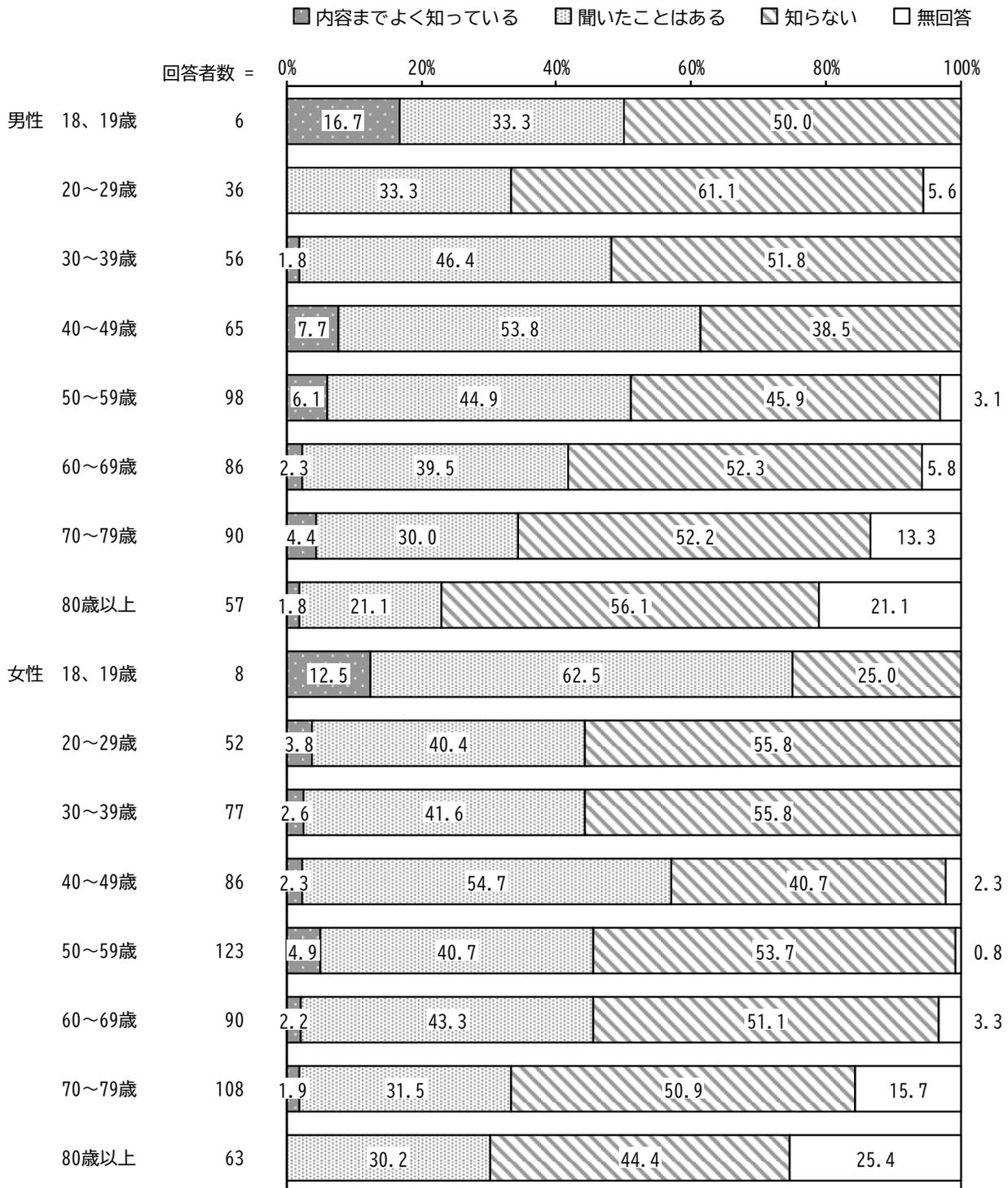
### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

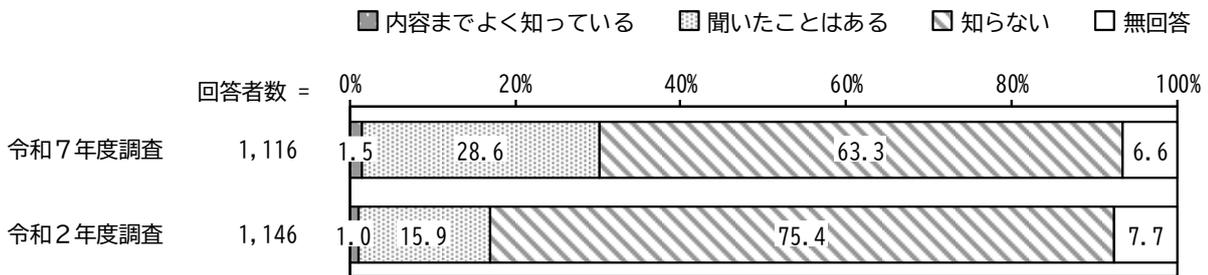
性・年齢別にみると、男性 40～49 歳、女性 40～49 歳で「聞いたことはある」、男性 20～29 歳で「知らない」の割合が高くなっています。



⑨ 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律

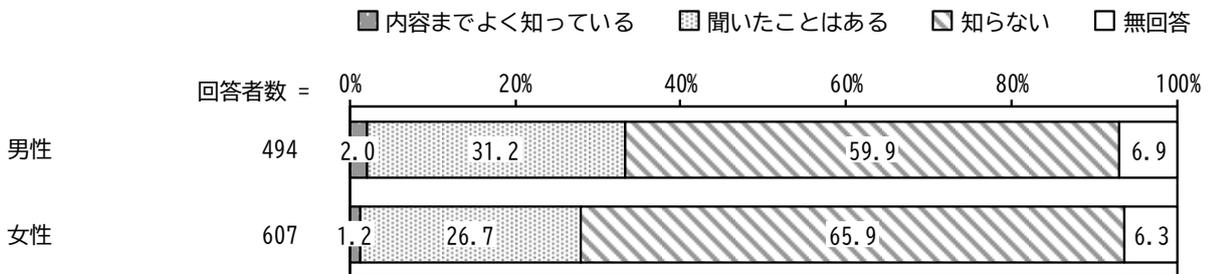
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「聞いたことはある」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



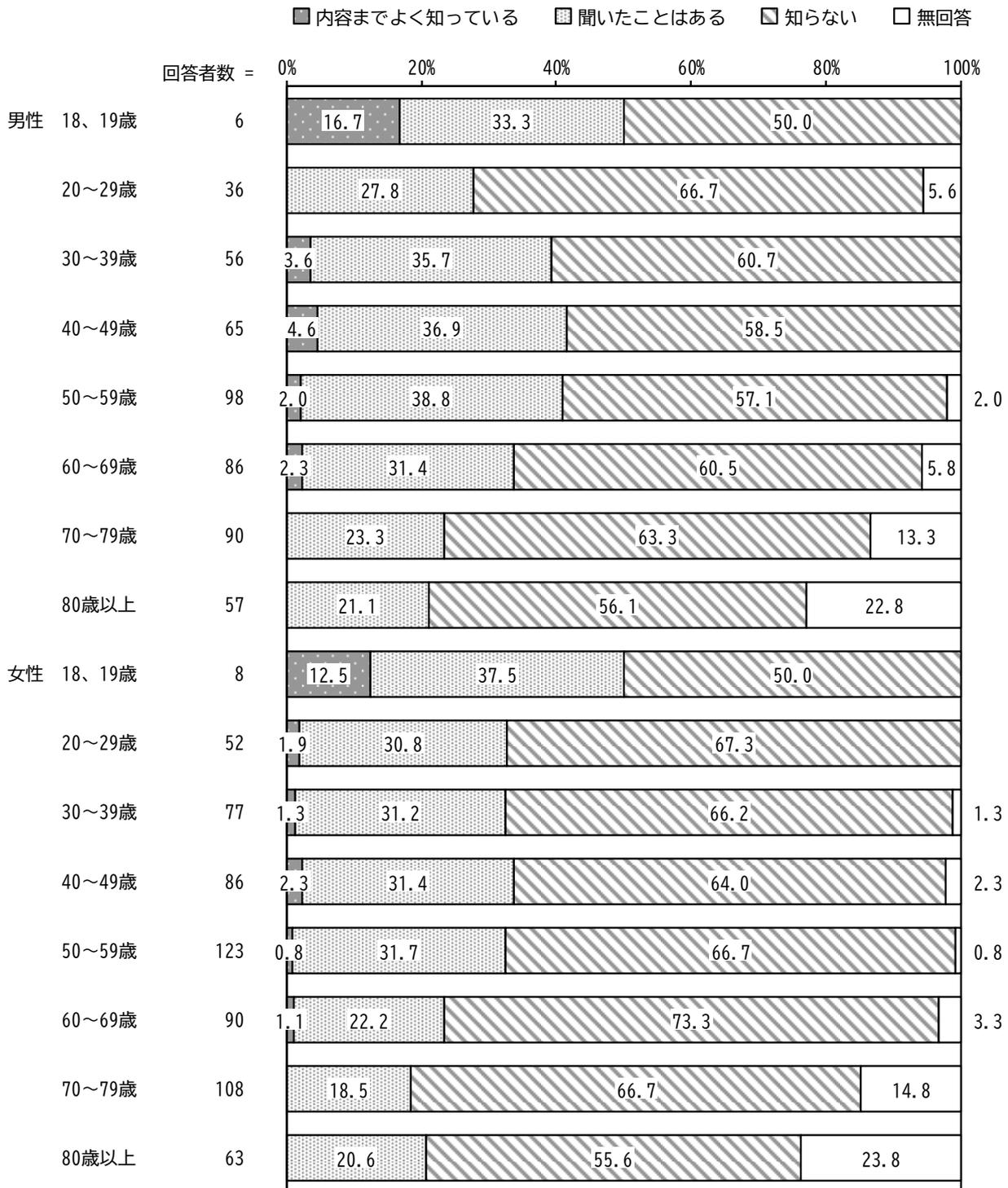
【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で「知らない」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

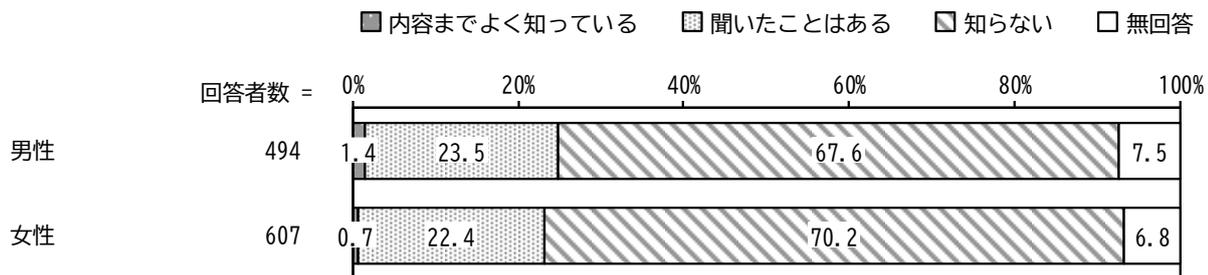
性・年齢別にみると、男性 50～59 歳で「聞いたことはある」、女性 60～69 歳で「知らない」の割合が高くなっています。



⑩ 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律

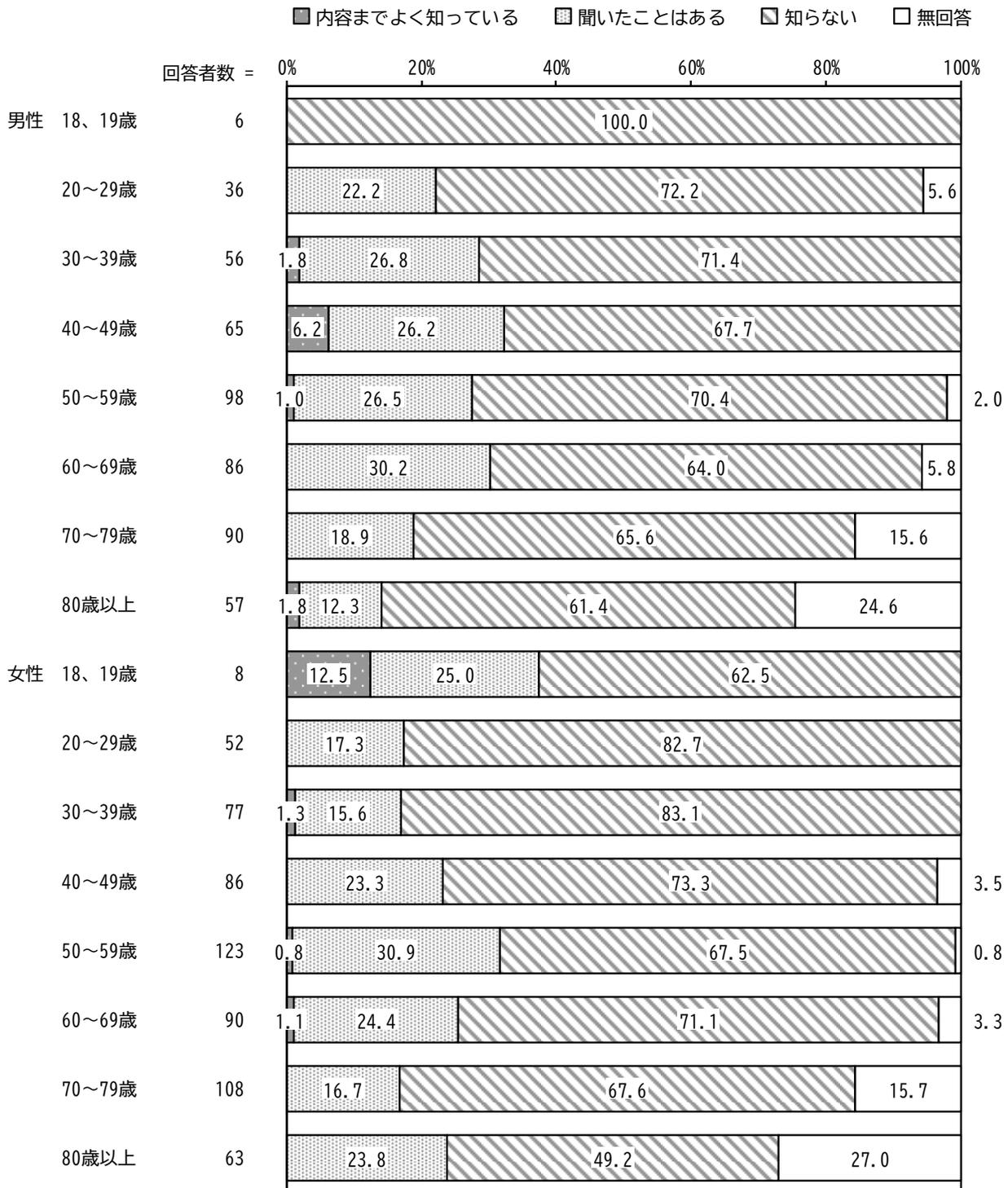
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

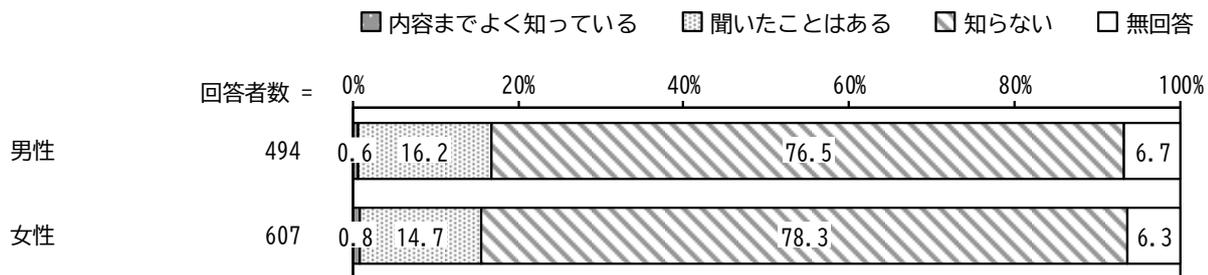
性・年齢別にみると、女性 20～29 歳、女性 30～39 歳で「知らない」の割合が高く、男性 80 歳以上で「聞いたことはある」の割合が低くなっています。



⑪ あま市男女共同参画推進条例

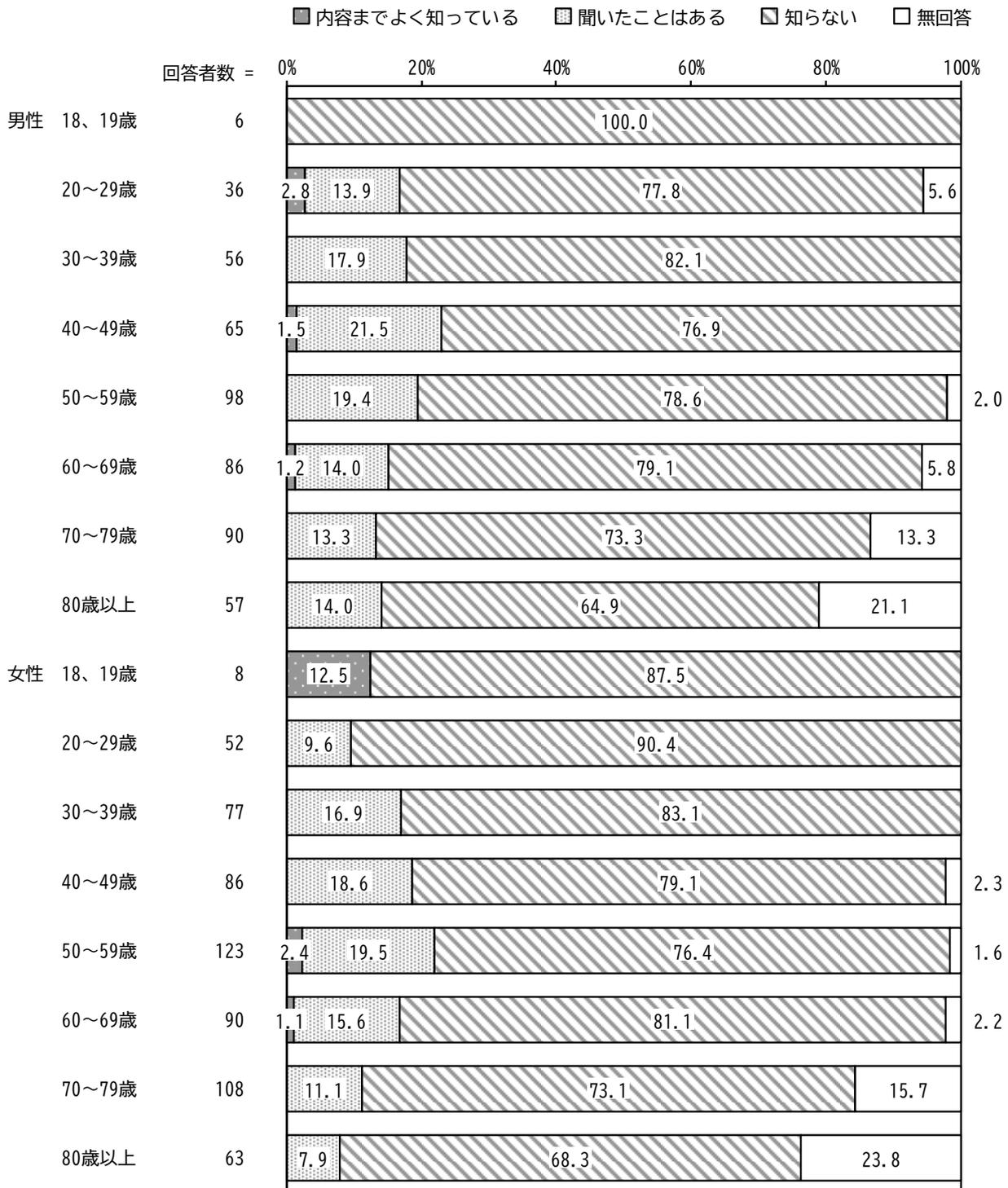
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

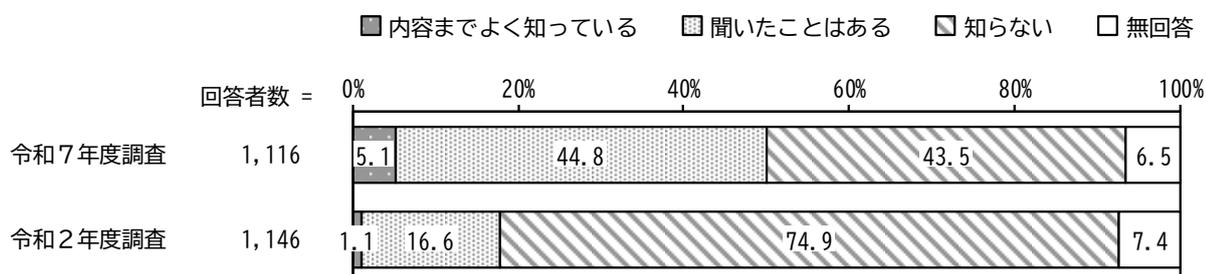
性・年齢別にみると、男性 40～49 歳で「聞いたことはある」、女性 20～29 歳で「知らない」の割合が高くなっています。



## ⑫ あま市男女共同参画プラン

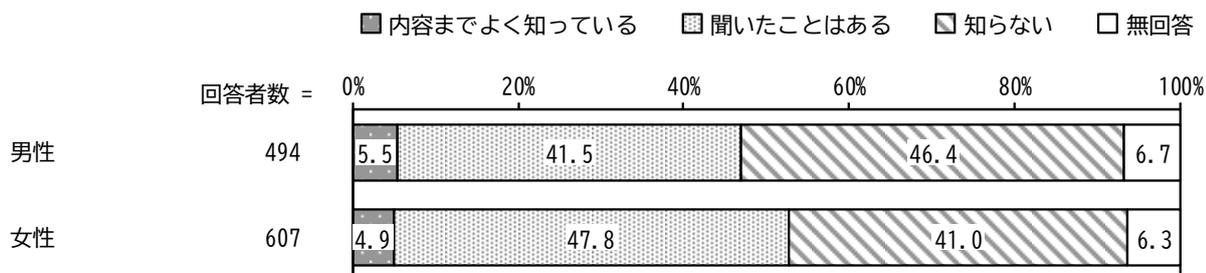
### 【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「聞いたことはある」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



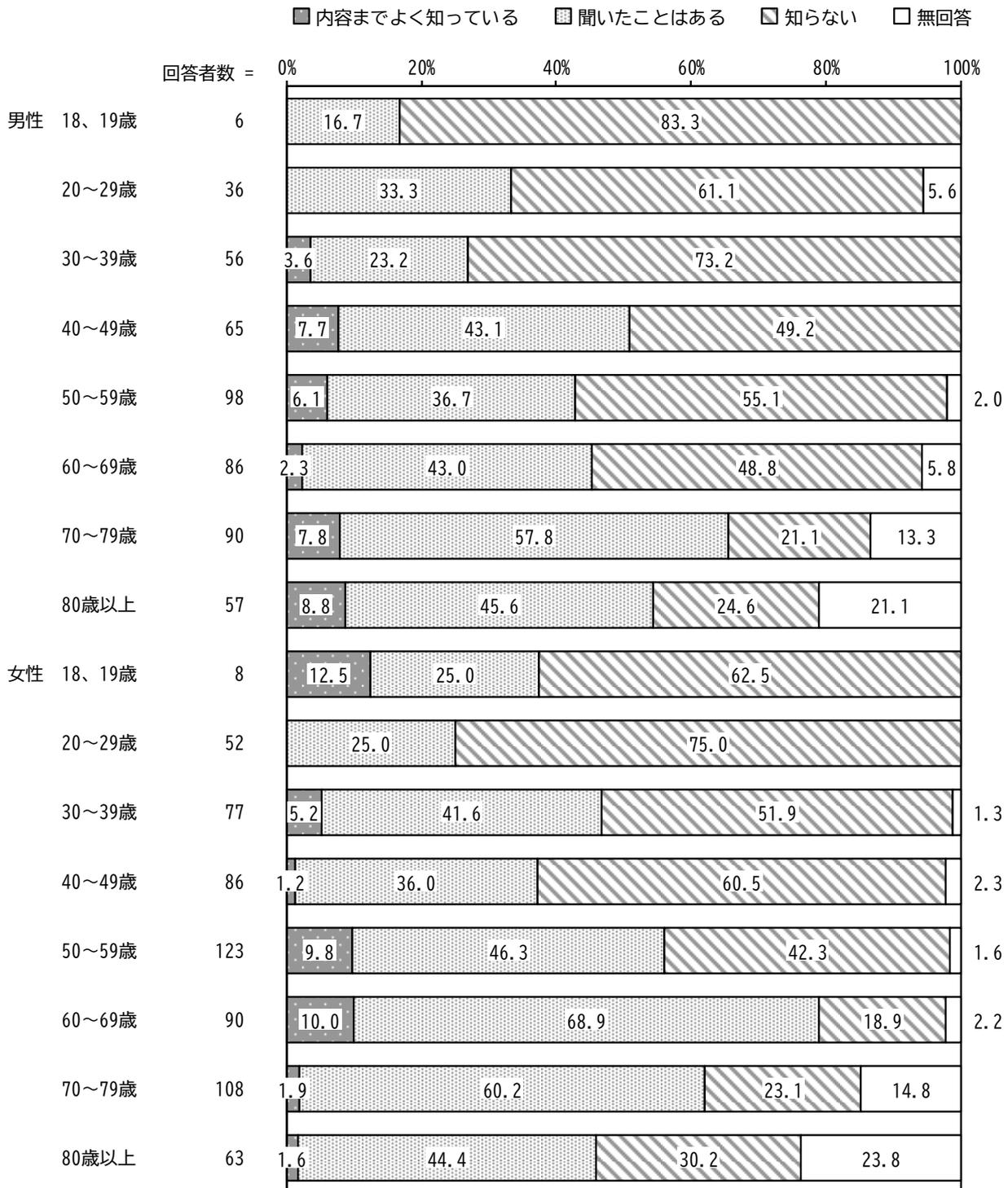
### 【性別】

性別にみると、女性と比較して男性で「知らない」の割合が高く、男性と比較して女性で「聞いたことはある」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

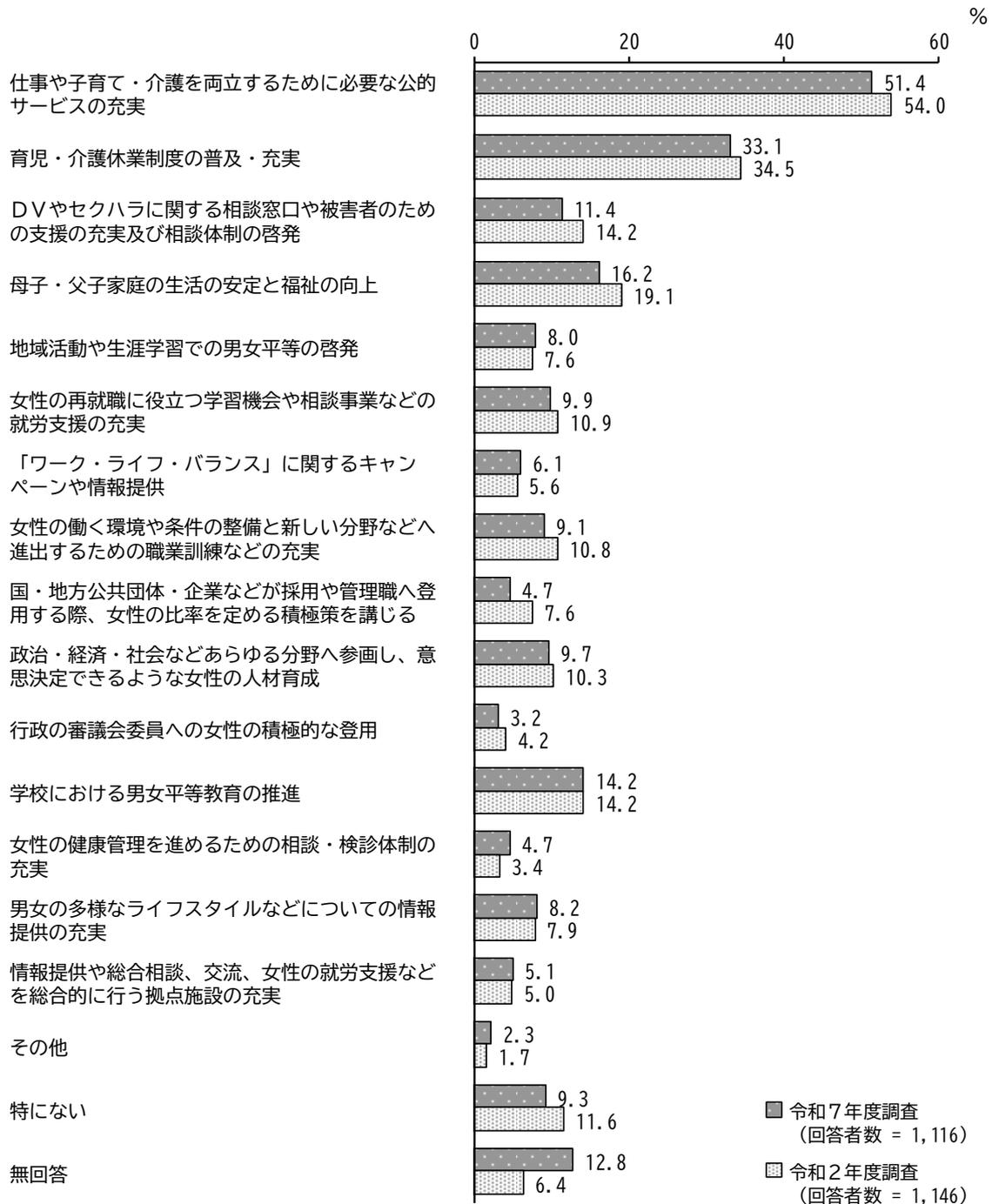
性・年齢別にみると、女性 60～69 歳で「聞いたことはある」、男性 30～39 歳、女性 20～29 歳で「知らない」の割合が高くなっています。



問 33 「男女共同参画社会」を実現するために、今後行政ではどのような取組みが必要だと思いますか。(○印3つまで)

「仕事や子育て・介護を両立するために必要な公的サービスの充実」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「育児・介護休業制度の普及・充実」の割合が 33.1%、「母子・父子家庭の生活の安定と福祉の向上」の割合が 16.2%となっています。

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、男性と比較して女性で「女性の再就職に役立つ学習機会や相談事業などの就労支援の充実」「女性の働く環境や条件の整備と新しい分野などへ進出するための職業訓練などの充実」「女性の健康管理を進めるための相談・検診体制の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事や子育て・介護を両立するために必要な公的サービスの充実	育児・介護休業制度の普及・充実	DVやセクハラに関する相談窓口や被害者のための支援の充実及び相談体制の啓発	母子・父子家庭の生活の安定と福祉の向上	地域活動や生涯学習での男女平等の啓発	女性の再就職に役立つ学習機会や相談事業などの就労支援の充実	「ワーク・ライフ・バランス」に関するキャンペーンや情報提供
全体	1,116	51.4	33.1	11.4	16.2	8.0	9.9	6.1
男性	494	48.8	31.4	12.1	16.6	9.3	6.7	7.5
女性	607	53.7	34.8	10.9	15.7	7.1	12.4	5.1

区分	女性の働く環境や条件の整備と新しい分野などへ進出するための職業訓練などの充実	国・地方公共団体・企業などが採用や管理職へ登用する際、女性の比率を定める積極策を講じる	政治・経済・社会などあらゆる分野へ参画し、意思決定できるような女性の人材育成	行政の審議会委員への女性の積極的な登用	学校における男女平等教育の推進	女性の健康管理を進めるための相談・検診体制の充実	男女の多様なライフスタイルなどについての情報提供の充実	情報提供や総合相談、交流、女性の就労支援などを総合的に行う拠点施設の充実
全体	9.1	4.7	9.7	3.2	14.2	4.7	8.2	5.1
男性	5.7	5.5	10.5	4.0	14.0	2.0	9.1	5.1
女性	11.7	4.1	9.2	2.5	14.5	7.1	7.6	5.3

区分	その他	特にない	無回答
全体	2.3	9.3	12.8
男性	2.8	11.7	12.1
女性	1.8	7.2	13.3

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 20～29 歳で「仕事や子育て・介護を両立するために必要な公的サービスの充実」、女性 30～39 歳で「育児・介護休業制度の普及・充実」、男性 50～59 歳、女性 20～29 歳で「DV やセクハラに関する相談窓口や被害者のための支援の充実及び相談体制の啓発」「母子・父子家庭の生活の安定と福祉の向上」、男性 20～29 歳で「地域活動や生涯学習での男女平等の啓発」、女性 50～59 歳、女性 60～69 歳で「女性の再就職に役立つ学習機会や相談事業などの就労支援の充実」、男性 60～69 歳で「政治・経済・社会などあらゆる分野へ参画し、意思決定できるような女性の人材育成」、男性 40～49 歳で「学校における男女平等教育の推進」、女性 80 歳以上で「女性の健康管理を進めるための相談・検診体制の充実」、女性 60～69 歳で「男女の多様なライフスタイルなどについての情報提供の充実」、男性 80 歳以上で「情報提供や総合相談、交流、女性の就労支援などを総合的に行う拠点施設の充実」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	仕事や子育て・介護を両立するために必要な公的サービスの充実	育児・介護休業制度の普及・充実	DV やセクハラに関する相談窓口や被害者のための支援の充実及び相談体制の啓発	母子・父子家庭の生活の安定と福祉の向上	地域活動や生涯学習での男女平等の啓発	女性の再就職に役立つ学習機会や相談事業などの就労支援の充実	「ワーク・ライフ・バランス」に関するキャンペーンや情報提供
全体	1,116	51.4	33.1	11.4	16.2	8.0	9.9	6.1
男性 18、19歳	6	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
20～29歳	36	58.3	50.0	11.1	11.1	13.9	2.8	8.3
30～39歳	56	67.9	35.7	16.1	8.9	3.6	0.0	10.7
40～49歳	65	46.2	36.9	10.8	18.5	12.3	7.7	9.2
50～59歳	98	57.1	33.7	18.4	21.4	10.2	6.1	7.1
60～69歳	86	48.8	20.9	10.5	12.8	12.8	3.5	10.5
70～79歳	90	36.7	28.9	8.9	20.0	6.7	12.2	2.2
80歳以上	57	31.6	26.3	8.8	17.5	7.0	12.3	7.0
女性 18、19歳	8	62.5	62.5	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0
20～29歳	52	75.0	48.1	21.2	21.2	9.6	7.7	9.6
30～39歳	77	66.2	57.1	14.3	16.9	1.3	11.7	6.5
40～49歳	86	62.8	37.2	8.1	16.3	4.7	14.0	5.8
50～59歳	123	53.7	30.1	9.8	13.8	5.7	16.3	5.7
60～69歳	90	53.3	33.3	13.3	13.3	10.0	15.6	4.4
70～79歳	108	36.1	25.9	6.5	15.7	6.5	12.0	1.9
80歳以上	63	38.1	15.9	7.9	15.9	12.7	4.8	4.8

区分	女性の働く環境や条件の整備と新しい分野などへ進出するための職業訓練などの充実	女性の健康管理を進めるための相談・検診体制の充実	学校における男女平等教育の推進	行政の審議会委員への女性の積極的な登用	政治・経済・社会などあらゆる分野へ参画し、意思決定できるような女性の人材育成	国・地方公共団体・企業などが採用や管理職へ登用する際、女性の比率を定める積極策を講じる	女性の働く環境や条件の整備と新しい分野などへ進出するための職業訓練などの充実	情報提供や総合相談、交流、女性の就労支援などを総合的に行う拠点施設の充実	男女の多様なライフスタイルなどについての情報提供の充実
全体	9.1	4.7	14.2	3.2	9.7	4.7	8.2	5.1	
男性	18、19歳	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	
	20～29歳	2.8	2.8	11.1	5.6	2.8	8.3	2.8	
	30～39歳	5.4	7.1	8.9	8.9	3.6	12.5	0.0	
	40～49歳	9.2	3.1	20.0	12.3	0.0	10.8	4.6	
	50～59歳	6.1	6.1	18.4	8.2	3.1	7.1	3.1	
	60～69歳	4.7	9.3	10.5	17.4	7.0	5.8	7.0	
	70～79歳	5.6	4.4	14.4	7.8	6.7	8.9	5.6	
	80歳以上	3.5	3.5	12.3	12.3	3.5	12.3	10.5	
女性	18、19歳	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	
	20～29歳	9.6	0.0	15.4	3.8	1.9	5.8	1.9	
	30～39歳	10.4	1.3	7.8	6.5	2.6	9.1	2.6	
	40～49歳	14.0	4.7	10.5	8.1	0.0	8.1	7.0	
	50～59歳	13.8	6.5	15.4	13.8	3.3	4.9	7.3	
	60～69歳	12.2	3.3	16.7	8.9	3.3	13.3	3.3	
	70～79歳	11.1	5.6	18.5	10.2	2.8	5.6	6.5	
	80歳以上	7.9	3.2	15.9	7.9	3.2	6.3	6.3	

区分	その他	特 に ない	無 回 答	
全体	2.3	9.3	12.8	
男性	18、19歳	0.0	50.0	0.0
	20～29歳	2.8	11.1	2.8
	30～39歳	1.8	10.7	5.4
	40～49歳	6.2	15.4	6.2
	50～59歳	3.1	10.2	7.1
	60～69歳	3.5	11.6	10.5
	70～79歳	1.1	10.0	23.3
	80歳以上	1.8	10.5	26.3
女性	18、19歳	0.0	12.5	0.0
	20～29歳	1.9	5.8	5.8
	30～39歳	5.2	2.6	10.4
	40～49歳	0.0	8.1	8.1
	50～59歳	4.1	5.7	10.6
	60～69歳	0.0	4.4	16.7
	70～79歳	0.0	12.0	19.4
	80歳以上	1.6	11.1	22.2

最後に、今までお聞きした問題以外にも、あなたが日ごろ、男女共同参画社会について、お考えのことやお気づきのことなどについて、どのようなことでも結構ですのでご自由にご記入ください。

## 自由意見

● 男女共同参画の考え方について	54件
● 男女の役割分担について	13件
● 結婚・家庭生活について	3件
● 子育て、子どもの教育について	20件
● 職場や就労について	27件
● 地域での慣習や地域活動、社会活動について	6件
● 社会問題、政治について	21件
● DVやセクハラについて	5件
● サービス・支援について	8件
● その他	18件

あま市  
男女共同参画に関する市民意識調査  
— 報告書 —

発行年月： 令和8年2月

発 行： あま市 市民生活部 人権推進課

〒497-8602 愛知県あま市七宝町沖之島深坪1番地

電 話： 052-444-0398